

開発版

リファレンスマニュアル

バージョン:5.1.*.*

2010年 11月



《法的な注意事項》

本書に記載した内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本書マニュアルの記載事項の誤り、または欠落により発 生した損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

本書は、株式会社ニューコムが事前に承諾している場合を除き、製品の使用許諾契約書に記載の条件に同意をされたライセンス所有者に対してのみ供給されるものです。

《著作権表示》

本書に関する著作権は、株式会社ニューコムへ独占的に帰属します。

株式会社ニューコムが事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本書またはその一部を無断で複製・転載・ 改編することを禁止します。

《商標表示》

本書に記載されている「dbSheetClient実行版」、「dbSheetClient開発版」、「dbSheetClientサーバ版」は株式会社ニ ューコムの製品です。

本書に記載されているマイクロソフト製品(Windows、Office、Excel等)は、米国Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標または商標です。

その他記載の各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

§ はじめに

db

本書は、「dbSheetClient 開発版」を使用して、Web アプリケーションの開発をするための手順や操作などを理解し、スムーズに開発を進められるようにするためのものです。

本書は、次の3つのスキルを習得している方を前提としています。

- ↓ Windowsの基本的な操作を習得している方
- ↓ Microsoft Excelの基本的な操作を習得している方
- ↓ データベース(SQL文)を理解している方

本書は、「dbSheetClient 開発版」を理解していただくために2部構成になっています。

- 第1部 アプリケーション開発ガイドWeb アプリケーションの開発手順を理解することを目的としています。
- 第2部 <u>dbSheetClient 開発版リファレンス</u>
 「dbSheetClient 開発版」は、パラメータ入力方式でプログラミングします。
 プログラミングする時に表示する画面の名称や入力する情報について説明しています。

本書以外に開発・運用に必要なマニュアルを用意していますので、本書と合わせて活用してください。 『タスクタイプリファレンスマニュアル』 『開発版テクニカルリファレンスマニュアル』 『サーバ版操作マニュアル』 『システム管理者用マニュアル』



8 はいめに	
§ 目 次	
第1部 アプリケーション開発ガイド	
■ 開発の流れと各章の概要	
■必要なスキル	
第1章 サンプル Web アプリケーションの概要	
1.1. アプリケーションの概要	
1.1.1.メニューとボタンの配置と表示するシートの関係	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係 1.2. データベースの概要 	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係	
1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係 1.2. データベースの概要 1.2.1. データベースとテーブルの定義情報 1.3. Excel シートの概要 	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係 1.2. データベースの概要 1.2.1. データベースとテーブルの定義情報 1.3. Excel シートの概要 1.3.1. UI シート 	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係 1.2. データベースの概要 1.2.1. データベースとテーブルの定義情報 1.3.1. Excel シートの概要 1.3.2. 制御シート 	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係 1.2. データベースの概要 1.2.1. データベースとテーブルの定義情報 1.3.1. UIシート	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係 1.2. データベースの概要 1.2.1. データベースとテーブルの定義情報 1.3.1. UI シート	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係 1.2. データベースの概要 1.2.1. データベースとテーブルの定義情報 1.3.1. UI シートの概要 1.3.2. 制御シート	
 1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係 1.2.1. データベースの概要	

2.3.1. グループ管理(ユーザ参加)	
2.3.2. プロジェクト管理(グループ参加)	
2.3.3. プロジェクト管理(エイリアス参加)	



第3章 dbSheetClient による Web アプリケーションの開発		
3.1.	dbSheetClient の特徴	
3.1	1.1. dbSheetClient の Web アプリケーション的特徴	
3.1	1.2. データベースのデータと Excel シートのデータの同期	
3.1	1.3. 変数領域や作業用テーブルは Excel シート	
3.2.	定義シートの種類と役割	
3.2	2.1. 14種類の定義シート	
3.2	2.2. タスクの実行タイミング	
3.2	2.3. 14 種類の定義シートと実行時の連携イメージ	
3.3.	Web アプリケーションの開発	34
3.3	3.1. 開発の初めに定義する定義シート	
3.3	3.2. サイクル開発しながら定義する定義シート	
3.3	3.3. メニュー定義の設定	
3.3	3.4. ボタン定義の設定	
3.3	3.5. タスク定義の設定	
3.3	3.6. クエリー定義の設定	
3.3	3.7. 展開定義の設定	41
3.3	3.8. ポータルシート(トップシート)表示のために設定	
3.3	3.9. 編集用シート(得意先マスタ)を表示するための設定	
第4章	章 テスト及びデバッグ作業	
4.1.	Excel でのテスト及びデバッグ作業	47
4.2.	デバッグ実行によるテスト及びデバッグ作業	48
4.2	2.1. デバッグ実行の起動	
4.2	2.2. タスク実行時のエラー画面	
4.2	2.3. 実行版のログ出力について	
4.3.	その他のデバッグ作業	51
第5章	章 アプリケーションの公開作業	53
5.1.	Excel シートの仕上げ作業	54
5.1	1.1. 仕上げ作業	

1.00	
10	hez
	76
~	F

5.2.	プロジェクトの定義情報の確認作業	55
5.3.	プロジェクト定義情報と Excel シートのアップロード作業	55
5.4.	本番での動作確認作業	55
5.5.	再公開のための作業	55
第2部	dbSheetClient 開発版リファレンス	56
■各	章の概要	
第1章	dbSheetClient の開発手順	60
1.1.	プロジェクト開発の流れ	61
1.2.	開発の準備作業	62
第2章	ログイン画面	64
2.1.	開発版ログイン画面	65
2.2.	ヘルプ画面	66
2.2.	1. 製品情報	
2.2.	2. 障害対策	
2.3.	環境設定画面	70
2.3.	1. ユーザカスタマイズ設定	71
2.3.	2. 端末情報の初期化と組織切替	74
2.3.	3. マルチプロジェクト管理の設定	
2.4.	オフラインで開発と実行	79
2.5.	オンライン接続時のセッション切断に関する注意点	81
第3章	メイン操作画面とプロジェクト定義ファイル	82
3.1.	dbSheetClient メイン操作画面の説明	83
3.1.	1. コマンドボタン	
3.1.	2. プロジェクト情報	
3.1.	3. 実行用フォルダ	
3.1.	4. 開発用フォルダ	
3.1.	5. 開発用フォルダにプロジェクト定義ファイルをコピーする	

3.2.	プロジェクト定義ファイル	
第4章	「定義編集画面の操作方法	
4.1.	定義シートの種類	91
4.1	.1. 14 種類の定義シート	
4.2.	各定義と実行画面の制御関係	
4.3.	定義編集画面の説明	93
4.3	.1. 定義編集ボタンエリア	
4.3	.2. ツリー表示エリア	
4.3	.3. メニュー・ツリー表示	
4.3	.4. 定義編集シートエリア	
4.3	.5. 情報表示/SQL編集エリア	
4.4.	定義編集のシート切り替え方法	
4.4	.1. ツリー表示エリアの定義情報をクリックする	
4.4	.2. ツリー表示エリアの定義情報を右ボタンでクリックする	
4.4	.3. アクティブ表示の定義編集ボタンをクリックする	
4.5.	定義シート編集保護解除方法	
4.6.	定義シートの操作ボタン説明	
4.6	.1. 終了ボタン	
4.6	.2. 選択/参照ボタン	
4.6	.3. 入力チェックボタン	
4.6	.4. 全ボタン	
4.6	.5. Excel	
	.6. フォント	111
4.6		I I I
4.6 4.6	.7. ヘルプメニュー	
4.6 4.6 4.7 .	7. ヘルプメニュー 各定義の編集方法	
4.6 4.6 4.7 .	.7. ヘルプメニュー 各定義の編集方法 .1. データベース定義	
4.6 4.6 4.7 . 4.7	.7. ヘルプメニュー 各定義の編集方法 .1. データベース定義	
4.6 4.6 4.7 4.7 4.7 4.7	 .7. ヘルプメニュー 各定義の編集方法	
4.6 4.6 4.7 4.7 4.7 4.7 4.7	 .7. ヘルプメニュー 各定義の編集方法	
4.6 4.6 4.7 4.7 4.7 4.7 4.7 4.7	 .7. ヘルプメニュー 各定義の編集方法	

db 2

4.7.7. タスク定義	
4.7.8. クエリー定義	
4.7.9. 展開定義	
4.7.10. 開始終了定義	
4.7.11. ボタンー覧定義	
4.7.12. タスクー覧定義	
4.7.13. 展開一覧定義	
4.8. IOTG(アイオーティージー)	
4.8.1. IOTG の概要	
4.8.2. IOTG の操作手順	
4.8.3. IOTG の動作確認	
第5章 DB 自動作成と MDB アップロードの操作方法	
5.1. DB 自動作成画面の説明	
5.1.1. DB 自動作成するための準備	
5.1.2. 【DB 自動作成】画面の説明	
5.1.3. DB 作成インデックスシートの説明	
5.2. MDB ファイルから DB サーバにデータをアップロードする手順	175
5.2.1. DB アップ(F3)の説明	
第6章 デバッグのためのテスト環境	
6.1. デバッグ実行	
6.1.1. 通常実行	
6.1.2. ステップ実行	
6.1.3. ステップ実行の操作	
6.2. SQLテスト実行	
6.3. リファレンス作成	
第7章 プロジェクト定義情報と Excel ブックのアップロード	
7.1. プロジェクト定義情報をアップロードするための前提条件	
7.2. プロジェクト定義情報のアップロード	
7.2.1. プロジェクト定義情報のアップロード画面の起動	

d

dbSheetClient

7.	.2.2. プロジェクト定義情報のアップロード操作手順	
7.	.2.3. プロジェクトアップロード内の保守機能について	
7.3.	Excel ブックのアップロード	
7.	.3.1. Excel ブックのアップロード画面の起動	
7.	.3.2. Excel ブックのアップロード操作手順	
筻 Q i	音データセネ定義	108
	キ ノ	
8.1.	データ保守定義のための準備	
8.2.	データ保守定義の登録	
8.	.2.1. データ保守定義画面の起動	
8.	.2.2. データ保守定義画面の説明	
8.	.2.3. データ保守画面サンプルの説明	
8.	.2.4. データ保守定義の手順(新規登録)	
8.	.2.5. データ保守定義の手順(編集)	
8.3.	データ保守定義を実行する手順	
8.	.3.1. タスク定義	
8.	.3.2. タスクを実行	
第 91	章 メンテナンス機能	
9.1.	パスワードの設定	
9.	.1.1. パスワードの設定の概要	
9.	.1.2. パスワードの設定の操作手順	
9.2.	プロジェクトの初期化	
0		
9. Q	.2.1. ノロシエクトの初期化の概要	
9.		
9.3.	プロジェクトの強制入替	
9.	.3.1. プロジェクトの強制入替の概要	
9.	.3.2. プロジェクトの強制入替の操作手順	
9.4.	プロジェクトの複製	
9.	.4.1. プロジェクトの複製の概要	

9

9.	4.2. プロジェクトの複製の操作手順	
9.5.	デモプロジェクトの取込	225
0		225
9.	3.1. テモノロシェクトの取込の概委	Z20
9.		
9.6.	外部プロジェクトの取込	230
9.	6.1. 他社製品プロジェクトの取込の概要	
9.	6.2. 他社製品プロジェクトの取込の操作手順	
9.7.	プロジェクトの比較レポート作成	236
9.	7.1. プロジェクト定義情報の比較レポート作成の概要	
9.	7.2. プロジェクト定義情報の比較レポート作成の操作手順	
9.	7.3. プロジェクト定義情報の比較レポートの読み方	
9.	7.4. プロジェクト定義情報の比較レポートを Excel ファイルとして保存する操作手順	
9.	7.5. プロジェクト定義情報の比較レポートに「更新日付」を表示させる操作手順	
9.8.	プロジェクトのマージ	
9.	8.1. プロジェクト定義情報のマージの概要	
9.	8.2. プロジェクト定義情報のマージの操作手順	
9.9.	定義情報のマイグレーション	251
9.9	9.1. プロジェクト定義情報のマイグレーションの概要	
9.	9.2. プロジェクト定義情報のマイグレーションの操作手順	
§ 仚	す 録	256
A.	改版履歴	

第1部 アプリ

db

アプリケーション開発ガイド

第1部は、プロジェクトの登録からアプリケーションの公開までの「Webアプリケーション開発の手順」 を、サンプルWebアプリケーションの開発を例に説明します。「dbSheetClient開発版」によるWebアプ リケーションの開発スタイルについて理解します。

開発の流れと各章の概要

Web アプリケーションの開発は、システム管理者と開発者で作業分担して行うようになります。 【システム管理者の作業】

- ↓ リソース関係の登録と割り当て
- ↓ アプリケーション公開のための作業

【開発者の作業】

- 👃 🛛 各種定義シートの入力や Excel シートの編集
- ♣ テスト及びデバッグ作業
- ↓ サーバにプロジェクト定義情報と Excel ファイルのアップロード



必要なスキル

db

- ① Windows の基本的な操作を習得していること
 - Excel や dbSheetClient を操作するための Windows の基本的な操作を習得していること
- ② Microsoft Excel 2000 以上の基本的な操作を習得していること
 - Excelの基本的な操作や数式を使用する表などの作成を習得していること
 - 書籍やインターネットから必要な情報を収集し、活用できること
- ③ データベース(SQL 文)を理解していること
 - 社内で取扱う情報をクライアントからの要望に応じて、検索や抽出などの加工ができること
 - 検索や抽出するのに必要な SQL 文を作成できること
 - 書籍やインターネットから必要な情報を収集し、活用できること

第1章 サンプル Web アプリケーションの概要

本章では、サンプル Web アプリケーションの概要について説明します。これは、以降の章で説明して いる内容を容易に理解していただくためのものです。 本章で説明する概要は、次の3つです。

- 1.1 アプリケーションの概要
- 1.2 データベースの概要

(db)

1.3 Excel シートの概要

1.1. アプリケーションの概要

db

ここでは「得意先マスタを一覧表示して印刷する」という流れを説明しています。 本章で使用するアプリケーションの機能は下記のとおりです。





1.1.1. メニューとボタンの配置と表示するシートの関係

-ב _ ×	ボタン	表示するシート名
トップ		トップ
得意先一覧	読込、書込、印刷、クリア	得意先一覧

メニューは、二段階層です。「トップ」は表示のみのシートです。実行する機能は「得意先一覧」のシ ート内で行います。

詳細は『第1部 1.3 Excel シートの概要』と『第1部 3.2 定義シートの種類と役割』を参照してください。

1.2. データベースの概要

サンプルのデータベースは「SQL Server 2005 Express」を使用します。ローカル環境にインスト ールしてある環境で使用する場合の定義です。なお、データベースのダウンロードおよびインストールは、 「マイクロソフトダウンロードセンター」を参考に行ってください。また、他のデータベースの場合は、 データベースのマニュアルを参照しながら、内容を置換えて、データベースとテーブルの作成が必要にな ります。

1.2.1. データベースとテーブルの定義情報

サンプルプロジェクトの「サンプル(入門編)」が環境設定済の場合は設定する必要がありません。また、サンプルプロジェクトを希望する場合は、弊社担当営業まで連絡をしてください。

ここでは、実際に使用する「得意先マスタテーブル」について説明します。

「得意先マスタ」は「得意先コード」毎に得意先を登録・管理するためのテーブルです。そのため、「得 意先コード」は重複のない数値のみを入力することとします。よって「プライマリキー」は下記の通り「得 意先コード」となります。

得意先の他の項目は、一般的な住所録の項目です。(ファックス番号まで)

「DBS_STATUS」から「DBS_UPDATE_DATE」までは、「DBS 同時実行制御フィールド」と言います。このフィールドは、「dbSheetClient」でレコード単位の排他制御が必要な場合は必須になります。

(排他制御の詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第5章 同時実行制御機能とデー 夕更新処理について」』を参照してください。)

項目名	型(書式)	NULL 許可
得意先コード	Int	No
得意先名	varchar(20)	No
得意先名略称	varchar(10)	Yes
郵便番号	varchar(8)	Yes
住所1	varchar(60)	Yes
住所2	varchar(60)	Yes
電話番号	varchar(16)	Yes
ファックス番号	varchar(16)	Yes
DBS_STATUS	varchar(2)	Yes
DBS_CREATE_USER	varchar(60)	Yes
DBS_CREATE_DATE	varchar(30)	Yes
DBS_UPDATE_USER	varchar(60)	Yes
DBS_UPDATE_DATE	varchar(30)	Yes

▼「得意先マスタテーブル」の項目構成表

▼プライマリキー

項目名	重複許可	並び順
得意先コード	No	昇順

1.3. Excel シートの概要

dby

▼dbSheetClient では、Excel シートの構成を大きく3つに分類しています。

シートの分類	用途・目的
リシート	ユーザインタフェース用のシート
	入力・照会・印刷などの入出力に該当する場合のシートです。
制御シート	ビジネスロジックなどを実現するために、制御用に用いるシート
	In シート、out シート、編集用シートなど、アプリケーション開発者が、
	内部的に追加するシートです。
パラメータシート	制御シートの一つ(必須シート、特別な意味を持っています)
	シート内で受け渡すパラメータ情報を定義・格納するためのシートです。
	クエリー定義の SQL 文で使用します。
	※パラメータエリアのレイアウト変更は禁止です。

1.3.1. リシート

▼ユーザインタフェース用のシートは、利用目的から次の2つのシートがあります。

シート(シート名)	内容
ポータルシート	アプリケーションを起動した時に、最初に表示するシート
(トップ)	アプリケーションの入り口になるシートです。
編集シート	実務用のシート
(得意先一覧)	本章では、得意先の一覧表示や入力・印刷に使用します。



図 1.3-1 「ポータルシート」のサンプル



図 1.3-2 「編集シート」のサンプル

1.3.2. 制御シート

db

▼制御用に用いるシートには次の3つのシートがあります。

シート(シート名)	内容
in シート	取得したデータの更新前の値を保存するシート
(TG <u>L</u> 得意先マスタ)	変更箇所の比較や更新用レコード生成に使用します。
out シート	更新用データを保存するシート
(TG <u>O</u> 得意先マスタ)	編集シートと In シートから out シートを作成します。
ワーク用シート	本章では使用していませんが、アプリケーション開発者が必要により作成
	する編集作業用のシートです。

40	414.1	2 BIT12	#X0 #	100 A-10	7-901	2010	90 A	1756 71	UND OF ARE	, satellite	8/17	
9.	MON.	21 A 12	2.00	1 - (X + 19	a	MS			6 - 8 Z 1		귀독·날리	律律 二 · 3
32		51				_						
•		6	0	1		9	H				- K.	
	10.00		Inc.			10.00	10.000		200.27.88	Date of Farmer	1000	TORS CONTACT OF
			1983.61	体影光后起导	120-1010	1.74	- TB	22-2121-	002-2121-0126	1	readered	072007-06-30
			(律师法规)	NE2		18.77.62	NT84	003-1224-	600-1212-0608		rach will	D72007-06-291
			21100	1.1.196	12412-00222	1143	e	P	p		pouters?	D72007-07-19
	-		-		-	-	-	-				
			-									
			_		_	_	_		_			
	-				-	-	-	-				
	-		-	-	-	-	-	-				
	-		-		-	-	-	-				
	-		-		-	-	-	-				
			-		-	-		-	-	-		
				_								
	-				-	-	-	-				
			-		-	-	-	-	-			
			_		-	_	_					
	-				-	-	-	-				
	-		-	-		-	-	-				
					_		_					
						_	_	_				

図 1.3-3 「in シート」のサンプル

241 h	0 44	D WARD	NO B	KE SAW	1-200	2015	100	1789 10	18 2 12 Acto	10100			•
1	0.0	A 4 12	3-31	2 - 1 - 12	< 100M	2 B B	NS PJS	7 7	- 18 8 -	7.11 肥田	輸出す・よい	日本の日・日	
第マス	00	. 6	_			_							
6	0	0	0	6	1	0	н	1		x	1. I.	н	
													т
	-				_	_	_						T
	0.04	得意大コード	14826	诸君法名称和	科学等社	12791	98.M12-	21.24	ファックス番号	ERS_STATUS	DBS_CREATELEER	DBS_CREATE_DATE	-0
	-		-		-	-	-	-					÷
		-			-	-	-						t
	-												T
													T
	-				-	_	-						+-
	-				-	-							+
	-				-	-							+
	-		-		-	-	-						t
													Т
	-				_	_	_	_					-
	-				-	-		-					÷
	-	-	-		-	-	-	-					÷
		-	-			-	-						t
								-					Т
		-	-		-	-		-			-		Į.
	-		-		-	-	-						÷
	-				-	-		-					+
		-											t
		1											Т
								_					T.
	-	-	_				_	_					1

図 1.3-4 「out シート」のサンプル

1.3.3. パラメータシート

▼パラメータシートは、dbSheetClientで予約された(自動作成される)シートで、 プロジェクトに対して1つ作成されます。

シート (シート名)	内容			
パラメータシート	パラメータシートは Excel シート外の情報の受渡しとして使用します。			
(dbS_パラメータ)	Excel 外の情報とは、システム共通の情報とユーザの情報があります。			
	システム共通の情報は、システム共通パラメータのエリアを使用します。			
	システム共通情報の種類			
	● サーバ版が管理している情報			
	 ● 実行版が管理している情報 			
	ユーザの情報は、ユーザエリアを使用します。			
	ユーザの情報は、SQL 文に Excel シートの情報を渡す場合に使用します。			
	使用方法の具体例は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第5			
	章 同時実行制御機能(排他制御)について」』を参照してください。			
	シート名は「dbS_パラメータ」固定です。			
	注意! パラメータエリア以外のセルは、今後、使用する可能性があり			
	ますので、作業用に使用しないことをお勧めします。			

▼パラメータシートの構成

A DIG DIG N	🤄 🔊 • 🗠 - Ι Σ • Ι 100% 🔹 📑 🚺	IS Pゴシック 🔹 11	→ B Z U 単業準因 % , % 炎 (逆逆	
K55 - fr			_	
A	C C	D	E	
1 SNo 要	教名	書式	偏守	4
2 1 SYS_UserID	manual1		ログインID	
3 2 "SYS_PcName"	LEFS_8FKSA59363		使用PC名	
4 3 SYS_LoginDate	"ime" 2010/05/20 10:11:1	0	ログイン時刻	
5 4 SYS_ProjStartD	ateTime" 2010/05/20 10:11:1	0	プロジェクト開始時刻	
6 5 SYS_ProjName	サンプルwebアフリケーション		プロジェクト名	
7 6 SYS_ProjDefVe	sion" v.3.0.01		プロジェクト定義仕様パージョン	
8 7 SYS_Path	C:¥dbSheetClient¥Dev	ell開発ディバッグ	システムフォルダー名	
9 8 SYS_LastLogin	2010/05/20 10:00:0	0	前回ログイン時刻	
10 9 SYS_UserAuth	1002		ユーザ権限レベル	
11 10 SYS_UserCorp	13	0	会社ID(組織ID)	
12 11 SYS DataVer		0	定義データVer	
13 12 SYS_DBSVer	5.0.0.0		dbSheetClientバージョン	
14 13 SYS ExcelVer	200	8	Excelバージョン	
15 14 SYS PhysicalM	mory 208721	2	物理メモリ量(KB)	
16 15 SYS Available M	mory 102970	4	使用可能メモリ量(KB)	- シフテムサ済パラマータエリア
17 16 SYS Session	接线中		0 セッション接続状態	リーシステム共通ハラスニラエラテ
18 17 SYS DefaultPri	ter" DocuPrint C3360	IP 192.168.9.99	記動時の通常使うプリンタ名	
19 18 SYS Schema		50.00000000000000000000000000000000000	スキーマ名	
20 19 SYS Timelag	5.17E-0	5 2010/05/20 101	2010/05/20 1011	
21 20				
22 21 1987	12	0	検索する得意先コード	H
23 22			and a strange of the	
24 23				
25 24				
26 25				
27 26				[]
28 27				
29 28				
30 29				
31 30				ユーリハフメータエリア
22 21				
33 32				
24 22				
35 34		-		
26 25				
37 36				
28 27				
39 39				
40 39				
11 40				
40				
42				
+ + + H \ dtb5/152-9/Sh	et1 / Sheet2 / Sheet3 /			
37/75				1

図 1.3-5 「パラメータシート」のサンプル

▼列の構成

dbS

	A	В	C	D	E	F	G
1	SNO	変数名	設定値	書式	備考	行数	40

図 1.3-6 「パラメータシート」の列の名称と意味

- A列 · · SNO:シーケンス番号です。1番から番号を昇順に振ります。
- B列 · · 変数名:パラメータの変数名です。ハット記号("[^]")は、パラメータ区切文字です。パラ メータはパラメータ区切文字で変数名を囲みます。

例) "^SYS_UserID^"、"^得意先コード^"

ただし、起動モード(規定外パラメータ区切)を"使用する"にした場合は、変数名に記入 した文字列を変数名として扱うようになります。この場合は、パフォーマンスが悪くなる可 能性があります。

C 列 · · 設定値:パラメータの値が入ります。

例) "^SYS_UserID[^] "の値: "demoO1"

- D列 · · 書式:コメント用です。
- E列 ・・ 備考:パラメータの意味や使用目的を記述します。

例) "^SYS_UserID[^] "の備考: "ログイン ID"

G列・・ 行数:パラメータ行の行数(標準:40行)として、1 行目のみ使用します。セルには、数式
 「=COUNT(A:A)」が設定済です。変更禁止

▼行の構成

dby

シーケンス番号

1~20番:システム共通パラメータです。実行時にセットされます。

21 番以降: ユーザパラメータです。開発者が使用可能なエリアです。

SNO	変数名	意味
1	^SYS_UserID^	ログインID
		例)manual1
2	^SYS_PcName^	使用PC名
		例)LEFS_8FKSA59363
З	^SYS_LoginDateTime^	ログイン時刻
		例)2010/5/20 10:11:10
4	^SYS_ProjStartDateTime^	プロジェクト開始時刻
		例)2010/5/20 10:11:10
5	^SYS_ProjName^	プロジェクト名
		例)サンプルWebアプリケーション
6	^SYS_ProjDefVersion^	プロジェクト定義仕様バージョン
		例)00300
7	^SYS_Path^	システムフォルダ名
		例)C:¥dbSheetClient¥Develop¥run¥sAPPL
8	^SYS_LastLogin^	前回ログイン時刻
		2010/5/10 10:00:00
9	^SYS_UserAuth^	ユーザ権限レベル(複数の場合、カンマ区切り)
		例)10,1002
10	^SYS_UserCorp^	会社D(組織D)(ニューコムより提供)
		例) 130
11	^SYS_DataVer^	定義データVer(サーバにアッフロードした回数)
12	SYS_DBSVer	dbSheetClientバーション
10		191) 5.0.0.0
13	SYS_ExcelVer	
14	SYS_Physicaliviemory	初述メモリ重(KB) (FII) 2087212
15	^CVC Available Associa	
15	STS_Availableiviernory	医内辺肥み L ツ重 (ND) (別) 1116236
16	^SVS Service^	
10	010_0 6 551011	ヒッノヨノ1970640133
		1女刑心十

【次ページに続く】

【前ページより続く】

SNO	変数名	意味
17	^SYS_DefaultPrinter^	起動時の通常使うプリンタ名(書式欄:ポートNo)
		例)DocuPrint C3360
		書式欄:LPT1:
18	^SYS_Schema^	スキーマ名 (データベース:DB2の場合のみ)
19	^SYS_TimeLag^	タイムラグ(サーバ時刻-PC時刻の差分) 例) 0.0000895138888888889 書式欄:dbsサーバ側の時刻、2010/5/20 10:11:36 備考欄:クライアント側の時刻、2010/5/20 10:11:28
20		

SNO	変数名	意味
21		以降はユーザエリア:アプリケーション開発者が使用
:		デフォルトは4O番まで使用可能
40		

■ユーザパラメータエリアの追加方法(40行以降にパラメータを追加する場合)

- ① 表の行をコピーします。
- ② 「SNO 欄」が続き番号になるように番号を入力します。

▼注意

行を多くすると SQL 展開時のパフォーマンスに影響が出る場合があります。

1.3.4. パラメータシートの使用例



実行時は、「SELECT 社員名 FROM 社員マスタ Where 社員コード = 7」に変換され、実行します。

第2章 dbSheetClient によるアプリケーション開発の準備作業

本章では、dbSheetClient 開発版を使用して実際に、アプリケーション開発を開始する前に行わなけ ればならない準備作業について説明します。これらの作業は、システム管理者、またはそれに準ずる人が 行います。

準備作業は、大きく分けて3種類あります。

dby

- 2.1 データベースの設定(データベースサーバでの作業)
- 2.2 リソース情報の登録(dbSheetClient での作業)
- 2.3 リソース情報の割当て(dbSheetClient での作業)

2.1. データベースの設定

db

本節では、dbSheetClientからデータベースにアクセスできるようにするための作業を行います。 (サンプルプロジェクトの「サンプル(入門編)」が環境設定済の場合は設定する必要がありません。 また、サンプルプロジェクトを希望する場合は、弊社担当営業まで連絡をしてください。)

データベースサーバに、物理的なデータベース領域の生成と、アクセスするためのユーザの登録を、ま ず行っておく必要があります。

ここでは「SQL Server 2005」を例に、登録する内容を説明します。

サンプルデータベースは、ローカル環境に作成することとします。そのため、データベースをインスト ールしておく必要があります。サンプルデータベースのインストールについては、『第1部 1.2 データ ベースの概要』を参照してください。

作成データベース名:「SampleDB」

作成方法は、「SQL Server Management Studio」または、「SQL Server Management Express」 のヘルプを参照してください。

本章で使用する「得意先マスタテーブル」については、『第1部 1.2 データベースの概要』を参照し て登録してください。

2.2. リソース情報の登録

db

dbSheetClient 開発版でアプリケーション開発ができるようにするためには、あらかじめ、 dbSheetClient サーバ版にアクセスし、リソースの登録作業を事前に行います。

リソースの種類	内容
プロジェクト	アプリケーション開発の単位です。
	プロジェクト毎に以下3つを管理します。
グループ	ユーザをグループに参加させます。
	グループ毎にプロジェクト実行時の権限を付与することで管理しやすく
	なります。
	グループに開発権限のあるユーザを参加させることにより、アプリケーシ
	ョンの開発が可能になります。
ユーザ	dbSheetClientの開発者、実行ユーザを登録します。
データベース	データベースの接続情報に対し、別名を付与します。開発版の DB 定義は、
	サーバのエイリアス名を指定することで、データベースの接続情報を取得
	できます。

リソースの登録作業は、サーバ版インストール時に作成される「Supervisor 権限」のユーザ、または 「システム管理者権限」のユーザで登録作業を行います。作業手順の詳細は、『サーバ版操作マニュアル』 及び『システム管理者用マニュアル』を参照してください。

2.2.1. プロジェクト登録

項目名	設定値			
プロジェクト識別記号	IggA			
プロジェクト名	サンプル Web アプリケーション			
プロジェクト定義仕様 VER	300 (デフォルト)を選択			
定義情報保存	許可(デフォルト)を選択			

その他の項目は、自動設定または、任意に入力可能です。

2.2.2. グループ登録

項目名	設定値
グループ名	開発体験
	「モニュー」も可能です

その他の項目は、自動設定または、任意に入力可能です。

2.2.3. ユーザ登録(開発ユーザ新規登録)

dby

項目名	設定値			
ユーザロ	Sample01			
パスワード	\$\$\$sample			
開発版権限	権限 10 を選択			
氏名(漢字)	サンプル開発体験			
権限				
状態				

その他の項目は、自動設定または、任意に入力可能な項目です。

2.2.4. データベース登録

項目名	設定値					
エイリアス名	サンプル DB					
サーバ種類	MSSQL					
サーババージョン	2005					
認証区分	Windows 認証/SQL 認証					
サーバ名	データベースのあるホスト名/DNS ホスト名/IP アドレス					
	ローカルの SQL Server Express を指定する場合は、					
	「^SYS_PcName [~] ¥SQLEXPRESS」と入力します。					
スキーマ	dbo(標準)					
ポート番号	1433(標準)					
データベース名	データベース名					
ID	SQL 認証の場合のユーザ ID					
Password	SQL 認証の場合のパスワード					

その他の項目は、自動設定または、任意に入力可能な項目です。

2.3. リソース情報の割当て

db

ユーザがプロジェクトの開発や実行を可能にするためには、プロジェクトにリソース情報を割当てます。



図 2.3-1. リソース情報の関連図

リソースの割当て作業は、サーバ版インストール時に作成される「Supervisor 権限」のユーザ、または「システム管理者権限」のユーザが行います。作業手順の詳細は、『サーバ版操作マニュアル』及び『シ ステム管理者用マニュアル』を参照してください。

2.3.1. グループ管理(ユーザ参加)

項目名	割当て			
選択グループ名	開発体験			
選択ユーザ名	SampleO1			

2.3.2. プロジェクト管理(グループ参加)

項目名	割当て		
選択プロジェクト名	サンプル Web アプリケーション		
選択グループ名	開発体験		

2.3.3. プロジェクト管理(エイリアス参加)

dbs

項目名	割当て		
選択プロジェクト名	サンプル Web アプリケーション		
選択エイリアス名	サンプル DB		

プロジェクトにエイリアス(データベース)を関連付けすることにより、開発版で、データベース情報 を取得できるようになります。(DB 定義シートへ入力する時等)

リソース情報の登録と割当てが完了した後、dbSheetClient 実行版または開発版を起動し、登録ユーザ(sampleO1)でログインすると、下図のように、割当てたプロジェクトの一覧が表示されます。

🤓 dbSheetClient (開発版) <135> 駒ニューコム dbSheetClientプロジェクト開発サーバ 🔳 🔲 🗙				
ユーザID sample01				
バスワード ******** ログイン 環境設定				
処理(プロジェクト)を選択してください				
サンプルWebアプリケーション				
実行 開発 <u>」 プロジェウトDe表示する</u> ログオフ 終了				

図 2.3-2. リソースの登録及び、割当て後に開発版を実行した画面

第3章 dbSheetClient による Web アプリケーションの開発

本章では、dbSheetClient 開発版を使用して、実際に Web アプリケーション開発をする手順を説明します。

dbSheetClient の特徴と構造を理解し、また開発手順についてまとめています。

- 3.1 dbSheetClientの特徴
- 3.2 定義シートの種類と役割
- 3.3 Web アプリケーションの開発

3.1. dbSheetClientの特徴

dbSheetClientの特徴は、Excelをユーザインタフェースに使用したWebアプリケーションを開発し、 実行するためのツールです。本節では、この特徴を活かした開発の進め方を提示します。

3.1.1. dbSheetClient の Web アプリケーション的特徴



上記はブラウザが一般的なホームページを開くまでの流れです。その期間がセッションやトランザクションの範囲になります。つまり通信の一往復がその期間に該当します。



上記は、実行版がデータを要求してから、取得データを Excel に展開するまでの流れです。その期間が セッションやトランザクションの範囲になります。また、通信プロトコルは、HTTP または、HTTPS を使用していますので、Excel を使った Web アプリケーションであることを示しています。

3.1.2. データベースのデータと Excel シートのデータの同期

db

Excel シートのデータは、列や行の入替え、挿入、削除などの編集が自由に行えます。

しかし、データベースは、表の定義が固定されているために、Excel シートのような操作を行うことは できません。このため、データベースのデータと同期が必要な Excel シートは、列の編集はしないよう にしなければなりません。

また、データの追加、更新、削除する場合は、データベース側のデータを更新することでデータベース の同期が行われ、再度データを取得することで、クライアントのデータをリフレッシュします。



データベースのデータと同期する必要がある場合は、変更操作の内容を更新しなければなりません。 また更新後のデータの表示や編集を行う場合は、再読込を行う必要があります。

3.1.3. 変数領域や作業用テーブルは Excel シート

一般的にアプリケーション開発では、一時的に使用する変数や作業用のテーブルを定義して使用します。 dbSheetClient では、それらの情報を Excel シートに定義して使用します。また、それらの情報はエン ドユーザに見えないように、行列を非表示にするか、もしくは表示しないシートに作成します。 なお、「パラメータシート」も同様の役割を担うシートです。

また、実行版の動作と連動するための仕組み(数式、グラフ、ピボットテーブルなど)を Excel シート 内に定義しておきます。それにより Excel を使用した Web アプリケーションの開発が可能になります。

3.2. 定義シートの種類と役割

db

dbSheetClient は、プロジェクト毎に定義情報を管理しています。その定義情報をプロジェクト定義 情報と言います。

プロジェクト定義情報をサーバでは、データベース内に管理し、アップロードした Excel シートはテン プレートファイルとして管理しています。

クライアントでは、プロジェクト定義情報をファイルとして保存しています。そのファイルのことをプロジェクト定義ファイルと言います。

プロジェクト定義ファイルには、14 種類の定義シートが含まれています。アプリケーションの開発者 は、データベースの制御や Excel の制御など、定義シート毎の役割に応じた定義内容を入力していきま す。この様に dbSheetClient の Web アプリケーション開発は、パラメータ入力方式で行います。

3.2.1. 14種類の定義シート

▼14 種類の定義シートと役割を、下記表にまとめてあります。

No.	定義シート名	役割			
1	データベース定義シート	プロジェクト内で使用するデータベースの接続情報を定義します。			
2	DB 運用定義シート	開発版と実行版で使用するデータベースを別々に定義しておくことが			
		可能です。			
З	ブックファイル定義シート	プロジェクト内で使用する Excel ブックファイルを定義します。			
4	ブック運用定義シート	開発版と実行版で使用する Excel ブックファイルを別々に定義してお			
		くことが可能です。			
5	メニュー定義シート	メニューエリアに表示するメニューを定義します。			
6	ボタン定義シート	メニュー毎に実行するタスクを起動するためのボタンを定義します。			
7	タスク定義シート	実現するタスク(機能処理)を定義します。定義するタスクは、タス			
		クタイプにより決定します。			
8	クエリー定義シート	アクセスするデータベースを指定し、SQL 文等を定義します。			
9	展開定義シート	タスク定義やクエリー定義を実行するために必要な、Excel シートの			
		セル位置や範囲及び値等を定義します。			
10	開始終了定義シート	開始/終了時(プロジェクトのオープン/クローズ、ブックのオープ			
		ン/クローズ、メニュークリック時、ボタンクリック時)に起動する			
		タスクを定義します。			
11	データ保守定義シート	ASP.NET 形式の画面でデータベース用のメンテナンス画面を定義し			
		ます。			
12	ボタンー覧定義シート	メニュー毎に定義するボタンを複数個まとめるためのグループ名(ボ			
		タンセット名)を定義します。			
13	タスクー覧定義シート	1つのタスク定義で、複数行の定義ができますが、それらをまとめる			
		ためのグループ名(タスク名)を定義します。			
14	展開一覧定義シート	1つの展開定義で、複数行の定義ができますが、それらをまとめるた			
		めのグループ名(データ展開名)を定義します。			

3.2.2. タスクの実行タイミング

db



タスクの起動は、プロジェクトの起動から終了までの間、上記のタイミングで、タスクを実行できます。 「メニュー」と「ボタン」は、共通処理タスク(メニュー/ボタン クリック共通)を実行させてから、 個別処理タスク(メニュー/ボタン クリック)を実行させます。 3.2.3. 14 種類の定義シートと実行時の連携イメージ

db 2



実行時の処理や制御の連携を示しています。
※1は動作環境設定のための定義シートです。
実行時の処理や制御を指定するための定義シートです。
※2は開発版で管理するための定義シートです。

3.3. Web アプリケーションの開発

db

アプリケーションの開発は、Excel シートがない場合と、既存の Excel シートを利用する場合がありますが、ここでは Excel シートがない状態からアプリケーションを開発していく流れを説明します。

事前に『第1部 第2章 dbSheetClient によるアプリケーション開発の準備作業』の作業(データ ベースやサーバへのプロジェクト関連の登録)を行ってください。

3.3.1. 開発の初めに定義する定義シート

実行版や開発版の動作に関する定義シートは、開発の初めに入力します。また、この時までに 使用する Excel ファイルを準備します。



DB定義編集の画面						
	A	В	С	D		
1	タイトル	サブ	*	内容		
2	DBMS		*	SQLSV		
3	エイリアス名		*	サンプルDB		
4	場所		*	Local		
5	サーバ名		*	^SYS_PcName^¥SQLEXPRESS		
6	認証区分			Windows認証		
7	データベース名		*	SampleDB		
8	DBMSバージョン			SQLSV2005		
9	接続文字			Data Source=^SYS_PcName^¥SQLEXPRE		
10	スキーマ			dbo		
11	ポート番号			1433		
12	ユーザID					
13	パスワード					
14	コメント欄					

①データベース定義の入力例

②DB 運用定義は、データベース定義の保存時に作成します。

ブック定義編集の画面					
	A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	
2	ブック名		*	開発ガイドxls	
3	ブック保護有無				
4	ブック読込解除PW				
5	ブック書込解除PW				
6	ホスト指定				
7	リンク先			C:¥dbSheetClient¥Sample	
8	コメント欄				

③ブック定義の入力例、保存時に、パラメータシートを追加します。

④ブック運用定義は、ブック定義の保存時に作成します。

3.3.2. サイクル開発しながら定義する定義シート



【実装】

db

サイクルとは、設計、実装、デバッグ等の開発作業の流れです。また、開発には、Excel シート内の実装 と定義シートの入力及び SQL 分の作成が含まれます。

基本的な定義入力の順序



	データベースをアクセスするタスクを定義する順序
\frown	ループや分岐など処理を制御するタスクなど定義する場合の順序
\checkmark	メニュー選択時に実行するタスクを定義する順序
	Fxcelシート内のコピーするタスクなど定義する順序

【タスク定義を先に入力する場合】



プロジェクト開始時や Excel ファイルオープン/クローズ時などに実行させるタスクを指定する定義シ ートが、開始終了定義です。特殊な定義のため、タスク定義を先に行う必要があります。

【特殊な定義の仕方】

データ保守定義シートは、データベースメンテナンス用 Web アプリケーションを作成するためのものです。

ASP 方式のため、サーバに接続して開発・実行する必要があります。このためオフラインによる開発・ 実行はできません。

- 夕保守定義 タスク定義

データ保守定義は、データ保守専用の画面で開発をします。開発終了後に、タスク定義をする順序になり ます。

データ保守定義の詳細については、『第2部 第8章 データ保守定義』を参照してください。

3.3.3. メニュー定義の設定

db

メニュー毎に表示するシートを指定します。また、「ノードを開く」の指定を切り換えることで、初期 表示するメニューのツリー表現を変えることが可能です。

メニューによって開くブックを変えたい場合は、メニュー定義の「TASKNO」に指定するタスクを、 「ブック制御(参照用ブックオープン)」を指定し、必ず「後処理 TASKNO」に指定するタスクを、「ブ ック制御(参照用ブッククローズ)」を指定します。これで、現在開いているブック上のデータを利用し た処理が可能になります。

メニュー定義編集の画面				メニュー定義編集の画面								
	A	В	С	D			A	В	С	D		
1	タイトル	サプ	*	内容		1	タイトル	サプ	*	内容		
2	表示NO		*	1	1	2	表示NO		*	2		
3	階層		*	1	:	3	階層		*	2		
4	メニュー名		*	トップ	4	4	メニュー名		*	得意先マスタ		
5	BKNO			1		5	BKNO			1		
6	ブック名			開発ガイドxls	(6	ブック名			開発ガイド.xls		
7	シート名			トップ		7	シート名			得意先マスタ		
8	TASKNO			0	8	8	TASKNO			0		
9	BSNO			0	9	9	BSNO			1		
10	後処理TASKNO			0	1	0	後処理TASKNO			0		
11	ノードを開く			ALL	1	1	ノードを開く					
12	権限レベル				1	2	権限レベル					
13	定義有効無効フラグ				1	3	定義有効無効フラグ					
14	リンク先				1	4	リンク先			C¥dbSheetClient¥Sample		
15	コメント欄				1	5	コメント欄					
 ジ サンプルWebアプリケーション【デパッグ】user:manuall #1 ファイルKE デパッグ(D) ヘルプ(H) (祖田) プロジェクト: サンプルWebアプリケーション (統了 標準サイズ・ 画面リフレッシュ) 						 ☆ 実行すると、図のようなツリー形式で メニューを表示します。 ☆ 下の図は、権限のないノードを含むメ ニューを表示した場合の例です。 						
	<u>メニー</u> 再 ステップ停止						Menu					
Mei	¹⁴ 「メニューを選択してください。▼ 「トップ 」 得意先マスタ						<mark>! ▼メニューを選択し</mark> ロ トップ … 得意先マ	てくださ (スタ	,) 。			

メニューの使用を権限で制御する場合は、「権限レベル」に使用を許可する権限のグループを入力(複 数可能)します。実行時、権限のないメニューはグレイアウトされますが、権限のあるメニューのみを表 示することには対応していません。
3.3.4. ボタン定義の設定

Menu

dby

メニューより表示する Excel シートに対して、処理させるタスクを起動するためのボタンを定義します。 定義可能なボタンの数は、メインボタン 20 個、サブボタン 20 個です。また、サブボタンは 20 個を 1 セットとして切り替えることが可能です。そのため、サブボタンのセット切り替えることで、より多く のボタンを定義することが可能です。

				信告の正子				
-	^	P	ホタノ定義	幅果の画面	D	E		
1	BSNO	B ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	リタスク名	- 権限レベル		
2	1	1	読込	1	TG_T1_Read			
3	1	2	更新	2	TG_T2_Write			
4	1	3	印刷	3	TG_BS1_印刷			
5	1	4	クリア	4	TG_BS1_クリア			
6								
* ++	∼9 il.ui-	د ی م اللہ م						
י 🛩 ידר	ノノルwe イル(E) き	5アフリケーン デバッグ(<u>D</u>) ∧	コノナハックJuser ルプ(<u>H</u>) 復旧	- manuali 4 プロジェクト:	▪ サンプルWebアプリケーシ	ча). Кар	~]
総	了標準	きサイズ 🖕 🦲	画面リフレッシュ	読込	更新) (E	「帰」	クリア
K	1- 再	ステップ停止						
>得;	急先マスタ	1		27/2 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		- 101		
Men	_		[2] 開	発力イド.xls し訳	いれり専用」 [互換も	E∽-K'] - dbS.#1		
: -	·			A	B C	D	E	F
							☆ 実行す します	すると、 ほ
							☆ 下の た場合	図は、権限 合の例です
@ #	ンプルWe	bアプリケーシ	ョン【デバッグ】user	:manual1 #	1			
77	fJV(E) ∃	デバッグ(<u>D</u>) へ	ルプ(円) 復旧	プロジェクト:	サンプルWebアプリケーシ	'a')	~	
総	了標準	きサイズ 🔹 🚺	画面リフレッシュ	読込	更新		「刷」	クリア
×	1- 再	ステップ停止						
>得;	急先マスタ			274-19 alar - EE-		- 107		

ボタンの使用を権限で制御する場合は、「権限レベル」に使用を許可する権限のグループを入力(複数 可能)します。実行時、権限のないボタンはグレイアウトされますが、可視/不可視の切り替えには対応 していません。

D E F

A B C

3.3.5. タスク定義の設定

dby

タスクは、用意された約 60 種類のタスクタイプを組み合わせることで、簡単な処理から複雑な処理までを実現することが可能です。

▼タスクタイプの機能別分類表

	DBアクセス		ファイル操作		その他の機能
201	SQL	322	ファイルアップロード	301	起動モード
203	データ照会画面	323	ファイルダウンロード	321	ログ情報書込
204	検索付データ照会画面	324	ファイル属性取得	325	メール送信
205	検索付データ照会画面Ⅱ	340	ファイル選択ダイアログ	330	画像 PDF 表示
223	トランザクション	341	サーバフォルダ削除	501	外部アプリ起動
224	SQL 一括照会	342	ファイル操作	502	クリップボード操作
230	集計表自動作成			503	マクロ起動
				504	外部 DLL 呼び出し
				601	データ保守実行
	処理順制御		Exce	制御	
302	メニュー制御	202	入力画面	415	行表示
303	終了処理	319	スクリーン制御	416	列表示
304	ハイパー実行制御	401	直接展開	417	自動計算
310	メインボタン表示	402	ピボットテーブル	418	並べ替え
311	サブボタン表示	403	シート切替	419	ジャンプ
315	ループ処理	404	保存	420	セル位置取得
317	条件判定分岐	405	一括入出力	421	範囲取得
318	メッセージ表示	406	印刷	422	図の挿入
320	サブタスク実行	407	ブック制御	423	図のクリア
		409	シートコピー	424	行列挿入
		410	コピー	425	チェックボックス設定
		411	クリア	426	ハイパータスク設定
		412	セル保護	427	イメージ保存
		413	シート保護	429	イメージクリア
		414	行列指定	430	EXCEL コマンド
	イベント処理				
701	タイマー処理				



A.....表の書式などをコピーする元情報のセル(制御用セル) B.....コピーやクリアするためのエリア情報などを保存するセル(制御用セル)

上記の図は、[読込] ボタンで、得意先マスタのデータをシートに展開するためのタスクの定義です。 この例は、データを取得し Excel シート上に展開する処理と連動して、表を自動生成するための定義で す。そのために、Excel シート内に A と B の制御用のセルを定義しています。これは、Excel 内の変化 を Excel 内で取得し、その情報を dbSheetClient 側が活用して実行や制御をおこなうためです。 タスク定義は、Excel 内の処理定義も編集できます。

なお通常、制御用のセルのある行や列は、運用する時は非表示にして、ユーザに見せないようにします。 それにより不正操作の防止になります。

3.3.6. クエリー定義の設定

db

クエリー定義では、データベースにアクセスするための SQL 文を入力します。また、更新や削除を実行する場合はトランザクションや排他制御などの指定を入力します。

1 つのタスク定義には、1 つのクエリー定義を行います。また同じクエリー定義を複数のタスク定義で 共用できます。

	クエリー	定義編集	の I	回 面	クエリー定義編集の画面					
	A	В	С	D		A	В	С	D	
1	タイトル	サプ	*	内容	1	タイトル	サプ	*	内容	
2	クエリー名		*	TG_得意先マスタ_In	2	クエリー名		*	TG_得意先マスタ_Out	
3	クエリータイプ		*	照会	3	クエリータイプ		*	更新	
4	クエリー属性		*	Query	4	クエリー属性		*	Query	
5	DBNO		*	1	5	DBNO		*	1	
6	エイリアス名			サンプルDB	6	エイリアス名			サンプルDB	
7	テーブル名				7	テーブル名		*	得意先マスタ	
8	BKNO	旧仕様		1	8	BKNO			1	
9	ブック名	旧仕様		開発ガイドxls	9	ブック名			開発ガイド.xls	
10	取得データ件数セル	旧仕様			10	SQL文			UpDate	
11	SQL文			Select * from[得意先マスタ]	11	トランザクション処理				
12	排他制御タイプ				12	排他制御タイプ				
13	定義有効無効フラグ				13	更新処理形態			修正データのみ	
14	コメント欄				14	定義有効無効フラグ				
					15	コメント欄				
					16	悲観ロック解除QNO				
					17	日付時刻NULL指定	NULL指	諚		
					18					

左側が照会用クエリー定義、右側が更新用のクエリー定義です。

更新するテーブルが複数ある場合は、タスクタイプ「223.トランザクション(開始)」から「223. トランザクション(コミット)」の間に、更新用のタスク定義およびクエリー定義のみを作成します。

トランザクション中にデータ更新が行えない等のエラーが発生した場合は、すべての処理内容はロール バックされ、更新前に自動的に戻ります。詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第5章 同時実行制御機能(排他制御)について」』を参照してください。

3.3.7. **展開定義の設定**

db

Excel シートのセル位置情報などを定義します。1 つのタスク定義に対し、複数の展開定義の作成が可能な場合があります。詳細は、『タスクタイプリファレンスマニュアル「第6章 展開定義」』を参照してください。

	展開定	記義編集の	画	б станата на		展開定	義編集の	画	<u>а</u>
	A	В	С	D		A	В	С	D
1	タイトル	サプ	*	内容	1	タイトル	サプ	*	内容
2	DNO		*	1	2	DNO		*	5
3	データ展開名			TG_D1_In	3	データ展開名			TG_D5_E_Copy
4	処理順NO			1	4	処理順NO			1
5	定義区分			クエリー定義	5	定義区分			タスク定義
6	タイプ			照会	6	タイプ			コピー
7	タスク・展開属性			Query	7	タスク・展開属性		*	書式・コメント・入力規則・列幅
8	データ項目名				8	定義有効無効フラグ			
9	数式OR值				9	コメント欄			
10	定義有効無効フラグ				10	シート名			得意先マスタ
11	コメント欄				11	セル指定属性			直接
12	シート名			TG_L 得意先マスタ	12	セル範囲		*	@TG_T1_OrgLine_E
13	セル指定属性			直接	13	シート保護有無			
14	セル範囲			@TG_Q1_I	14	シート保護解除PW			
15	セル展開範囲定義名				15	自動計算方法			
16	シート保護有無				16	行列方向			
17	シート保護解除PW				17	先シート名			得意先マスタ
18	自動計算方法				18	先セル指定属性			間接
19	行列方向	データ行列	」方向	á	19	先セル範囲		*	@TG_T1_CopyArea_E
20	更新行OR列数指示セル	取得データ	7件業	数セル	20	先シート保護有無			
21					21	先シート保護解除PW			
22					22				

左側はタスクタイプ「201. SQL(照会)」の展開定義です。

右側は、タスクタイプ「410. コピー」の展開定義です。

3.3.8. ポータルシート(トップシート)表示のために設定

プロジェクトを起動して最初に表示される Excel シートのことです。アプリケーションの入り口に表示 するシートで、メニューの最上位に指定するシートのことをいいます。

図 Microsoft Excel - 開発力イド.xls	
:19] ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(D) 書式(O) ツール(D) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルブ(H) 質問を入力して(ださい ・	- 8 ×
Image: Section of the section o	<u>A</u>
A1 🔻 🏂	
	_
サンブルアブリケーション	
	П
作業日時 2009/7/2 15:41	
担当者名	
場/IT/ PC	
	_
и ч н н\ <u>+у</u> _/	>
図形の調整(B) + 💫 オードシェイブ(D) + 🔪 🔪 🕞 🔤 🐗 🔅 😰 🖓 🌺 + 🚄 - 三 🚍 🛱 💭 🗊 💂	
۲ ۲ ۲ ۲ ۲	

3.3.9. 編集用シート(得意先マスタ)を表示するための設定

dbs

IOTG(アイオーティージー)機能は、データベースのテーブルの「読込」と「書込」の処理に必要な 定義設定と Excel シートの設定を自動生成します。

IOTG機能の詳細については、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「第8章 IOTG(アイオー ティージー)の仕組みと作成手順について」』を参照してください。

ここでは、自動生成する Excel シートや定義シートについての目的や、設定内容の概要についてまとめています。

▼自動生成する Excel シートと目的

シートの分類	作成シート名/目的					
リシート	得意先マスタ(編集シート)					
	得意先マスタのデータ読込み、またそのデータのシート内での変更や削					
	除指定を行います。そのために必要な、名前定義などを自動生成します。					
制御シート	TG <u>」</u> 得意先マスタ(In シート)					
	更新する時に必要な更新前のデータを保存しています。					
	TG_O_得意先マスタ(out シート)					
	更新に必要なテーブルイメージの表を作成します。「編集シート」と「in					
	シート」から更新処理に必要な数式や名前定義を自動生成します。					

▼自動生成された Excel シート「得意先マスタ」(編集シート)

			- テストブック:	xls												l l		k
:咽)	7711(<u>F</u>)	編集() 表示(_)	挿入① 書:	式(①) ツール(①)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ	w ∧.	ルプ(<u>H</u>) To	ol★彡(<u>R</u>) Adob	e PDF(<u>B</u>) :	SQL@Excel		質	間を入力して	ください	- 8 >	×
10	💕 🖬 🕻		🔍 🐰 📭 i	n - 🥩 🗆	9-0-18	$\Sigma - 2 \downarrow Z$	↓ 100%		MSPJ	シック , 1	0 - B	<i>I</i> <u>U</u> ≣ ₹	🖬 🔤 🛛 🤊	· • • • •	8)津津	🖽 - 🖏	• <u>A</u> •	ę
	R42	-	fx															
	A	В	C	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	M	N	0	Р	QŢ	~
1																		
2				2							※二/7) 範囲	和サシステル お		+#	「で非主子	++-1+(25	書する。这	
4		23 - P		1							へ _ U / 単8世		11/11/02 9 0 1	- 0 ICA	O C PESCIN	A/CIA 170	\$9.9.0C	
5		削除	得意先コード	得意先名	得意先名略称	郵便番号	住所1	住所2	電話番号	ファックス番号		入力開始行	入力開始列	入力列数	1			
6		8 65										6	2	9				
7												4±11.4= #6	202	1				
8		· · · · ·								1		<u>記元2017日</u>	至日17款			-		
10				8	0							-	100	-				
11												入力範囲始	入力範囲終	入力範囲	1			
12					-							\$B\$6	\$J\$107	\$B\$6:\$J\$1	07			
13		1		8			-			-							-	
14		12 12		8					1									
16				19.						1							-	
17																		
18	h hi /alla	2 1850	これ //理音生:	ע מרד	目音生つった //目	音生フィカ	OLT /											4

▼自動生成された Excel シート「TG<u>I</u>得意先マスタ」(In シート)

📓 Micr			- 開発ガイド.×													
······································	м/л/(E)	編集()) 表示(1)	挿入(1) 書式	(Q) ツール(D)	データ(D)	ウィンドウ()	10 AN	プ(H)						質問を入力してください	8 ×
10.04			a 🥙 🚳 I	X 🗈 🙉	- 🛷 🗤 - 🕬	- <u>Θ</u> . Σ	- 41 Z.	L 1 Alia 🗖	3 90% ·	🛛 👩 📄 E MS P;	ゴシック -	11 • B / U =	= =	• *** *** E	a	
	Δ1		- f.	10 - CE - CE	V	60 -	24 8									
	A .	B	6	D	F	F	G	н	I		ĸ	1	м	N	0	P -
1		_	_	-						-		_			-	
2																2
3																
4		KIEA	(日本十二、1)	但商生力	(日本) 牛肉 時時	160/#atl 0	14756 4	12760	and at a		000 07 17 10		DDD ODDATE DATE	DDD LIDD ATT LIDED	DOOL DO ATE DATE	
5		削除	19871-1-1	特尼兀石	特思兀石略朴	朝明史音写	1主月月1	1119/12	电話番写	ノアッシス番号	DBS_STATUS	DBS_OREATE_USER	DBS_OREATE_DATE	DBS_OPDATE_USER	DBS_OPDATE_DATE	
7																
8																
9																
10																
11								<u> </u>								
13				-												
14																
15																
16																
1/																
19				-										1		+
20														1		
21																
22	N\ She	ott /s	 Shoot? /Shoot	3 / 445 185	「「」」	 11日日	得音先。	 ד/ ג/ר (ד	この得音供	-274/	1			1	1	
	M LOIE	BU Yo	STREETZ & STREET	JAussi	V XIGHH	576 <u>472</u> 7		(737)	3014/201			JN.				
: 180H500	調整(<u>R</u>) -	3	オートシェイブ(リ)・	• / / [133 🚨 🗠	s 🗠 -	<u> </u>	\ • =	# 🔳 🗐 📮						

▼自動生成された Excel シート「TG_O_得意先マスタ」(out シート)

															<
:@)	ファイル(E)	編集(E) 表示(V)	挿入(1)書	式(() ツール(T)	データ(<u>D</u>)	ウィンドウ	₩ ^	ルプ(<u>H</u>) Too	ol ★ 彡(<u>R</u>) Adobe	PDF(<u>B</u>) SQL@	Excel	質問を入力して	3ださい 📃 🗕 🗗 💈	×
10	😂 🖬 (اھ د	💁 🕹 🖬 🕯	2 🟈 🗎	9-0-18	$\Sigma - \frac{A}{Z} \downarrow \frac{Z}{A}$	↓ 100%	•	MS PI	ノック 🗾 💽	BI	u E S I 🔤 %	· · :0 :0 1 1	: 🛄 • 🖄 • <u>A</u> •	Ŧ
	A1	-	fx												
	A	B	C	D	E	F	G	н	I	J	K	L	M	N 7	-
1		1		-											
2						-									
3						-					1				
- 4		省IIB余	得音共コード	得音牛么	得音先么略称	郵便兼是	住所1	住所2	雷託舞号	ファックフ 乗号	DBS STATUS	DBS OBFATE USER	DBS ORFATE DATE	DBS UPDATE USE	
6		IT THAT	11/20/02-4	19/26/04/0	111785764614011	30130 88 15	12771.1	127/16	42,00 88 *7	2//// 0.5	00000111100	DDD_OREITIC_DOER	bbb_onenne_onne	000_0101112_002	
7															
8															
9															
10	_	- L		-											
11		-		-		-	_								
12		8					-		-				7		
14		8 8					-		-						
15															
16		- X													
17		12 3													
18		0.18=	トバ目奏件・		日本作っったい。						L.s.	1			*
14 4	 N / dt 	(C/ La	「ツ/(1号思先	YXX_IN/(F	寺忠元マスタ λ 信	忌元く人久	\underline{UUL}				5			>	

自動生成される定義シート

▼メニュー定義

dby

メニュー名称	内容
得意先マスタ	「シート:得意先マスタ」を表示し、ボタンの [読込]・[書込] を
	実行するためのメニューを自動生成します。

▼ボタン定義

ボタン名称	内容
読込	得意先マスタを読込むタスクを起動するボタン定義を自動生成します。
書込	得意先マスタを書込むタスクを起動するボタン定義を自動生成します。

▼ [読込] ボタンのためのタスク定義

dby

タスクタイプ	内容
クリア	編集シートのクリア(値と数式)をします、クリア範囲は、展開定義で
	指定しています。
SQL	in シートにデータを展開するための SQL 文を発行し、取得データを展開
	します。SQL 文はクエリー定義にて定義し、データの展開先は、展開定
	義にて指定しています。
SQL	編集シートにデータを展開するための SQL 文を発行し、取得データを展
	開します。SQL 文はクエリー定義にて定義し、データの展開先は、展開
	定義にて指定しています。
自動計算	次のコピーは、前の SQL の結果に応じて処理を行うため、通常停止して
	いるシート内の数式を再計算させます。
コピー	編集シートの読込みしたデータと指定した空白行分について、同じ書式に
	なるようにコピー(書式・コメント・入力規則・列幅)します。
	コピー元とコピー先などについては、展開定義にて指定しています。

▼ [書込] ボタンのためのタスク定義

タスクタイプ	内容
メッセージ表示	"更新件数=0"の場合は、「更新できる行が存在していません。」を
	表示します。
コピー	「データベースへの更新を行います。」を表示し、「Yes」ボタンを選択
	した時に、本タスク以降を実行します。
	out シート内に、更新件数分のテーブルイメージの表にするために、数式
	のコピーを行うためのコピー元とコピー先などについては、展開定義にて
	指定しています。
自動計算	次の SQL は、前のコピーの結果に応じて処理を行うため、通常停止して
	いるシート内の数式を再計算させます。
SQL	データベースへの追加、更新、削除を行うため、SQL 文を実行します。
	これにより out シートのデータをサーバに送信します。SQL 文はクエリ
	ー定義にて定義し、データの展開先は、展開定義にて指定しています。
サプタスク実行	再度データを取得するために [読込] ボタンで起動したタスクをコール
	します。

▼ [読込] ボタンのためのクエリー定義

クエリータイプ	内容
照会	in シート「TG <u>」</u> 得意先マスタ」は、全項目を読込む SQL 文が定義され ます。
照会	編集シート「得意先マスタ」は、編集画面に必要な項目のみを読込む SQL 文が定義されます。

dbSheetClient

▼ [書込] ボタンのためのクエリー定義

クエリータイプ	内容
更新	out シート「TG_O_得意先マスタ」の内容を更新するための SQL 文が定
	義されます。

▼ [読込] ボタンのための展開定義(タスク定義の順)

定義区分	内容
タスク定義(クリア)	「数式と値」をクリアする展開範囲として、編集シート「得意先マスタ」
	内の表範囲が定義されます。
クエリー定義(照会)	読込みデータの展開範囲として、inシート「TG <u>」</u> 得意先マスタ」内の表
	範囲が定義されます。
クエリー定義(照会)	読込みデータの展開範囲として、編集シート「得意先マスタ」内の表範囲
	が定義されます。
タスク定義(コピー)	コピー範囲として、編集シート「得意先マスタ」内に展開したデータ行数
	分(余白行を含む)に合う表にするための展開定義が定義されます。

▼ [書込] ボタンのための展開定義(タスク定義の順)

定義区分	内容
タスク定義(コピー)	コピー範囲として、outシート「TG_O_得意先マスタ」の数式定義などが、
	更新データ件数分の表にするための展開定義が定義されます。
クエリー定義(更新)	書込みデータ範囲として、outシート「TG_O_得意先マスタ」内の表範囲
	が定義されます。

第4章 テスト及びデバッグ作業

dbs

Web アプリケーションの開発は、開発とテスト及びデバッグ作業を短いサイクルで行います。また、 Web アプリケーションの開発が、Excel の定義とプロジェクト定義情報の設定により行われます。その ため、テスト及びデバッグ作業は、Excel の定義情報とプロジェクト定義情報の両方で行う必要がありま す。本章では、その方法についてまとめています。

テスト及びデバッグ作業は、大きく分けて3種類あります。

- 4.1 Excel でのテスト及びデバッグ作業
- 4.2 デバッグ実行によるテスト及びデバッグ作業
- 4.3 その他のデバッグ作業

4.1. Excel でのテスト及びデバッグ作業

dbs

Excel でのテスト及びデバッグは、Excel シート内に定義した内容が正しく動作することを確認するために行います。以下のテストは、Excel 単体で行います。

Excel 側で行う主なテスト

- ① セルの数式(計算式)のテスト
- ② 条件付き書式のテスト
- 3 入力規則のテスト
- ④ 名前定義のテスト
- ⑤ グラフのテスト
- ⑥ ピボットテーブルのテスト

上記の各テストは、テストデータを作成して、数式や動作の検証を行います。

4.2. デバッグ実行によるテスト及びデバッグ作業

「デバッグ実行」は、作成した Excel シートの定義とプロジェクト定義情報を連携し、 テスト及びデバッグをするための標準提供ツールです。

デバッグ実行は、実行版の機能にテスト及びデバッグのための機能を付加しています。 なお、テスト操作手順は、『第2部 第6章 デバッグのためのテスト環境』を参照してください。

4.2.1. デバッグ実行の起動

dby

■開発版メイン画面からの起動: 編集画面を開かないでデバッグ実行が行えます。開発の担当とテストの担当というような 作業分担による開発をすることが可能です。

■定義編集画面からの起動: 定義の編集入力をしながらデバッグ実行が行えます。定義シートを作成して、すぐにテストを することが可能です。

4.2.2. タスク実行時のエラー画面



▲サンプルは、エラーが発生した場所と実行時の SQL 文が表示されます。

左側と同じエラー情報をエラーログ(テキストファイル)として日付毎に出力します。

(ファイル名:「dbS_ (yyyy-mm-dd) ErrLog9999.log (yyyy-mm-dd は英語表記の日付)」)

エラーログボタンで、**当日のエラーログをメモ帳で開く**ことができます。



▲エラーログの内容

右側の正常終了タスク情報も、成功ログ(テキストファイル)として日付毎に出力します。 (ファイル名:「dbS_ (yyyy-mm-dd) Success9999.log (yyyy-mm-dd は英語表記の日付)」)

<u> 成功ログ</u>ボタンで、**当日の成功ログをメモ帳で開く**ことができます。



▲成功のグ内容

dby

また、処理時間情報を処理時間ログ(テキストファイル)として日付毎に出力します。

(ファイル名:「dbS_ (yyyy-mm-dd) ProcTime9999.log (yyyy-mm-dd は英語表記の日付)」)

<u>
処理時間ログ</u>
ボタンで、当日の処理時間ログをメモ帳で開くことができます。

🚺 dbS_(2)					
ファイル(E)	編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)			
PRO	2010/05/21	10:38:45.093>>	OID:0	PID:0	001-LOGINF-ST:
PRC	2010/05/21	10:38:45.203>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-01:
PRC	2010/05/21	10:38:45.296>>	0ID:0	PID:0	001-CHKSYS-01-
PRC	2010/05/21	10:38:45.312>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-01-
PRC	2010/05/21	10:38:45.421>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-01-
PRC	2010/05/21	10:38:45.421>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-02-
PRC	2010/05/21	10:38:45.578>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-03:
PRC	2010/05/21	10:38:45.593>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-04:
PRC	2010/05/21	10:38:45.593>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-05:
PRC	2010/05/21	10:38:45.593>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-01-
PRC	2010/05/21	10:38:45.593>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-06
PRC	2010/05/21	10:38:46.156>>	OID:0	PID:0	001-CHKSYS-06-
<)			>.

▲処理時間ログの内容

処理時間ログは、各タスクが実行する時にかかった時間を確認するためのログです。時間の差から実行 時間を求め、パフォーマンスチェックに活用します。

パフォーマンスチェックの方法については、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「6.1.2. 実 行時のレスポンス改善の各種対策方法について」』を参照してください。

SQL 文のエラーの場合、SQL 文のみをテスト実行することができます。

🥵 dbSーデバッグ用メッセージ	
エラー & 正常終了情報(デバッグ用) メモ帳で間(エラーログ	成功ログ エラー表示を一時的に停止する 閉じる 処理時間ログ Excelの操作を許可する 閉じる
【エラー情報】	【正常終了タスク情報】 SQLテスト実行
全エラーのクリア 直近1件分を表示 直近/全エラー	全正常分のクリア 100件分までを表示 直近/全正常
【Iラー】	Task Ivac 7 Jask Name: メモリ / Task Type: 起動モード(定義メモ【成功処理】) / Order: 1 / Sheet Name: メモリ / Task Type: 起動モード(定義メモ【成功処理】) ODD:135 PID:42[DMOF. タスクタイプサンフル(リファレンス) Ver4] (22: <2010/052 11:30.653.0805 ★ 間第後近長★ Task Ivac 7 Jask Name: メモリ / Task Type: 起動モード(23 ー カットキー利用) / Order:21 / Sheet Name: / AUN: 0 / ANMe: ODD:135 PID:42[DMOF. タスクタイプサンフル(リファレンス) Ver4] (33: <2010/052 11:30.653.0805 ★ 間第後近長★ Task Ivac 7 Jask Name: メモリ / Task Type: 起動モード(23 行表示) / Order: 22 / Sheet Name: / QNo: 0 / OName:

▲デバッグ用メッセージの右側タブを「SQL テスト実行」に切り替えてテストします。

□ エラー表示を一時的に停止する

エラーがあった場合、これ以降タスク実行途中でエラーが発生してもこの画面表示しないで、最後に一 括して表示したい場合に、このチェックを有効にします。

□ Excelの操作を許可する

デバッグ実行中は、Excelの操作を禁止しています。デバッグ用エラーメッセージの画面を表示しているときに、Excelシートを操作する場合は、このチェックを有効にします。

チェックを有効にすると、Excelの操作が可能になります。

※ ログ出力ファイルは、自動的に削除しませんので、常に出力する場合は、定期的に削除するように してください。

4.2.3. 実行版のログ出力について

■開発設定の「実行モードで操作ログを出力する」にチェックをしている場合と、 タスクタイプ起動モード(ログ保存)が定義してある場合、全てのログ(処理時間ログ、成功ログ、 エラーログ)を出力します。

4.3. その他のデバッグ作業

▼SQL 文の作成やデバッグは、クエリー定義より呼び出す 「SQL テスト実行(クエリー実行)」で行うことができます。

21.77.1%1 11.77.000 Saturation 11.77.000 Saturation 11.77.000 Saturation RMP1 2.48.017 2.49.01 2		617									
	SQI テスト実	行 11972	(DB)を選択してくだ	1.477	1008	SampleD	R			2188E 7P-10	. 2 3
RAME Q. SULCTIN Q. SULCTIN <td></td> <td>● 開発デ</td> <td>○開発版 ○ 実行</td> <td>時本 1.555</td> <td>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</td> <td>Jampe D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>		● 開発デ	○開発版 ○ 実行	時本 1.555	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Jampe D					
Image: 1/2 Image: 1/2 Image: 1/2 Image: 1/2 <t< td=""><td>FROM SELE</td><td>ECTS & JOINS</td><td>@ WHERE句 @</td><td>GROUP BYରି 🗟</td><td>order By'ছা</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	FROM SELE	ECTS & JOINS	@ WHERE句 @	GROUP BYରି 🗟	order By'ছা						
SGL60724887 #120000.519731891(87. 452.08. 3 # [C1-4Ac75/5 1880.6 7882.04 #58.9 UR1 UR12 %18.9 777028 065.5747.0 D65.5747.0 D65.5747.0 D65.5747.0 D65.5747.0 D65.5747.0 D65.5747.0 D65.5747.0 D65.5747.0 D65.5747.0 D70.74 77807.0 1 denouse . <	(vodiazana) 1月(73月) 重計子(75) 重計子(75) 重計子(75) 「開催天で13月 「第二十八93] 第二十八93] 第二十八93] 第二十八93]				テーブル名の編集 	\$E					
18823-1 18853 188548 188548 1031 1032 1835 1923 1835 2720 1835 2720 2835 1835 2720 2835 1835 1835 1835 1835 1835 1835 1835 1	SQL文の自動生」 lect * from [得意)	<mark>成</mark>	:き × で置き換える	. × Lizi	inautouteoutea	動生成します。 また	た。自動生成されたら	GL文は手動で実更「	¥622678#¥.	₹/\₀₫MSG	7117
1 1 195-541 195-544 005-100 19528-555	SQL支の自動生」 lect * from [得意分 SQLのテスト実行	▲ マ 全項目の 先マスタ]	」 まま × で置き換える。	。 **上12i	interactive source	(約主成します。また (約主成します。また) (月一) ビュ・	た。自動生成されたS -Autoサイズ	GL文は手続で変更	することもできます。	7/197MSG	नाल [
2	SGL文の自動生」 lect * from [得意分 SGLのラスト実行 [得意辛ユード) さき × で置き換える。	。 ※上記 . 秋末: - 秋末:	(1997) 静力の応じたらのし後的 結果: 3 (中間1)	齢生成します。まれ 作 □ E1- (年形2	 自動生成されたS -Autoサイズ 電話番号 	GL文は千赦で変更 27:902番号	DES STATUS	デバッグMSG DRS CREATE US	017
9 2.283192 2.283992 00-000 2.2839.4894	SQL文の自義王」 lect * from [得意分 SQLのアスト実行 得意无コード	 ▲ 全項目の (先マスタ) ※上記のSQL 得意先名 得意先名 	」 さき × で置き換える 支をテスト責任します 得意先名略称 得意先名略称	。 米上記 。 秋章 · 秋章 · 100-1010	(Wein) (新知にだした SOL & A 結果: 3 (住所1) (東京都)寺広	約主成します。まれ 件 [ビュー 住所2 一丁目10番坊	 Autoサイズ 電話書号 03-2121-0125 	GL文は千熱で変更 7779922番号 (0-7121-0126	DES_STATUS	₹/1₀7MS0 DBS_OREATE_US	017 DES_CR
	SQL文の自動生 lect * from [得意が SQLのテスト実行 得意モンード 1 2	K ビ 全項目の ゲマスタ ゲマスタ デートとのSQL 得雪先名 得雪先名1 得雪先名1 得雪先名1		。 米上記 - 秋森 新課番号 100-1010 100-1234		約主成します。また 件 [ビュー - 一丁目10番地 5丁目4-4	 ・自転生成されたS Autoサイズ 電話番号	OL文は千納で実更 ファックス番号 00-2121-0126 00-1212-0036	DB6_STATUS	F/197MS0 DBS_OREATE_US demouser	DES_CRI 012007-1 012007-1
	SGL文の自動型 iect * from [得意: SGLのテスト実行 「得意先コード 2 3		き × で置き換える 文をデスト実行します 博意先名略称 - 博意先名略 - 地策近 41年前を物産	 米上記 米上記 新使書号 100-1010 100-1234 060-0033 	(100) (100) (日本) <p< td=""><td>約主成します。まれ 件 [] ビュー 住所2 一丁目10番地 - 5丁目4-4</td><td> Autoサイズ 電話番号 03-2121-075 03-1234-8678 </td><td>GL文は千齢で文更 ファックス委号 00-2121-0126 00-1212-0636</td><td>DEG_STATUS</td><td>F/\o7MS0 DBS_OREATE_US demouser demouser demouser</td><td>DES_CRI 012007-1 012007-1 012007-1 012007-1</td></p<>	約主成します。まれ 件 [] ビュー 住所2 一丁目10番地 - 5丁目4-4	 Autoサイズ 電話番号 03-2121-075 03-1234-8678 	GL文は千齢で文更 ファックス委号 00-2121-0126 00-1212-0636	DEG_STATUS	F/\o7MS0 DBS_OREATE_US demouser demouser demouser	DES_CRI 012007-1 012007-1 012007-1 012007-1
	SGL文の自動1 lect * from [得意) SGLの7入十支行 博意先コード 1 2 3		き × で置き換える 文をデスト実行します 得意先名略称 - 特意先名略 - 地工2 - 北海道物産	 米上記 米上記 郵便番号 100-1010 100-1234 060-0033 		約主成します。まれ 件 [ビュー 住所2 - 丁目10番地 - 5丁目4-4	 Autoサイズ 電話番号 00-2121-0725 03-1234-5678 	OL文は千秋で変更 ファックス番号 00-2121-0126 00-1212-0636	DES_STATUS	97/10/7/MSG DBS_OREATE_US demouser demouser demouser	DES_CR8 DT2007-0 DT2007-0
	SQL文の自働生 lect * from [得意] BQLの7入ト支行 得意先二-ド 1 2 3		き × で置き換える。 文をテスト実行します 博意先名略称 - 博意先名略 - 埼玉2 - 北海波物像	。 米上記 50課番号 100-1010 100-1234 060-0033		許主のします。まれ 件 [ピュー 住初2 - 一丁目10番地 - 5丁目4-4	 -Autoサイズ 電話書号 03-1121-0125 03-1234-5678 	CL文は千齢で変更 ファックス委号 09-2121-0128 09-1212-0036	DES_STATUS	7/107/MSG DBS_OREATE_US demouser demouser demouser	DES_CRI 072007-1 072007-1 072007-1
	SQL文の作曲生 dect * from [得意: SQLの7入ド支行 得意充つ-ド 1 2 3	 ≰ 2 変項目の	ま × で置き換える 文を5入上案行します 得意先名総称 - 消意先名総称 - 二 地名正 - 北市波物慮	 米上記 秋葉等 100-1010 100-1284 050-0033 		約主成します。まれ 件 [2a- 住所2 - 丁目10番地 5丁目4-4	 -Autoサイズ 電話番号 -03-7121-0725 -03-1234-8678 	COL文は千秋で実現 ファックス委号 00-2121-0128 00-1212-0636	DES STATUS	97/9/7M50 DBS_OREATE_US demouser demouser demouser	DES_CRI 012007-1 012007-1
	SQL文の自動王 lect * from [得型: SQLの了入下実行 律意先コード 1 2 3		き × で置き換える。 文モラスト実行します 得意先名略朴 - 得意先名略 - 埼玉2 - 北軍送物産	 米上記 秋二年 秋二年 第6課番号 100-1010 100-1234 00-0033 		約主然します。また 件 [ビュー 住所2 - 丁目10番地 - 丁目10番地	 自動主成されたS -Autoサイズ 電話番号 03-7121-075 03-1234-5678 	OL文は千秋で実現 ファッジス番号 00-2121-0126 00-1212-0636	DES_STATUS 1 1	971097MS0 DBS_OREATE_LIS demouser demouser	DES_CRI 012007-1 012007-1
	SQL文の作曲1 elect * from [得意: SQLのアストま行 得意充一-ド 1 2 3		き × で置き換える 。 なきタント第行します 「得意先之の称 ・ 「得また」 の称 ・ 二 北 石道的像 ・ ・ 二 北 石道的像 ・ ・ 一 「 見 元 の称 ・ 一 「 得 二 元 の称 ・ 一 「 得 二 元 の称 ・ 一 「 得 二 元 の称 ・ 一 「 の 二 二 の の 、 の い 、 、 の い 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 の の 、 の 、 の の の 、 の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	。 米上昭 。 米本 新聞書号 100-1010 100-1234 060-0033		約主がします。また 件 _ ビュー 住所2 - 丁目10番地 - 51目4-4	 合約生成されたS -Autoサイズ 電話番号 (03-1121-0125 03-1234-5678 - 	OL文は千林で実更 ファックス番号 00-2121-0126 00-1212-0036	DE6_STATUS 1 1	97197M50 DBS_OREATE_US demouser demouser demouser	DES_CRI 072007-0 072007-0
	3QL支の行動1 elect * from [消息: 3QL点が入れまけ 行き先コード 1 2 3	K (文 金須昌の) 次マスタ) ※上記205000 博想先名1 博想先后 新聞 新聞	たち × で置き換える 	。 米土紀 50(徳雪芍 100-1010 100-1234 066-0033		絵主氏はます。 封 (件 ビュー (日知道 つ丁目10番号 つ丁目4-4	 ・ 自動生成された5 ・ のいつブイズ ・ のいつブイズ ・ のいつブイズ ・ のいつブイズ ・ のいつブレッジ ・ のいつブレッジ ・ のいつづかい ・ の	COLのほ手動で変更 ファックス番号 00-2121-0126 00-1212-0636	DES_STATUS 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7/107/MS0 DBS_OREATE_US demouser demouser demouser	DES_CRE 012007-0 012007-0
	BOL2の作名1 elect * from (得意) 学校の上のド 「 そ 3 3		ま × で置き換える 、文をジント第門(よす 「特徴先を発格」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先を発音」 「特徴先の】 「特徴 「特徴 「特徴先の】 「特徴 「特徴先の」 「特徴 「特徴 「特徴先の】 「特徴 「特徴 「特徴 「特徴 「特徴 「特徴先の」 「特徴 「特徴 「特徴 「特徴 「特徴 「特徴 「特徴 「特徴	。 米上記 ((1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	約主式にます。ます 件 □ Ea- 10万2 - 一丁目10番地 0丁目4-4	 ・ 自動生成なれたち ・ ・	OL20日午前の実育 779222番号 00-2121-0126 00-1212-0636	7522678849. DBS_STATUS 1 1 1	97/197/MSO DBS_OREATE_LIS demouser - demouser -	065_CRE 072007-0 072007-0
	SQL文の作曲王 biect * from 译意: SQL的7人来开 律意无一下 2 9 9	 ▲ 全項目の 次マスク] ※上記ののは 得意先名 得意先名」 得意先名 注意意味着 	2 * C (2 + A) (2 +	 米上記 秋志当 秋田田村 秋田田村 秋田田村 秋田村 秋田 秋田	構築: 3 住所1 東京永氏 東京永氏 三 本語され(6市中)	約主式は年9、約 件 〇 Cu 住所2 - 丁目10番地 - 町目4-4	 ・品格生成されたS ・ ・Autoワイズ ・ ・電話書号 ・ ・G0-7171-0125 ・ ・G1234-5678 ・ ・ ・	OL文は千幹で変更 ファッ2入巻号 (0-1121-01.26 (0-1121-01.26 (0-1121-01.26) (0-1121-01.26)	PSC2507889.	9/107/MSG DBS_CREATE_LIS demouter demouter demouter	05207-0 072007-0 072007-0
	SOLまの作業1 siect * from (得意) 「得意たつ」ド 2 3	 ダ 全項目の 次マスタ) ※上記2000(得意先名) 得意先名 得意先名1 得意先名1 得意先名1 得意先名2 える透明会 	2 * Y (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	。	(Linux) (加速したしたのにため) (加速したしたのにため) (加速したのにため) (加速したのにため) (加速したの) (加速したの	約主氏にます。また (件 □ ピュー (日所2) - 一丁目10番地 - 5丁目4-4	 ・ ・ ・	OL文は千載で変更 ファックス通考 00-213-0136 00-213-0136 00-1212-0036	7522578844. 086,514105 1 1	7/07MS0 DBS_OREATE_US demover demover	0172007-0 072007-0 072007-0
	SQL的小子 BQL的人物的 PBCL的人和教育 PBCL的人和教育 2 3	 ▲ ② 全項目の 次マスシ] ■ 上記のSOL 得意先名 得意先名 に指導物症 	ま × で置き換える 文をジント例竹します 博意える時 「博意える時 「「「 「 「 「 「 」 、 た う 」 、 し 、 一 、 し 、 一 「 し 、 し 、 一 「 し 、 し 、 の し 、 、 の し 、 の し 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 、 の 、 の 、 、 、 の 、 の 、 、 、 の 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 、 、 、 、 の 、 、 、 の 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 米土23 秋定県行 100-1010 000-0033 	は有にていたいため は有にていたいため 日前1 まずなられて三田 之志時代(低中中・	約主点します。 お 件 □ Ca- 「日日」0番巻 「日日-4	 ・ 創始生成次社会 ・ ・ ・	OL文は千幹で支更 ファックス選手 00-212-3686	PSC2507889.	37/o5960	01207-0 07207-0 07207-0
	BOL3の作業1 eliect + from (得名) GOLのタスト第1 作発をユード ? ?	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ままで ままで また また また の で また 品の に で で また の で で また の で また の で また の で また の で また の で また の で また の で し 、 こ た の で し こ こ こ こ の し 、 こ こ こ し こ し こ し こ し こ し こ し こ し こ し こ こ こ し し こ こ こ し こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	 米上記 秋末4 秋末4 秋末4 秋末4 (0-101 100-101 000-1033 	(UN) (UN)	新生成にます。 計 (件) ビュー 日第2 一丁目10番号 0丁目4-4	 Autoサイズ Quad や C0-717-075 C0-1234-5670 	OL気は手動で変更 ファックス優考 00-727-0736 00-122-0696	Des_STATUS 1 1	97/07/950	015,CRE 017007-0 0172007-0 072007-0

より高度な SQL 文の作成とデバッグは、データベース専用のツールを使用する方法があります。 SQL Server 2005 以上の場合であれば、「SQL Server Management Studio」や

「SQL Server Management Express」を使用します。

ビューテーブルやプロシージャなどの高度な SQL 文を作成し、テストすることができます。

Nicrosoft SQL Server Management Stud														
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) クエリ(Q) プロジェ	DHO	ツール①	ウ心ド	200 Ji	1174(C) 4	いけし								
🔔 Hilayiya 🕞 🔧 😘 🚱 😂 🐸	9 92 1		5 II 🛛	N 🐉 😁										
🖃 📑 👯 LUNCH DEMO 🔹 🖡 🕷	8800	v = 13	18- M	2 8	r 4 🖬	ത്രൈ		(建建						
オブジェクト エクスプローラ ・ 早 ×		LETS OF KS	A59.0.EC	1 舟当注:	文伝憲 二1日	TS BEKSAS	36SQL	Query1.s	10 170	ェクト エクスプローラ	DAYAR	• X	ブロパティ	• 9 ×
接续(0)- 👥 = 🍸		/* 实数	在我	*/								-	現在のクエリ ウィンドウ オナミ	αù •
IN THE LET'S REVEATION OF EVEREESS (SOL Sector		DECLARE	BJUCE	U_YM C	HAR (7)							-	AL OT	
= T-4K-1		DECLARE	BJUCE	U_ST C	HAR (10)								2 Z A	
■ 📬 システム データベース		DECLARE	810CF	U_EN_D	AY INT								日状態	
BUNGU_DEMO		DECLARE	BSHYI	N_CD I	NT									FXSARONINSC
Image: Book in the second s													N-9a2 09004	135
E UNCH_DEMO		SET 830	CHU_YE	- '20	08/03								2-9- LETS,8	FKSA593634ial
Image: State Sta		SET EJU	CH0_31	- 800	CHU_TH+-7	01.							現在の状態 クエリがう	王常に責任され
		SEI 600	ATN CD	- 200	e Construction	ERI (CRAR	(10),10	LI LADD (on in, 1,	CADI (BUOCAC	_D1 XD	UALL _	実行時間 000000	
A 二 からい お当次で売		201 620	*111_01	- 200									ABON DELTING 31	
田 国 doo E03 個人和時末代票		/* 空歌	≠ − <i>→</i>	山完業	*/									
▲ □ dbo.E04_1田人思想表示明細		DECLARE	BN IN	T										
Ⅲ □ dboE11_菜者発注伝票		DECLARE	8 YMD	TEL TA	BLE ()受	注日) СШ	R(10)	1						
■ dbo.E12,葉者発注明細			_											
図 3 doi:13 美術支払任業 の 4 には 第余つの78/88/1988		SET EN	- 1											
■ 0002143年9月1755903年9月18 ■ □ dtoM01 組織マスク		AHIFE 8	N <= 8	locho	EN_DAY									
■ □ doo.M02 固定情報マスタ		BEGIN												
田 dbo.M03 j動知メッセージマスタ		INSER	TEYND	TBL S	ELECT REP	LACE (830)	HU_YE	·/· + :	TR (UN,	2,0), ,,,,,,,,,,)			
■ doo.M11_部署マスタ		SEI 8	N - 8V	+ 1								~		
■ dboM12社員マスタ	<											>		
■ ■ 000月21 単音マスタ ■ ■ かい約22 単語オニューア2カ		11. II.												
■ □ do0.822,9FBX_1 = 4,55 ■ □ do0.830 基字 数值2502.725		10.000	X70-9	1.20.0.00	100 141			L Mrs. 1	0.01					
# 📬 E1-		池裡現	181885	进行的	92 854	(#R# 161888	8.234	92-	EI 6T			-		
🖼 🛄 シノニム	1		0	0		0	0		0					
E D 20055200	2		0	0		0	0		0					
Service Broker Service Broker	3	A	1	360		0	0		360					
N NON LUNCH	4		0	0		0	0		0					
SampleDB	5		0	U		0	0		U					
SpeedTest	6		0	0		0	0		0					
🔳 🧻 デモ業務内容	7		0	0		0	0		0					
🗑 🔰 住所設	8		U	U		U	U		U					
B 2 UA1974 D 2 H 10 H 20 - 50	9		0	0		0	0		0					
a bittitestatu	10		0	0		0	0		0					
10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	11		0	0		0	0		0					
	12		0	0		0	0		0					
	13		0	0		0	0		0					
	14		0	0		0	0		0					
	15		0	0		0	0		0			-	SPID	
	40		0	0	_	0	0		0			<u> </u>	サーバーのスレッド ID。	
< >	35	шу L8	TS_SFKS	A59363¥5	QLEXPRESS	(9.0 SP3)	LETS_BFK	SA59963¥	shimizu (61)	LUNCH_DEMO	00:00:00	31 行		
אעקב											10 行	21 3	9 21 文字	挿入

▲「SQL Server Management Studio」の画面例

データベースサーバに送られる SQL 文の評価・解析は、SQL Server2005 Standard Edition 以上の場合、標準添付ツールの「SQL Server プロファイラ」を使用します。SQL 文のトレース情報を取得できますので、より詳細な処理状況の確認が可能です。



第5章 アプリケーションの公開作業

dby

本章は、開発した Web アプリケーションを、エンドユーザに公開するために必要な作業についてまとめています。

公開に向けての作業は、5つあります。

- 5.1 Excel シートの仕上げ作業
- 5.2 プロジェクトの定義情報の確認作業
- 5.3 プロジェクト定義情報と Excel シートのアップロード作業
- 5.4 本番での動作確認作業
- 5.5 再公開のための作業

5.1. Excel シートの仕上げ作業



上記の図は、仕上げ作業前後の状態を表しています。仕上げ作業は、エンドユーザの誤操作の防止やセキュリティの向上のために行います。またこの作業は、エンドユーザに表示させる Excel シートのみ行います。

5.1.1. 仕上げ作業

(ア) 制御用セルを非表示に

アプリケーションの実行や制御のためのセルですので、エンドユーザが誤操作しないようにするため、セルのある行や列を非表示にします。この作業で表示するセルが非表示になる場合は、制御用 セルの設置場所の移動と再デバッグを行わなければなりません。

(イ) レイアウトの確認

フォームレイアウトなどが、要求内容や設計内容に合致しているかを確認し調整します。また、シ ート内に設置したコメントやメッセージについても再確認します。

- (ウ) オプション設定を変更する(必要な場合) オプション設定を切り替えて、Excelの表示などを変更します。
 - シートの枠線を非表示にする(※1)
 上記右図のように枠線を消すことで一般的なアプリケーションらしい表示に変えることができます。
 - ② 行列番号を非表示にする(※1)
 上記右図のように行列番号を消すことで一般的なアプリケーションらしい表示に変えることができます。
 - ※1:メニュー切り替え時などにタスクタイプ「430. EXCEL コマンド」を実行して、 表示/非表示の切り替えをすることも可能です。
- (エ)「シートの保護」を設定

「シートの保護」は、許可する操作ヵ所が複数(Excel2003 以上)ある操作に注意して設定します。また、入力を可能にするセルは、セルの書式設定で保護のロック解除を設定しておくことを忘れないでください。そのまま、セル保護をすると入力できない場合があります。

5.2. プロジェクトの定義情報の確認作業

db

プロジェクト定義情報のうち、データベース定義/DB運用定義及び、ブック定義/ブック運用定義の情報が、本番運用用の定義になっていることを確認します。違っている場合は、プロジェクト定義を訂正します。

各定義シートの詳細は、『第2部 第4章 定義編集画面の操作方法』をご覧ください。

5.3. プロジェクト定義情報と Excel シートのアップロード作業

既に稼働しているプロジェクトをアップデートする場合は、プロジェクト定義情報と Excel シートが同期して更新したものをエンドユーザが使用できるように注意します。(両方更新している場合)

【アップロードの手順】

- サーバ管理画面より、プロジェクトに割当てたエンドユーザのグループを一度削除します。
 操作は『サーバ版操作マニュアル』を参照してください。
- ② プロジェクト定義情報のアップロードと Excel シートのアップロードを行います。
 操作は『第2部 第7章 プロジェクト定義情報と Excel ブックのアップロード』を参照してください。

5.4. 本番での動作確認作業

開発者は、実行版で開発したプロジェクトについて最終動作確認を行います。 不具合がなければ、次の作業に進みます。不具合が見つかった場合は、対処・対策をして仕上げ作業の 最初に戻って作業を行います。

5.5. 再公開のための作業

『第1部 5.3 プロジェクト定義情報と Excel シートのアップロード作業』でプロジェクトへのエンドユーザの割当てを削除した場合は、再度関係の設定を行います。 操作は『サーバ版操作マニュアル』参照してください。

dbSheetClient

第2部 dbSheetClient 開発版リファレンス

第2部は、「dbSheetClient 開発版」で使用する名称、基本的な開発手順、基本的な操作方法を中心に 説明します。

各章の概要

第1章 dbSheetClientの開発手順

dbSheetClientの開発手順について説明します。

第2章 ログイン画面

ログイン画面について説明します。

第3章 メイン操作画面とプロジェクト定義ファイル

開発版メイン操作画面と、dbSheetClient で開発したプロジェクトの処理を定義するためのプロジェクト定義ファイルについて説明します。

第4章 定義編集画面の操作方法

定義編集画面の操作方法を説明します。

第5章 DB 自動作成と MDB アップロードの操作方法

Excel シートの一覧データからデータベースのテーブルを作成する方法と、作成したテーブルをデ ータベースにアップロードする操作方法について説明します。

第6章 デバッグのためのテスト環境

定義編集で作成したプロジェクトのデバッグとテストを行うためのデバッグ実行、SQL テスト実行、リファレンス作成の操作方法について説明します。

第7章 プロジェクト定義情報と Excel ブックのアップロード

定義編集で作成したプロジェクト定義情報やプロジェクトで利用する Excel ブックをサーバシス テムにアップロードする操作方法について説明します。

第8章 データ保守定義

dby

マスタテーブルの保守画面を自動生成する方法について説明します。

第9章 メンテナンス機能

プロジェクトの複製や復旧、マイグレーションに関する各種メンテナンス機能について説明します。





第1章 dbSheetClientの開発手順

本章では、dbSheetClientの開発手順について説明します。

- 1.1 プロジェクト開発の流れ
- 1.2 開発の準備作業

1.1. プロジェクト開発の流れ

dby

■dbSheetClientの開発は、以下のような手順で開発を進めていきます。

1.1.2. dbSheetClientによるWebアプリケーション開発手順

dbSheetClientでは、①サーバシステムでプロジェクトを登録を行った後、②Excelでシートの 作成→③DBの設計→④開発版でExcelシートとDBの連携→⑤開発版でビジネスロジックの定 義→⑥開発版でテスト&デバッグ実行→⑦サーバシステムでプロジェクトの公開の開発手 順を踏むことにより、Webアプリケーションを開発することができます。



■dbSheetClientの開発は、プロジェクト単位で開発をします。

このプロジェクトは、dbSheetClient サーバ版で事前に登録しておく必要があります。

1.2. 開発の準備作業

dby

■開発の準備作業として、プロジェクトを含む以下のリソースをサーバへ登録(準備)しておく必要があります。
 ①グループ
 ②プロジェクト
 ③ユーザ
 ④データベース

■上記の各リソースは、dbSheetClient サーバ版のシステム管理者用メイン画面の(1)リソース管理 から、リソースの登録や変更を行います。



以下に、サーバで管理するリソースの関連図を示します。



■登録したプロジェクトは、グループを参加させることで、グループに所属するユーザがプロジェクトを 利用できるようになります。

ユーザに対してプロジェクトの実行権限を与えるためには、dbSheetClient サーバ版のシステム管理 者用メイン画面で、プロジェクト、グループ、ユーザの登録後、プロジェクトへのグループ参加の設定 をしておく必要があります。

以下にサーバシステムで管理するプロジェクト、グループ、ユーザ、およびデータベースの関係を示した図を示します。



- ※上記リソースの登録/設定/変更等の作業は、サーバ版インストール時に作成される「Supervisor 権限」 のユーザ、または「システム管理者権限」のユーザで登録作業を行います。作業手順の詳細は、 『サーバ版操作マニュアル』及び『システム管理者用マニュアル』を参照してください。
- ■dbSheetClient 開発版のログイン画面には、ログインしたユーザが利用できるプロジェクトの一覧が 表示されるようになります。これ以降、開発するプロジェクトを選択して、そのプロジェクトの内容 (各定義シート)を作成していくことになります。

▼ログイン画面の例

db

C dbSheetClient (開発版) <135> 約□ユーコム dbSheetClientプロジェクト開発サーバ ■ × ユーザID manual2 パスワード *******
<mark>処理(プロジェクト)を選択してください。</mark> DMOF タスクタイプサンプル(リファレンス) Ver4 DMOF サンプル集(入門編) V4
DMOF サンプル集(基本編) Ver3 DMOF サンプル集(2-2(応用編) Ver3 SMOF セミナー開発(完成)Ver3 サンプルアブリケーション サンプルWebアプリケーション データベース保守サンプル セミナー開発(演習)Ver4 Excel-SQL活用マニュアル
実行 開発 フロジェクトIDを表示する ログオフ 終了

第2章 ログイン画面

(dbs)

本章では、ログイン画面の操作について説明します。

- 2.1 開発版ログイン画面
- 2.2 ヘルプ画面
- 2.3 環境設定画面
- 2.4 オフラインで開発と実行
- 2.5 オンライン接続時のセッション切断に関する注意点

2.1. 開発版ログイン画面

dby

■dbSheetClient 開発版は、プロジェクト単位で開発します。

dbSheetClient 開発版のアイコンをダブルクリックすると、dbSheetClient 開発版ログイン画面が 表示されます。



dbSheetClient 開発版のアイコン

📚 dbSheetClient (開発版) <135> 紳ニューコム dbSheetClientプロジェクト開	発サーパ 🔳 🗖 🔀
ユーザID	ヘルプ
バスワード	環境設定
	終了

「ユーザID」「パスワード」を入力します。 【**ログイン】**ボタンをクリックします。



ユーザIDで使用可能な「プロジェクト」が表示されます。

同時に選択可能なボタンが表示されます。

[開発版] ボタンをクリックすると、開発版メイン操作画面を起動します。

[終了] ボタンをクリックすると、ログイン画面を終了します。

2.2. ヘルプ画面

dbs

▼ログイン画面の [ヘルプ] ボタンをクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。

🥺 dbSheetClient (開発版-ログイン)		
ユーザID		ヘルプ
パスワード	<mark>ロリイン</mark>	環境設定

ヘルプ画面は、(1)製品情報、(2)障害対策の2項目に分かれています。 製品情報のページには、①ユーザ情報、②ベンダー情報、③製品情報が表示されます。

※ [ヘルプ] (および環境設定) はログイン前後の画面に表示され、各々でボタンをクリックして 実行することができます。

ただし(1)製品情報についてはログイン前後の内容が異なりますので注意してください。 (以下はログイン前の画面)

🧭 dbS-ヘルフ	,	X
(1)製品情報	(2)障害対策	
一①ユーザ情報	1	※ユーザログイン後に全ての情報が表示されます
ユーザ名:	㈱	1ーコム dbSheetClientブロジェクト開発サーバ (135)
稼動OSバー	ージョン: Windo	owsXP DBSサーバVer.: 5.0.0.0
-0 105-1	青幸辰	
ベンダー名: 担当者&i ベンダーUR メールアドレ	· 連絡先: ·L: ·ス:	TEL:
③ 製品情報	6	
製品名: バージョン: 開発元: 開発元URI 開発元メー	dbSh 5.0.0 株式 に <u>http</u> ル: <u>sales</u>	eetClient(DevelopV5) for Excel2003 0-100423-1 C.O.発行: 会社ニューコム <u>//www.ncm07.jp/</u> <u>s.si@ncm07.jp</u> 閉じる

【閉じる】ボタンをクリックすると、ヘルプ画面を終了します。

2.2.1. 製品情報

(d)X

[ヘルプ] 画面は、はじめに(1) 製品情報が表示されます。 製品情報はログイン前後の情報表示が異なります。

🧭 dbSーヘルプ		×
(1)製品情報 (2)障	害対策	
0ユーザ情報	ב*	ーザログイン後に全ての情報が表示されます
ユーザ名:	㈱ニューコム dbShee	tClientプロジェクト開発サーバ (135)
稼動OSバージョン:	WindowsXP	DBSサーバVer.: 5.0.0.0
② ベンダー情報		
ベンダー名:		TEL.
担当者 & 連絡光: パンガーIIRI・		IEL:
メールアドレス:		
③製品情報		
製品名:	dbSheetClient(Deve	lopV5) for Excel2003
バージョン:	5.0.0.0-100423-1	C.O.発行:
開発元:	株式会社ニューコム	
開発元URL:	http://www.nom07.jp	
開発元メール:	<u>sales.si@ncm07.jp</u>	開じる

項目	ログイン前	ログイン後	
ユーザ 情報	稼働 OS のみ表示	ユーザ名、ユーザ識別 ID、 稼働 OS、DBS サーババージョン を表示	
ベンダー 情報	表示内容なし	ベンダーの問合せ先情報を表示	
製品 情報	製品名、バージョン、弊社名と 弊社 URL を表示	製品名、バージョン、弊社名と 弊社 URL を表示	

2.2.2. 障害対策

障害対策では [Excel メニューの表示復旧] や [Microsoft Office Web Components のインストール] を実行することができます。

Microsoft Office Web Components のインストールでは、MicrosoftOffice2007 利用時に必要なコンポーネントをインストールします。

■Excel メニューの表示復旧の概要

Excel メニューの表示復旧では、Excel を実行した時にメニューが非表示になっている状態を表示させるように復旧します。

dbSheetClient では実行中に、Excel 操作や処理をユーザが行わないようにツールバーなどを非表示に しています。そして、dbSheetClient を終了する時に、非表示を表示に戻します。

しかし、dbSheetClient で利用した Excel ファイルがメモリ上に残り正常に解放されなかった場合、 Excel 実行時にツールバーが非表示のままになります。

Excel メニュー表示復旧は、強制的にメモリを解放し Excel メニューを表示に戻す処理を行います。

ר_≮@Exce	表示復旧		
*Excelのメニュー	・ツールバーが表示され	なくなった場合に実行	してください。
			_
Microsoft Off	ice Web Compon	ients のインスト・	-16
※開発版で使用す 定義編集を実行	るコンボーネントです。 したときにエラーが発生	するときにはインストー	ルしてください。
ホームページが正	しく聞かないときには、「	F記の文字で検索し	てください。
Office 20	003 アドイン : Office W	leb Components	
Landa and a second s			

■Excel メニューの表示復旧の操作手順

①はじめに、メニュー非表示状態の Excel ファイルを[Alt]+[F4]で終了させてください。 ※画面上に表示されている Excel はすべて終了します。

②ログイン画面の [ヘルプ] - [(2) 障害対策] - [①Excelのメニュー表示復旧] をクリックすると 表示復旧画面が表示されます。

メモリ上のExp	celのプロセス書	¢: 0	件		
プロセス	イメージ名	開始時間	ユーザ時間	カーネル時間	実行ファイル

③メモリ上に残った Excel プロセスを表示します。選択状態にして、 【選択した Excel プロセスを削除する】 ボタンをクリックします。 「Excel を終了します。よろしいですか?」のメッセージが表示されます。

④ [OK] ボタンをクリックすると、選択した Excel プロセスを終了します。
 選択した Excel プロセスが消えてプロセス件数も減少します。
 複数件表示されている場合は件数が O 件になるまで繰り返します。
 [キャンセル] ボタンをクリックした場合は、表示復旧せずにヘルプ画面に戻ります。

⑤すべてのプロセスが消えて0件になると、

[Excel メニューを復旧する] ボタンがアクティブになるので、クリックします。

⑥「Excel が自動的に起動します。」とメッセージが表示されますので、「終了」ボタンをクリックします。

dbS-I	Excelメニュー表示復旧	
	Excelが自動的に起動します。	
	メニューが表示されたのを確認したのち 「終了」ボタンをクリックしてください。 ^{終了}	

⑦ Excel メニューが表示されていることを確認ください。

▼注意

復旧された Excel メニューは標準設定になっています。

ユーザがカスタマイズした表示の場合は、再度設定していただく場合がありますのでご了承ください。

2.3. 環境設定画面

db

環境設定には、3つのタグがあります。

(1) ユーザカスタマイズ

ログイン画面、実行画面の設定や実行モードでの操作ログの設定などを行います。 開発権限者には、システム環境フォルダの設定を行います。

(2) 端末情報初期化と組織変更

利用する PC の端末情報を接続サーバに新規登録します。また、組織(利用サーバ)の 変更が可能です。

(3) マルチプロジェクト管理

プロセスが残ったままの Excel をメモリ上から解放します。

ログイン前後や、開発権限によって設定内容が異なりますので注意してください。

ログイン画面の [環境設定] ボタンをクリックします。

環境設定画面が表示されます。

🧟 dbSheetClient (開発版-ログイン)	
ユーザID	ヘルプ
バスワード ログイン	環境設定
🕼 dbS-環境設定	
(1)ユーザカスタマイズ (2)端末情報初期化と組織切替 (3)マルチプロジェクト管理	
ログイン画面の設定 の □ プロジェクト選択時に、メッセージ確認をおこなわない。	
実行画面の設定 ① 🔲 実行画面を起動時に最大化する。	
② 実行画面のメニューをダブルクリックで起動する。(標準:ワンクリック) その他の設定	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
◎ 小部URL起動のExcetブックへの対応方法 ブックが開かないように刺版する。	
dbSheetClient内に入り込まないように、dbSMangerを起動して監視する。	
キャンセル 保存	

2.3.1. ユーザカスタマイズ設定

dby



■ログイン画面の設定

[プロジェクト選択時に、メッセージ確認を行わない。] 初期:□OFF 初期値(OFF)では、プロジェクトを選択し、[実行]した時に 「~処理を開始してよろしいですか」と確認メッセージを表示します。 確認メッセージを必要としない場合は、ONにしてください。

■実行画面の設定

[実行画面を起動時に最大化する] 初期: □OFF

初期値(OFF)では、dbSheetClient実行画面をノーマルモード(標準状態)で表示します。 全画面表示する場合は、ONにしてください。



▲OFF(ノーマル表示)の場合

(s0 +.679	(#8) 20529- #11108	00-745-96-87788	8.1	A CHICK CHIC MC MR-4
E BENT & BENT				
	• #01201		R M M M M M M M M M M M M M M M M M	
225-4-56第471 255-4-10世(40) 4545-62世(第4 -51年(6月) 51(前日)(43)				
01191歳(8445) = 0. 0. cone構成 - 11年最近版(847) - 01日で登し940				
0028049-2649	L			

▲ON(全画面表示)の場合

実行画面のメニューをダブルクリックで起動する] 初期:□OFF

この項目が OFF の時には、dbSheetClient 実行画面のメニューは、「ワンクリック」で 切り替わりますが、ON にすると、「ダブルクリック」で切り替わるようになります。

Ver. 5. 0. 3. 0

- ■その他の設定
 - **[実行モードで操作ログを保存する]** 初期:□OFF

実行モードで操作ログを保存したい場合、ON にしてください。

[外部 URL 起動の Excel ブックへの対応方法] 初期:□OFF (URL のアドレスで指定された EXCEL ブックを開くときだけに制限されます) プックが開かないように制限する。

dbSheetClient 内に入り込まないように dbSManger を起動して監視する。

《詳細》

URL のアドレスでリンクされる EXCEL ブックを開いたときに、dbSheetClient の EXCEL 内に、 URL 起動されたブックが開いてしまうため、その対応法を指定することができます。

- 1) 既定(チェックされていないときの動作):
 dbSheetClient内に一旦Excelが入り込みますが、すぐに閉じて、別Excelで開きます。
 ただし、環境やEXCELのバージョンによっては、dbSheetClient内にワーク用のブックが入りこんだままになることがあります。
- 2) ブックが開かないように制限する:

dbSheetClient 内に一旦 Excel が入り込みますが、すぐに閉じて、別 Excel では開きません。 したがって、dbSheetClient が終了されるまでは、URL 起動の EXCEL の編集は出来ません。 ただし、環境や EXCEL のバージョンによっては、dbSheetClient 内にワーク用のブックが 入りこんだままになることがあります。

3) dbSheetClient内に入り込まないように、dbSManagerを起動して監視する: ログイン画面が表示された段階で、dbSManagerを起動して、URL 起動された EXCEL が 開こうとしたときに、dbSheetClient内に入り込まないように、直ちに別 EXCELで開きます。 この EXCEL が閉じられてしまうと、それ以降は、dbSheetClient内に入り込むようになるため EXCELの閉じるボタン×は無効にしています。 ※本設定を行うと、ログイン画面が表示された段階で、dbSManager.exe および、 dbSManager.exe が管理する EXCEL が起動します。 したがって、実行版が起動した段階では、EXCEL が二つ起動することになり メモリーの使用量が増加しますので、注意してください。

※上記の指定を変更した場合は、dbSheetClientを終了してから起動すると有効になります。


■開発権限者のみ設定が可能

▼注意

この設定項目は開発権限を持たないユーザIDでは表示されないため、開発権限を持つユーザIDでログインして、個別に設定する必要があります。

[システム環境フォルダの設定]

システム環境フォルダを変更したい時、

標準のフォルダを変更する場合は、 ③ スタンダード を選択します。

ターミナルサーバ対応のフォルダを変更する場合は、 ^{③ ターミナルサーバ対応} を選択します。

その後、〔参照〕ボタンをクリックし、設定したいフォルダ選択します。



ダイアログ選択画面から該当のフォルダを選択します。 ターミナルサーバの場合は、ターミナルサーバがアクセ ス可能なフォルダを選択する必要があります。

変更したフォルダを初期状態に戻す時

[初期値] ボタンをクリックしてください。

2.3.2. 端末情報の初期化と組織切替

dby

dbSheetClient ではサーバシステムに登録された端末のみ接続、開発および実行が可能となります。 (端末情報の登録については『開発版インストールマニュアル』を参照してください。)

端末情報の初期化はサーバが端末を認証できない場合に、再認証を相互に構築する処理です。 初期化が必要なケースは大きく分けて3つあります。

- A. 同じ端末を別のユーザID で登録しなおしたい時。(退職や異動時)
- B. サーバのドメイン名が変更になった時。(ローカル IP アドレス設定時は IP アドレス)
- C. ノート PC を利用していて、外出時は無線 LAN カードで接続する時。

また、同じ端末を異なる LAN カードで接続する時。

※端末情報は MAC アドレスなどの固有情報を認証キーとして登録しています。

そのため、利用する LAN カードの持つ MAC アドレス毎に認証が必要となります。



①端末情報の初期化(OnLine 時)

Aのケースの時に使用します。

サーバが接続されている時に処理します。

※ログイン前と OffLine 時は非アクティブで選択することができません。

②端末情報の初期化(OffLine 時)

BとCのケースの時に使用します。

サーバが接続されていない時に処理します。



■処理の流れ

[端末情報の初期化] ボタンをクリックします。

確認の画面が表示されます。

dbSheet	:Client (確認)
<u>.</u>	端末情報を初期化します。 初期化後は、再度、端末情報登録が必要になります。 端末情報を初期化してよろしいですか? (はい公) (いいえい)

[はい] ボタンをクリックすると、端末情報を初期化します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、初期化せずに環境設定に戻ります。

※端末情報が複数登録されている場合、ログオンされている端末情報のみを初期化します。

端末情報を初期化すると、次のメッセージが表示されます。

🔲 dbSh	eetClient (確認)	
	組織IDを変更後、再起動し	てください。

環境設定で組織 ID を変更した後、再度ログインしてください。

■組織 ID の異なる複数のサーバに接続する方法について

ソフトウェアベンダ様の場合には、組織 ID の異なるサーバに接続したいケースが発生します。そのよう な場合には、それぞれのサーバに対して、端末情報を登録する必要があります。端末情報が複数登録され ている場合には、リストボックスで組織 ID を切り替えることができます。

※なお、実行版では、本機能は利用できません。組織 ID が異なるサーバに接続する場合は、 必ず初期化を行ってください。

複数の端末情報を全て初期化すると、次のメッセージが表示されます。



[OK] ボタンをクリックすると、端末情報登録の画面が表示されます。

組織ID	i.		SSL I	対応
ドメイン名	ドメイン名また	はIPアドレスを2	し力してください	10
IPアドレス っ ポロ				
7-910				
バスワード				

ここで端末情報を登録します。

あらかじめシステム管理者から、組織 ID、ドメイン名または IP アドレス、ユーザ ID、パスワードを取得しておいてください。

【登録】 ボタンをクリックすると、端末情報を登録します。 入力内容に誤りがあった場合、次のメッセージを表示し、端末情報の登録処理を終了します。

(į)	###INI-Reg-10:入力されたアカウント情報のご誤りがあります。 会社ID、ログイン、パスワードに誤りがないかを確認してください。
	ОК

端末情報を確認して、再度、端末情報の入力を実行してください。

[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、端末情報登録をせずに終了します。 「端末情報を再度登録してください」とメッセージを表示して終了します。

※Microsoft Office2007 • Excel2007 を利用の場合は、次のメッセージを表示して終了します。

1	Excel2007 を開発版で利用するときには、Office 2003 Web Components が必要となります。 次回起動したときのログイン画面の「ヘルブー (3)障害対策」からインストールすることができます。
	ОК

再起動してログイン画面のヘルプ-障害対策から Microsoft Office Web Components のインストール を実行してください。

※dbSheetClient では、端末情報登録で登録した内容を、各PCのレジストリ (HKEY_CURRENT_USER)に記録し、その内容で次回からの起動時には起動します が、Windows へのログイン時に別のアカウントでログインしたときには、レジストリ (HKEY_CURRENT_USER)が異なりますので、レジストリがまだ未登録である と判断し、端末情報登録を要求されます。

2.3.3. マルチプロジェクト管理の設定

サーバ版がマルチプロジェクト対応モード(オプション)の時には、複数のプロジェクトを同時に起動することができます。

「マルチプロジェクト管理」では、実行中のプロジェクト情報を確認することができます。

※プロジェクトを実行中に、異常終了が発生した時など、プロジェクトは終了しているのに「実行中の プロジェクトー覧」には表示されている不具合状態になる場合があります。 このような終了したプロジェクトを「実行中のプロジェクトー覧」から除外させることができます。

▼注意

実行中のプロジェクトを除外すると、プロジェクト管理に矛盾が発生しますので、注意して ください。実行中のプロジェクトを除外した時は、以下の手順を行ってください。

① 定義ファイルを保存します。

② プロジェクトを終了します。

dby

③ dbSheetClientを起動し、ログインし直してください。



- ・プロジェクト実行数・・・・・・・ 現在、実行中のプロジェクト数です。
- ・プロジェクト実行許可数(MAX)・・・ 実行が許可された最大数です。

■実行中のプロジェクトー覧

- •No•••••••••• プロジェクトを実行した順番です。
- ・PID・・・・・・・・・・・・・ サーバ版に登録されているプロジェクトID番号です。
- ・プロジェクト名・・・・・・・・ サーバ版に登録されているプロジェクト名です。
- ・開始時刻・・・・・・・・・・・ プロジェクトを実行した日時の情報です。

■除外プロジェクト名

「実行中のプロジェクトー覧」のプロジェクトを選ぶと、プロジェクト名を表示します。

■ [除外] ボタン

選ばれたプロジェクトを「実行中のプロジェクトー覧」から除外します。

🗖 dbSheetClient (確認)	×
選択されたプロジェクトを	切期化してもよろしいですか?
(はい(Y)	いいえ(N)

【はい】ボタンをクリックすると、除外します。 【いいえ】ボタンをクリックすると、除外しません。



■ [全て除外] ボタン

全てのプロジェクトを「実行中のプロジェクトー覧」から除外します。

😳 dbS-環境設定				
(1)ユーザカスタマイズ	(2)端末情報初期(とと組織切替	(3)マルチプロジェクトキ	管理
(۶	レチプロジェクトモード	のときにのみ 有	「効になります。	
プロジェクト実行数:	0	プロジェクト:	実行許可数(MAX):	10
▼実行中のプロジェ	クトー覧▼			
No PID	プロジェクト名	開始時刻		1
※異常終了が発生 一覧に表示されてい	したときなどに、実行 いるときには、プロジェ	うされていないこ クトを選択して	クロジェクトが 手動で除外してくださ	5(1.
除外 =>				
全て除外	【注意】実行中の ブロジェクト管理に 注意してください。	プロジェクトを除 矛盾が発生し	・外すると、 ますので	閉じる

2.4. オフラインで開発と実行

dby

ネットワーク未接続のオフラインの状態で、dbSheetClientの開発および実行ができます。 ただし、以下の条件を満たす必要があります。

【オフラインで開発と実行をするための条件】

① オンライン状態で、オフラインで開発と実行するユーザ ID でログイン認証済であること。

② オンライン状態で、オフラインで開発と実行するプロジェクト定義情報を取得済であること。

▼端末認証済みのPCから、オンライン時にログインしたユーザIDでログインします。

② dbSheetOlient (開発版) (195) 伸ニューコム dbSheetOlientプロダコクト開発サーバ ■ ■ × ユーザ[D manuali 10/12/2 パスワード #######
処理(プロジェクト)を選択してください。 DMOF タスクタイプサンプル(リファレンス) Ver4 DMOF サンプル集(冬年編) Ver3 DMOF サンプル集(冬本編) Ver3 DMOF サンプル集(冬本編) Ver3 SMOF セミナー開発(完成) Ver3 サンプルアプリケーション データベース保守サンプル セミナー開発(演習) Ver4 Excel-SQL活用マニュアル
実行 開発 ログオフ 終了

※利用ユーザID ログインで、オンライン接続した実績がある場合、オフライン実行時も、 許可されたプロジェクトー覧が表示されます。

▼実行フォルダと開発フォルダには既にプロジェクト定義ファイルがダウンロードされています。



※プロジェクト定義ファイルについては、『第2部 第3章 メイン操作画面とプロジェクト定義ファイル』を

参照してください。



▼実行時にローカル PC に存在する Excel ブックとデータベースに接続する設定になっています。

T. Classic . Canal	01	382-283			1		T ALMINOV	O A DIE DIE DIE DIE	~1
M2.6	1.	Ref. # 1 - head also [2	LINEORIE						
		the second		1	3			6	
6829 97	L	att)	(* ⁽⁸ 2)2	(all all all all all all all all all all		#B4 (*	###5	(e dillo	#117
	2								-
	1								
									L

オフライン時でも、クライアント上の Excel ブックや DB にアクセスする場合、デバッグ実行や実行版 での実行が可能です。

※Excel ブックと DB の設定方法については、『第2部 4.7.1 データベース定義』と

『第2部 4.7.3 ブックファイル定義』を参照してください。

2.5. オンライン接続時のセッション切断に関する注意点

dbSheetClient サーバシステムでは、クライアントの認証が完了して接続を許可すると、接続されたクライアントにセッション ID を発行して、クライアントから要求された処理を受付けます。

サーバシステムではセッション ID で管理されたクライアントからの要求のみ受け付けているので、何らかの原因でネットワークが切断し、クライアントのセッション ID が変わるとそれ以降の要求は拒否されます。

■セッションの切断

db

プロジェクトを実行中に、ネットワーク回線などのトラブルでネットワークが切断した時、または、 PCの操作を長時間おこなわないでスリープモードになった時などに発生します。

■サーバの情報取得中にセッションの切断が発生した場合

開発版でプロジェクト定義情報のサーバ送信中または、開発版・実行版でプロジェクト定義情報 の取得する場合、あるいは、データの取得や更新の処理をおこなっている時に、セッションの切 断が発生すると、サーバは処理を継続することができないため、以下のようなエラーメッセージ を表示して処理を中断します。

🔲 dbShe	etClient (確認)	
⚠	ログ情報の書込時に以下のエラーが発生しました。 ★★途中でセッションが切断されたか、ネットワークに問題が発生した可能性もあります。問題 要求は中止されました:要求がキャンセルされました OK	<u>増</u> 点を確認してください。★★
🔲 dbSh	eetClient (確認)	
1	dbSeetClient用 システム管理ファイルが正常に取得できませんでした。 セッションが切断されたか、ネットワーク接続に異常が発生した可能性があります。 ー 旦終了して、再度ログインしてください。 現象が改善されないときには、ネットワーク環境を確認してください。 OK	

セッションが切断された時は、オンライン接続のまま継続して処理を続行することができなくなるため、 自動的にオフラインモードに切り替えます。

再度オンライン接続で処理をおこなう場合は、dbSheetClient を一度終了して、再度ログインしなおしてください。

第3章 メイン操作画面とプロジェクト定義ファイル

本章では、メイン操作画面の操作とプロジェクト定義ファイルについて説明します。

- 3.1 dbSheetClient メイン操作画面の説明
- 3.2 プロジェクト定義ファイル

3.1. dbSheetClient メイン操作画面の説明

ログイン画面の [開発版] ボタンをクリックすると、開発版メイン操作画面が表示されます。開発版メイン操作画面には下図のようにプロジェクト開発をおこなうためのメニューバーやコマンドボタンが配置 されており、プロジェクト情報と実行用フォルダ、開発用フォルダの情報が表示されます。

© dbS-間発メイン操作画面 ユーザ:manuall <9> 【79:サンブルアブリケーション】 #2	メニューバー領域
ファイル(E) 編集(E) DB自動作成(A) デバッグ(D) アップロード(U) メンテナンス(M) ヘルプ(H)	(C)2007-10 Newcom Co.Ltd. (5.0.0.0)
①終了 1定義編集 ③DB自動作成 ④デバッグ実行 ⑤リファI 環境設定 アゥブロード(F1) Excelアゥブ(F2) DBアゥブ(F3) 被製(コマンドボタン領域
プロジェクト 情報 41歳D 135 プロジェクト 名 79 サンプルアプリケーション プロジェクト 定義ファイル名 dbS_sAPL079.dbs	プロジェクト情報領域
◆実行用フォルダ◇ ※実行用フォルダには、実行用の定義ファイルが保存されています。(起動時にサー C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥run¥sAPL¥	実行用フォルダ情報領
	域
実行用フォルダから ファイルの更新日時 2010年3月31日 1	5:40:17 Ver. Ver. Ver.
定義ファイルをコピーする アップロード日時 2010-03-31 15:40	300 1
◆ *コピーする時には必ず工書き してもよいか電型してください。 ※実行用の定義ファイルを、開発フォルダにコピーすることができます	•
◎開発用フォルダ◎	
間発用フォルダを変更する ファイルの更新日時 2010年3月31日 1	開発用フォルタ情報領
アップロード日時 2010-03-31 15:40 C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPL¥	04190 300 1
	<u></u>

dbSheetClient 開発版メイン操作画面の Windows タイトルバーには「ログインユーザ名」、「開発権限 レベル」、「プロジェクト名」を表示します。

■メニューバー領域

メニューバー領域の項目は、コマンドボタン、プロジェクト情報、実行用フォルダの情報、開発用フォル ダの情報のすべての実行を網羅しています。

ファイル・・・・・「終了」を実行します。

編集・・・・・・「定義編集」を実行します。

DB 自動作成・・・ 「DB 自動作成」や「DB アップロード」を実行します。

デバッグ・・・・ 「デバッグ実行」、「リファレンス作成」、「SQL テスト実行」を実行します。

アップロード・・・「プロジェクト定義ファイル」や「Excel ファイル」を実行します。

メンテナンス・・・「パスワードの設定」、「プロジェクトの初期化」、「定義情報の強制入替」、 「プロジェクトの複製」、「デモプロジェクトの取込」、「外部プロジェクトの取込」、 「プロジェクトの比較レポート作成」、「プロジェクトのマージ」、 「定義情報のマイグレーション」を実行します。

ヘルプ・・・・・「バージョン情報」、「オンラインヘルプ」を実行します。

▼注意

db

メイン画面に現れるメニューは開発権限レベルによって実行できる項目が異なります。
 次にメニュー毎の開発権限レベルを示します。

※開発権限レベルはサーバシステムの(1)リソース管理-3.ユーザ登録で設定することができ、 開発ユーザに対して 1~10の段階で開発権限レベルを与えることができます。

2)「オフライン実行」の時にも、実行できる項目が異なります。

■開発権限レベル

下の表にコマンドの機能と開発権限レベルに応じたコマンドの操作の可否を示します。

No.	メニュー名	コマンド	開発権限→ 機能	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 ALL	100
1	編集(E)	定義編集	プロジェクト定義情報の編集作業 をおこないます。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2		DB自動作成	Excelシート上のライン型データを MDB形式のデータに変換します。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	DB目動作成(A)	DBアップロード	DB自動作成で作成したMDBファ イルをサーバにアップロードしま す。	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		デバック実行	デバッグモードで、「デバッグ実 行」をおこないます。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	デバッグ(D)	リファレンス作成	「リファレンス作成」をおこないま す。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6		SQLテスト実行	「SQLテスト実行」をおこないま す。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		プロジェクト定義ファイル	開発用フォルダの「プロジェクト定 義ファイル」をサーバにアップロー ドします。	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8		Excelファイル	プロジェクトで使用する「Excelファ イル」をサーバにアップロードしま す。	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		パスワードの設定	プロジェクト定義情報に「パス ワード」を設定します。	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0
10		プロジェクトの初期化	プロジェクト定義情報をサーバ上 から消去して「初期化」します。	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0
11		プロジェクトの強制入替	サーバ上のプロジェクト情報を一 旦消去して、選択したプロジェクト 情報に強制的に置き換えます。	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0
12		プロジェクトの複製	開発用フォルダで編集中のプロ ジェクトを別のプロジェクトに複製 します。	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0
13		デモプロジェクトの取込	㈱ニューコムが提供するデモプロ ジェクトを取り込みます。	×	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0
14	メンテナンス(M)	外部プロジェクトの取込	サードパーティ(他社)が開発した プロジェクトを取り込みます。	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0	0
15		プロジェクトの 比較レポート作成	2つのプロジェクト定義情報を比 較したレポートを作成します。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16		プロジェクトのマージ	2つ以上の複数のプロジェクト定 義情報をマージして、1つの統合 したプロジェクトを作成します。	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0
17		定義情報の マイグレーション	システムがバージョンアップされ たときに、旧プロジェクト情報のマ イグレーション(データ移行)をお こないます。	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0
18		システム定義情報の取込	最新のシステム定義情報を取り 込みます。初期サーバセットアッ プ時やシステムのバージョンアッ プ時に実行します。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0
19		バージョン情報	dbSheetClientのバージョンを表 示します。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	ヘルプ(H)	オンラインヘルプ	㈱ニューコムのサイトに接続して 最新の技術情報を表示します。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

開発権限が「100」は、「スーパーバイザ権限」の時の権限を示します。

3.1.1. コマンドボタン

dby

コマンドボタンは、メニューバーのコマンドの中で頻繁に使用するコマンドを、ボタンでも起動できるようにしたものです。 コマンドボタンにはショートカットキーが割り当てられており、上の段のコマンドボタンは、F1~F9 が利用できます。

【オンラインモード】

0終7 1定業	編集 3.DB自動作成	<u>4</u> デバッグ実行 <u>5</u> リファレンス	<u>6.SQLテスト実行</u> <u>2.データ保守定義</u>
環境設定 アップロー	-ド(F1) Excelアップ(F2) DBアップ(F3)) (複製(F5)	〕 デモ取込(F6)

【オフラインモード】

<u> <u> </u> <u></u></u>	<u>3.DB自動作成</u>	<u>4</u> デパッグ実行 <u>5</u> リファレンス	6.SQLテスト実行 2.データ保守定義
環境設定 アップロード(F1)	Excelアップ(F2) DBアップ(F3)	複製(F5)	デモ取込(F6)

ボタン	侶	機能
0.終了	(Alt + 0)	開発編集処理を終了してログイン画面に戻ります。
1.定義編集	(Alt + 1)	プロジェクトの定義情報を編集します。
3.DB 自動作成	(Alt + 3)	Excel シート上にある一覧形式のデータを MDB 形式に自動変換します。
4.デバック実行	(Alt + 4)	プロジェクトの定義情報が正しいかどうかをデバッグモードで実行 して確認できます。
5.リファレンス	(Alt + 5)	プロジェクト定義情報のリファレンス情報を自動作成します。
6.SQL テスト	実行(Alt + 6)	SQL 文の自動作成と、データベースに接続してデータを取得するテ ストを行います。
7.データ保守定	:義(Alt + 7)	マスターデータの保守画面を設計します。
環境設定		 ログイン画面/実行画面の設定や操作ログの実行モード、開発権 限者にはシステム環境フォルダ設定などを行います。 利用する PC の端末情報を接続サーバに新規登録します。また、 組織(利用サーバ)の変更が可能です。 プロセスが残ったままの Excel をメモリ上から解放します。
アップロード	(F1)	開発用フォルダで編集中のプロジェクト定義情報をサーバへアップ ロードします。
Excel アップ	(F2)	プロジェクトで使用する Excel ファイルをサーバにアップロードし ます。
DB アップ	(F3)	MDB ユーザデータを SQLServer 用のテーブルに変換して、サーバ にアップロードします。
複製	(F5)	開発用フォルダで編集中のプロジェクトを別プロジェクトに複製し ます。
デモ取込	(F6)	デモプロジェクト(㈱ニューコム製)を取り込むことができます。

3.1.2. プロジェクト情報

db

プロジェクト情報には、ログイン画面で選択したプロジェクトに関する情報が表示されます。 プロジェクト情報の内容は、サーバシステムの(1)リソース管理-2.プロジェクト登録で変更できま す。

プロジェクト	情報				
組織ID	1	プロジェクト名	179	DR 名刺管理	
プロジェクト	定義ファイル名	dbS_M	lanual1 79.	dbs	

項目名	説明
組織 ID	サーバシステムの識別 ID が表示されます。
プロジェクト名	プロジェクトID(連続番号)とプロジェクト名が表示されます。
プロジェクト定義ファイル名	プロジェクト定義情報を管理するファイル名が表示されます。

3.1.3. 実行用フォルダ

実行用フォルダには、選択したプロジェクト定義ファイルがサーバからダウンロードされます。 実行用フォルダの表示欄の「ファイルの更新日時」は、プロジェクトを選択してダウンロードした直後の 日時が表示されます。また、「アップロード日時」や「システム仕様 Ver.」、「定義アップ Ver.」の情報 は、サーバシステムで管理されている情報がそのまま表示されます。

C¥dbSheetClient¥Develop¥run¥N	Manual¥			
-	- (0000年6月16日 15 21 20	システム仕様	定義アップ
実行用フォルダから	ファ1ルの更新日時	2008 46 / 16 1 13:31:36	Ver.	Ver.
75487717P23C 9.0	アッナロードロボ	2002-06-14 11 55 40 047	200	9

項目名/ボタン名	説 明
フォルダのパス	ログイン画面でプロジェクトを選択すると、サーバ管理されている プロジェクト定義ファイルがこの実行用フォルダにダウンロードさ れています。 デフォルトは c:¥dbSheetClient¥Develop¥run¥xxx です。
ファイルの更新日時	サーバからダウンロードされた時の更新日時が表示されます。
アップロード日時	プロジェクト定義ファイルがサーバにアップロードされた最終の日 時が表示されます。
システム仕様 Ver	dbSheetClientのシステムで管理している、システム仕様のバージョンです。
定義アップVer	プロジェクト定義ファイルのバージョンを表示しています。 サーバにアップロードするたびに、1ずつカウントアップします。
[実行用フォルダから 定義ファイルをユピーする]	実行用フォルダからプロジェクト定義ファイルを開発フォルダにコ ピーするためのボタンです。 定義編集の対象ファイルは、開発フォルダのプロジェクト定義ファ イルです。 開発版では、実行用フォルダの定義ファイルは直接変更しないため、
	事前にコピーしておく必要があります。

3.1.4. 開発用フォルダ

db

開発用フォルダは [1.定義編集] ボタンでプロジェクト定義ファイルを編集するための専用のフォルダ です。

ログイン画面からあるプロジェクトを最初に選択した時、次のように表示されます。

「ファイルの更新日時」欄に「定義ファイルが見つかりません!!」

これは、開発用フォルダにプロジェクト定義ファイルが存在しないためです。 このような場合には、実行用フォルダの表示欄の[実行用フォルダから定義ファイルをユピーする] ボタンを クリックして、プロジェクト定義ファイルを開発用フォルダにコピーする必要があります。

アップロード日時 2008-06-14 11:55:40.047 300 9		ファイルの更新日時	2008年6月16日 15:31:36	システム仕様 Ver.	定義アッフ Ver.
	開発用フォルタを変更する	アップロード日時	2008-06-14 11:55:40.047	300	9
Manuali	C:XdbSheetClientXDevelopXdevXM	アップロード日時	2008-06-14 11:55:40.047	300	

項目名/ボタン名	説 明
フォルダのパス	定義編集でプロジェクト定義ファイルを編集するための専用フォル ダです。
	デフォルトはci¥dbSheetClient¥Develop¥Dev¥xxx です。
ファイルの更新日時	定義編集で編集された最新の更新日時が表示されます。
アップロード日時	プロジェクト定義ファイルがサーバにアップロードされた最終日時 を表示します。
システム仕様 Ver	dbSheetClientのシステムで管理している、システム仕様のバージョンです。
定義アップ Ver	プロジェクト定義ファイルのバージョンを示しています。
[開発用フォルダを変更する]	開発用フォルダをデフォルトと異なるフォルダに一時的に変更しま す。
編集中表示	定義編集で編集すると、編集回数が表示されるようになります。 サーバに定義ファイルがアップロードされるとクリアされます。

3.1.5. 開発用フォルダにプロジェクト定義ファイルをコピーする

dby

[実行用フォルダから定義ファイルをコピーする] ボタンをクリックして、開発用フォルダに実行用フォルダのプロジェクト定義ファイルをコピーします。

コピーを実行すると、開発用フォルダにある古い定義情報を上書きするため、上書きしてもよいか、確認 メッセージを表示します。



コピーを実行すると、開発フォルダには、実行フォルダと同じ、ファイルの更新日時、アップロード日時、

C:¥dbSheetClient¥Develop¥run¥Ma	anual¥			
実行用フォルダから	ファイルの更新日時	2008年6月16日 15:31:36	システム仕様 Ver.	定義アップ Ver.
定義ファイルをコピーする	アップロード日時	2008-06-14 11:55:40.047	300	9
◎開発田フォルガ◎				
	ファイルの更新日時	2008年6月16日 15:31:36	システム仕様 Ver.	定義アップ Ver.
an an an a set of a set of		2008-06-14 11 55 40 047	300	9
開発用フォルダを変更する	アッフロード日時	2000 00 14 11.33.40.047		

システム仕様 Ver、定義アップ Ver が表示されます。

■デグレード時の操作

誤って、「実行用フォルダ」の編集前のデータを、「開発用フォルダ」の編集後のデータにコピーして しまった場合は、次の手順で操作してください。

- ① 定義編集を終了し、ログイン画面に戻ります。
- ② 再度、プロジェクトを選び、定義編集画面を表示させます。
- ③ [実行用フォルダから定義ファイルをユピーする] ボタンをクリックします。

3.2. プロジェクト定義ファイル

db

プロジェクト情報 の項で説明したプロジェクト情報表示欄には、プロジェクト定義ファイル名が表示さ れていますが、このプロジェクト定義ファイルに dbSheetClient 開発版で編集するプロジェクト定義情 報が格納されます。サーバシステムでプロジェクトを登録すると、デフォルトでプロジェクト定義ファイ ル名は以下のルールに基づいて命名されます。

プロジェクト定義ファイル名→dbS_{プロジェクト識別記号}{プロジェクトID}.dbs

プロジェクト識別記号は、プロジェクトファイル管理フォルダの最下部名です。 例)C:¥dbSheetClient¥Develop¥dev¥sAPL¥の場合、「 sAPL 」になります。

▼注意

プロジェクトファイル管理フォルダの最下部名参照先は、実行用フォルダと開発用フォルダの両方です。 実行用フォルダと開発用フォルダの最下部名は同じにしておく必要があります。

例) プロジェクト ID が 79 の場合、自動作成されたプロジェクト定義ファイル名は

「dbS_sAPL79.dbs 」 になります。

2 dbS-開発メイン操作画面 ユーザ:manuall <9> 【79:サンブルアブリケーション】 #2				
ファイル(E) 編集(E) DB自動作成(A) デバッグ(D) アップロード(U) メンテナ	シス(11) ヘルプ(11)		(C)2007-10	Newcom Co.,Ltd. (5.0.0.0)
①終了 1.定義編集 3.DB自動作	成 4.デバッグ実行	<u>5</u> .リファレンス	6.SQLテスト実行	<u>しデータ保守定義</u>
環境設定 アップロード(F1) Excelアップ(F2) DBアップ(F3)	3)	複製(F5)	デモ取込(F6)	
プロジェクト 情報 組織D 135 プロジェクト 名 79 サンプルアプリケーション プロジェクト 定義ファイル名 dbS sAPL 079 dbs				
マップ 実行用フォルダから ファイルの更新日時 2010年3月31日 15:40:17 ^{システム仕様} 定義アップ Ver. Ver.				
定義77イルをコピーする アゥナロード日時 2010-03-31 15:40:04.530 300 1 メコピーする時には必ず上書き じてもよいか 確認して化をい。 ※実行用の定義ファイルを、開発フォルダにコピーすることができます。				
⋒問発用コ≠ルムの				
(第95日) 1 10 5 (1) 5 (1	2010年3	月31日 15:40:1	システ 7 システ V	ム仕様 定義アップ fer. Ver.
開発用ノオルダを変更9つ アップロード日時	2010-03	-31 15:40:04.5	30 30	00 1
C.¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPL¥				×



dbSheetClient

第4章 定義編集画面の操作方法

本章では、定義編集画面での操作方法について説明します。

- 4.1 定義シートの種類
- 4.2 各定義と実行画面の制御関係
- 4.3 定義編集画面の説明
- 4.4 定義編集のシート切り替え方法
- 4.5 定義シート編集保護解除方法
- 4.6 定義シートの操作ボタン説明
- 4.7 各定義の編集方法
- 4.8 IOTG (アイオーティージー)

4.1. 定義シートの種類

db

プロジェクト定義ファイルには、14 種類の定義シートが含まれており、データベースの制御や Excel の制御など、定義シート毎の役割に応じた定義内容を入力していきます。つまり、パラメータ入力方式に よる Web アプリケーションの開発を行います。

4.1.1. 14 種類の定義シート

▼14 種類の定義シートと役割を、下記表にまとめてあります。

No.	定義シート名	役割
1	データベース定義シート	プロジェクト内で使用するデータベースの接続情報を定義します。
2	DB 運用定義シート	開発版と実行版で使用するデータベースを別々に定義しておくことが
		可能です。
3	ブックファイル定義シート	プロジェクト内で使用する Excel ブックファイルを定義します。
4	ブック運用定義シート	開発版と実行版で使用する Excel ブックファイルを別々に定義してお
		くことが可能です。
5	メニュー定義シート	メニューエリアに表示するメニューを定義します。
6	ボタン定義シート	メニュー毎に実行するタスクを起動するためのボタンを定義します。
7	タスク定義シート	実現するタスク(機能処理)を定義します。定義するタスクは、タス
		クタイプにより決定します。
8	クエリー定義シート	アクセスするデータベースを指定し、と SQL 文等を定義します。
9	展開定義シート	タスク定義やクエリー定義を実行するために必要な、Excel シートの
		セル位置や範囲及び値等を定義します。
10	開始終了定義シート	開始/終了時(プロジェクトのオープン/クローズ、ブックのオープ
		ン/クローズ、メニュークリック時、ボタンクリック時)に起動する
		タスクを定義します。
11	データ保守定義シート	ASP.NET 形式の画面でデータベース用のメンテナンス画面を定義し
		ます。
12	ボタン一覧定義シート	メニュー毎に定義するボタンを複数個まとめるためのグループ名(ボ
		タンセット名)を定義します。
13	タスクー覧定義シート	1つのタスク定義で、複数行の定義ができますが、それらをまとめる
		ためのグループ名(タスク名)を定義します。
14	展開一覧定義シート	1つの展開定義で、複数行の定義ができますが、それらをまとめるた
		めのグループ名(データ展開名)を定義します。

4.2. 各定義と実行画面の制御関係

dby

各定義シートと dbSheetClient 実行画面との制御関係を以下に示します。



4.3. 定義編集画面の説明

dby

開発版メイン操作画面から [1. 定義編集] ボタンをクリックすると、定義編集画面が表示されます。

プロジェクト定義ファイルに、パスワード設定されている場合

正しいパスワードを入力しないと定義編集画面に切り替わりません。



パスワードの入力を間違えた場合のメッセージ



図 4-1 定義編集画面

定義編集画面を、次の四つのエリアに分類して説明します。

- 定義編集ボタンエリア・・・・・・上部
- ツリー表示エリア・・・・・・・ 左部
- 定義編集シートエリア・・・・・・中央部
- 情報表示/SQL編集エリア・・・・下部

4.3.1. 定義編集ボタンエリア

dby

編集作業を行うためのボタンが表示されています。 ボタンとその機能について説明します。

▼上段

ボタン	機能					
1.終了	定義編集を終了し、開発版メイン操作画面に戻ります。					
1.戻る	直前の定義編集に戻ります。					
1.実行	デバッグ実行を起動します。					
<u></u>	全定義情報表示の表示/非表示を切り替えます。全情報非表示 全 では、指					
	定したメニューに関係する情報だけが表示されます。					
2821-	プロジェクトで表示するメニューを定義します。					
	メニュー毎に実行するタスク情報やボタン情報等を関連付けます。					
<u>3</u> ボタン	タスクを起動するためのボタンを定義します。					
4.922	実行する機能や処理を定義します。					
5.0IU-	データベースで実行する SQL 文を定義します。					
6.展開	SQL 文の実行結果を Excel シートに展開する展開位置を定義します。					
	また、コピーやクリアなどの一部のタスクタイプで Excel シート上の位置を指					
	定します。					
7.EXCEL	参照シートの Excel ファイルを別ウインドウで開きます。					
<u>&DB</u>	プロジェクトで使用するデータベースを定義します。					
9.DB運用	開発時と運用時で、使用する DB を別々に定義します。					
<u> <u> </u><u> </u></u>	プロジェクトで使用する Excel ファイルを定義します。					
旦ブック運用	開発時と運用時で、使用する Excel ファイルを別々に定義します。					
C開始終了	プロジェクトの起動・終了時や、Excel ファイルのオープン・クローズ時に、					
	実行する処理を定義します。					
<u>D.ボタン一覧</u>	メニューが選ばれた時に表示するボタンのグループを定義します。					
Eタスクー覧	ボタンなどから呼び出す処理(タスク)を定義します。					
	各々の詳細については、タスク定義で定義します。					
<u>E.展開一覧</u>	SQL 文の実行結果や一部のタクスタイプで、Excel シートへ展開するグループ					
	を定義します。					
フォント 11 ・	定義編集シートの文字の大きさを指定します。					
HELP	ヘルプメニューを表示します。					
	1.オンラインヘルプ 2.パージョン情報					
	3.5/190用メウビージ表示 4.SQLラスト実行 					
	5.丁一列朱丁正義 6.かな漢字変換ON					
	7.かな漢字変換自動制御 8.初期億入力画面表示					

▼	ф	段

db2

ボタン	機能
編集 不可 「 編集	編集状態を表示します。[編集]ボタン ON の時「編集可能」になり、 定義編集エリアでの編集作業が可能になります。
編集 (F11)	編集エリアでの編集を可能にします。
	クリックすると、編集状態が「編集可能」になり、編集エリアの項目名部分が
	灰色表示から黄色表示に変わり、編集可能となります。
保存	編集内容を保存します。
取消	編集中の定義シートの編集内容を破棄して、編集前に戻ります。
祁刀期(直 (F3)	クリックするとdbSheetClientが用意した初期値を定義編集エリアに展開します。
	なお、用意した初期値は定義編集メニューによって異なります。各定義編集メニュ
	ーで解説します。元の定義が〇の時、各定義間のリンクを自動設定します。
選択 (F4) ※1	システムで用意された選択肢や、事前に各定義編集で定義した内容を、一覧表示さ
	せ選択します。
シート名 選択(F4) ※1	Excelファイルのシート名を一覧表示から選択します。
權限レベル 選択(F4) ※1	権限レベル(サーバで登録したグループ番号)を設定します。
定義名 選択(F4) ※1	Excel ファイルに登録した名前定義名を一覧表示から選択します。
運用ブック 選択(F4) ※1	あらかじめ登録した Excel ファイル名を一覧表示から選択します。
検索 (F5)	定義編集エリアに検索したい文字がある時にクリックします。
有効無効	定義した行を実行したくない時、有効/無効 を指定することができます。
	無効になると、行の背景色が緑になり、「定義有効無効フラグ」欄に「無効」が設
	定されます。
ボタン表示	ボタン定義に定義されたボタンが、実行画面で表示された時のイメージを
	ボタンプレビュー画面として表示します。
	ボタンプレビュー画面の左端にある [閉じる] ボタンをクリックすると、ボタンプ
(W-W)	レビュー画面が閉じます。
「査査」	定義シートの内容を、入力順か既定の並び順に、並び替えます。
(2000)	既定の並び順は、定義シートごとにあらかじめ決められています。
7714 3-	定義シートのフィルター機能を ON/OFF に切り替えます。
行	任意の位置に、行を挿入します。
	任意の行を削除します。
(15)	削除の対象になると、行の背景色が赤になります。
チェック	定義シートの内容についてエラーがないかチェックします。
	チェック万式として「完全チェック」と「クイックチェック」を選べます。
	※シートを切り替える時や、保存する時にも自動的にエラーをチェック
	「ツリー表示エリア」と「メニュー・ツリー表示」の表示を切り替えます。
TG	IOTG(アイオーティージー)機能を起動します。

※1:処理によって、表示するボタン名が変更されます。

▼下段	
-----	--

ボタン	機能
縦型 (F12)	選択した行の詳細定義内容を、縦型で表示します。
取消	上記の [縦型] ボタンで、縦型表示状態で定義編集をした時に、編集
	した内容データを取り消します。
選択欄	選択肢があらかじめ用意されている設定項目上にカーソルが位置づけ
	られた時にリスト表示されます。(F4 キー利用)
編集欄	定義編集シートエリアの各フィールドに入力または入力した内容の
	表示を行います。

4.3.2. ツリー表示エリア

dby

定義構成	一覧表示「り	シク無し				
🗉 🖽 X.	_ı -		^			
	トップ(サンプ	ル集・入門編)				
E						
	1)照会					
Ŀ	2)更新/	すべて開く				
.	3)更新!	定義シート 🕨				
.	4)指定]	追加 🕨				
.	5)削除 🗕					
.	6)SQL更新	ŕ				
L	7)トランザク	ション(223)				
	2.データ照	会				
	1)データ照合	余(203)	_			
	🚆 2)検索付データ照会(204)					
	文字・数字	・日時・範囲入力				
.	1)入力画面	ī(202)				
	自動作成					
<u>ا</u> ۲	1)集計表自]動作成(230)【新】				
····· [処理タスク制	別御用タスクタイプ 1995				
	1. メニュート	判係 □/>				
	1)起動モー	ド(301)				
	2)メニュー制	1値(302) アイト・コング 東イト				
	3)終了処地	駅303)【新】				
	■					
	■					
	■					
	■					
	3ノメツセーン オンル・ 一名かつ	衣示(318/ 畑(34ち)【#5】				
	47ルーノ2位3 に)カイマッカ	旺(3137↓村) 1Ⅲ(316)【井(】				
	マノメ1 マ 二火 マノメ1 マ 二火	些宝(310/L和】 宝(二(900)				
±	0/9/2020	天1丁(320)	<u> </u>			

定義情報の階層構造(従属関係)をツリー形式で表示します。

■定義情報が太字で表示されている定義は、複数(2箇所以上)の場所から利用(指定)されている定義情報を意味します。(下記の表示例参照)
定義構成 --1覧表示 リンク無し
□ ⑤ SQL(201.2) 更新カード型
□ 回 更新(読込)カード

CAN GUL 201, 2)更新力-ド型.読込
 回 更新(登録)カード
 回 更新(登録)カード
 回 の SQL(201,2)更新カード型_更新
 □ 2 SQL(201,2)更新カード型_クリア
 回 更新(クリア)カード
 □ SQL(201,2)更新カード型_クリア

 詳細が、定義編集シートエリアに表示されます。
 定義情報を右ボタンでクリックすると、
 メニューが表示されます。
 ①すべて開く
 定義情報から呼び出された全ての情報を表示します。
 +マークは、ーマークになります。
 すべて閉じる(クリックした定義情報)
 が開いている時に表示)
 定義情報から呼び出された全ての情報を 非表示にします。

■定義情報をクリックすると、定義情報の

-マークは、+マークになります。

②定義シート

定義編集シートエリアの表示を切り替え ます。指定した定義情報によって、 詳細メニューの内容が変わります。 ※詳細については、『第2部 4.4 定義編集のシート切り替え方法』 を参照してください。

③追加

呼び出す定義を新規に作成します。 指定した定義情報によって、詳細メ ニューの内容が変わります。(下表参照)

	メニュー定義	前タスク	後タスク	ボタン定義	タスク定義	クエリー定義	展開定義
メニュー定義	0	0	0	0			
ボタン一覧定義				0			
ボタン定義				0			
タスク定義					0		
クエリー定義						0	
展開定義							0

ツリー表示エリアは3つのタブで表示形式を切り替えます。

dby



◆定義構成タブ・・・・メニュー定義 を先頭にして次の定義の順に表示します。

メニュー定義、ボタン一覧定義、ボタン定義、タスク定義、

クエリー定義、展開定義(クエリーと展開は最下行の

チェックボックスにより表示/非表示の切り替えが可能です。)



◆一覧表示タブ・・・・次の一覧について表示します。

DB、DB運用、ブック、ブック運用、開始終了、ボタン一覧、

タスクー覧、クエリー、展開一覧



◆リンク無しタブ・・・どこからも呼ばれていない定義を表示します。



ツリーのアイコンは、それぞれ次の定義を現しています。



■最下行のボタンとチェックボックス

再描・・・・ツリーを再表示します。 ─ タスク配下のクエリーと展開の表示 ・・・タスク配下のクエリーや展開の表示を切り替えます。 クエリー・展開を表示する 例)クエリー・展開を表示しない 定義構成
一覧表示
リンク無し 定義構成
一覧表示
リンク無し 🖥 🐫 1)照会 ^ ■ ↓ 1)照会 ^ 🛓 🛅 SQL(201.1)照会 🖥 🔞 SQL(201.1)照会 ■ 回 SQL取得 ■ ■ SQL(201.1)照会_取得 ■ 回 クリア 🖕 🔲 SQL取得 🛓 🔩 SQL(201.1)照会_取得 間1 SQL(201.1)照会 褟1 展開_SQL(201.1 ■ 2)更新力-ド型 > > < < 再描 2 タスク配下のクエリーと展開の表示 -再描 ☑ タスク配下のクエリーと展開の表示 -←・・・・ッリー表示エリアの幅を最小にします。

→・・・・ツリー表示エリアの幅を元のサイズにします。

4.3.3. メニュー・ツリー表示

dby

Wag ボタンにより、ツリー表示エリアを「メニュー・ツリー表示」に切り替えます。

メニュー定義では、この部分の表示がメニューのプレビュー表示になります。

🥝 dbS-定義編集 🔺メニュー定義★	(135) プロジェクト::	80 DMOF サンブル集(入門編)Ver4 #1	1					Ð
1実行 全 2メニュー 3ポタン	<u>4タスク 5</u> クエリー <u>6</u> 月	展開 Z.EXCEL 8DB 9DB運用 A	ブック 旦ブ	(ック運用) (空間始終了) (豆ボタ	ノー覧 医タスクー覧 医展開	<mark>一覧</mark> フォント	11 💽 E	ELP
不可 (F11) (7s) 40角 (F3)- (F4)	(F5) 無効 表	青 暮え ター 挿入 前餘 チェック 動	i참 TĞ					
選択欄	✓ 編集欄						取清 艀	型 12)
> トップ(サンプル集・入門編)	B C	D	E	F	G	Н	I	^
◎ データベース制御用タスクタイプ	1 表示NO 階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	TASKNO	BSNO 後	÷9
	2 10 1	トップ(サンブル集・入門編)	1	SampleタスクタイプV4.xls	メニュー	0	0	
- 1)照会	3 20 2	テータベース制御用タスクタイフ	0			0	0	
- 2)更新力-ド型	4 100 3	1. SQL(201)	0	0	87 A	0	110	
- 3)更新JJAト型	5 110 4	の軍転も上に利		Sample 9X 794 7V4.XIS	黒云	0	100	
- 4)指定更新	7 130 4	2) 東新日子に至	1	Sample 2X 724 7V4.XIS	東新リフト型	1310	130	
5)削除	8 140 4	3) 反制 (人) 主 4) 指定更新	1	Sample 27 /24/10/4 via	大和リスト王 指定更新	1410	140	
6)501 更新	9 150 4	5)削除	1	Sample 27 /24 vis	削除	0	150	
7)トランザクション(223)	10 160 4	6)SQL更新	1	Sample 92 794 xls	SQL更新	Ő	160	
ロップー内昭全	11 170 4	7)トランザクション(223)	1	Sample タスクタイプV4.xls	トランザクション	1700	170	
1)デーの昭全(203)	12 200 3	2.データ照会	0			0	0	
2))) かったい (200)	13 210 4	1)データ照会(203)	1	Sample タス クタイプV4.xls	データ照会画面	0	210	
立字, 物字, 口時, 範囲 】 1	14 220 4	2)検索付データ照会(204)	1	SampleタスクタイプV4.xls	検索付データ照会	0	220	
■ 大于 数于 日時 範囲八刀 1)1 中画面(202)	15 300 2	文字 数字 日時 範囲人力	0	and the second	1.1.000.000	0	0	
- 17八月画面(2027	16 310 3	1)人刀画面(202)	1	SampleタスクタイフV4.xls	人刀画面	0	310	
日期11503	17 400 2	日朝作成	0		生动主力和作者	0	0	
	18 410 3	17朱訂衣日動TFD以230八新」 加速カラム制約用カラムカイボ	1	Sample XX 7 X1 7V4.XIS	朱訂衣日動TFIX	0	410	
□ 処理タスク制御用タスクタイフ	20 505 2	2014ウスン市町田ウスンライン	0			0	0	
□ 1 . メ_ユー関係	21 510 4	1)記動モード(301)	1	Sample タフ クタイプV4 vie	お勧モード	0	0	
1)起動モード(301)	22 520 4	2)/=制御(302)	1	Sample 27 724 via	メニュー制御	0	520	
- 2)メニュー制御(302)	23 530 4	3)終了処理(303)【新】	1	Sample 97 791 7V4 xis	終了処理	0	530	
- 3)終了処理(303)[新]	24 540 4	4)ハイバー実行制御(304)	1	Sar DileタスクタイプV4.xls	ハイバータスク実行	0	540	~
- 4)ハイパー実行制御(304)		· · · · · · · · ·						>
- 5)スクリーン制御(319)	W = 1788	TRIAL O		<u>(_)</u>				i-
□ 2. タスク制御	表示切容 メニュー B	理審互					ل ∎ کاک	JĽ
- 1)メインボタン・サブボタン(2	情報表示 501編集							
- 2)条件判定分岐(317)	Owning							_
- 3)メッセージ表示(318)								
- 4)ループ処理(315)【新】								
- 5)タイマー処理(316)【新】								
- 6)サブタスク実行(320) 🔽								

4.3.4. 定義編集シートエリア

db

各定義シートの定義内容を編集するエリアです。 Excel と同じような操作性が提供されています。

をクリックすると、横方向に定義している内容を、縦方向に表示します。再度、クリックすると元に戻ります。

	表示NO	階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名
	10	1	トップ(サンブル集・人門編)	1	SampleタスクタイブV4_Plus.xls	メニュー
_	20	2	ノージャース市川町田ジスフジイン	0		
-	100	3	1. SQL(201)	0		DT 4
	110	4		1 1	Sample 92 091 7V4 Plus xls	
-	120	4		i i	Sample 92 991 7V4 Plus xls	更新カート型
-	130	4	3)更新リスト空	1 1	Sample 92 091 7V4_Plus.xls	更新リスト空
-	140	4	4.指定更新	i i	Sample 92 091 7V4 Plus xls	指定更新
-	150	4	5月1味	1 1	Sample 92 091 7V4_Plus.xls	月10万
2	160	4	り/SQL史新 スルーン・ポクシュン(2020)	1	Sample 92 091 7V4 Plus xls	SQL更新
	170	4	7月フノリクション(223)	1	Sample XX 7 X1 7 V4_Plus.xls	トラノリクショノ
	200	3		0		- 5四合王王
-	210	4	1)テータ照会(203) a)t会告付き、b四合(aca)	1	Sample 22 021 2V4 Plus xis	テータ県会画面
	220	4	2) 使采竹了 "外照会(204)	1	Sample XX / X1 / V4_Plus.xis	使業的テータ原会
	300	2	人士, 数十, 日时, 範囲人力	0		1 + 7 7
	310	3	1)入月圓圓(202)		Sample XX 7X4 7V4_Plus.xis	人力画面
	400	2	1) 使計畫自動作式(220) [形]	1	Cample 27 /2 / Diversite	生計事自動作式
	500	0	加増なりた制御田なったなイギ		Sample XX 7 X4 Plus Xis	朱可公日動用加
	505	2	1 ノー	0		
-	510	4	1) 記称エービ(201)	1	Sample 27 /2 / Due vie	お新エービ
	520	4	2) ノーコー(1007)	1	Sample 27 /24 Plus XIS	マーコー生活
	530	4	3)終了 如理(303)【新】	1	Sample 27 /2/ JV4 Plue vie	終了伽理
	540	4	4)ハイパー実行制御(304)	1	Sample 27 /2/ JV4 Plue vie	ハイパータフク実行
	550	4	5)7 クリーン制御(319)	1	Sample 27 /2/ JV4 Plue vie	スクリーン制御
	600	3	2. タスク制御	0	oumpic 227 2 2 1 2 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2022 10100
1	61.0	4	1)メインボタン・サブボタン(310 311)	1	SampleタスクタイプV4 Plus vis	メインボタン・サブボタン
	620	4	2)条件判定分岐(317)	1	Sample 27 22 72 7V4 Plus vis	冬件判定分岐
	630	4	3) 小力一ジ表示(318)	1	Sample タフ クタイプV4 Plue vie	メッセージ表示

▲横方向の編集表示



▲縦方向の編集表示

表示切替

dby

「定義編集シートエリア」と「情報表示/SQL 編集エリア」との分割の仕方を

上下分割か左右分割に切り替えて表示します。



ガイダンスメッセージ

入力セルについて、ガイダンスメッセージを表示します。



画面移動ボタン

▼定義編集シートエリアを移動するためのボタンです。

ボタン	機能	ボタン	機能
<u>«</u>	左端の列に移動します。		最初のデータ行へ移動します。
<	1ページ分、左へスクロール	\bigtriangleup	1 ページ分、スクロールアップ
	します。		します。
>	1ページ分、右へスクロール	\bigtriangledown	1ページ分、スクロールダウン
	します。		します。
\gg	右端の列に移動します。		最後のデータ行へ移動します。

4.3.5. 情報表示/SQL編集エリア

dbs

[情報表示エリア]保存時または入力チェック時にエラーや警告のメッセージを表示します。 エラーメッセージにエラー位置(定義編集のアドレス)を表示します。 そのアドレスをダブルクリックすると、当該アドレスにジャンプします。



[SQL編集エリア] クエリー定義シート編集時のみ、SQL 文の表示および編集ができます。

[クエリー実行] ボタン・・「SQLテスト実行」を、実行します。

[書込] ボタン・・・・・「SQL編集」の内容を、

「定義編集シートエリア:SQL文」のセルに 転記します。



4.4. 定義編集のシート切り替え方法

dby

定義編集のシートを切り替えるには、次の3つの方法があります。

- ツリー表示エリアの定義情報をクリックする。
- ツリー表示エリアの定義情報を右ボタンでクリックする。
- アクティブ表示の定義編集ボタンをクリックする。

4.4.1. ツリー表示エリアの定義情報をクリックする

▼ツリー表示エリアの定義情報をクリックすると、定義情報の詳細が、

	the the space party	- H	(med. 10)					
		ZEXCEL (200) (200	運用](1797)	(8055)運用) (20時	64F7)(<u>0</u> #92-5	€) <mark>(£920-%)</mark> (£188	时一覧	HELP
新 新 新 和 初 精	有効 ポタン 王 人 無効 素示	· 30- 截 巅 3	力 ツー 199 表示	ю та 947 519-	202 入力画面 0	文字 0		
選択欄	編集相						取消	(F12)
メニュー 一覧表示 リンク無し	В	0	D	E	the set of the	G	Н	^
 □ 32.2-2- ○ 32.5.2-2- ○ 43.5.7.2.4.5.1.5.5.5.5	Instant Instant 2 310 3. 310 </td <td>0 ∧ 7 8 2 (2 €</td> <td></td> <td>200</td> <td>92,991,73 入力画面</td> <td>9770947歳日 文子</td> <td>1</td> <td>Sampi</td>	0 ∧ 7 8 2 (2 €		200	92,991,73 入力画面	9770947歳日 文子	1	Sampi

定義編集シートに表示されます。

タスク定義情報 ⇒ タスク定義シート

4.4.2. ツリー表示エリアの定義情報を右ボタンでクリックする

dby

ツリー表示エリアの定義情報を右ボタンでクリックすると、メニューが表示されます。

「定義シート ▼」を選ぶと、定義編集シートエリアの表示を切り替える定義の一覧が 表示されます。

メニュー 一覧表示 リ	ンク無し	
□ は メニュー - は トップ(サン - は データベー	/プル集・入門編) - 1 制御田均1月均7月	
上 ■ 上 2)更新力 ■ 上 3)更新り ■ 上 4)指定更 ■ 上 5)削除	定義シート → 追加 → 「下空 スト型 「新	メニュー定義 ボタン定義 タスク定義 クエリー定義 展開定義

▼指定した定義情報によって、詳細メニューの内容が変わります。

	メニュー定義	ボタン一覧定義	ボタン定義	タスク一覧定義	タスク定義	クエリー定義	展開一覧定義	展開定義
メニュー定義	0		0		0	0		0
ボタン一覧定義		0	0		0			
ボタン定義		0	0		0			
タスク定義				0	0	0		0
クエリー定義						0		0
展開定義							0	0

4.4.3. アクティブ表示の定義編集ボタンをクリックする

アクティブ表示の定義編集ボタンをクリックすると、目的の定義シートが表示されます。 作業中の定義編集ボタンは当該ボタンの外周を赤色表示し、当該ボタンの名称も赤色文字で表示します。

ツリー表示エリアに表示されているメニューをクリックすると、メニューに関連付けられている 定義編集ボタンが有効表示されます。

- 例)メニュー定義シート ⇒ ボタン定義シート
- ① メニューから「1)入力画面(202)」を選択します。

dbS-定義編集 ★メニュー定義★ 〔195〕プロ:	910	180 DMC	of the	ブル集(入門編)Ver4 #1				. 0
Q終7 1実行 全 2メニュー 3ポタン 49スク 5000	9-	5月間 0	EXCE	L <u>208 208週</u> 用 <u>A</u> ブック <u>8</u> ブック	III) ⊆RB	(林下) (日ボタン一覧) (日タスクー)	乾 E展開一覧	HE
書 語 音び 取消 初間値 溜次 体部 直 	动	ポタン 単ペ 表示 開え	7414	款 篇 杂 器 器				
Siens -	·····································	1					取清	段型 (F12
ニュー 一覧表示 リンク無し		B	0.1	D	E.	F	G	
o HII ATA - A	1	表示NO	階層	メニュー名	BKNO	ブック名	シート名	
1	2	10	1	トップ(サンブル集・人門編)	1	SampleタスクタイプV4 xls	×==-	
「豊子」カバーコ 御御田 わっ わりノー	3.	20	2	テータベース制御用タスクタイプ	0			
	4	100	3	1. SQL(201)	0	I have been been been been been		
	0	110	4	1)照会	1	Sample 92 091 7V4 xls	·····································	
里·[#1]開留	0	120	4	2) 更新刀一下型		Sample 92 991 7V4 xis	更新カート型	
⑧ (圖 2)更新力一ド型	1	130	4	3)更新リスト空		Sample 92.994 7V4 xis	更新リスト空	
③ (編3)更新リスト型	0	140	4	9月8正又制 6)金融会		Sample 32 731 7V4 xis	有足大利	
★ 4)指定更新	10	160		6)POI ##	-	Sample 27 00 d V4 vis	SOL TE PF	
⊕ L 5)削除	14	170	4	7)トランザク(202)	1	Sample 27 784 TV4 vie	トランザクション	
主 4 6 SQL更新	10	200	3	つ デーク語会	0	Comple 2X 221 2 V4 Xis		
⊕ 4 7)トランザクション(223)	13	210	4	1)データ開金(203)	1	Sample 27 724 Jul vie	デーク昭全画面	
上間 2. データ開会	14	220	4	2) 補索付元 - 9 昭全(204)	1	Sample 97 29471/4 vis	検索付デーク暗く	\$
★ 上編 1) データ開会(203)	15	300	2	文字· 数字· 日時· 範囲入力	0		Protect of the second	-
⇒ (目 2) 検索付ディータ昭会(204)	16	310	3	1)入力画面(202)	1	Sample タスクタイプV4 xis	入力画面	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	17	400	2	自動作成	0			
	18	410	3	1)集計表自動作成(230)【新】	1	SampleタスクタイプV4 xis	集計表自動作成	
	19	500	2	処理タスク制御用タスクタイプ	0			
- HI ()(F) = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	20	505	3	1.メニュー関係	0			
■ ·圖 1 /樂計 衣目 動TFD/230几 幣】	21	510	4	1)記動モード(301)	1	Sample タスクタイプV4 xis	記物モード	

2 関連付けられた編集定義ボタンが有効になります。

③ [3.ボタン] をクリックするとボタン定義編集になります。

■ dbS-定義編集 ★ボタン定義★ (135) プ	ロジェク	1 : 80 DN	IOF サンプル	康(入門編)Ver4	81			
①戻る 1実行 室 2メニュー 3ポタン 4タスク いう		を感謝	ZEXCEL	(1928) (808 2 81)		ック運用] (2開始終7) (2ポタン一覧) (1923-	·致)[[應明一覧	HELF
新聞のでは、「「「「「」」」では、「「「」」」では、「「」」では、「「」」では、「」」」では、「」」では、「」」では、「」」」では、「」」では、「」」では、「」」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」、「」」」では、「」」」では、「」」、」」」	有効無効	教 派	76% 9-	入廠 热[ツー 10 表示 13			87V
AKTIVIN	CRACK!						4	(F12)
メニュー 一覧表示 リンク無し		A	В	0	D	E	A	~
	1	BSNO	ボタンNO	ポタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限レベル	定義有效
2日にもの一(仕つゴに集・入門(編)	2	310	1	人力(文字)	3100	人力画面(202)文字	0	
と思え、しか、コース制御田なったしくづ	3	310	2	人力(文子-範囲)	3110	人力画面(202)人力画面(文字=範囲)		
「 一 一 一 一 、 一 八 一 八 一 八 一 八 一 八 一 八 一 八 一 八 一 ノ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ	4	310	3	人力(数値)	3120	人力画面(202)人力(数値)	0	
- HILL VIEW	0	310	4	入川,数子=範囲)	3130	人力画面(202)人力画面(数子=範囲)	0	
	0	310	0	1. 力(日付)	3140	1 カ東南(202) 1 カ(日付)	0	
	6	310	0	入力(時間)	2160	入力回回(202)入力(日内-範囲) 入力)面面(202)入力(時間)	0	
■ 4番3)更新リスト室	0	310	9	入力(時間-範囲)	3170	入力画面(202)入力(時間-範囲)	0	
田 (編 4)指定更新	10	310	11	入力(日時・日付)	3180	入力画面(202)入力日付	0	
■ 4 5) 育印余	11	310	12	入力(日時・個別)	3190	入力画面(202)入力日付個別	0	
□ 4 = 6)SQL更新	12	310	13	入力(日時·時間)	3200	入力画面(202)入力時間	0	
金 4曜 7)トランザクション(223)	13	310	14	入力(日時·時分)	3210	入力画面(202)入力時間個別	0	
上冊 2. データ照会	14				200			
④ 4 1)データ照会(203)	15							
■ 4 2) 検索付ディータ照会(204)	10							
山田文字· 数字· 日時· 範囲入力	17							
+ 411)入力画面(202)	18				1.000			
出自動作成	19							
	1120							

④ さらに入力画面シートに移ると、入力画面シートから定義可能な編集ボタンが有効表示になります。

※ 関連付けられた定義編集ボタンをクリックして編集シートを切り替えた時、[O.終了] ボタンが
 [O.戻る] ボタンに切り替ります。各シートの編集を終了する時は[O.戻る] ボタンで終了します。

4.5. 定義シート編集保護解除方法

dbs

▼定義編集シートを切り替えた直後には、編集保護の状態になっています。

😂 dbS-定義編集 ★メニュー定義★ 〔135〕プロジェク	:80 DMOF サンプル集(入門編) Ver4 #1	
1. 20終了 1実行 全 2メニュー 3ボタン 4タスク 5クエリー	②原間 】 【王XCEL 】 ②DB ③DB運用 【Aブック】 医ブック運用 ②開始終了 ◎カッノ覧 Eタスクー覧 (E原間一覧) 💂 世	LP
編集 編集 保存 取消 初期値 選択 検索 有効 (F11) (s) 取消 (F3) (F4) (F5) 無効	#22 単次 オイル 行 行 入力 ツニ 10 表示 智文 オー 挿入 料除 チェック 美示 100	
選択欄 ~ 編集	M 取消 (税型 取消 (税型	5
メニュー 一覧表示 リンク無し	B C D E F G	^
	表示NO 階層 メニュー名 BKNO フック名 シート名	
	10 1 トッパワノフル集: 人口編) 1 Sample ダスクダイフV4 xis メニュー 20 2 データベーフ 創御田々フクタイプ	
ス制御用タスクタイプ	100 31. SQL(201) 0	

■解除の方法

「「」をクリックすると、定義編集できるようになります。

「「「「」」」」であり、編集シートの設定項目行が灰色表示から黄色表示に切り替わります。

G dbS-定義編集 ★メニュー定義★ 〔10	5) プロジェクト:80 DMOF サンプル集(入門編) Ver4 #1						
1 287 1実行 全 2メニュー 3ボタン 4.9ス	2 [5カエリー] (2月開) 2日日辺日 2月日辺日 2月ウック 日ブック辺田 2月時始終了 日本ケッー 第 日本ケッー 第 日本ワック 日本日本ワーク 日本ワック 日本日本ワーク 日本日本日本ワック 日本日本日本マーク 日本ワーク 日本日本日本ワーク 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	HELP					
編集 編集 保存 取消 初期値 選択 可能 (F11) (s) 取消 (F3) (F4)	2015 (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (1						
選択欄							
メニュー 一覧表示 リンク無し		^					
	1 表示NO 財産 メニュー名 BKNO ブック名 シート名	5					
□ *## クーム 	 10 1 トップ(サンプル集・入門編) 1 Sample タスクタイプ V4 xls メニュー 						
	3 20 2 データベース制御用タスクタイブ 0						
- 「猫」テータベース制御用タスクタイプ	4 100 31, SQ (201) 0						

■保護の方法

(#1)をクリックすると、定義編集できないようになります。

dbSheetClient

4.6. 定義シートの操作ボタン説明

dbs

編集作業では、定義シートのセルに、必要な情報を設定します。 必要な情報を簡単に設定するためには、ボタンを使用します。

ボタンの使い方について、次項より説明します。

4.6.1. 終了ボタン ①終了

定義編集を終了し、開発版メイン操作画面に戻ります。

定義内容に変更がある場合は、確認のダイアログが表示されます。

dbS-処理選択		
(?) 定義シー	を保存しますか?	
保存	廃棄	戻る

[保存]・・・変更内容を保存します。定義編集を終了し、開発版メイン操作画面が表示されます。

[廃棄]・・・変更内容を破棄します。定義編集を終了し、開発版メイン操作画面が表示されます。

[戻る]・・・定義編集画面に戻ります。

4.6.2. 選択/参照ボタン 選択 権限レベル シート名 定義名 (F4) 選択(F4) 選択(F4) 選択(F4)

> 設定項目には、あらかじめ選択肢が用意されています。その時は、選択/参照ボタンがアクティブに なります。ファンクションキー [F4] に、割り当てられています。(以降 F4 ボタンと略します)

F4 ボタンには選択/参照に分類され、「選択」「権限レベル」「シート名参照」「定義名参照」となります。 dbSheetClient があらかじめ用意した内容では、「選択」が表示されます。 Excel ファイルに、任意で設定した名称(シート名、名前)などの内容では、「参照」が表示されます。

以下に、例を示します。

◆ 選択

dby

マスクタイプW 選択 (F4) 設定項目 [タスクタイプ NO] にカーソルを位置づけると、 が表示されます。 G dbS-定義編集 ★タスク定義★ ①終了 1実行 全 2メニュー 3ボタン 4タスク 5クエリー 6展開 ZEXCEL 8DB 906選手 一覧 医タスクー覧 医原間一覧 HELP **選択欄 0202: 入力画面** 取消 燈型 編集欄 メニュー 一覧表示 リング無し 選択ダイアログ オルダ削除 1 TASKNO <u>タスク名</u> 処理順NO タスクタイプAO タスクタイプ名 タスクタイプ属性 BKNO 2 3100 入力画面(202)文字 1 <u>2020</u> 入力画面 文字 1 Sampl 1341 1342 1401 0402 0403 0404 0405 0406 0407 0405 a 🛱 -== ス____ --└==トップ(サンプル集・入門編) --└== データペース制御用タスクタイプ ブル >トテ シート切替 保存 一括入出力 印刷 ブック制御 F4 ボタンをクリックすると、dbSheetClient が用意した ク制御トコビ タスクタイプ NO の一覧を表示します。 一覧から項目を選択します。 ОК **キャンセル**

◆ 参照


4.6.3. 入力チェックボタン チェック

定義編集した内容について、エラーをチェックするボタンです。 dbSheetClient は、保存する時、もしくは別シートへの切り替え時等、自動的にエラーチェックを 実行します。

その他に、ユーザが任意のタイミングでエラーチェックを行うことができます。

[入力チェック] ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

dbS-処理選択	
? チェック方法を選択してくだ	ະເພ.
クイックチェック 完全チェック	戻る
[クイックチェック]・	
[完全チェック]・・	 ・・全体についてチェックします。
[戻る]・・・・・	•••定義編集画面に戻ります。

エラーがない場合は、次のメッセージを表示します。 「エラーは見つかりませんでした。」

エラーがある場合は、次のメッセージを表示します。 「エラーがあります。詳細は情報表示を参照して下さい。」

エラーメッセージに、エラー位置(定義編集のアド レス)を表示します。そのアドレスをダブルクリッ クすると、エラー位置にジャンプします。 dbSheetClient (確認)
 X
 Iラーは見つかりませんでした。
 OK



dbSheetClient

情報表示	SQL	扁集			
エラー:項	[目名:	階層	アドレス = E6	階層が不正です。:0	

エラー箇所の修正を行い、再度、【入力チェック】ボタンをクリックしてください。

dbSheetClient

4.6.4. 全ボタン 😫 / 🖻

dbs

◆ 全ボタン OFF (灰色表示)

ツリー表示エリアで選んだ定義情報に関連付けされている内容だけを表示します。

定義編集画面に切り替わった時のデフォルトは、全ボタンは OFF (灰色表示)の状態になります。

🞯 dbS-定義編集 ★タスク定義★ 〔135〕 グ	プロジェクト:80 DMOF サンプル集(入門編)Ver4 #1
	クエリー <u> しの</u> 展開 7.EXCEL 8.DB 9.08運用 Aブック Bブック 3
編集 不可 (F11) (S) 取消 初期値 (F3) (F4) (F5)	有効 ボジ 並べ フィル 行 行 入力 ツリー 10 無効 表示 替え ター 挿入 削除 チェック 表示 TG
選択欄	編集欄
メニュー - 智表示 リンク無し 日 転 メニュー ビ語 メニュー ビ語 メニュー ビ語 パニュー ビ語 パーク (サンブル集・入門)編) ビ語 データベース制御用タスクタイプ ビ語 1)照会 じき 2)更新カード型 ビ語 3)更新リスト型 じ語 3)更新リスト型 じ語 3)更新リスト型 じ語 5)削除 じ語 7)トランザクション(223) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) じき 7) (1) 1) (日 C D 1 TASKNO 夕スク名 処理願NO 夕スク 2 3100 入力画面(202) 文字 1 3 - - - 4 - - - 5 - - - 6 - - - 7 - - - 8 - - - 9 - - - 10 - - - 11 - - - 12 - - - 13 - - - 16 - - - 17 - - - 18 - - - 20 - - - 21 - - - 22 - - -

◆ 全ボタン ON (黄色表示)

定義編集ボタンで選択されている定義(下記画面の場合タスク定義)のすべての定義情報の 内容を表示します。

🚱 dbS-定義編集 ★タスク定義★ 〔135〕プロ	ロジェクト:80 DMOF サンプル集(入門編)Ver4 #1
	D <mark>IJ-</mark> <u> 夏展開</u> Z.EXCEL 8DB 8DB運用 Aブック 医ブックス
編集 不可 (F11) (S) 取消 (F3) (F3) (F4) (F4) (F5)	有効 ボタン 並べ フィル 行 行 入力 ツリー 10 無効 表示 替え ター 挿入 削除 チェック 表示 TG
選択欄 ~	編集欄
メニュー 一覧表示 リンク無し	BC
	TASKNO タスク名 知
	39 1720トランザクション(223)更新
「「「「」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	40 1730トランザクション(223) <u>エラーメッセージ</u>
	<u>41 1740トランサクション(223)_クリア</u>
1. SQL(201)	42 1740 F 7 7 7 9 9 3 7 9 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7
	43 1740トランサクション(223)_クリア 44 04 00 デーク照合(200) 45
■ [2] 更新力 「 型	44 2100 データ照会(203)一括
■ 5) 更新リスト型	45 2110 データ照会(203)列 個別
■ 📲 4)指定更新	47 2130 データ昭全(203)内口マ
■ 📲 5)削除	48 2130 データ昭全(203)クリア
由上 6)SQL更新	49 2140 データ昭会(203)一括
🔒 🖬 7)トランザクション(223) 📃	50 2200 検索付照会(204)
2. データ照会	51 2210 検索付クリア(204)
□ 上 1)データ照会(203)	52 3100 入力画面(202)_文字
■上 2)検索付データ照会(204)	53 3110 入力画面(202) 入力画面(文字-範囲)
上: 文字· 数字· 日時· 範囲入力	54 3120 入力画面(202)_入力(数値)
□ 上 1)入力画面(202)	55 3130 入力画面(202) 入力画面(数字-範囲)
▲ G 入力画面(202)	56 3140 人力画面(202) 人力(日付)
	57 3150 人力画面(202)_人力(日付-範囲)
□ □ / (,), (, 1 /) □ ↓ 力面面(202) 文字	58 3160 人力画面(202) 人力(時間)
	59 3170 人力画面(202) 人力(時間-範囲)

4.6.5. Excel ZEXCEL

dby

メニュー定義、タスク定義、クエリー定義、展開定義等で、処理対象としている Excel ファイルを 別ウインドウで表示します。

※Excel ファイルを閉じる時は、別ウインドウの Excel から閉じてください。

4.6.6. フォント フォント 11

定義編集シートの文字の大きさを指定します。 8ポイントから、24ポイントまで変更できます。



▲8ポイントの場合

	==			E A	
1	衣示NU	陌厝	メーユー名	BKN	
2	10	1	トップ(サンプル集・入門編)		
з	20	2	データベース制御用タスクタイ	プ	
4	100	3	1. SQL(201)		
5	110	4	1)照会		
6	120	4	2)更新カード型		
7	130	4	3) 更新リスト型		
8	140	4	4)指定更新		
9	150	4	5)削除		
10	160	4	6)SQL更新		
11	170	4	7)トランザクション(223)		
12	200	3	2. データ照会		
13	210	4	1)データ照会(203)	~	
表示	表示切替 ブック運用定義のBKNOを選択もしくは入力。				

▲24ポイントの場合

dbSheetClient

4.6.7. ヘルプメニュー

db

定義編集画面の右上の [HELP] ボタンをクリックすると、ヘルプメニューが表示されます。



HELP.

◆ 1.オンラインヘルプ

オンラインヘルプを表示します。

弊社サーバに随時最新の技術情報をアップしています。本書と合わせて参考にしてください。 特にオンラインヘルプには本書の重要事項の抜粋として、各画面の操作方法や、定義シート別の 設定項目、タスク定義で必要となるタスクタイプの一覧と設定項目についての記載などがあります。



▲オンラインヘルプのメイン画面

◆ 3.デバッグ用メッセージ表示

dby

デバッグ用メッセージ画面が表示されます。

🥵 dbS-デバッグ用メッセージ	
エラー & 正常終了情報(デバック)メモ帳で際(エラーログ) 成功	ログ 処理時間ログ 日一タスク内のエラー表示を 閉じる 閉じる
【エラー情報】 (エラー情報) (全エラーのクリア) (直近1件分を表示) (直近/全エラー)	【正常終7タスク情報】 SQLテスト実行 全正常分のクリア 直近1件分を表示 直近/全正常
《73/2008/06/06 10:14:35>★開発処理★ 【エラー】 △ TaskNo:10 /TaskName: /TaskType:0 /Order:0 /SheetName: /QNo:0 /OName: テーガル名SOL TEST のデータ取得時にエラーが発生しました。 オブジェクト名 '住所録 が無効です。 dSheetClientOevelop for Exce2003 Ver.3.0.0.0 (Excel) >SOL文 >> SELECT * FROM 住所録 WHERE 住所録_in.ユーザID = newcemil	(6) <2008/06/06 10:15:23)★間発処理★ 【成功処理】 TaskNoisO /TaskName:メラロージ表示の /Order :1 /SheetName:Sheet1 /QNo:0 /QName:

詳細は、『4.2.2 タスク実行時のエラー画面』を参照してください。

◆ 4.SQLテスト実行

SQL テスト実行画面が表示されます。

🞯 dbS-SQLテスト実行	
SQLテスト実行	エイリアス(DB)を選択してください => マ 初期化 終7
① FROM句 @ SELECT台	ା ଓ JOIN ବା 🖗 WHERE ବା 🕲 GROUP BY ବା 🕲 ORDER BY ବା
	デーブルをの編集: ↓ 変更
SQL文の自動生成	✓ 全項目のとき * で置き換える。 ※上記設定に応じたSQLを自動生成します。また、自動生成されたSQL文は手動で変更することもできます。「デバッグMSG クリア
SQLのテスト実行	※上記のSQL文をテスト実行します。 検索結果: 件 □ビューAutoサイズ

詳細は、『『第2部 6.2 SQLテスト実行』を参照してください。

◆ 5.データ保守定義

dby

データ保守定義画面が表示されます。

₩ デニタ床寸足索	
<mark>データ保守定義</mark> エイリアス(DB)の選択 ⇒	初期化 終了
A.編集設定 B.詳細設定	
新規登録 (テーブル一覧)	6歳択テーブル]
表示順 管理No 管理名称 対象テーブル 備考 更新日	
	次へ=
	Ĥ
a a a a a a a a a a a a a a a a a a a	
SQL生成 ※上記設定に応じたSQLを自動生成します。また、自動生成されたSQL文は手動で変更することもできます。	<u> </u>
	2
	<u>×</u>

詳細は、『8.2 データ保守定義の登録』を参照してください。

♦ 6.かな漢字変換ON

かな漢字変換をONにします。

◆ 7.かな漢字変換自動制御

かな漢字変換のON/OFFの切り替えを、自動(ON)または手動(OFF)に設定します。 「手動切替」の時、セルに文字を入力している途中で、手動でかな漢字変換のON/OFFを切り 替えても、次のセルでは、前のセルの初めの状態(かな漢字変換のON/OFF)と同じになります。

◆ 8.初期値入力画面表示

ONの時、タスク定義画面や展開定義画面で、 アフリックすると、管理番号と名称を

指定するダイアログを表示します。



dbSheetClient

◆ 9.タスク定義の固定位置変更

dby

タスク定義の画面の区切り位置を変更することができます。

タスク定義の固定位置
タスク定義の画面の区切り位置を 変更することができます。
○D列:処理順NO(既定)
⊙ E列:タスクタイプNO
○ F列:タスクタイプ名
※タスク定義に入る前に 変更する必要があります。
ОК ++>21

D列:処理順NO(規定)

E 列:タスクタイプ NO

F列:タスクタイプ名

上記の中で設定ができます。

※ タスク定義に入る前に変更する必要があります。

4.7. 各定義の編集方法

(dbs)

各定義の編集方法について説明します。

各定義の設定項目と内容については、オンラインヘルプに記載していますので、本書と合わせて 参考にしてください。

	データベース定義・・・・・・	<u>8</u> .DB
	DB 運用定義・・・・・・・・	9.DB運用
	ブックファイル定義・・・・・	<u>A</u> .ブック
•	ブック運用定義 ・・・・・・	<u>B.ブック運用</u>
	メニュー定義・・・・・・・	<u>2</u> 4 <u>1</u> -
	ボタン定義・・・・・・・・	<u>3</u> ボタン
	タスク定義・・・・・・・・・	<u>4</u> タスク
•	クエリー定義・・・・・・・・	5.0IU-
	展開定義・・・・・・・・・・	<u>6</u> 展開
	開始終了定義・・・・・・・・	<u>C</u> 開始終了
	ボタンー覧定義・・・・・・	旦ボタン一覧
	タスクー覧定義・・・・・・	Eタスクー覧
	展開一覧定義・・・・・・・・	E.展開一覧

4.7.1. データベース定義

プロジェクトで利用するデータベースの接続情報を定義します。

・データベース情報を取得します。

データベース情報とは、サーバ版のデータベース登録で設定された情報を指します。

・定義されたデータベース情報を、クエリー定義で参照します。

◆ サーバシステムでの事前登録のあるエイリアスを設定する場合

[データベース] - [編集(F11)] - [エイリアス名] - [エイリアス参照(F4)]

データベース定義の編集に入ると初期値でカーソルが設定項目:エイリアス名に位置しています。 同時に が有効になっています。ここで、エイリアス名を指定します。

※サーバシステムで事前の登録が必要です。詳細は『サーバ版操作マニュアル』を参照してください。

◆ サーバシステムでの事前登録がないエイリアスを設定する場合 [データベース] - [編集(F11)] - 各設定項目の個別入力

※データベース接続にはパスワードの設定が必要な場合があります。 パスワードを設定した場合は、忘れないように管理してください。

	A	В	C	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	DBMS		*	SQLSV
3	エイリアス名		ж	SampleDB
4	場所		ж	Local
5	サーバ名		ж	^SYS_PcName^¥SQLEXPRESS
6	認証区分			
7	データベース名		ж	SampleDB
8	DBMSバージョン			SQLSV2005
9	接続文字			
10	スキーマ			
11	ポート 番号			0
12	ユーザID			
13	バスワード			
14	コメント 欄			

▲データベース定義画面(縦型表示画面)

db 2

項目名	内容				
DBNO	データベース接続情報を管理する番号です。				
DBMS	DBMS(データベ	(ース管理システム)の種類を設定します。			
選択 (F4)	選択肢	DBMS			
	SQLSV	SQLサーバ			
	ORACLESV	ORACLEサーバ			
	DB2SV	DB2サーバ			
	i DB2SV	DB2サーバ(i シリーズ)			
	SYBASESV	SYBASEサーバ			
	SALESFORC	CESV SALESFORCESVサーバ			
エイリアス名	データベースを参照	祭する時に分かりやすいように、名前を設定します			
エイリアス 選択(F4)	選択(F4)ボタンをク	フリックすると、サーバ版で登録したデータベース			
	続情報が表示されま	ます。また、選択時にすべてのデータベース接続情報			
	を取得します。				
	※オフライン時は、	選択(F4)ボタンは無効になりますので注意して			
	ください。				
場所	利用するデータベー	-スサーバを設定します。			
選択 (F4)	選択肢	意味			
	dbSServer	dbSheetClient サーバ版の管理下のデータベ			
		ースサーバ			
	Local	開発するPCまたはローカルLAN上のデータ			
		ベースサーバ			
サーバ名	利用するデータベー	-スサーバを設定します。 ※			
認証区分	データベースの認証	E方式を設定します。			
違択 (F4)	(FDBMS=SQLSV	/」のみ有効)			
	選択肢	意味			
	Windows 認証	Windows のユーザアカウントで			
		SQLServer に認証します。			
	SQL 認証	SQL Server 固有のユーザアカウント			
		で認証します。			
データベース名	利用するデータベー	川用するデータベースを設定します。			
	DBMS	データベース名			
	MSSQL	データベース名			
	ORACLE	TNSサービス名			
	DB2	ODBC名のシステムDSN			
	SYBASE	データベース名			
	salesforce_se	erver ODBC名のシステムDSN			

d

dbSheetClient

【前ページより続く】

項目名			内容	3	
DBMSバージョン	利用	するデータベースを設定	します。		
選択 (F4)		選択肢		DBMS	
		SQLSV2008	SQL Se	erver 2008	
		SQLSV2005	SQL Server 2005		
		SQLSV2000	SQL Server 2000		
		ORACLE11g	Oracle 11g		
		ORACLE10g	Oracle 10g		
		ORACLE9i Oracle 9i			
		DB2 Win9.5	DB2 9.	5 for Windows	
		DB2 iSeries6.1	DB2 6.	1 for iSeries	
		DB2 iSeries5.4	DB2 5.	4 for iSeries	
		DB2 iSeries5.3	DB2 5.	3 for iSeries	
		DB2 iSeries5.2	DB2 5.	2 for iSeries	
		DB2 iSeries5.1	DB2 5.	1 for iSeries	
		Sybase Ase 15.0.3	Sybase	Ase 15.0.3	
		Sybase Ase 15.0.2	Sybase Ase 15.0.2		
		Sybase Ase 15.0.1	Sybase Ase 15.0.1		
		Sybase Ase 12.5.3	Sybase Ase 12.5.3		
		Open Access For ODBC 1.5	Open A	Access For ODBC 1.5	
接続文字	サー	-バに接続するための接続	名を設定	します。	
スキーマ	スキ	ーマが必要な時に設定し	ます。		
ポート番号	ポー	- ト番号が必要な時に設定	します。		
ユーザID	-ב	-ザIDが必要な時に設定	します。		
パスワード	パフ	スワードが必要な時に設	定しま	© dbSheetClient (パスワード設定)	
パスワード スナJ(F4)	す。	入力(F4)をクリックする	と、パ	それないのでは、「「「「「」」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「	
	スワ	ワード設定ダイアログが表	示され	※パスワードは暗号化されてセットされます。 接続なイムアウト 時間・	
	ます	Ē.		12 (ホル・イムノ クロ・14時): * 接続タイムのつい時間を入力して(だない。 指定した時間を越えると、テータベースとの接続が切断されます。 OK キャンセル	
		【パスワード設定】			
		入力項目		内容	
		パスワード	入力され	ったパスワードは暗号化されま	
			スカビ11/Cハスワードは喧ちしされます。		
		接続タイムアウト	データイ	ベースとの接続タイムアウト時	
		時間	間を変更する場合は、その時間を秒単位		
			で指定します。 ※MSSQLのみ可能		
コメント欄					

db

※ローカルの「SQL Server 2005 Express」に Windows 認証で接続する場合には、 DB サーバ名は、通常デフォルトでは、次のように指定します。

{コンピュータ名} ¥SQLEXPRESS

ただし、コンピュータ名はユーザごとに変わるため、「dbS_パラメータ」シートの 「^SYS_PcName[^]」を利用して、以下のように設定します。

^SYS_PcName^¥SQLEXPRESS

このように設定にすると、実行する時に、自動的に ^SYS_PcName[^] を、 {コンピュータ名} に変換します。

「dbS_パラメータ」シートの詳細は、『第1部 1.3.3 パラメータシート』を 参照してください。

・DBMS(データベース管理システム)の種類 SALESFORCESV サーバは、オプションになります。

4.7.2. DB運用定義 ^{9DB運用}

dby

プロジェクトで利用するデータベースの切り分けを定義します。

		A	B	C	D	E
1	1	DBNO	開発デバックDBNO	開発仮本番DBNO	実行本番DBNO	コメント 欄
Į	2	1	1	1	1	1

▲DB運用定義画面

項目名	内容
DBNO	データベース運用定義を管理する番号です。
開発デバックDBNO	開発版の「開発編集及びデバッグ実行」の時に利用するデータベースを
DB 	指定します。
開発仮本番DBNO	開発版の実行ボタンから実行する時に利用するデータベースを指定し
DB 	ます。
実行本番DBNO	実行版の実行ボタンから実行する時に利用するデータベースを指定し
DB 	ます。
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角512文字)

クエリー定義、運用 DB 定義、データベース定義が下図のように定義されている時の関連を矢印で示しています。

クエリー定義の「DBNO」が「100」番で、環境が「開発デバッグ」の時には、データベース定義の 「3」を利用します。また、環境が「実行本番」の時には、データベース定義の「1」を利用します。



4.7.3. ブックファイル定義 (ユブック)

db

プロジェクトで利用する Excel ブックを定義します。

- ・Excel ブック名や、Excel ブックの存在するアドレス(リンク先)を設定します。
- ・各定義シートで、ブック名、BKNO、シート名などを参照します。

	A	В	C	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	ブック名		*	SampleタスクタイプV4.xls
3	ブック保護有無			
4	ブック読込解除PW			
5	ブック書込解除PW			
6	ホスト指定			
7	リンク先			C:¥dbSheetClient¥Sample
8	コメント 欄			

▲ブックファイル定義画面(縦型表示画面)

項目名		内容					
BKNO	利用するブックファイルを管理する番号です。自動で採番されます。						
ブック名	利用するブックの	利用するブックのファイル名です。					
EXCEL 選択(F4)	選択(F4)をクリッ	選択(F4)をクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。					
ブック保護有無 ^{選択} (4)	保護されているブックファイルを利用するためのパスワードを設定します。						
ブック読取解除PW	読取を解除するパスワードを設定します。						
ブック書込解除PW	書込を解除するパスワードを設定します。						
ホスト指定	リンク先(ブックファイルが存在するフォルダのホストのタイプを設定しま						
選択 (F4)	す。						
	選択肢	意味					
	ネットワーク	ローカル PC や公開されたサーバのフォルダパスの指					
		定を表します。(規定値)					
	URL ローカル PC より Web 形式でサーバのフォルダパス						
	の指定を表します。						
	DBSサーバ	サーバ版が読み取り可能なサーバのローカルや公開さ					
		れたサーバのフォルダパスの指定を表します。					

項目名	内 容						
リンク先	ブックファイルが存在する場所を設定します。						
	リンク先	意味					
	ネットワーク	ローカル PC から参照するブックファイルのフォルダ					
		パス名を指定します。					
		例)"c:¥TEMP¥"、"¥¥server1¥temp¥"					
	URL	Web 形式のフォルダパス名を指定します。					
		例)"http://server2/a001/"					
	DBSサーバ	サーバ版が参照するブックファイルのフォルダパス名					
		を指定します。					
		例)"C:¥dbSClient¥dbSClient¥Project¥sAPPL¥"					
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角 512 文字)						

【前ページより続く】

dby

※Excel ブックへの「dbS_パラメータ」シートの自動挿入について

dbSheetClient では、データベースからデータを取得する SQL 文に Excel シート

(「dbS_パラメータ」シート)上にある文字列や数値をパラメータとして利用できます。

この「dbS_パラメータ」シートがないブックファイルを選択した時は、自動的に

シートが挿入されます。

「dbS_パラメータ」シートの詳細は、『第1部 1.3.3 パラメータシート』を参照してください。

4.7.4. ブック運用定義 ほブック運用

dby

プロジェクトで利用する Excel ブックファイルの切り分けを定義します。



▲ブック運用定義画面

項目名	内容
BKNO	データベース運用定義を管理する番号です。
開発デバックBKNO	開発版の「開発編集及びデバッグ実行」の時に利用する Excel ブックを
EXCEL 選択(F4)	指定します。
開発仮本番BKNO	開発版の実行ボタンから実行する時に利用する Excel ブックを指定し
EXCEL 選択(F4)	ます。
実行本番BKNO	実行版の実行ボタンから実行する時に利用する Excel ブックを指定し
EXCEL 選択(F4)	ます。
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角512文字)

メニュー定義、運用ブック定義、ブックファイル定義が下図のように定義されている時の関連を矢印で 示しています。

メニュー定義の「BKNO」が「100」番で、環境が「開発デバッグ」の時には、ブックファイル定義の「3」を利用します。また、環境が「実行本番」の時には、ブックファイル定義の「1」を利用します。



dbSheetClient

4.7.5. メニュー定義 2メニュー

dbS

プロジェクトで表示するメニューを定義します。

・メニュー毎に実行するタスクやボタンを関連付けます。

※このメニュー定義を起点として、関連の定義を開発していきます。

	A	B	C	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	表示NO		*	10
3	階層		ж	1
4	メニュー名		*	トップ(サンブル集・入門編)
5	BKNO			1
6	ブック名			SampleタスクタイプV4.xls
7	シート名			メニュー
8	TASKNO			0
9	BSNO			0
10	後処理TASKNO	_		0
11	ノードを開く			ALL
12	権限レベル			0
13	定義有効無効フラグ			
14	リンク先			C:¥dbSheetClient¥Sample
15	コメント 欄	-		

▲メニュー定義画面(縦型表示画面)

◆ ツリー表示エリアの操作

「ツリー表示エリア」のメニュー項目をクリックすると、定義編集エリアの該当する行にカーソルが位 置づけられます。また、定義編集エリアの行をカーソルでクリックすると、「ツリー表示エリア」の該当 するメニューの位置にカーソルが位置づけられ、薄いグレーの背景色になります。

🥸 dbS-定義編集	★メニュー定義★	(135) プ	ロジェク	86 DMO	F サンプル	集(入門編)Ver4(更新	59) # 1		
0終了 1実行	<u>≩ 2⊀⊥1− 3</u> 7	ポタン 4タスク 5:	-עבל	6展開 2	EXCEL	<u>8.DB 9.C</u>	DB運用) (<u>A</u> ブッ	り 目ブック運用		終了」「ロボタン一覧」
編集 不可(F11) (rs)	取消 初期值 (F3)	選択 (F4) 検索 (F5)	有効無効	ボタン 表示 替え	フィル ター 挿	疗 行 削除	入力 ツリー チェック 表示	IO TG		
選択欄			編集相	M						
メニュー 一覧表示 !	ルク無し			В	0		D		E	F
□ !		~		表示NO	階層	*****	メニュー名		BKNO	ブック
 	シブル集・入門編)		2	10	1 1	フリアンフル	レ果・人口編)		1	Sampleタスクタイ
データベース制御田タスクタイプ			3	20	2 7 9		前御用ダスク	217	0	
	(201)	12	4	110	3 1 - 3	5QL(201) 같소			0	Permete b7 hb/
	-\2017		0	110	4 1 //	<u>8</u>				Sample XX 7X1

▲「1. SQL (201)」に位置付けた例

db 2

項目名	内容
表示NO	メニューは定義された表示 No 順(昇順)に並びます。
	自由に設定できます。飛び番号でも設定できます。
階層	ツリー構造で表示するための情報を設定します。
	必ず1から始まり2・3・4…の順番に、10階層まで設定が可能です。
	2・4・7 と飛び番号での設定はできません。
メニュー名	表示するメニューの名前を設定します。
	自由に設定できます。
BKNO	ブック運用定義の「BKNO」を設定します。
運用ブック 選択(F4)	「O」(ゼロ)を設定すると、「リンク先」の定義を実行します。
	選択(F4)をクリックすると、運用ブック定義の運用ブック一覧を
	表示します。
ブック名	「BKNO」を設定すると、「ブック名」には、ブック定義の「ブック名」
運用ブック 選択(F4)	が表示されます。
	選択(F4)をクリックすると、運用ブック定義の運用ブック一覧を
	表示します。
シート名	メニューがクリックされた時、表示するシート名を設定します。
<u>シート名</u> 選択(F4)	選択(F4)をクリックすると、ブックファイルに設定されているシートー
	覧を表示します。
	また、「メニュー名」が空欄の場合、シート名が自動的に設定されます。
TASKNO	前処理として実行させるタスクを設定します。
タスク 選択(F4)	TASKNOはあらかじめ処理動作内容を登録しておくと効率よく定義が
	できます。
	ロ 新規作成時(TASKNO が空白または、"O"の時)
	4920 をクリックします。タスク定義画面が開きます。
	必要な情報を定義します。自動的に TASKNO が付加されます。
	定義終了したら、 「惑」でメニュー定義に戻ります。
	TASKNOに番号が入ります。
	ロ 定義呼び出し時
	選択(F4)をクリックすると、タスク定義一覧が表示されます。
	C dbSheetClient (避死) X TASKNO
	0100: 腐性マスタ取り込み 0200: 社員選択 0300: 登録 0400: 日付選択
	0500: 諸城万 万 万 0600: 社員保守問始 0700: <u>属性保守開始</u> 0900: 保守終了
	起動したいタスクを選択します。

```
【前ページより続く】
```

db 2

項目名	内容								
BSNO	メニュークリック時に動作させたいボタンを定義します。								
ボタン 選択(F4)	□ 新規作成時								
	シポタン をクリックします。 ボタン定義が開きます。								
	必要な情報を定義します。 自動的に BSNO が付加されます。								
	定義終了したら、「聴ってメニュー定義に戻ります。								
	BSNOに番号が入ります。								
	口定義呼び出し時								
	選択(F4)をクリックすると、ボタン定義一覧が表示されます。								
	& dbSheetClient (漢択) 区								
	0001: 登録 0002: BTS_勤念入力								
	ボタンを選択します。								
後処理TASK	別メニューが切り替わる時(後処理)に実行させるタスクを設定します。								
NO	(タスクは事前に登録しておく必要があります。)								
タスク 選択(F4)									
ノードを開く	dbSheetClient で言うノードとは、階層化された各メニューのことを指して								
選択 (F4)	います。ここではノードの初期状態を設定します。								
	選択(F4)をクリックすると、一覧が表示されます。								
	dbSheetClient (選択) 区								
	ノードを開く 0001:ALL 0002:BZ								
	ŎŎŎŎŚ: 聞じる								
	選択します。								
	選択肢意味								
	ALL 実行時すべてのノードを開きます。								
	(メニュートップにのみ設定できます。)								
	開く 設定した階層から上位にあるメニューを開いた状態にし								
	□ ます 。								
	閉じる 下位にあるメニューを閉じた状態にします。								
	+								
	→ / + 2 - 1 開催-2 → / + 2 - 1 目標=3 ↓ - + 2 - 1 - 2 周増=3 ↓ - + 2 - 2 周増=3 ↓ - + 2 - 1 - 2 周増=3 ↓ - + 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 同 =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 \Pi =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 \Pi =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 \Pi =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 \Pi =3 ↓ - + 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -								
	■トップ(ルート) 税種=1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								



[【]前ページより続く】

項目名	内容
権限レベル	ログインユーザに対しメニュー実行の有無を設定します。
推跟」べい 選択(F4)	サーバに登録されているグループ管理番号を設定します。
	設定されたグループに所属する全てのユーザに対して実行権限が
	与えられます。
	実行権限の無いメニューは、実行画面では薄いグレーの文字で
	表示されます。
	ロ 設定の方法
	選択(F4)をクリックします。
	権限レベルのサブウインドウが開き、権限レベルを設定します。
	サブウインドウには、あらかじめ設定されているグループ権限が
	一覧で表示されます。
	@ dbSheetClient (複数選択)
	権限レベル(グルーブ名)
	1002: Manual作成作業
	□ 1004: 開発体験
	OK キャンセル
	グループ名の左にチェックボックスがあります。
	チェックボックスをクリックして定義します。
	◆複数定義した場合は、チェックボックスにチェックを入れた
	グループ名がカンマで区切られて設定項目の中に記載されます。
	◆範囲定義する場合は、チェックボックスで始めと終わりの
	グループ名をチェックします。設定項目に反映された後で、
	カンマをハイフンに置き換えます。
	◆全グループを定義する場合は、設定項目の欄を空白にします。
定義有効無効フラグ	タスク定義の内容を有効か無効かの設定をします。
選択 (F4)	
リンク先	「BKNO」に「O」(ゼロ)を設定した時、実行する内容を定義します。
	例えば、ホームページの URL を記入すると、そのホームページを表示
	します。
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角512文字)

4.7.6. ボタン定義 3ボタン

dby

タスクを起動するためのボタンを定義します。

- ・ボタンにはメインボタンとサブボタンがあります。
 - メニュー毎にメインボタン、サブボタン、それぞれ 20 個ずつ定義できます。
- ・ボタンのスタイル指定やショートカットをファンクションキーに割り当てることができます。

			-	
	A	В	C	D.
1	タイトル	サブ	*	内容
2	ボタンNO		ж	1
3	ボタン名表示名		ж	SQL取得
4	TASKNO			1100
5	タスク名			SQL(201.1)照会_取得
6	権限レベル			0
7	定義有効無効フラグ			
8	ガイダンス			SQL照会機能により商品マスタを読み込みます。
9	コメント 欄			
10	ボタンデザイン			白1
11	ボタンサイズW			0
12	ボタンサイズH			0
13	ファンクションキー			
14	フォント名			
15	フォントサイズ			0
16	フォントスタイル			太字
17	フォントカラー			黒

▲ボタン定義画面(縦型表示画面)

d

項目名	内容
BSNO	ボタン定義の管理番号です。
- ボタン 選択(F4)	・ボタン一覧で登録されている管理番号:BSNO を設定する方法
	選択(F4)をクリックします。BSNO サブウインドウが表示されます。
	選択して [OK] をクリックすると BSNO が入力されます。
	※設定方法についてはメニュー定義の「BSNO」を参照してください。
ボタンNO	ボタンの表示位置や表示順を設定します。
	ボタンの表示エリアは以下のようになっており、メインボタンエリアと
	サブボタンエリアに分けられています。
	※同じ BSNO にメインボタンとサブボタンは混在できません。
	ボタンには、表示位置が割り当てられています。
	main-01 main-02 main-03 main-04 main-05 main-06 main-07 main-11 main-12 main-13 main-14 main-15 main-16 main-17
	sub-01 sub-02 sub-03 sub-04 sub-05 sub-06 sub-07 sub-11 sub-12 sub-13 sub-14 sub-15 sub-16 sub-17
	メインボタン 1~10 は上段。 11~20 は下段。
	サブボタン 21~30 は上段。 31~40 は下段。
	※1、3、6 と飛び番号で設定しても、詰めて表示されます。
	※ボタンの数やボタンサイズによりメイン/サブ main-07 ()
	のボタンが全て表示されない場合があります。 <u>main-17 main-08</u>
	右側の省略化ボタンをクリックすると残りのボ
	タンをプルダウン表示します。
ボタン名表示名	ボタンに表示される名称を設定します。
TASKNO	ボタンクリック時に実行される処理動作を定義します。
タスカ 選択(F4)	詳細は、メニュー定義の「TASKNO」を参照してください。
タスク名	TASKNOに該当するタスク名を表示します。
タスク 選択(F4)	
権限レベル	ログインユーザに対しメニュー実行の有無を設定します。
権限上ベル 選択(F4)	詳細は、メニュー定義の「権限レベル」を参照してください。
定義有効無効フラグ ^{選択}	タスク定義の内容の有効/無効の設定をします。
ガイダンス	ボタン上にカーソルが置かれた時に表示するガイダンスメッセージを
	設定します。
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角 512 文字)
ボタンデザイン	ボタン背景色を設定します。 省略時:白1
選択 (F4)	白1、赤1、黄1、青1、緑1、紫1、
	灰2、赤2、黄2、青2、緑2、紫2

【前ページより続く】

db 2

項目名	内容		
ボタンサイズW	ボタン幅を設定します。 省略時:5		
選択 (F4)	1~7の段階で指定します。幅のサイズは、1:31 ピクセル、		
	2:50 ピクセル、3:68 ピクセル、4:86 ピクセル、		
	5:103 ピクセル、6:121 ピクセル、7:140 ピクセル。		
ボタンサイズH	ボタン高さを設定します。 省略時:1		
選択 (F4)	1~2の段階で指定します。高さのサイズは、		
	1:25 ピクセル、2:30 ピクセル。		
ファンクションキー	ボタン定義で設定されたボタンを、キーボード上のファンクションキー		
選択 (F4)	に割り当ててショートカットとして利用することができます。		
	選択(F4)をクリックします。		
	ファンクションキーのサブウインドウが開き、ファンクションキーを設		
	定します。		
	設定できるキーは [F1] ~ [F12]、[Shift] + [F1] ~ [Shift] + [F12]		
	の24個です。		
	例)[印刷] ボタンを作成し、[F1] キーを割り当てた場合、		
	[F1] キーを押すと印刷が実行できるようになります。		
	※誤って複数のボタンに、同じファンクションキーを割り当てた		
	場合は、最後に割り当てたボタンが有効になります。		
フォント名	文字のフォントを設定します。 省略時:「MS UI Gothic」		
	dbSheetClient が提供するフォントはユーザの Microsoft Office で		
	使用されている環境に依存します。		
	フォント名は手入力してください。		
フォントサイズ	文字のサイズ(ポイント)を設定します。 省略時:9		
選択 (F4)	8、9、10、11、12、14、15、16。		
フォントスタイル	文字のスタイル(標準、太字など)を設定します。 省略時:標準		
選択 (F4)	標準、太字、斜体、太字斜体。		
フォントカラー	文字の色を設定します。省略時:黒		
選択 (F4)	黒、青、赤、緑、黄、白。		

4.7.7. タスク定義 4.5.2

db

実行する機能を dbSheetClient が提供する関数を用いて定義します。

- ・dbSheetClient が提供する関数を「タスクタイプ」と呼んでいます。
- ・タスクタイプは、データベース制御、dbSheetClient 制御、Excel 制御に分類されています。

	A	В	C	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	TASKNO		*	1100
3	タスク名		*	SQL(201.1)照会_取得
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	
6	タスクタイプ名		*	
7	タスクタイプ属性			
8	BKNO		*	1
9	ブック名		ж	SampleタスクタイプV4_Plus.xls
10	シート名		- 1	
11	シート保護有無			
12	シート保護解除PW		-1	
13	MNO			
14	BSNO	·	- 1	
15	QNO			
16	クエリー名		-	
17	DNO			
18	処理条件判定セル	実行判定	-	
19	定義有効無効フラグ			
20	コメント 欄			
21	画面名称			
22	セル指定属性			
23	汎用バラメータ1			
24	汎用バラメータ2			
25	汎用バラメータ3			
26	汎用バラメータ4			
27	汎用バラメータ5			
28	汎用バラメータ6			
29	汎用バラメータ7			
30	汎用バラメータ8			
31	汎用バラメータ9			
32	汎用バラメータ10			
33	汎用バラメータ11			
34	汎用バラメータ12			
35	汎用バラメータ13			
36	汎用バラメータ14			
37	汎用バラメータ15			
38	汎用バラメータ16			
39	汎用バラメータ17			
40	汎用バラメータ18			

▲タスク定義画面(縦型表示画面の例)

関数の機能(タスクタイプ)によって、必要な設定項目が変わってきます。

タスクタイプの詳細は、『タスクタイプリファレンスマニュアル「第2章 タスクタイプ(属性別)」』 を参照してください。 d

項目名	内容
TASKNO	タスク定義を管理する番号です。メニューやボタンがクリックされた
タスク 選択(F4)	時に実行する TASKNO を設定します。
	詳細は、メニュー定義の「TASKNO」を参照してください。
タスク名	タスクに名前をつけることができます。
処理順NO	TASKNO ごとに定義される処理の順番を昇順に指定します。
	随時、順番を入れ替えることができます。
タスクタイプNO	dbSheetClient 提供の関数を指定します。
選択 (F4)	数 クリック時の選択画面のイメージは
タスクタイプ名	『タスクタイプ NO、タスクタイプ名の選択画面』
選択 (F4)	を参照してください。
タスクタイプ属性	タスクタイプごとに、各処理の実行モードを選択します。 ※1
タスク属性 選択(F4)	例)「201. SQL」のタスクタイプ属性
	@ dbSheetClient (選択) タスクタイブ属性
	0001: 照合 0002: 更新 0002: 世子 重新
	0004 : 削除 0005 : SQL更新
BKNO	ブック運用定義に登録されている管理番号を設定します。
運用ブック 選択(F4)	
ブック名	「BKNO」を設定すると、ブック定義のブック名が表示されます。
運用ブック 選択(F4)	
シート名	Excel ブックのシート名を設定します。
<u>シート名</u> 選択(F4)	
シート保護有無	Excel ブックのシートにシート保護がかけられている時に、設定しま
選択 (F4)	す。保護がかけられているシートに対して保護を解除しないまま、デ
	ータの入力や、コピー、クリアなどの処理をおこなうとエラーになり
	ます。このため、保護の解除指定が必要となります。
	シート保護有りでパスワード設定している場合「シート保護解除 PW」
	の設定項目にパスワードを入力します。
	シートに保護をかけることによって、数式の保護や数式の内容を非表
	示にすることができます。
	また、Enter キーや TAB キーを使うと、入力可能なセルだけを自動
	的に選んでカーソル移動するようになります。
	dbSheetClient では「シート保護有無」が「有り」の時には、タスク
	処理の開始前に、シート保護を解除し、タスク処理の終了時にシート
	の保護を掛けなおします。
	セルの保護とシートの保護設定は、Excelのメニューの「書式-セル
	ー保護」でセルにロックを設定した後、「ツールー保護ーシートの保護」
	で保護を設定します。保護する内容も細かく指定することができます。
	詳細は Excel の解説書で確認してください。

【前ページより続く】

項目名	内容		
シート保護解除PW	保護を解除するためのパスワードがある場合は、パスワードを設定し		
	ます。		
MNO	タスクタイプ「302.メニュー制御」で使用される設定項目で、		
メニュー 選択(F4)	メニューをタスクから起動する時にメニューNO を指定します。		
BSNO	タスクタイプ「311.サブボタン表示」、「403.シート切替」で		
- ボタン - 運択(F4)	使用される設定項目で、サブボタンを表示する時に、表示したい		
	ボタンセット NO (BSNO)を指定します。		
QNO	クエリーを実行するためのタスクタイプが設定されている時、		
クエリー 選択(F4)	クエリー番号を指定します。		
	C dbSheetClient (%R)		
	0001: 時件リスト取り込み《賠会》 0002: 社員運用《無会》 0003: 登録《史前》		
	0004: 動意調整《照会》		
	^{⑤カリー} をクリックします。クエリー定義が開きます。		
	(1938) をクリックします。新規のクエリーが設定されます。		
	クエリー名に「MNU_ {メニュー名}」が入ります。		
	任意の名前に変更することができます。		
	クエリー名の設定と同時に、QNOの設定項目セルに自動採番		
	で入力されます。		
	[戻る] でタスク定義に戻ると QNO が設定されています。		
	「クエリー名」も入力されます。		
	選択(F4)をクリックするとクエリー定義の一覧が表示されます。		
	選択して [OK] をクリックすると QNO かく力されます。		
クエリー名	「QNO」を設定すると、「クエリー名」には、クエリー定義の		
	展開定義に定義されたDNUを設定します。		
_ 道抗(+4)	選択(F4)をクリック9ると展開定義の一覧が表示されま9。		
加田名开制合为工	選択して LOK」をクリックするとDNOが入力されます。		
	タスクごとに 実行する/実行しない を制御するためのセルを		
	指定します。		
	セルの内容か、「実行する」(true)の時には実行し、「実行しない」		
定義有効無効フラグ			
	このフヘノに我の内容で、日知にするれ、無知にするれの設たなしよう。		
	コメントを入力します。(最大文字数:半角512文字)		

dbSheetClient

項目名	内容			
画面名称	タスクタイプ「202.入力画面」、「203.データ照会画面」、			
	「204. 検索付データ照会画面」「205. 検索付データ照会画面Ⅱ」			
	を実行した時に表示する画面の			
	タイトル名を入力します。			
	例)			
	"勤怠管理システム 日付入力画面" (省略時)			
	© db5-日付入力両面 図 勤念管理システム 日付入力画面 キャンセル			
	<u>(2003)年 /月 4日 ◎</u> ※日付の右の▼をかりっかするとカルンダーが開きます。 写用 ※日付の右の▼をかりっかするとカルンダーが開きます。 写用			
セル指定属性	パラメータの設定の仕方を、「直接」、「間接」、「間接アドレス」から			
<u>)基</u> (F4) (F4)	指定します。			
	直接・・・・・定義内容をそのまま使用します。			
	間接・・・・・・・定義内容にはセルを指定します。			
	指定セルに格納された内容(値)を使用します。			
	間接アドレス・・・定義内容にはセルを指定します。			
	指定セルにはさらにセル(アドレス)を指定します。			
	そのアドレスが示すセルに格納された内容(値)を			
	使用します。			
	※詳細は『タスクタイブリファレンスマニュアル「1.7 セルのアドレ			
	ス指定について」」を参照してくたさい。			
汎用パラメータ1~20	関数の機能(タスクタイプ)によって、必要な設定項目内容や項目数			
<u>)</u> (F4)	か変わってきます。※2			
開始判定セル	条件判定をおこなうためのセルを設定します。			
定義名 道据(F4)	タスクタイプ「317. 条件判定分岐」、「318. メッセージ表示」、 			
	「406. 印刷」の時に使用します。			
	開始判定セルの値は、O~10 の値に変化するように設定する必要が			
	あります。			
	※タスクタイプ「317.条件判定分岐」についての詳細は、『開発版			
	テクニカルリファレンスマニュアル「2.1.6. タスクタイプ別の処理」			
	の④条件判定分岐を持つタスクタイプ』を参照してください。			
処理対象セル範囲	タスク処理の対象となるセル範囲を設定します。			
定義名 選択(F4)	タスクタイプ「405.一括入出力」、「411.クリア」、			
	「412. セル保護」、「418. 並べ替え」の時に使用します。			

【前ページより続く】

d

[【]前ページより続く】

項目名	内容				
空白文字処理方法	データの前後の空白文字の処理方法を指定します。				
選択 (F4)	空白・・・・・・・・何もしません。				
	左削除(LTRIM)・・・データの前の部分を処理します。				
	右削除(RTRIM)・・・データの後の部分を処理します。				
	左右削除(TRIM)・・・データの前後の部分を処理します。				
ジャンプ先セル	ジャンプ先のセルを設定します。				
定義名 〕選択(F4)	タスクタイプ「403. シート切替」、「419. ジャンプ」で使用します。				
	タスク実行時に、指定したセルにジャンプします。				
TASKJUMPNO1	他のタスクをサブルーチンとして実行することができます。				
~10	タスクタイプ「317.条件判定分岐」、「320.サブタスク実行」、				
<u>タスク</u> 選択(F4)	「406. 印刷(直接印刷)」の時に使用します。				
開始時メッセージセル	タスクの開始時にメッセージを表示することができます。				
定義名 ;選択(F4)	メッセージを入力したセルを指定します。				
	※「開始時メッセージセル」と「開始時メッセージ」の両方に指定				
	されている場合には、「開始時メッセージセル」を優先します。				
開始時メッセージ	タスクの開始時にメッセージを表示することができます。				
	メッセージを直接入力します。				
	例)				
	1 開始時メッセージセル 2 開始時メッセージ 3 開始時メッセージ				
	 ■ dbSheetClient (確認) 登録してよいですか? ま行してよっしいですか?				
	詳細は、『タスクタイプリファレンスマニュアル「1.3 開始メッセー				
	ジについて」』を参照してください。				
正常終了時メッセージセ	タスクを正常に終了した時にメッセージを表示することができます。				
ル	メッセージを入力したセルを指定します。				
定義名 j 選択(F4)	詳細は、『タスクタイプリファレンスマニュアル「1.4 正常終了メッ				
	セージについて」』を参照してください。				

[【]前ページより続く】

項目名	内容
正常終了時メッセージ	タスクを正常に終了した時にメッセージを表示することができます。
	メッセージを直接入力します。
	例)
	3 正常終了時メッセージセル 正常終了時メッセージセル 4 正常終了時メッセージ 正常に登録できました。
	■ dbSheetClient (区 正常に登録できました。
エラー判定セル	エラーが発生した時にシステムが標準出力するメッセージを格納する
定義名 "違択(F4)	ための Excel シートのセルを指定します。
	▼注意
	①エラー内容をもとにして、開発者がその後のエラー処理を設定する
	必要があります。
	②保護しているシートに対しては、メッセージを格納できませんの
	で、別のシートを指定するようにします。または、保護の制御を指定
	するようにします。
	詳細は、『タスクタイブリファレンスマニュアル「1.5 エラー処理に
	ついて」」を参照してください。
エフー発生時の処埋指定	エラーか発生した時に、その後の処理をとのようにするかを
(F4)	
	モラークフク宇行・・・・・ エラークフクを宇行後に 加理を中断します
	エラークスク実行 エラークスクを実行後に、処理を中断しなり。
	実行します。
エラーメッセージセル	タスクのエラー発生時にメッセージを表示することができます。
定義名) 選択(F4)	メッセージを入力したセルを指定します。
	※「エラーメッセージセル」と「エラーメッセージ」の両方に指定
	されている場合には、「エラーメッセージセル」を優先します。
エラーメッセージ	タスクのエラー発生時にメッセージを表示することができます。
	メッセージを直接入力します。
	例)
	7 エラーメッセージセル 8 エラーメッセージ 1 エラーが発生しました。
	■ dbSheetClient (確認) 区 エラーが発生しました。 OK



[【]前ページより続く】

エノーが先生した時に美行させるダスクNUを設定します。
キャンセルメッセージを表示したい時には、「有り」を設定します。
「有り」の場合、[キャンセル]をクリックすると、「キャンセルメッ
セージセル」または「キャンセルメッセージ」で設定されている
キャンセルメッセージを表示します。
詳細は、『タスクタイプリファレンスマニュアル「1.6 キャンセル処
理について」』を参照してください。
キャンセルのメッセージを表示することができます。
メッセージを入力したセルを指定します。
※「キャンセルメッセージセル」と「キャンセルメッセージ」の
両方に指定されている場合には、「キャンセルメッセージセル」を
優先します。
キャンセルのメッセージを表示することができます。
メッセージを直接入力します。
キャンセルが発生した時に、その後の処理をどのようにするかを
設定します。
中断・・・・・・ 処理を中断します。
継続・・・・・・ ・・・・継続して処理を実行します。
キャンセルタスク実行・・キャンセルタスクを実行後に、処理を中断
します。
キャンセルタスク実行継続・・キャンセルタスクを実行後に、継続して
処理を実行します。
キャンセルが発生した時に実行させるタスク NO を設定します。

※1:詳細は、『タスクタイプリファレンスマニュアル「第2章 タスクタイプ(属性別)」』 を参照してください。 ◆タスクタイプ NO、タスクタイプ名の選択画面

dby

▼ 2022 選択(F4) において表示するタスクタイプ選択の一覧画面

🮯 dbSheetClient (選択)			X
9 X	クタイプ	名	
0201: SQL			^
UZUZ: 人刀画面 0203: データ昭会面面			
0204: 検索付テータ照	会画面		
0205: 検索付テータ照	会画面Ⅱ		
0223:下了了97773 0224: SQL一括照会	1		
0230: 集計表自動作成			
U3U1: 起動モート 0302・ メニュー制御			
0303:終了処理			
0304: ハイバー実行制	御		
0310: メイノホメノ衣 0311: サブボタン表示	小		
0315: ルーフ処理	10		
031/: 条件判定分岐 0218 ・ メッセージませ			
0319: スクリーン制御	l L		
0320: サフタスク実行			
0321: ロク情報書込 0322・ ファイルアップ	ロード		
0323: ファイル <u>ダウン</u>	ロード		
0324: ファイル属性取	得		
0325: メール送信 0330: 画像PDF表示			
0340: ファイル選択タ	イアログ		
0341: サーハフォルタ 0342・ ファイエ操作	削除		
0401: 直接展開			
0402: ビボットテーフ	ル		
0403: ンニト切谷 0404: 保存			
0405: 一括入出力			
0406: 印刷 0407 ・ ブック制約			
0408: 位置合わせ印刷	ĺ.		
0409: シートコピー			
U4IU: コピー 0/11・ クリア			
0412: セル保護			
0413: シート保護			
0414: 17列指正 0415: 行表示			
0416: 列表示			
041/: 目動計算 0418・ 並べ基ラ			
0419: ジャンブ			
0420: セル位置取得			
U421: 配囲取得 N422: 図の挿入			
0423: 図のクリア			
0424: 行列挿入 0425・ チェックギック	フシロ		
0425: テェックホック 0426: ハイバータスク	へ配止 実行設定		
0427: イメージ保存			
U429: イメーシクリア D430・ FXCFL コマンド	5		
0501: 外部アブリ起動	l.		~
			المعاد برجل
		UK	74701
			(chine)

※タスクタイプNOとタスクタイプ名の全体一覧は、『第1部3.3.5 タスク定義の設定』の 「タスクタイプの機能別分類表」を参照してください。

4.7.8. クエリー定義 5.0エリー

dby

データベースにアクセスするための SQL文 を定義します。 データベース(SQL Server、ORACLE等)に応じたネイティブなSQL文の記述や、 ストアドプロシージャを実行できます。

6	A	В	C	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	クエリー名		ж	SQL(201.1)照会_取得
3	クエリータイプ		ж	照会
4	クエリー属性	())	*	Query
5	DBNO		ж	1
6	エイリアス名			SampleDB
7	テーブル名			商品マスタ
8	BKNO		ж	1
9	ブック名		*	SampleタスクタイプV4_Plus.xls
10	取得データ件数セル			0
11	SQL文			SELECT * FROM [商品マスタ]
12	トランザクション処理		-	
13	排他制御タイプ			
14	定義有効無効フラグ		-	
15	コメント 欄			

▲クエリー定義画面(縦型表示画面)

項目名	内容
QNO	クエリー定義を管理する番号です。
クエリー名	クエリー定義に名前をつけることができます。
クエリータイプ 歌	タスクタイプに応じて、クエリータイプを指定します。 F3 (初期値) キーで作成した時には、自動的にタスクタイプ属性と同 じに設定されます。 ①照会、②更新、③指定更新、④削除、⑤SQL 更新 《 dbSheetClient (選択) ② 1001: 照会 0002: 更新 0003: 指定更新 0004: 削除 0005: SQL更新
クエリー属性	「Query」が自動設定されます。
DBNO	運用 DB 定義に登録されている DBNO を設定します。
運用DB 選択(F4)	
エイリアス名	DBNO によりエイリアス名(データベース接続情報の参照名)を
運用DB 選択(F4)	自動表示します。



dby

【前ペー	・ジよ	い続	<

項目名	内容
BKNO 運用ブック 選択(F4)	運用ブック定義に登録されているブック名を設定します。 ※1
ブック名 運用ブック 選択(F4)	BKNOによって、ブック名が自動表示されます。 ※1
取得データ件数セル ^{定義名} ^{選択(F4)}	データ取得時のデータ件数を取得するセルを指定します。 ※1 (V5では展開定義の項目「更新行 OR 列数指示セル」が「取得データ 件数セル」の役割を担っていますので、そちらを指定してください。)
SQLŻ	 データベースからのデータ取得や、データベースの更新、ストアドプロ シーシャを実行する SQL 文を指定します。 ※2,3,4 詳細は、『タスクタイプリファレンスマニュアル「第4章 クエリータ イプ」』を参考にしてください。 「鮮糖表示^{SQL}集集】 SSLEET SELECT * FROM [商品マスタ] ・[クエリー実行] ボタンをクリックすると、SQLテスト実行画面が 表示されます。SQL文を編集することができます。 ・「SQLテスト実行画面」の「コピー戻」ボタンをクリックすると、 「SQLテスト実行画面」の「コピー戻」ボタンをクリックすると、 「SQLテスト実行画面」の「コピー戻」ボタンをクリックすると、 SQLテスト実行画面」で編集したSQL文が、クエリー定義 シートのSQL編集エリアにコピーされます。 ジローズは、「SQL編集エリアにコピーされます。 ・SQL編集エリアに入力したSQL文を設定項目に転送する時には、 [書込] ボタンをクリックします。 ・SQL編集エリアでSQL文に改行を入力して[書込] ボタンを クリックすると、編集欄やSQL文欄に改行マーク (/+ */) が 入力されます。(dbSheetClient に限定する使い方です。)

[【]前ページより続く】

項目名	内容
トランザクション処理	「更新」「指定更新」「削除」の時に、トランザクションをかけるか、
選択 (F4)	かけないかを設定します。
排他制御タイプ	クエリータイプ(=タスクタイプ属性)が「照会」の時に、
選択 (F4)	同時実行制御の方式を指定します。
	1:(空白)、2:楽観ロック
	取得したサーバ側のレコードの「DBS_STATUS」フィールドは 1 の
	ままにします。
	※サーバ側のデータ更新時には、楽観ロック制御で更新します。
	3:悲観ロック
	取得したサーバ側のレコードの「DBS <u></u> STATUS」フィールドを 3 に
	変更します。
	※他ユーザはサーバ側の「DBS <u></u> STATUS」フィールドが 3 の
	データについて、照会はできますが書込はできません。
	4:悲観ロック解除
	取得したサーバ側のレコードの「DBS <u></u> STATUS」フィールドを 1 に
	変更し、レコードロックを解除します。
更新処理形態	クエリータイプ(=タスクタイプ属性)が「更新」「指定更新」の時に、
選択 (F4)	更新処理形態を以下の方式のどちらでおこなうかを指定します。
	1:全データ更新
	Excel 上の更新対象範囲のデータを 全データ サーバに送信して
	更新します。
	2:修正データのみ
	Excel 上の更新対象範囲のデータのうち 修正データのみ サーバに
	送信して更新します。
	※修正データとしては、Excel 上の更新対象範囲のデータの
	「DBS <u></u> STATUS」フィールドの値に応じて、更新処理を行います。
	2: 追加または更新レコード
	99:削除レコード
定義有効無効フラグ	この定義を無効にしたい時に無効を設定します。
選択 (F4)	
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角 512 文字)
悲観ロック解除QNO	「排他制御タイプ」に「4:悲観ロック解除」を設定し、クエリータイ
<u>クエリー</u> 選択(F4)	プ(=タスクタイプ属性)が「更新」「指定更新」の時に、「排他制御タ
	イプ」に「3:悲観ロック」でデータ取得をおこなった QNO を指定し
	ます。

【前ページより続く】

dbs

項目名	内容
日付時刻 NULL 指定	クエリータイプ(=タスクタイプ属性)が「更新」及び「指定更新」の
選択 (F4)	時に指定可能です。
	シート上で Null 値扱いとするセルデータを、データベースにも Null 値
	として登録したい時、"NULL"を指定します。
	Null 値扱いの詳細については、『開発版テクニカルリファレンスマニュ
	アル「5.5.1 Null値を取り扱うときの注意点」』を参照してください。

※1:旧バージョン(V3以前)の互換性維持のために存在する項目です。

※2: SQL 文については、画面下の SQL 編集エリアで編集することができます。

※3:DBMS (MSSQL や ORACLE など)に対応した SQL 文を書く必要があります。

※4: dbSheetClient が提供する標準の「更新」、「削除」処理を行う場合は「UPDATE」のみを 指定します。
4.7.9. 展開定義 ^{6.展開}

db

SQL文の実行結果を、Excel シートに展開する場合の展開位置などを定義します。

- 一部のタスクタイプで、処理するセルを指定します。
- ・Excel シートのセルと、データベースのフィールドの連携を設定します。
- ・実行結果を複数のシートやセル範囲に展開します。
- ・タスクタイプ「401. 直接展開」、「410. コピー」、「411. クリア」、「414. 行列指定」などの 時に、処理するセルを指定します。

	A	В	С	D
1	タイトル	サブ	*	内容
2	DNO		*	1100
3	データ展開名			展開_SQL(201.1)照会_取得
4	処理順NO			1
5	定義区分			クエリー定義
6	タイプ		-	照会
7	タスク・展開属性		1	Query
8	データ項目名			
9	数式OR値			
10	定義有効無効フラグ			
11	コメント 欄			
12	シート名			照会
13	セル指定属性			
14	セル範囲			@照会_商品コード
15	セル展開範囲定義名			@照会_取得域
16	シート保護有無			
17	シート保護解除PW			
18	自動計算方法			
19	行列方向	データ行列方向		

▲展開定義画面 (縦型表示画面)

◆ 新規作成時

タスク定義またはクエリー定義から ^{④展開} をクリックすると、展開定義画面が表示されます。 プリックすると、初期値が設定されます。DNOなどが自動で設定されます。 必要な設定を行い、[戻る] ボタンをクリックすると、タスク定義またはクエリー定義に戻ります。

◆ 定義呼び出し時

項目名	内容
DNO <u>援</u> 欄 · <u>違</u> 択(F4)	展開定義を管理する番号です。
データ展開名 ^{2 課版[4]}	展開定義に名前をつけることができます。

【次ページに続く】

dbSheetClient

```
【前ページより続く】
```

項目名	内容
処理順NO	DNO 内の処理順 NO を入力します。昇順に処理します。
定義区分	タスク定義 or クエリー定義 を自動表示します。
タイプ	タスクタイプまたはクエリータイプを自動表示します。
タスク・展開属性 ^{選択} (^{弾4)}	タスクタイプ属性 または クエリー定義の展開方式 を指定します。 例) クリア
	 ◇ dbSheetClient (資択) ◇ タスク・展開属性 ○001: Query ○002: データ ○003: 数式 ○005: 全選択データー括 ○006: 全選択データー括保持 ○006: 全選択データー括保持 ○回4000 ○回40000 ○回400000 ○回40000 ○回40000 ○回40000 ○回40000 ○回40000 ○回400000 ○回4000000 ○回4000000 ○回40000000 ○回400000000 ○回400000000000000 ○回4000000000000000000000000000000000000
	主要が $J = 2 = 26$ $Q_{\mu e r v} C = 0$
	Queryと同じです。先に展開先をクリアしません。 データ
	データベースから取得したデータを
	個別に Excel シートに展開します。
	データを指定した時には、「テーブル項目名」に
	テーノルのフィールト名を指定9 る必要かめりま9
	数式を Excel シートに展開します。
	数式にミスがあるとエラーになります。
	値 文字や数値を Excel シートに展開します。

【次ページに続く】

dby



[【]次ページに続く】

[【]前ページより続く】

項目名	内容
数式 OR 值	数式または値を直接展開したい場合に指定します。
定義名 選択(F4)	「タスク・展開属性」が"数式"か"値"の時に Excel シートに展開する、
	数式や文字列を直接入力します。
	※数式を入力する時は、Excel で入力するように、"="から入力して
	ください。
	例)現在の日時を設定する。
	=NOW()
	※数式にエラーがあると実行時にエラーになりますので、正しく数式を
	入力してください。
定義有効無効フラグ	この定義を無効にしたい時に"無効"を設定します。
選択 (F4)	
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角 512 文字)
シート名	データを展開するシート名を指定します。
<u>シート名</u> 選択(F4)	
セル指定属性	パラメータの設定の仕方を、「直接」、「間接」、「間接アドレス」から
選択 (F4)	指定します。
	直接・・・・・・定義内容をそのまま使用します。
	間接・・・・・・定義内容にはセルを指定します。
	指定セルに格納された内容(値)を使用します。
	間接アドレス・・・定義内容にはセルを指定します。
	指定セルにはさらにセル(アドレス)を指定します。
	そのアドレスが示すセルに格納された内容(値)を
	使用します。
	(詳細は『タスクタイプリファレンスマニュアル「1.7 セルのアドレス指
	定について」』を参照してください。)
セル範囲	データを展開するセル範囲(または開始セル位置)を指定します。
定義名 選択(F4)	

【次ページに続く】

[【]前ページより続く】

項目名	内容
セル展開範囲定義名	 データを展開した範囲に付ける名前(定義名)を指定します。 省略時は、dbS_{データ展開シート名}が自動的に定義名として 付けられます。 「セル範囲」で定義する名前と同じにすると、展開するデータ量に 応じて、名前が定義された領域を、自動的に拡張したり縮小したり することができます。 ※省略した時は、一つのシートに一つの展開範囲定義名が設定され ますので注意してください。 ※一度もデータを取得していない場合は、展開範囲定義名はまだ設定 されません。このため、タスクタイプ「411、クリア」を先に実行 するとエラーになります。
シート保護有無 ^饗 (^{楽)}	シートに保護がかけられている時は、【有り】 を指定します。
シート保護解除 PW	シートの保護解除に、パスワードが必要な時には、パスワードを 入力します。
自動計算方法	展開直後に 再計算 を実行させたい時に、「再計算」を指定します。
行列方向 選択 (4)	データをシートにセットする行および列方向を指定します。
更新行 OR 列数指示セ ル ^{定義名} ^{変派(F4)}	クエリー定義(クエリータイプ(=タスクタイプ属性))で照会系(照会/SQL更新でデータ取得)処理の時は、取得データ件数を格納するセル (取得データ件数セル)として指定します。 クエリー定義(クエリータイプ(=タスクタイプ属性))で更新系(更新/ 指定更新/削除)処理の時は、更新レコード数を格納するセルとして指 定します。
先シート名 シート名 ^{シート名} ^{選択(F4)}	コピー先のシート名を指定します。
先セル指定属性 ^{選択} ⁽⁷⁴⁾	コピー先のセル指定方式として 直接、間接、間接アドレス を 指定します。
先セル範囲	コピー先のセル範囲を指定します。
先シート保護有無 ^{饗歌}	コピー先のシートに保護がかけられている時は、【有り】 を 指定します。
先シート保護解除 PW	コピー先のシートの保護解除に、パスワードが必要な時には、 パスワードを入力します。

【次ページに続く】

[【]前ページより続く】

項目名	内容
複数展開指定 ^(FA)	タスクタイプ「414. 行列指定(複数指定)」の時に属性を指定します。 後数展開指定 彼数展開指定 0001:
高さ列幅設定	行列指定の時に行の高さ、列幅を指定します。 「AUTO」を指定すると数値が自動調整されて設定されます。
開始位置	行表示、列表示の際の開始位置を、開始行列番号またはセルで
定義名 選択(F4)	指定します。
終了位置 ^{定義名}	行表示、列表示の際の開始位置を、終了行列番号またはセルで 指定します。

4.7.10. 開始終了定義 ^{Q.開始終了}

dby

プロジェクトを実行する時などの開始処理や終了処理として実行するタスクを定義します。

・Excel ブックを開いた直後の開始処理、閉じた直後の終了処理として実行するタスクを定義します。

・メニュー領域やボタン領域をクリックした時に、開始処理として実行するタスクを定義します。



▲開始終了定義画面

▼注意

開始終了定義で使用したいタスクを、先に定義しておく必要があります。

[保存] ボタンをクリックしますと、タスクを登録した順番に並び変えられます。 タスクを登録した順番と実行したい順番が異なる場合は、サブタスクを定義し、 サブタスクに実行したい順番でタスクを指定してください。

- ◆ 新規にタスクを定義する方法
 - 1.「ツリー表示エリア」の「定義構成」タグの最上部の「メニュー」を、クリックします。 「定義編集シートエリア」は、メニュー定義 になります。
 - 2.「定義編集ボタンエリア」の 4930 を、クリックします。 「定義編集シートエリア」は、タスク定義 になります。
 - 3. 2010 を、クリックします。 TASKNO の一覧が表示されます。

4. 新規道加 を、クリックします。

dby

新規タスク登録画面が表示されます。



5.「TASKNO」と「タスク名」を記入し、[OK]ボタンをクリックします。

例) TASKNO 50000タスク名 起動時、ログON

6. タスクを定義します。

例) ログ保存 ON

	A	B		D
1	タイトル	サブ	*	内容
	TASKNO		*	50000
	タスク名		*	起動時、ログON
4	処理順NO		*	1
5	タスクタイプNO		*	301
6	タスクタイプ名		*	起動モード
	タスクタイプ属性		*	ログ保存
8	BKNO		*	1
9	ブック名		*	SampleタスクタイプV4_Plus.xls
	シート 名			
1	処理条件判定セル	実行判定		
2	定義有効無効フラグ			
13	コメント 欄			
4	セル指定属性			
5	汎用バラメータ1	ログ保存		ON
6	関始時メッセージセル			

7. [保存]ボタンをクリックします。

項目名	内容
TASKNO	実行するタスク定義を設定します。 (産業)
タスク名	「TASKNO」を設定すると、タスク名が表示されます。
BKNO 運用ブック 運根(F4)	タスクを実行する時のブックを設定します。
ブック名 運用 ^{ブック} 運用(F4)	「BKNO」を設定すると、ブック定義のブック名が表示されます。
	ログインユーザに対しメニュー実行の有無を設定します。

【次ページに続く】

[【]前ページより続く】

項目名	内容
オープン・クローズ ^{変捩} (F4)	処理を実行するタイミングを指定します。
	プロジェクトオープン ブロジェクトを実行した直後にタスクを実行します。 プロジェクトを終了した直後にタスクを実行します。 プックオープン Excel ブックを開いた直後にタスクを実行します。 プッククローズ Excel ブックを閉じた直後にタスクを実行します。 メニュー領域をクリックした直後にタスクを実行します。 メニューの前処理のタスクよりも前に実行します。 ボタン領域をクリックした直後にタスクを実行します。
定義有効無効フラグ	この定義を無効にしたい時に"無効"を設定します。
選択 (F4)	
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角 512 文字)

4.7.11. ボタン一覧定義 2ボタン一覧

dby

メニューが選択された時に表示するボタンのグループ(ボタンセット)を定義します。 ボタン定義で BSNO とボタンセット名の一覧を管理します。ボタン定義からリンクされます。

ボタン定義で、¹⁷⁷⁸⁹⁹ をクリックして、新しいボタンセットを登録すると、自動的に定義内容が 追加されます。



▲ボタンー覧定義画面

項目名	内容
BSNO	ボタンセットを管理する番号です。
ボタンセット名	ボタンセットに名前をつけることができます。

◆ 「ボタンプレビュー画面」を表示する方法

参加 をクリックすると、ボタンプレビュー画面が表示されます。
ボタン定義の各設定項目で設定した内容が、実行画面でどのように表示されるかを確認できます。

※なお、ボタンプレビュー画面には、ボタン定義で選択されている BSNO(カーソルが位置付けられているボタンセット NO)に関するボタンだけが表示されます。

dbSheetClient (ホタンプレビュー) 2: 受村ヘッダ 🛛						
		全件(本店)	指定(受付Na)	指定(受付日)	汎用検索	业替(支店名)
閉じる		明細照会		ブレビュー	<u>مَارَمُ</u>	

4.7.12. タスクー覧定義 [5020-覧]

dby

タスク定義のグループを定義します。

・タスク定義の一覧を管理します。

・タスク定義で、
 ¹⁷⁸⁹⁹
 をクリックして、新しいタスクを定義すると、自動的に定義内容が

追加されます。



▲タスクー覧定義画面

項目名	内容
TASKNO	タスク定義を管理する番号です。
タスク名	タスク定義に名前をつけることができます。
BKNO	ブック運用定義に登録されている管理番号を設定します。
運用ブック 選択(F4)	
ブック名	「BKNO」を設定すると、ブック定義のブック名が表示されます。
運用ブック 選択(F4)	

db

展開定義のグループを定義します。

・展開定義の一覧を管理します。

・展開定義で、^{「7799}」をクリックして、新しい展開を定義すると、自動的に定義内容が追加されます。



▲展開一覧定義画面

項目名	内容
DNO	展開定義を管理する番号です。
データ展開名	展開定義に名前をつけることができます。
QNO	クエリー定義と関連がある時、クエリー番号を指定します。
クエリー 選択(F4)	関連がない時は、「O」(ゼロ)を設定します。
コメント欄	コメントを入力します。(最大文字数:半角512文字)

4.8. IOTG (アイオーティージー)

4.8.1. IOTG の概要

 Ⅰ O T G 機能では、データベースのテーブルのデータを読込/更新するタスクを、自動で作成する ことができます。
 例えば、マスターデータを保守するために使用すると、下記の自動的に作成する内容を作成後、 すぐにマスターデータを読込/更新する機能が実行できるようになります。

IO TG

◆ IOTG 機能で自動的に作成する内容

- ・Excel ブックに必要なシート(In シート、編集シート、Out シート)を追加します。
- ・メニュー定義、ボタン定義、タスク定義、クエリー定義、展開定義に必要な定義を作成します。

◆ 事前に準備する内容

- 1) データベース定義: IOTG 機能でアクセスするためのデータベースを定義します。
 - 例)次項の操作手順で使用するデータベース定義の場合

1	タイトル	サブ	*	内容
2	DBMS		ж	SQLSV
3	エイリアス名		ж	SampleDB
- 4 -	場所		ж	Local
5	サーバ名		ж	^SYS_PcName^¥SQLEXPRESS
6	認証区分			
- 7 -	データベース名		ж	SampleDB
8	DBMSバージョン			SQLSV2005
9	接続文字			
10	スキーマ			
11	ポート 番号			0
12	ユーザID			
13	バスワード			
14	コメント 欄			

- 2) ブックファイル定義:IOTG機能でデータ入出力用に使用する Excel ブックを定義します。
 - 例)次項の操作手順で使用するブックファイル定義の場合

1	タイトル	サブ	*	内容
2	ブック名		ж	新規Microsoft Excelワークシート.xls
3	ブック保護有無			
- 4 -	ブック読込解除PW			
5	ブック書込解除PW			
6	ホスト指定			
7	リンク先			C:¥dbSheetClient¥Sample
8	コメント 欄			

4.8.2. IOTG の操作手順

dby

IOTG 機能を実行する操作手順は、以下の手順でおこないます。

- 操作手順① :IOTG 機能を起動する
- 操作手順② :データベースのテーブルとレイアウト形式を選択する
- 操作手順③ :ブックファイルの選択と各シートの設定をおこなう
- 操作手順④ :編集する項目と順番の設定を行う(カード型のみ)
- 操作手順⑤ :メニューとボタンの設定をおこなう

■操作手順① :IOTG 機能を起動する

定義編集画面より 🙁 をクリックすると、IOTGの実行画面が表示されます。

-② dbS-定義編集 ★メニュー定義★ 〔135〕 ブロジェクト:83 サンブルWebアブリケーション #1 ①終了
 【実行
 金 2 チェュー 3 ポポン 4 タスク (5 クエリー) 5 思問 | Z EXCEL | 8 DB 206運用 47ック 8 プック運用 2 間始終了 2 ポペン 覧 Eタスクー覧 E 展開一覧 フォント 11 ・ HELP 編集欄 取消 縦型 (F12) 選択欄 定義構成「覧表示」リンク無し ■ 1 一覧表示
 ■ 1 一覧表示
 ■ 0 B
 ■ 0 B
 ■ 0 B
 ■ 0 B
 ■ 1 少り
 ■ 3 ブック
 ■ 2 ブック
 ■ 2 ブック
 ■ 5 欠カノー覧
 ■ 5 欠カノー覧
 ■ 5 欠カノー覧 表示NO 階層 メニュー名 BKNO ブック名 シート名 T KNO BSNO 後処理TASKNO ノードを閉く 権限レベル 定義有効無効フ 間 クエリー 参 展開一覧 表示切替 [*必須]メニューの表示順序 «<>>» 🗛 🗸 岸, 情報表示 SQL編集 再描 □ タスク配下のクエリーと展開の表示← IbS-IOTG(入力出力タスク自動作成) データーペースとテーブルの選択 読込、書込を行うテーターベースと、テーブルを選択してくたさい。 データベース 1:Sample DB ~ テーブル 社員マスタ 選択 作成する定義の開始No.を指定してください。 メニュー表示No. 1 🛟 BSNO \$ 1 TASKNO \$ 1 QNO 1 * DNO 1 -表示形式を選択してくたさい。 ⊙ リスト型 ○ カード型 キャンセル 《 前へ 次へ 》 完了

■操作手順②	:データベースのテーブルを選択する
--------	-------------------

ibS

dbS-IOTG(入力出力タスク自動作成)		
データーベースとテーブルの選択		
読込、書込を行うデーターペースと、テーブルを選択してくだ	さい。	
データベース 1.Sample DB テーブル 社員マスタ	選択	テーブル選択 svsdiagrams
作成する定義の開始No.を指定してください。		社員マスタ 集計表テーブル 商品マスタ 得意先マスタ
BSNO 1		売上へッダ 売上明細
QND 1 C		
表示形式を選択してください。		
⊙ 비고ト型 ○九一下型		ОК * *>セル
キャンセル 《 前八 次八 》	完7	

(1) データベースを指定します。

データベースの定義が複数ある場合、[▼]をクリックすると、データベース定義の一覧を 表示しますので、そこから選択します。

- (2)テーブルを指定します。【選択】ボタンをクリックすると、テーブルの一覧が表示されます。
 テーブルを選択して、【OK】ボタンをクリックします。
 【キャンセル】ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。
- (3) 定義開始番号を指定します。作成する定義の番号を指定します。
- (4) 画面レイアウトを「リスト型」「カード型」から選択します。
- (5) [次へ >>] ボタンをクリックすると、次の設定画面へ進みます。
 [キャンセル] ボタンをクリックした場合は、IOTGの実行を中止します。

■操作手順③ :ブックファイルの選択と各シートの設定をおこなう

●リスト型の場合

dbS-IOTG(入力出力タスク自	動作成)
プックの選択と行	各シートの設定
使用するExcel ブックを 通 ブック名	離択してください。 1:新規Microsoft Excel ワークシート.xls ✓
各シートの名称を指定し	てくたさい。※既存シートとの重複は不可
Inシートの名前	社員マスタ_IN
編集シートの名前	社員マスタ
Outシートの名前	社員マスタ_OUT
編集エリアの左上位置を 開始位置	、セルアドレスかセル範囲名で指定してください。 B5
更新レコード行数カウン 編集画面で空欄にな	▶ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
行数カウント用のカラム	↓ 社員コード 🗸
追加レコード用の余白行	数を指定してください。
余白用の行数	100 🗘
*+>ZUN 《	前A 次A 》 完了

(1) Excel ブックファイルを指定します。

ブックファイルの定義が複数ある場合、[▼]をクリックすると、ブックファイル定義の一覧を 表示しますので、そこから選択します。

- (2) 追加するシートの名前を設定します。
 - ・In シートの名前
 - ・編集シートの名前
 - ・Out シートの名前
- (3) データを配置する開始位置(セルアドレスまたはセル範囲名)を設定します。
- (4) データの行数をカウントする項目を指定します。通常は、主キーの項目を選択します。
 - [▼] をクリックすると、テーブル内の項目の一覧を表示しますので、そこから選択します。
- (5)追加レコード用の余白行数を設定します。余白行数に基づき、編集シートに罫線などの書式がコピーされます。
- (6) [次へ >>] ボタンをクリックすると、次の設定画面へ進みます。

[《前へ] ボタンをクリックした場合は、前の設定画面へ戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、IOTGの実行を中止します。

●カード型の場合

dbS-IOTG(入力出力タスク	自動作成) 📃 🗖 🔀
プックの選択と	各シートの設定
使用するExcelブックを	選択してください。
ブック名	1.新規Microsoft Excel ワークシート.xls マ てください、※ 既在シュートとの重要は不可
編集シートの名前	
OUTシートの名前	社員マスタ_OUT
編集エリアの左上位置	を、セルアドレスかセル範囲名で指定してくたさい。
開始位置	B2
キャンセル 《	前へ 次へ 》 完了

(1) Excel ブックファイルを指定します。

ブックファイルの定義が複数ある場合、[▼]をクリックすると、ブックファイル定義の一覧を 表示しますので、そこから選択します。

- (2) 追加するシートの名前を設定します。
 - ・編集シートの名前

・Out シートの名前

- (3) データを配置する開始位置(セルアドレスまたはセル範囲名)を設定します。
- (4) [次へ >>] ボタンをクリックすると、次の設定画面へ進みます。

[《前へ] ボタンをクリックした場合は、前の設定画面へ戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、IOTGの実行を中止します。

■操作手順④	:項目の設定をおる	こなう(カ	ード型のみ))
	dbS-IOTG(入力出力タスク自動	作成)		
	列の選択と顧番の	の設定		
	表示する項目と順番を指定	ミしてください。		
	非表示項目	4	表示項目	
		表示 > 全て表示 >>>> 非表示 <	社員コード 社員名 力	
	キャンセル 《前	全て非表示	>	27 .:i

(1)表示・編集する項目とその順番を設定します。

「非表示項目」と「表示項目」にある項目名をクリックすると、その項目が選択された状態にな ります。「非表示項目」にある項目を選択した状態で【表示】をクリックすると、選択された項目 が「表示項目」に移動します。「表示項目」にある項目を選択した状態で【非表示】をクリックす ると、選択された項目が「非表示項目」に移動します。

[全て表示]をクリックすると、全ての項目が「表示項目」へ移動します。[全て非表示]をクリ ックすると、全ての項目が「非表示項目」へ移動します。

「表示項目」の中にある項目は Drag Drop 操作の要領で順番を変更することができます。

(2) [次へ >>] ボタンをクリックすると、次の設定画面へ進みます。

【《前へ】ボタンをクリックした場合は、前の設定画面へ戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、IOTGの実行を中止します。

■操作手順⑤ :メニューとボタンの設定をおこなう

dbS-IOTG (入力	出力タスク自動作成)	×
,- <i>ב</i> ≭	, ボタンの設定	
新しくメニュー	を作成する場合は、メニュー名、ボタン名を指定しください。	
新しいメニュー	を作成する 🗹	
メニュー名	社員マスタ	
読込ボタン名	読込	
更新ボタン名	更新	
+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++		
+4721		

- (1)新しいメニューを追加するかどうかを指定します。
 - チェックボックスを OFF にした場合は、メニュー定義とボタン定義は作成されません。 (メニュー名、読込ボタン名、更新ボタン名の入力欄が無効になります。)
- (2) 上記チェックボックスが ON の時は追加するメニュー名、ボタンの名前を設定します。
 - ・メニュー名

db

- ・読込ボタン名
- ・更新ボタン名
- (3) [完了] ボタンをクリックすると、設定した内容で ЮТG を実行します。

IOTG の実行が終了すると、自動的に定義編集画面へ戻ります。

[《前へ] ボタンをクリックした場合は、前の設定画面へ戻ります。

[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、IOTG の実行を中止します。

4.8.3. IOTG の動作確認

dby

IOTGの実行後、自動的に作成されたデータベースのテーブルのデータの読込および更新機能の動作確認を行います。

Oリスト型の場合

①定義編集画面より、 1素行

をクリックすると、実行画面が表示されます。



② 【読込】 ボタンをクリックすると、<u>データ</u>を読み込みます。

🥺 サンブルWebアブリケーション【デバッ	グ】 user	: manual5	81													
ファイルビ デバッグの ヘルブ団	復旧	プロジェク	ト: サンプ	ルWebアブリケー	ション				<		100 %	0 50 (75 🔿	100 🔿 150	○ 範囲スーム	
終了 標準サイズ ・ 画面リフレッ	91	6	钇	更新												
メニュー 再 ステップ停止]														
>	x #	規Microsof	t Excelf	レークシート.xls	[読み 取りま	年月] [互換・	- [*] - db	5.#1								_ = X
Menu		A	В	С	D	E	F	G	н	I	J	К	L	М	N	0
▼メニューを選択してください。▼	1															
社員マスタ	2		_		_		1									
	3						1							※この 靴!	曲はシステムか	利用します。こ
	4		海山脉全	21 문 그 - 티	2+ = -2	2+ 물 2 + +	N. PIL	生年日日	動運搬品	(규 교육 1	仕頭の	TEI	EAV		入力範囲が	入力範囲総
	6		TOPA	1	福島 重	マクシマ マ	リ女	##########	100-1258	東京都		03-02	03-02	15-1237	\$B\$6	\$L\$113
	7			2	田島晴	タジマ ハナ	湧	########	100-0010	東京都		03-01	03-01	20-0123		
	8			3	北海道	ホッカイドウ	男	#########	120-0003	東京都					クリア範囲終	クリア範囲
	9			4	秋田(アキターノブ	女	1900/1/0							\$L\$12	\$B\$6:\$L\$12
	10			5	京橋 智	キョウバシ	<u> 女</u>	1900/1/0			1					
	11			6	福岡考	マクオカ タ	7월	1900/1/0								
	12				17に香 为	キャパルト	155	11900/170								

③9 行目のデータ(<u>郵便番号と住所 1</u>)を入力し、**[更新]** ボタンをクリックすると、データベース 更新の確認ダイアログが表示されます。ここで、**[はい]** ボタンをクリックすると更新します。

				\mathbf{i}											
🥺 サンブルWebアブリケーション【デバッ	グ】user:manual5														
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復日 プロジェク	ト:サンプ	ルWebアプリケー	9a2	`			<		100 %	0 50 (75 🔿	100 🔿 150 () 範囲ズーム	
終了 標準サイス ・ 画面リフレッジ	1 E	表込) 更新		\backslash										
メニュー 再 ステップ停止															
>	■新規Microso	ft Excel ^r	ーカシート.xis	「読み取り	専用)「互換モー	N - db	S.#1								_ = X
Menu	A	в	С	D	E	A	G	н	I	J	К	L	М	N	0
▼メニューを選択してください。▼	1						\setminus								
社員マスタ	3												※この 範囲] はシステムが	が利用します。:
	4	省旧会	21日コード	2+ =	21日 2 1 +	*住 日日	## B D	郵価発早	住所1	住所つ	TEI	EAV		入力範囲が	入力範囲線
	6	HUBT	dbShee	tClient	(確認)		#########	100-1258	東京都	EME	03-02	03-02	15-1237	\$B\$6	\$L\$113
	7						#########	100 0010	東京都) 東京都		03-01	03-01	20-0123	クリア範囲線	とクリア範囲
	9		$\langle \mathcal{Q} \rangle$	データーベー	-スへの更新を行し	ます。	1900/1/0	010-8560	秋田県					\$L\$12	\$B\$6:\$L\$12
	10			00 D	いいえ(N)	n l	1900/1/0								
	12				1	, I	1900/1/0								
	13					I									

〇カード型の場合

db

①定義編集画面より、

1ま行 をクリックすると、実行画面が表示されます。

🤓 dbS-定義編集 🔺 メニュー5	定義★ 〔	(135) プロジェクト:83	サンプルWeb									
	<u>- 3</u> ボタン <u>4</u>	タスク 50エリー 6展開	罰 了.EXCEI	<u>8</u> DB	<u>9.DB運用) A.Z</u>	ック 良ブック運	用」	レボタン一覧	<u> こ</u> タスクー	「覧」「E展開	一覧 フォン	11 - <u>H</u> elp
	朝値 3) (F4)	検索 有効 ポタン (F5) 無効 表示	並べ フィル 替え ター	行 行 挿入 削	i 入力 则 涂 チェック 切	TG						
選択欄	`	◇ 編集欄										取消 縦型 (F12)
定義備成 一覧表示 リンク振い ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	789	<u>表示NO</u> 階層 <u>メ</u> 1 1 社員	D E E BKN マスタ	IO 1 新規Mi	F ブック 名 crosoft Excef	3 フークシート。	G シート名 lk 社員マスタ			後処理T	ASKNO 2	<u>「</u> 」「を開く <u>権</u>
▼実行迪血 [©] サンフルWebアフリケーションにテバッ	グ]user:manual5	41 41									ĺ	
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルブ(H) 終了 標準サイズ ・ 画面リフレッジ	 (後日) プロジェク (後日) プロジェク (後日) プロジェク (後日) プロジェク 	ト: [GT] 集計表自動作成 BX 更新		1		<	> 100 % ○ 50	○ 75 ○ 100 ()150 〇 範囲	, Z' −4		
メニュー 再 ステップ停止												
>社員マスタ	📓 dbS.#1 - #j	規Microsoft Excel ワークシ	ート 【読み取り	年用1								
nera ▼メニューを選択してください。▼ - 社員マスタ	A 1 2 3 4 4 5 6 7 7 8 8 9	B C 削除 社員コード 社員名力ナ 性見刀 生年月日 年齢 郵便報号	D	E	FG	H	I J	K		M	N	0

② [読込] ボタンをクリックすると、<u>データ照会画面</u>が表示されます。

😪 サンブルWebアブリケーション【デバゥ	9万]user:manual5 #1							🗖 🗖 🗶
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	(後旧) プロジェクト: [GT] 集計表自動作	et.	N N	< >	100 % 〇 50 〇	75 🔿 100 🔿 150 🤇) 範囲ズーム	
終了 標準サイズ • 画面リフレッ	_{形ユ} 読込 更新		*					
メニュー 再 ステップ停止		🚭 めS-データ開会						
>社員マスタ Menu	⊠dbS.#1 - 新規Microsoft Excel 5	データ照会 検索項目名(FD)>> 運営して(たさい。	×					
▼メニューを選択してください。▼		検索値 検索結果 2 件	位置付け	キャンセル 採用	J	K	L M	N O
社員マスタ	2 削除 3 社員コード 4 社員名 5 社員名 6 住別 7 生年月日 8 年齢 9 勤使量号 10 住所1 11 住所2 12 TEL 13 TEL 14 メン 15 16 17 エ	1480-7 1186 1186 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27 1939 3.4 AU 444	※待当号 (1月71 100-1288 東京都 100-6078 東京都				

③データ照会画面でレコードを選択して【採用】ボタンをクリックすると、データを読み込みます。

🞯 サンブルWebアプリケーション【デバ		5 11		
ファイルモン デバッグの ヘルプ(4)	100 NO	ット: 【GT】 集計表自動作成 👥 👻 実行ファイル名: O#Documents and SettingsWTakayosk 🔇 📗 🔰 100 🛪 0 50 0 75 0 100 0 15	20 () 範囲ス〜ム	
終了 標準サイス ・ 画面リフレ	///	(法) 更新		
メニュー 再 ステップ停止]			
>社員マスタ Manu	🗷 dbS.#1 -	新規Microsoft Excel ワークシート (読み 取り)		
:▼√-コーを溜把して(だお)、▼	A	B O D E F G H I J K	L M	N O
社員マスタ	2			
	3	社員コード 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	5	11月日 11日日 11日日 11日日 11日日 11日日 11日日 11日日		
	6			
	8	<u>年代日 ########</u> 年齢 18		
	9	郵便發号 100-1258		
	10	住所1 東京都十代田区星店 住所2 1-1-1		
	12	TEL 03-0215-1236		
	13	FAX 00-0215-1237		
	15			
	16			

④ [更新] ボタンをクリックすると、データベース更新の確認ダイアログが表示されます。

ここで、[はい] ボタンをクリックすると更新します。

<u>dþ</u>





第5章 DB 自動作成と MDB アップロードの操作方法

本章では、Excel ブック内に保存しているデータからデータベースを作成する方法を説明します。

- 5.1 DB 自動作成画面の説明
- 5.2 MDB ファイルから DB サーバにデータをアップロードする手順

5.1. DB 自動作成画面の説明

db

5.1.1. DB 自動作成するための準備

※1. プロジェクト開始のための情報設定

サーバのプロジェクト登録とデータベースのスキーマ登録は、事前に行います。 『システム管理者用マニュアル』および、各社のデータベースのマニュアルを参照してください。

※2. 使用する Excel シートの条件

列や行の連結されたシートは使用できません。 フィールドと列の順番を同じ順に並べてください。 テーブルのフィールド配列は、シートの列順になります。

※3.「DBS 同時実行制御フィールド」の追加

使用するシートに、同時実行制御に必要なフィールドを DB に追加します。 フィールドの詳細は、『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「4.1. DBS 同時実行制御フィールド」』 を参照してください。

※4. 複数のテーブル作成

Excel ブックにある複数シート上の情報から作成できます。 別々の Excel ブックから、一つの MDB ファイルにまとめることができます。

※5. 大量データをテーブルに登録

テーブルは「定義のみ」の作成にします。

データは CSV 出力しておき、タスクの「一括入出力」等を組合せて使用するプログラムを作成し、登録 する方法があります。

※6. データのアップロード

「Null」のあるデータはテーブルに登録できません。

注意 】 Excel ブックを編集するときは、編集したいファイルを原本として保管するために、 コピーしたファイルを作成し、コピーしたファイルを指定します。 MDB 作成で使用する Excel ブックは終了していなければなりません。

操作説明

dby

DB 自動作成では下に示すデータベースファイルを作成します。 Excel ファイル上に展開されているデータを DB 化する時に便利です。

the of the prove of the	-3 3-9-X7-8 3-					
ыт валан у в z ц	- 10 - 1 E E E ▲ - 12 - 18 - 18 - 1		● 日本市式 王 単計 ● 日本市 マスパル ラエック × 市田 - 一日での用 -	11 7ello Virmite		A - 840 -
表示 (約355第一ド 19	2821 0	9995 947.h	\$3+P	臣不留えとつくルク		枝布
KE09-74 · «	董号 , 会社名 ,	郵便錄号 。 鼎	名 , 住所 , DB	SISTATI . DES OREA .	DBS_CREA + DBS_UPDA	· DES UPDA · A
27Tochai a	# 株式会社共体	2 3210833 栃木5	県 宇都宮市該瀬1	demouser8	DT2009+06-1 demouser8	DT2009-06-1
B 4077 1	2 東京石匠工業	3270505 極木3	県 佐野市山菅町1	demouser8	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
107 lbchipt : 7-7.6	3 エリエールペー	3291411 栃木1	第 さくら市緊痛411	Breeu omeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	4 標木県中央自	3200072 概末1	8. 宇都宮市若草:	Bracuomeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	5 志賀廃業株式	3260054 栃木3	県 足利市伊勢南1	demo use r8	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	6 株式会社協利	3214346 栃木3	県 順岡市松山町1	demouser8	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	7 雄大冠葉株3	3230807 栃木5	4. 小山市城東7-1	Breassiometh	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	8.株式会社務オ	3210601 版木1	第 字都宮市平出1	Brasuomeb	DT2009-06-1 dampuser8	DT2008-06-1
	9 梧木いす 5日	3200827 栃木3	県 宇都宮市花两1	demouser8	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	10.第一化成特式	3290502 栃木5	用 下對市下古山1	Brezuomeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	11 武原前事株3	3250047 栃木5	# 那須塩原市首1	demo user8	DT2009-05-1 demouser8	DT2008-06-1
	12 三王物産株式	3260054 栃木1	8 足利市伊勢南1	Bracuomeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-05-1
	13 1 日夕館品 標才	3220026 栃木3	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	demouse rB	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	14 株式会社触#	3210905 極木3	県 宇都宮市平出1	demouser8	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	15:岩下食品株式	3288555 栃木	4. 標本市沿和田:	Breauomeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	16 カンタン株式引	3200811 栃木1	影 宁都宫市大通1	Brazuomeb	DT2009-05-1 demouser8	DT2008-06-1
	17 株式会社スマ	3210654 栃木3	第 字都宮市元今1	Brazu omeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	18 三共物産株式	3200811 栃木3	非都宮市大通1	demouser8	DT2009-06-1 demouser6	DT2009-06-1
	19 小山五十斜井	3230619 概末5	4. 小山市大字横1	Breau om eb	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	20.株式会社みら	3240501 栃木1	編 書B:資源部書B5001111	Breauomeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	21 宇都宮化成1	3210973 栃木3	県 宇都宮市岩曽1	demouse f8	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	22 株式会社下す	3208686 栃木3	県 字都宮市昭和1	demouser8	DT2009-06-1 demouser6	DT2008-06-1
	23 抽液種化工業	3214961 栃木3	集 直回市並木町1	Breau omeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	24 カルソニックバ	3213231 概本]	# 字都宮市清照1	demouser5	DT2009-05-1 demouser8	DT2008-06-1
	25 ハイビックマチ	3230025 核木1	8. 小山市城山町1	Breau om eb	DT2009-06-1 demouser6	DT2008-06-1
	26 あづま食品株	3291115 栖木3	県 宇都宮市下田1	demo userfi	DT2009-06-1 demouser6	DT2008-06-1
	27 北関東松下電	3214346 栃木3	県 廣岡市松山町1	Breeu omeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	28 レオン自動機	3200071 栃木1	L 字都宮市野沢1	Bracuomob	DT2009-06-1 demouser8	DT2008-06-1
	29 株式会社営業	3210905 桃木3	E 宇都宮市平出1	demouser8	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	30 株式会社山田	3214961 版木3	8. 肩回市並木町1	demouser8	DT2009-06-1 demouser6	DT2008-06-1
	31 株式会社日港	3210905 膨木3	B 学都宫市平出1	Breaucemeb	DT2009-06-1 demouser8	DT2009-06-1
	32 株式会社アル	3290114 栃木3	8. 下彩钟初野木1	Brequometh	DT2009-05-1 demouser8	DT2008-06-1
	33 時式会社協力	1260005 Bt ±1	1 保知中十日日:	Resumen	PT1009-06-1 demolearft	DT2008-06-1

DB 自動作成する Excel ファイルは次のような形式で作成してください。

セル A1 から始めます。

1行目は項目名の行として作成。2行目からデータ行として作成します。

	A1	★ 番号			
	A	В	C	D	E
1	番号	会社名	郵便番号	県名	住所
2	1	株式会社共栄青果	321 0933	栃木県	宇都宮市簗瀬町1493
3	2	東京石灰工業株式会社	3270505	栃木県	佐野市山菅町3518
4	3	エリエールペーパーテック株式会社	3291411	栃木県	さくら市鷲宿4776-4
5	4	栃木県中央食販株式会社	3200072	栃木県	宇都宮市若草4丁目3番17号
6	5	志賀産業株式会社	3260054	栃木県	足利市伊勢南町9-3
7	6	株式会社協和製作所	3214346	栃木県	真岡市松山町18-2
8	7	雄大産業株式会社	3230807	栃木県	小山市城東7-6-3
9	8	株式会社栃木オリコミ・センター	321 09 01	栃木県	宇都宮市平出町3734-4
10	9	栃木いすゞ自動車株式会社	3200827	栃木県	宇都宮市花房2-2-4
11	10	第一化成株式会社	3290502	栃木県	下野市下古山154
12	11	與島商事株式会社	3250047	栃木県	那須塩原市若葉町2-38
13	12	三王物産株式会社	3260054	栃木県	足利市伊勢南町9-3
14	13	トヨタ部品栃木共販株式会社	3220026	栃木県	鹿沼市茂呂923
15	14	株式会社熊本商店	321 09 05	栃木県	宇都宮市平出工業団地7-1
16	15	岩下食品株式会社	3288555	栃木県	栃木市沼和田町23番5号
17	16	カンタツ株式会社	3200811	栃木県	宇都宮市大通り4-3-18
18	17	株式会社スマイルスタッフ	3210954	栃木県	宇都宮市元今泉6-4-3

1列目2行目から次のようなテンプレートを挿入配置してDB自動作成の準備をします。



DB 自動作成する Excel ファイルのシート上にテンプレートを配置します。

「項目名」、「項目タイプ」、「主キー指定」、「インデックス指定」、「必須入力指定」、「データ開始行」を設定します。



■主キーは、一つは必ず必要です。

DB 自動作成ではテンプレートに入力された設定内容に従って DB を作成していきます。

「項目タイプ」では dbSheetClient 対応の DB に従ったフィールドデータ型を設定します。

	A1 -	fir.	項目名			
	A	В	C	D	E	F
1	項目名	番号	会社名	郵便番号	県名	住所
2	項目タイプ	支整素	テキスト(40)	長整数	*キスト(15	テキスト(60)
3	主キー指定	1	2			
-4	インデックス指定					
5	必須入力指定		Y			
6	データ開始行	1	株式会社共栄青果	321 0933	栃木県	宇都宮市築瀬町1493
7		2	東京石灰工業株式会社	3270505	栃木県	佐野市山菅町3518
8		3	エリエールベーバーテック株式会社	3291411	栃木県	さくら市鷲宿4776-4
9		- 4	栃木県中央食販株式会社	3200072	栃木県	宇都宮市若草4丁目3番17号
10		5	志賀産業株式会社	3260054	栃木県	足利市伊勢南町9-3
11		6	株式会社協和製作所	3214346	栃木県	真岡市松山町18-2
12		7	雄大産業株式会社	3230807	栃木県	小山市城東7-6-3
13		8	株式会社栃木オリコミ・センター	321 0901	栃木県	宇都宮市平出町3734-4
14		9	栃木いすゞ自動車株式会社	3200827	栃木県	宇都宮市花房2-2-4
15		10	第一化成株式会社	3290502	栃木県	下野市下古山154
16		11	與島商事株式会社	3250047	栃木県	那須塩原市若葉町2-38
17		12	三王物産株式会社	3260054	栃木県	足利市伊勢南町9-3
18		13	トヨタ部品栃木共阪株式会社	3220026	栃木県	鹿沼市茂呂923
19		14	株式会社熊本商店	321 09 05	栃木県	宇都宮市平出工業団地7-1
20		15	岩下食品株式会社	3288555	栃木県	栃木市沼和田町23番5号
21		16	カンタッ株式会社	3200811	栃木県	宇都宮市大通り4-3-18
00		17	井子会社コラ (リラカ・コ	2010054	坂中田	空却ウォニム自らしつ

テンプレートが配置されて各項目に必要事項が入力された状態です。 テンプレートの挿入位置は DB 自動作成操作の「項目定義」で指定されます。 (上級者は Excel ファイルの作り方、テンプレートの挿入位置を自由に変更できます。)

[実行] ボタンをクリックして、DB 自動作成を開始します。

挿入行[2行目]

dbS

開始列 [1列目]

終了列は作成する項目列で変わります。

5.1.2. 【DB 自動作成】画面の説明

dbs

開発版メイン操作画面から [3.DB 自動作成] ボタンをクリックすると、「【DB 自動作成】 MDB の自動 作成」画面が表示されます。

CDB自動作成】 2052b1 78 〒7よた空表300-マイクレーシをJ用(人門) 林T MDBフナルS CV45SheetClent/Developtdev/feart# MDBファイル設定部 フークMDB% dbS, Mork.DE79 m.db >>選択 MDBファイル設定部 フークMDB% GBS725 Sample DB.ka >>選択 ####################################	dbS-DB自動	作成					プロジェクトタイトル表示/ 終了操作部
MDBファイル設定部 プーグMDB& 体払SheetClenrWExpedydevHeetW MDBファイル設定部 プーグTAL Watter MDBファイル設定部 プーグMDB& OxdoSheetClenrWSxmpleW Page ワーグTSが2k Sample Da ka Page ワーグTSが2k Sample Da ka Page ジードS GWD MADBファイル設定部 アーグTAL (#55+72.0) Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage Tage	【DB自動作	成】 MD	Bの自動作成		プロジェクト	79 ■ 7	テスト定義300-マイグレーション用(入門) 終7
ブッフォルメ OkdSheetClient/Sample/ ワーグブタウを、 Sample DB xh シード名(個的) 商品マスク (日本マスク) アータの確認 エラーメッセージ	MDBフォルダ ワークMDB名	C:¥dbSheetC dbS_WorkDB	lient¥Develop¥dev¥test¥ 879.mdb	# 	選択		MDBファイル設定部
正式	ブックフォルダ ワークブック名 シート名(選択)	C.WdbSheetC Sample DB.× 商品マスタ 得意先マスタ 売上へッダ	lient¥Sample¥ Is		選択 選択 選択	選択シート4 作成テーブ/	▶8 博意先でスタ 「月意先でスタ 」 定義のみ
7-201482 [13-39년-9] 結果表示部		売上明細 社員マスタ		項目	目定義 軍入	実行	Excelブック設定部
	F-90%2 13	-392-33					結果表示部

■プロジェクトタイトル表示/終了操作部

プロジェクトのIDと名前の表示および、終了操作を行います。

機能名/ボタン名	説明
プロジェクト	開発中のプロジェクト ID とプロジェクト名を表示します。
終了	「処理選択」ダイアログを表示します。
保存	データベースと Excel ブックを保存して MDB 自動作成を終了します。 開発版メイン操作画面になります。
廃棄	処理結果をすべて破棄して MDB 自動作成を終了します。
戻る	終了の「処理選択」を中止します。

※ MDB 自動作成で生成処理がなされなかった場合は [終了] と [戻る] を表示しますので、選択して ください。

dbS-処理選択
② 終了しますか?
終了 戻る

■MDBファイル設定部

作成するワーク MDB ファイルのフォルダとファイル名を指定します。

機能名/ボタン名	説明
≫選択	ファイル選択画面になります。
MDB フォルダ	MDB ファイルの保存先フォルダ名を表示します。
ワーク MDB	MDB ファイル名を表示します。

※ここで指定したファイル名.mdb でデータベースが作成されます。

■Excel ブック設定部

db

使用する Excel ブックのファイルを選択します。

機能名/ボタン名	説明
──────────────────────────────────────	ファイル選択画面になります。 ファイルを選択するとフォルダの場所とファイル名がセットされます。
ブックフォルダ名	Excel ブックの保存先フォルダ名を表示します。
ワークブック名	Excel ブック名のファイル名を表示します。
シート名(選択)	シートに選択 Excel ブックに格納されている全シート名を一覧表示します。

ファイル選択後、ブックフォルダ名およびワークブック名をセットすると、選択された Excel ブックを 開きます。

【DB自動作	成】MDBの自動作成
MDBフォルダ	C:¥dbSheetClient¥Develop¥dev¥Demo¥
ワークMDB名	dbS_WorkDB_test.mdb
ブックフォルダ	C:¥dbSheetClient¥Sample¥
ワークブック名	SampleDB_test.xls
シート名(選択)	商品マスタ 得意先マスタ 売上へッダ 売上明細 社員マスタ

【 注意 】 Excel プックを編集するときは、編集したいファイルを原本として保管するために、コピーした ファイルを作成して、そのファイルを指定するようにします。

ロシート選択

機能名/ボタン名	説明
≫選択	シートを選択してクリックします。
選択シート名	選択シート名を表示します。
作成テーブル名	作成テーブル名を表示します。 特殊文字はテーブル名に使用できません。シートに特殊文字が使用され ている場合は、ここで修正できます。

ブックフォルダ	C#dbSheetClient#Sample¥				
ワークブック名	SampleDB_test.xls	≫選択	281021-1-22	高島ガラク	
シート名 (選択)	商品マスタ	≫選択	AB9(2 = P46		
	得意元マ人タ 売上へッダ 売上印線		作成テーブル名	商品マスタ	定義のみ
	社員マスタ				
	2	項目定義 挿入	実行	[

口項目定義挿入

機能名/ボタン名	説明
項目定義 積入	データベース自動作成のための定義を行います。
挿入行位置 🔶 行目	挿入する行を設定します。
開始列 🔷 (A)	挿入開始の列を設定します。
終了列 文 (D)	挿入終了の列を設定します

以下に示す6行とデータの存在するすべて項目列に属性定義を挿入していきます。

	A1 + 💽 🎉 1	τ 目名		
	A			
	項目名	NO	東京地域名	電話番号
2	項目タイプ			
3	主キー指定			
4	インデックス指定			
5	必須入力指定			
6	データ開始行	11	大久保	332000003

セル水色部分には挿入された後、データ属性を設定します。 ※挿入行指定 Excel 2003 ファイル形式(.xls)は、65,536 行までです。 ※開始・終了列 Excel 2003 ファイル形式(.xls)は、256 列までです。

□属性定義

機能名/ボタン名	説明
項目タイプ	フィールドのデータ型を設定します。 項目タイプ行にカーソルを位置づけるとリストボタンとコメント表示に なります。 リスト選択ボタンで当該項目タイプを選択します。 ※テキストのみ文字数の設定が必要です。
主キー	テーブルのプライマリキーを設定します。 1 から順に設定します。9 まで可能。
インデックス指定	プライマリキー以外に索引キーが必要な場合に設定します。 A1、A2…のように 26 個の設定が可能です。
必須入力指定	指定位置に Y を入力します。 指定された列位置のデータは必須とします。空白やゼロ以外のデータが 必ず存在すること。 実行時に空白やゼロを検出すると「必須入力項目なのに値がありません」 とエラーを表示して自動作成を終了します。シート内データを検証し、 再度実行してください。 ※Null データ(空白やゼロ)を許可しない制御はアプリケーション側 で行います。

■定義実行

db

機能名/ボタン名	説明
□ 定義のみ	テーブルのみの作成を設定します。 初期値はチェックなしで、テーブルの作成と、データの取り込みを 行います。 チェックボックスをチェックするとテーブルのみの作成になります。 実行時に下記の確認ダイアログを表示します。 dbSheetClient (確認) ワークMDB上にテーブルを作成します。よろしいですか? ○ テーブルの作成 ※ データの取り込み 【定義のみ指定時】
実行	MDB 自動作成を実行します。 既存のテーブルを指定している場合は、一度削除して作成されます。

実行すると確認ダイアログを表示します。

🗖 dbSheetClient (確認)	
ワークMDB上にテーブルを作成します。よろしいですか? ・	
(#UM) (N)2(M)	【定義のみ指定時】
[はい]・・・・定義に従ってデータベースを作成します。	
Excel 非表示になり、	処理中メッセージを表示します。
[いいえ]・・・・データベース作成を中	止します。

※実行時には排他制御のための情報も取り込みます。

この情報は同時実行制御機能と呼んでいます。詳細は『開発版テクニカルリファレンスマニュアル「4.1 DBS 同時実行制御フィールド」』を参照してください。

口実行結果の表示

機能名/ボタン名	説明
データの確認	正常終了時、取り込みデータを一覧表示します。 「定義のみ」の場合は表示しません。 ここでは確認のための表示になります。 [終了]-[保存]でデータベース作成完了となります。
エラーメッセージ	実行エラー内容を表示します。

番号	店名	電話番号	郵便番号	住所	1
1	(株)アーネスト	092-739-1377	810-0041	福岡県福岡市中央区大名2丁目4-22-507	
2	(株)インターキュイジーン	092-600-7337	810-0022	福岡県福岡市中央区築院1丁目6-14-3F	1
3	(株)サンデーサンニ又瀬店	092-622-9395	812-0068	福岡県福岡市東区社領3丁目19-28	
4	(有)エヴァダイニング	092-731-2122	810-0073	福岡県福岡市中央区舞鶴1丁目9-3-1Fエスカイヤクラブ博多店	
5	Adoriano	092-531-6880	810-0014	福岡県福岡市中央区平尾2丁目15-9-1F	
6	AIDA	092-731-0222	810-0022	福岡県福岡市中央区薬院2丁目19-31-1F	
7	apartment501号室	092-738-3455	810-0001	福岡県福岡市中央区天神2丁目6-21-5F	
8	cafeTeco	092-713-9377	810-0023	福岡県福岡市中央区警団1丁目4-22-2F	
9	gaza	092-715-8310	810-0041	福岡県福岡市中央区大名1丁目3-37-1F	
10	60-000	092-720-5959	810-0041	福岡県福岡市中央区大名2丁目1-55-7F	
11	GOODFARM	092-724-3371	810-0023	福岡県福岡市中央区警団1丁目4-11-1F	
12	IL·SOL·LEVANTE	092-713-6888	810-0023	福岡県福岡市中央区警団2丁目14-1	
13	KINZO	092-714-0770	810-0023	福岡県福岡市中央区警団3丁目13-6	
14	MKレストラン姪浜店	092-884-2020	819-0005	福岡県福岡市西区内浜1丁目7-3-1F	1
	12.00.03			International Contraction of Contraction C	1

5.1.3. DB 作成インデックスシートの説明

db

DB作成インデックスシートは、「dbS_CreateDBDef」というシート名で、Excel ブック内に挿入されます。(すでに存在する場合は、挿入されません。)

また、このシートは Excel ブック選択後に挿入し、「項目定義挿入」の実行時に指定シートの情報を自動的に設定します。

データベース作成のために、シート毎の項目定義情報の挿入状況を管理していますので、編集をしないで ください。

シート数:	2		DB作成	インデック	ウスシート	
シート名	住所録_in	商品マスタ				
作成テーブル名	住所録	M01_商品				
項目名行番号	5	2				
項目名列番号FROM	3	2				
項目名列番号TO	24	6				
項目タイプ行番号	6	3				
主キー指定行番号	7	4				
インデックス指定行番号	8	5				
必須入力行番号	9	6				
データ開始行行番号	10	7				
データ終了行行番号	65536	65536				
定義のみ作成	0	0				
項目タイトル列列番号	2	1				

機能名	説明
シート数	項目定義の挿入を実行したシートの数です。
項目定義挿入情報	項目定義挿入を行うシートを追加する毎に、シートの情報を追加してい きます。
項目定義挿入情報	DB 自動作成時の指定内容が設定されます。

【 注意 】

DB 作成インデックスシートは、データベース作成のために、シート毎の項目定義情報の挿入状況 を管理しています。このため、編集はしないでください。 db

5.2. MDB ファイルから DB サーバにデータをアップロードする手順

ここでは MDB ファイル (主キー必須) から DB サーバにデータをアップロードする手順を説明します。 DB アップロードは「DB 自動作成」で作成した MDB ファイルまたは、作成済みの MDB ファイルから、 DB サーバにテーブルおよびデータを作成・登録するための機能です。 テーブルのアップロードは3ステップです。 保守機能は、DB サーバのテーブルを一括削除します。



5.2.1. DB アップ (F3) の説明

dby

開発版メイン操作画面から [DB アップ(F3)] ボタンをクリックすると、「MDB のアップロード」画面 が表示されます。



機能名/ボタン名	説明
終了	開発メイン操作画面に戻ります。
取消	アップロードする MDB ファイルを変更する場合は、 [取消] ボタン をクリックします。 「テーブル情報の取り込み」実行以後からボタンが使用できます。 「サーバに送信」後は、送信済のため使用できなくなります。

■ステップ①

機能名/ボタン名	説明
ユーザ MDB の選択	アップロードする MDB ファイルを選択します。 ファイル指定は表示されるダイアログ画面から行います。
フォルダ名	MDB ファイルが格納されているフォルダ名を表示します。
ファイル名	MDB ファイルのファイル名を表示します。
更新時刻	指定した MDB ファイルの更新日と更新時間を表示します。

■ステップ②

d

機能名/ボタン名	説明	
テープル情報の取り込み	MDBファイル内にあるすべてのテーブル情報を取り込みます。 パスワード保護を掛けている場合は、パスワード入力してから取り込 みをしてください。 パスワードの未入力や誤りがある場合は、エラーメッセージが表示さ れますので、正しいパスワードを入力し直してください。	
全レコード数	取得した全テーブルのレコード件数を表示します。	
テーブル内容の確認	MDB ファイル内の表示テーブルを選択します。 結果表示部に選択テーブルと、テーブル内容を表示します。	

■ステップ③

機能名	説明
エイリアス名(DB 名)選択	dbSheetClient サーバに登録しているデータベースのエイリアス名 を選択します。 ※データベースのエイリアス登録は、『システム管理者用マニュアル』 の以下を参照してください。 「2.5. データベース登録」 「2.7.3. プロジェクトへのエイリアス参加」
サーバに送信	DB サーバにテーブルおよびデータを一括登録します。 登録途中で異常が発生した場合は、すべての登録を破棄し、元に戻し ます。

■保守

機能名	説明
テープルの削除	DB サーバのテーブルを破棄して、再作成する場合に使用します。 実行する場合は、②、③を行ってから[テーブルの削除]ボタンを クリックします。 対象となるテーブルは MDB ファイルに存在するテーブルのみです。 削除途中で異常が発生した場合は、すべての削除を破棄し、 元に戻します。 結果表示部に送信結果(削除結果)を表示します。

■結果表示部

機能名	説明
テープル一覧	テーブル情報の取り込みの実行で取得したテーブルー覧を表示しま す。一覧表示する項目は No、テーブル名、レコード数です。
テーブル内容	選択したテーブルのデータを下枠に表示します。
送信結果	実行した結果を下枠に表示します。

■ガイダンス表示部

db

ステップ毎に主な操作内容をメッセージとして表示します。

【1】ステップ①

DB サーバにアップロードする MDB ファイルを選択してください。

【2】ステップ②

ユーザ MDB のテーブル情報を確認したのち、[テーブル情報の取り込み] ボタンをクリックして ください。

【3】ステップ③

•エイリアス名選択時

テーブル内容が正しく表示されたのを確認し、アップロード先のエイリアス名(DB名)を選択して ください。

・サーバ送信時

テーブル内容と DB 内容を確認したのち、「サーバに送信」ボタンをクリックしてください。

第6章 デバッグのためのテスト環境

dby

dbSheetClient では定義編集の動作確認を行うための支援プログラムを用意しております。 「デバッグ実行」では、通常実行とステップ実行で動作確認を行います。 「リファレンス作成」では、プロジェクト定義編集情報を Excel ファイルにすべて出力した ドキュメントを作成します。

「SQLテスト実行」では、選択 DB に対して動作の確認を行います。 本章では、これらの支援プログラムについて説明します。

- 6.1 デバッグ実行
- 6.2 SQLテスト実行
- 6.3 リファレンス作成

6.1. デバッグ実行

db

定義情報が正しいかどうかをデバッグモードで確認することができます。 デバッグの実行方法には、以下の方法があります。 ①開発版メイン操作画面の[デバッグ]メニューから[デバッグ実行]を選択 ②開発版メイン操作画面の**[4.デバッグ実行]**ボタンをクリック

③ 定義編集画面の [1.実行] ボタンをクリック

ファイル(2) 産業(2) 08自動作成(2) デバッグ(2) アップロード(2) メンテナ	6779ケーション】 #3 シスピ へルプピ	6	2007-10 Newcom	0000 bl.s	
	成 <u>1.7万97実行</u> 3)	C db5-元茶業素 **	= 1 − 25%* 2×====================================	(135) 71 (135) 50	1ジェクト: 44 DMOF サンナル集2 エリー) <u>を</u> 原語) <u>フ</u> EXCEL <u>8</u> D
プロジェクト 情報 組織ID 135 プロジェクト 名 83 プロジェクト 定義ファイル名 dbS_sAPPL083.dbs	サンブルWebアブリケー:	騎鼎 帮 Ri Xinu			翻 禁 籔 ⅔↓ 載 編¥₩
◆実行用フォルダ◇ ※実行用フォルジには、実行用の定義ファイル/ C. VdtSheetClient¥DevelopV4Vrun¥sAPPL¥	が保存されています。(起	G トップ(サンプル・応用 B サンプル 商品マスタ 商品マスタデー	編)	日 1 表示NG 2 3	0 階層 メニュー名 1 1トップ(サンブル・応用) 2 2 サンブル
		327 13 40.25	H 07 .A.	143	3 商品マスタ
実行用フォル5556 安美754-5-51ビーオ3. ファイルの更新日時	2010年4月	58 15:05:42	52721141 Ver.	REATON Ver.	3 3 商品マスタ
第行用2x4595 アイルの更新日時 東アイルを2015 東マンイルを2015 アップロード日時 エロニーオる4%にはあず上まき してもなか参考的としてまたが、米実行用の定義フィイルを、開	2010年4月 2009-08-1 発フォルダにコピーすること	15日 15:05:42 8 14:03:19:567 ができます。	300	2	3:3.商品マスタ
デ行用2545分ら 実行用2545分ら 実力で4521℃350 メコピー334にはませたまさ してもよりを着型してくまさい。 米実行用の定義27ヶ6点、開 回開発用2545分の フィ666東新日時 アナロード日時 米実行用の定義27ヶ6点、開 フィ666東新日時 アナロード日時 アナロー アナロード日時 アナロー アナノー アナロー アナロー アナロー アナロー アナノー アナ	2010年4月 2009-08-1 発フォルダにコピーすること 2009年8月	20 E 11-17-20	22754144 Ver. 300	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	31 31 商品マスタ

デバッグが実行されると、最初に以下のダイアログが表示されます。



6.1.1. 通常実行

👺 DMOF サンブル集(入門編)Ver4【デバック	Juser:manual3 #1
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H) 復旧	プロジェクト: DMOF サ
終了 標準サイズ • 画面リフレッシュ	
メニュー 再 ステップ停止	

【通常実行画面】

定義編集で定義された通りに実行してデバッグします。

※ デバッグ実行中に、DB 定義、DB 運用定義、ブック定義、ブック運用定義、メニュー定義を変更した場合は、定義情報を再取得し直す必要があるため「再」(再読込)ボタンを必ずクリックしてください。
 ※ 元の Excel ファイルを変更した場合は、デバッグ実行を一度終了してから再度実行する必要があります。

dbSheetClient
6.1.2. ステップ実行

dbS



【ステップ実行画面】

定義編集のタスク定義で定義された処理をステップ単位で停止させながらデバッグします。

例)ボタン定義-タスク定義情報

	A	В		C	0	D	E		F		G				
1	BSNO	ボタンNO	ボタ	ン名	【表示名	TASKNO	タスク名	格	観レベル	定義	有効無効フラグ				
2	170	1	読込			1700	トランザクション(22	3).読込				商品マ			
3	170	2	 百 新			1710	1 = 1, 1# 52, -1, 700	の面如				1 = \ .++			
-	170	2	2.17		в			D	E		F		G	н	
4	170	3	クリノ	1	TASKN	0	タスク名	処理順NO	タスクタイ	(プNO	タスクタイプ名	タスク	タイプ属性	BKNO	
				2	170)0 トランザ	クション(223) 読込	1		201	SQL	照会		1	Sample \$
				2	170	10 K517tf	クション(223) 詰込	2		410	コピー	数式		1	Sampled

[読込]ボタンが押された時、DBからデータを読み込んで処理用のシートに展開します。 あらかじめシート上に登録していた数式をコピーするように定義しています。

db	bSーステップ実行											
5	いっつ内の処理	一覧	<mark>※選</mark>	択したタスクが次のブレイ	ワポイントとな	います。						
Γ	TASKNO	処理 順No	タスクタ イプNo	タスク名	タスクタ イプ名	属性	有効 無効	シー ト名	保護	開始判定セル	ジャンプ 先セル	MNO
۲	1700	1	201	トランザクション(223)_読込	SQL	照会						0
	1700	2	410	トランザクション(223)_読込	วピー	数式						0
*												
<												>
[次のタスク	まで >		択したタスクまで >>	🔲 ステッ	プ実行の	リストを出ナ	」する		最後ま	で実行 >>>	
[中断する	5 🔳			🗌 タスク	処理内で	自動計算	をONに変	更する	デバッグ・	エラー画面表	示

上記内容をステップ実行で確認。

当該 [読込] ボタンが押されると dbSheetClient 画面上にステップ実行画面が表示されます。 カーソル位置のタスク (TASKNO: 1700、処理順 No: 1、タスク名: トランザクション(223)読込) がこれから開始 (実行) するステップになります。

6.1.3. ステップ実行の操作

dby

ここではステップ実行画面に出てくるボタンの操作などについて解説します。

機能名	説明
次のタスクまで>	単体でステップ実行させたい時に指定します。 カーソルの位置する、タスクのみを実行し次のタスクの開始位置で 停止します。
選択タスクまで>	複数行にまたがるタスクをステップ実行時に指定します。 選択反転した末尾ステップの手前まで処理して停止します。 選択は左端の選択レーンでマウス左ボタンを押しながらステップ実行 させたいタスクの次のタスクまでスライドさせます。 マウスボタンを離して選択終了です。
中断する 🔳	処理を中断し、タスク内の処理一覧を終了します。
ロタスク処理内で自動 計算を ON に変更する	デバッグ実行時の自動計算は OFF になっています。 デバッグで自動計算も行いたい場合は、ロにチェック(レ点)を 入れてください。自動計算を行います。
ロステップ実行のリス トを出力する	C:¥dbSheetClient¥Develop¥log にステップ実行時のリストを 作成します。 dbS_(yyyy-mm-dd)StepRunLog300_9999 と言うファイル名で日 付単位で作成されます。 ファイル項目と内容はタスク内の処理一覧と同様ですが、 一連の処理内容を後で確認する時に使います。
最後まで実行>>>	タスク内の処理一覧に表示されているタスクをすべて実行します。 ステップ実行が終了します。
デバッグエラー・ 画面表示	デバッグ時に発生したエラーメッセージを表示します。

db	dbSーステップ実行											
5	タスク内の処理一覧 ※ 選択したタスカが次のブレイカボイントとなります。											
	TASKNO	処理 順No	タスクタ イプNo	タスク名	タスクタ イプ名	属性	シー 卜名	保護	開始判定セル	ジャンプ 先セル	MNO	BSNO
	1	1	411	シート」読込	クリア	数式と	Demo				0	0
	1		401	シート」読込	直接展開		Demo				0	0
	1		203	シート」読込	データ照		Demo					0
►	1	4	401	シート」読込	直接展開		Demo				0	0
_	1	5	201	シート_読込	SQL	照会	Demo				0	0
	1	6	201	シート_読込	SQL	照会	Demo				0	0
	1	7	201	シート_読込	SQL	照会	Demo				0	0
*												
<			Ш			_	_	_			_	>
[次ወቃス	フまで >	<u>ž</u>	択したタスクまで >>	🗆 ステッ	プ実行の	リストを出	力する		最後まで	実行 >>	•>
	中断する □ タスク処理内で自動計算をONに変更する デパッグ・エラー画面表示							表示				

6.2. SQLテスト実行

db

SQL テスト実行では、DB 定義で定義した DB との接続確認を行います。

SQL テスト実行は

[エイリアス(DB)の選択] - [①FROM 句] - [②SELECT 句] - [SQL 文の自動生成] [SQL テスト実行]の手順で確認します

機能名	説明
[エイリアス (DB) の選択]	DB 定義で定義したエイリアスを選択します。 定義したエイリアスの一覧をリスト表示します。 当該エイリアスを選択します。 DB 定義が正常に成され DB が接続できていると [①FROM 句] の エリア内に DB 内に存在するテーブル名を表示します。 この段階で SQL テスト実行での DB 接続確認はできました。
[①FROM 句]	DB 定義で接続した DB 内に存在するテーブルを表示します。 当該テーブルを選択します。 選択されたテーブル名が処理エリアに転記されます。
[@SELECT ব্য]	FORM 句で選択テーブルのフィールド名を一覧表示します。 [全]をクリック。処理対象のフィールド名をすべて選択します。 フィールド名一覧の下枠の処理対象選択エリアに全てのフィールド名が 表示されます。
[SQL 文の自動生成]	[SQL 文の自動生成]をクリックすると SQL 文を自動的に作成します。
[SQL テスト実行]	[SQL テスト実行] で自動生成された SQL 文を実行します。 実行エリアに実行結果を表示します。

DB に存在するデータが読み込まれて表示されれば確認終了です。

読み込まれない場合は定義方法の誤り、DBの中味が存在しないなどの可能性があります。 確認修正後、再度 DB 定義から、SQL テスト実行を行う必要があります。

6.3. リファレンス作成

db

リファレンス作成では、定義編集した定義内容のすべてを Excel ファイル上に自動作成します。



操作手順

①開発版メイン操作画面から [5.リファレンス] ボタンをクリックします。

②リファレンス作成開始の確認ダイアログが表示されます。

[はい] ボタンをクリックします。

[いいえ] ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。

③dbSheetClientを起動し、Excel ファイル上にリファレンスを自動作成します。

■ [定義体内容]、[リファレンス]、「クロスリファレンス」

機能名	説明
[定義体内容]	各定義シートの内容を展開します。
[リファレンス]	各リファレンスを展開します。
「クロスリファレンス」	各クロスリファレンスを展開します。

第7章 プロジェクト定義情報と Excel ブックのアップロード

本章では、開発した定義情報(以降プロジェクト定義情報)と、プロジェクトで使用する Excel ブック ファイルをサーバにアップロードする機能について説明します。

- 7.1 プロジェクト定義情報をアップロードするための前提条件
- 7.2 プロジェクト定義情報のアップロード
- 7.3 Excel ブックのアップロード

dbSheetClientは、開発したプロジェクト定義情報(.dbs)とExcel(.xls/.xlsx)ブックファイルを サーバにアップロードする必要があります。これにより、プロジェクトに参加する全ユーザがプロジェク トを利用できるようになります。



7.1. プロジェクト定義情報をアップロードするための前提条件

プロジェクト定義情報をサーバにアップロードすると、アップロード後にプロジェクトを実行したユーザ には、プロジェクトの変更内容が直ちに反映されるようになります。

プロジェクト開発中に、誤って古いバージョンのプロジェクト定義情報がアップロードされると、プロジェクト定義情報のデグレードなどのトラブルが発生してしまいます。このようなトラブルを防止するために、dbSheetClientでは、プロジェクト定義情報をアップロードする際に、以下の2点をチェックしています。

①プロジェクト定義情報の「システム仕様 Ver.」と「定義アップ Ver.」のチェック ②プロジェクト定義情報の変更レコードが1件以上あるかのチェック

以降に、各チェックの詳細について説明します。

dbs

■①プロジェクト定義情報の「システム仕様 Ver.」と「定義アップ Ver.」のチェック

実行用フォルダの情報に表示されたサーバのプロジェクト定義情報と、開発用フォルダの情報に表示される編集中のプロジェクト定義情報の「システム仕様 Ver.」と「定義アップ Ver.」が一致するかを チェックします。両方が一致したとき、アップロードができるようになります。

両方が一致しない時は、エラーメッセージを表示して、アップロードできないようにしています。

0終7] [1定義編集]	3.DB自動作成	4.デバッグ実行	5.リファレンス	6.SQLテスト実行	2.データ保守定義
環境設定 / アップロード(F1) Excelアップ	7(F2) DB797(F3)		(複製(F5)) デモ取込(F6))
1ジェクト 情報					
組織ID 135 プロジェクト:	名 79 サン	プルアプリケ ーション	,		
プロジェクト定義ファイル名 d	dbS_sAPL079.dbs				
¥dbSheetClient¥DevelopV4¥run¥sAPL¥	CT17HW7224X27717W71#	17-241 (6/64 9 % (8/6	動かせにサーバから	9000-renica	E#277170097
StdtSheetClient¥DevelopV4¥run¥sAPL¥ 実行用フォルダから 定義ファイルをコビーする	771ルの更新日時	2010年3月	31 8 15:40:	17 20	E我277170C97
¥dbSheetClient¥DevelopV4¥run¥sAPL¥ 実行用フォルダから 定義ファイルをコヒーする 米コピーする時には必ず上書き してもよいか寝腔してください。 ※実行用	ファイルの更新日時 アゥブロード日時 の定義ファイルを、開発フ	2010年3月 2010-03-1 けルダにコピーするこ	 31日 15:40: 15:40:045 両方のバージ. 一致しているこ 	17 20 コンが こと	E 4 3 7 7 1 / / C 9 7 F / 仁様 定義アップ Ver. Ver. 100 1
※VdbSheetClient¥DevelopV4¥run¥sAPL¥ 実行用フォルダから 定義ファイルをコピーする メコピーする時には必ず上書き してもよいか確認してください。※実行用 別発用フォルダの	ファイルの更新日時 アップロード日時 同の定義ファイルを、開発フ	2010年3月 2010-03-5 オルダにコピーするこ	31日 15:40: 1 15:40:45 両方のバージ. 一致しているこ	17 20 コンガ と	E4我)アイルビタ) Fム仕様 定義アップ Ver. 100 1
※dtbSheetClient¥DevelopV4¥run¥sAPL¥ 実行用フォルダから 定義ファイルをコピーする ※コピーする時には必ず上書き してらよいか確認してください。※実行用 別発用フォルダの	ファイルの更新日時 アゥブロード日時 の定義ファイルを、開発フ ファイルの更新日時	2010年3月 2010-03-1 オルダにコピーするこ 2010年3月	31日 15:40: 1 15:40:4 一致しているこ 31日 15:40:4 31日 15:40:4 310 15:40:	17 20 コンが と 17 シス5	E4我クアイルビタイ F44年 定義アップ Ver. 1000 1 F44年 定義アップ Ver. Ver. Ver. Ver. Ver. Ver. Ver.
実行用フォルダから 定義ファイルをコピーする。 ※コピーする時には必ず上書き してもよいか確認してください。 第発用フォルダを変更する	ファイルの更新日時 アップロード日時 の定義ファイルを、開発フ ファイルの更新日時 アップロード日時	2010年3月 2010-03-3 オルダにコピーするこ 2010年3月 2010年3月 2010-03-3	 31日 15:40: 15:40:45: 両方のバージ. 一致しているこ 31日 15:40:04.5 	17 925 20 3 コンが と 17 925 30 3	と ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま

※プロジェクト定義情報が一致しないでエラーメッセージが表示される例

db

下記例では、「定義アップ Ver.」が一致しておらず、そのような場合、開発用フォルダの「定義アップ Ver.」欄に背景色がつきます。この状態で [アップロード(F1)] ボタンをクリックすると、エラー メッセージが表示されます。

🞯 dbS-開発メイン操作	F画面 ユーザ:sa	ample01 <10> 【8	3:サンプルWebアプリ	ケーション】 #3			
ファイル(E) 編集(E)	DB自動作成(A)	デバッグ(<u>D</u>) アップロー	ドロンメンテナンスM) ヘルプ(日)		(C)2007-10	Newcom Co.,Ltd. (5.0.0.0
<u>0</u> .終了	1.定義編集		3.DB自動作成	4.デバッグ実行	5.177622	<u>6</u> .SQLテスト実行	2.データ保守定義
環境設定	アップロード(F1)	Excel797(F2)	DB797(F3)		複製(F5)	デモ取込(F6)	
プロジェクト 情報 組織ID 135 プロジェクト 定義フ	5 7711)名	プロジェクト名 dbS_sAP	83 サンプ PL083.dbs	ĴĴŀWebアプリケ	ーション		
◇実行用フォルダ ぐ C:¥dbSheetClient	▶ ※実行用フ ¥DevelopV4¥ru	vダには、実行用の YsAPPL¥	定義ファイルが保存	されています。(お	己動時にサーバから!	ダウンロードされた定	2義ファイルです)
実行用73	+ルダから	77140	の更新日時	2010年4	月5日 16:16:2	8 V.T	ム仕様 定義アップ fer. Ver.
定義ファイル3	をコピーする 特には必ず上書き	Pot	クロード日時	2010-04	の5 18:15:40 0		00 3
💙 ปรี่อิสเวทิพิ	認してくたさい。	※実行用の定義	ファイルを、開発フォ	ルダにコピーす Ц			$\rightarrow \diamond$
◎閉発用フォルダ@	»			_	-致していま	せん) 仕様 一定美元。1
開発用フォル	ÿを変更する		の更新日時	2010年4	月5日 16:16:1	8 ² V	Ver. Ver.
	*Developv4*de	VFSAFFLF	y				×
		disSheetGlient (電型 違訳なれた定義: なつジェクト定当 ★フロジェクト定 定義ファイルの内	2) カテイルは、編集中のプロジョ 数アップVer【2】>>>>サ 満足アップVer【2】>>>>サ 満足アップVer【2】>>>>サ 満足です です。 高と確認し、アップロード可 OK	ウトと以下の内容に不一 バ側定義【3】 -★ 総な定義ファイルを選択	取があります。		
L ラーメッセー	ジダイアロ	リグで <mark>[OK]</mark> ボ	タン有クリ	ックすると、	「プロジェク	7ト定義アッ	プロード」画で
が表示されます ごきません。 ≥ do5-710710FR&ア>71-F	が、 <mark>[定義情</mark>		<u>み]ボ マンが</u>	<u>無効状態</u> に □■図	なっており、	このままで	オ アップロー
【アップロード】 プロジェクト) ★★プロ	定義情報のサーバ更 ジェクト定義ファイルの内	新	V D込んでください。★★	終了			

	35307775 T					
【アップロード】	プロジェクト定義情報のサーバ更新	V #7				
	★★プロジェクト定義ファイルの内容を確認し	、定義情報を取り込んでください。 ★★				
★アップロード	するプロジェクト定義ファイルの内容★	【保守】				
組織ID	135 フロジェクト名 83 サンプレWebアプ!	ケーション の定義情報取り込み許可				
フォルダ名	C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPPL	定義情報取込許可				
ファイル名	dbS_sAPPL083.dbs	 システム仕様Ver. 300 ジアオード後の 定部パップVer.変更 				
更新時刻	2010年4月5日 16:16:18	2)定義アゥブVer. 2 バージョン Ver情報				
【1】 ステップ 取込モードを進 〇 変更レコー 〇 全レコート	D 取してに変え) トロム (22)期化が必要) 東美情報の 取り込み 和り込み とり-ト結 更新 開除 単の たの参 和り込ん たしっ-ト結 一 同 ため 和り込み しっ-ト結 一 同 ため 和り込み しっ-ト結	【2】 ステップの -パに送信 サーパ筒アゥゴロード前 >>>>> 1>システム仕様Ver. 300 2)定義アゥブVer. 3				

※上記のように「定義アップ Ver.」が不一致状態でも、強制的にアップロードを行いたい場合は、 【保守】エリアにある[定義情報取込許可]ボタンにより、アップロードすることが可能です。 詳細は『第2部 7.2.3 プロジェクトアップロード内の保守機能について』を参照してください。

■②プロジェクト定義情報の変更レコードが1件以上あるかのチェック

db

定義編集されたプロジェクト定義情報の中で、変更レコードが1件以上あるかをチェックします。 定義編集で編集した後に開発版メイン操作画面へ戻ると、開発用フォルダの情報表示エリアには、 「編集中」と「編集回数」が表示されます。編集回数が1回以上であり、この状態で[アップロード(F1)] ボタンをクリックして、「プロジェクト定義アップロード」画面を表示します。

ここで、**[定義情報の取り込み]**ボタンをクリックして、定義情報を取り込み時に変更レコードが1件 以上ある時、アップロードできます。

変更レコードが〇件の時は、エラーメッセージを表示して、アップロードはできません。

2 dbS-開発メイン抹作画面 ユーザ:sample01 <10>【83:サンブルWebアブリケーション】#3									
ファイル(E) 編集(E) DB自動作成(<u>A</u>) デバッグ(D) アップロード(U) メンテナ:	ンス(M) ヘルプ(H) (C)2007-10 Newcom Co.,Ltd. (5.0.0.0)								
	え <u>4</u> デパッグ実行 <u>5</u> リファレンス <u>6</u> SQLテスト実行 <u>2.デー</u> タ保守定義								
環境設定 アップロード(F1) Excelアップ(F2) DBアップ(F3) 複製(F5) デモ取込(F6)								
プロジェクト 情報 ゴロジェクト 名 83 1 創織口 135 プロジェクト 名 83 1 プロジェクト 定義ファイル名 dbS_sAPPL083.dbs 1	ナンプルWebアプリケーション								
◆実行用フォルダ◇ ※実行用フォレダには、実行用の定義ファイルが保存されています。(起動時にサーバからダウンロードされた定義ファイルです) C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥run eAPPL¥									
実行用フォルダから ファイルの更新日時 [2010年4月5日 16:52:42 Ver. Ver. Ver.								
「定義ファイルをコピーする」 アップロード日時	2010-04-05 16:15:48.880 300 2								
* してうるいちにはなり上書き してもよいか確認してください。 ※実行の定義ファイルを、開発	発フォルダにコピーすることができます。								
 ◎開発用フォルダ◎ 開発用フォルダを変更する (1) 「編集回数」 	と								
S.#ddSheetCrient#Developv4#0eV#\$APPL#	C:¥dtSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPPL¥								

「プロジェクト定義アップロード」画面で、「定義情報の取り込み」ボタンをクリックして、定義情報を 取り込み時に変更レコードが1件以上あると「サーバに送信」ボタンが有効になり、アップロードが できるようになります。

								<u> </u>	
🧭 db	Sープロジェクト	定義アッ	ブロード						
【ፖ୬	プロード】	プロ	ジェクト定義	情報のサ	ーパ更新	i			終了
【ステップ2】テーブル内容が正しく表示されたのを確認し、【サーバに送信】 を								をりょうし	ってください。
★アップロードするプロジェクト定義ファイルの内容★									【保守】
組織ID 135 ナロジェクト名 83 サンプルWebアプ				Vebアプリ	ケーション		①定義情報取り込み許可		
C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPPL フォルダ名					PPL				定義情報取込許可
-	7ァイル名		dbS_	APPL083	dbs		1)システム仕様Ver.	300	 ②アップロード後の 定義アップVer.変更
3	更新時刻		2010年	4月5日 16	:53:01		2)定義アップVer.	2	バージョン 入力時前 発制変更
	*	更新時	刻が最新か、	更新·削除l	/ <u>コードが正</u>	しいかをす	をす確認してください。!	1	
【1】 【 ^{1]}	】 ステップ① ☆モードを選打 ○「変更レコー ○ 全レコード	D 捩してくださ - ドのみ] *(*7)期イヒナ	() () () の必要)	定義情報の 取り込み 取り込んだしつ 更新 7	変更 <u> </u>		ード件数 サーバ側アゥブロード前 1)システム仕様Ver. 2)定義アップVer.	>>>>> P 300 1 2 2	サーバに送信 ップロード後のバージョン情報 シンステム仕様Ver. 300 い定義アップVer. 3
	テーブル名	*	更新対象合計	追加·更新	削除	^			
<u> </u>	00.70ジェクト	管理情報	6	6	U				
	02.7 -9/(-/	いた#8	0	0	0				
	03.メニュー定義	5 5	1	1	0				
	04.ボタン定義		0	0	0				
	05.タスク定義		0	0	0				
	06.クエリー定義	ě –	0	0	0				
	07.開始終了刘	心理	0	0	0	~			

dby

※プロジェクト定義情報の変更レコードが〇件でエラーメッセージが表示される例

「プロジェクト定義アップロード」画面で、**[定義情報の取り込み]**ボタンをクリックして、定義情報を 取り込み時に変更レコードがO件だった場合は、エラーメッセージが表示されます。

🤒 dbS-プロジェクト定義アップロード		
【アップロード】 プロジェクト定義情報のサーバ更新	終了	
【フテップ1】プロジェクト定義ファイルの内容を確認したの	「「「「「「「「」」」」」。 「「」」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」	
★アップロードするプロジェクト定義ファイルの内容★	【保守】	
組織ID 135 ナロジェクト名 83 サンプルWebアブ	リケーション ①定義情報取り込み許可	
C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPPL フォルダ名	二 定義情報 取込許可	
ファイル名 dbS_sAPPL083.dbs	1)システム仕様Ver. 300 定義アップVer.変更	
更新時刻 2010年4月3日 16:33:01	27定義/97/ver. 2 バージョン 入力許可 強制変更	
※ 史新時刻が鼓新が、史新・削除レコードが止しいがを	必り確認してくたさい。!!	
【1】 ステップの 取込モートを違択にてださい ③ 実更レコードのみ ③ 全レコード(初期化が必要) 第7324 ■ 全レコード(初期化が必要)	【2】 ステップの サーバに送信 サーバに送信 サーバに送信 リーバ(第アップロード前) アップロード後のバージョン情報 1)システム仕載Ver. 300 2)定義アップVer. 2	
■ dbSheetClient (陳珂)		
定義編集で更新された 削除テータ 281日キャトプロジェクト ロデフェイリア	と 奥新データ の件数が共に O件です。 (1 サービルのマップデート(は行われた) 加速な中部日ます	
	は、サーバイベリアッフテートは行れないVEMU、処理を中断します。 Paris	
ノロシェクトルを確認している		
L		
$T \rightarrow X \rightarrow Z \rightarrow Z$	JA タンをクリックすると、「ノロシェ	クト定義アッフロート」 画面
に豆りますが 「サーバに半信」ボタ	いが無効は能にたっており、アップロ	ードけできません
		The Cederus
	V	
@ dbS-ブロジェクト定義アップロード		×
【アップロード】 プロジェクト定義情報のサーバ更新	終了	
【ステップ1】プロジェクト定義ファイルの内容を確認し	たのち、【定義情報の取り込み】ボタンをクリックしてください。	
▲ ついがつ、ほせてがつがったい ウギコーノル みのの A		
★アッフロート 9 るフロンエクト 定義 ファイ ルの内谷★		
組織ID 135 プロジェクト名 83 サンプルWe	bアプリケーション	
C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPPL フォルダ名		
	◎ アップロード後の	
771ル名 dbS_sAPPL083.dbs	1)システム仕様Ver. 300 定義アップVer.変更	
更新時刻 2010年4月3日 16:32:42	2)定義/シラフVer. 入力許可 2)正義/シラフVer. 以一ジョン 入力許可 強制変更	
※ 史新時刻が最新か、史新・削除レコードが正し	いかを必ず確認してください。!!	
【1】 ステップの	[2] ステップ©	
取込モードを選択してください 取り込み	サーバに送信	
 変更レコートのみ 取り込んだレコード数 	サーバ側アップロード前 >>>>> アップロード後のバージョン情報	
	1)システム仕様Ver. 300 1)システム仕様Ver. 300	
	2)定義/ウフ Ver. 2 2/正義/ウフ Ver. 3	
テーブル名 🔺 更新対象合計 🛛 追加・更新 削除	<u>^</u>	
02ブックファイル定義 0 0 0		
03メニュー定義 0 0 0 04.ポない定義 0 0		
05.927b定mm 0 0 0 0		
06/JTU-定義 0 0 0		
0 0		

7.2. プロジェクト定義情報のアップロード

dbs

7.2.1. プロジェクト定義情報のアップロード画面の起動

本機能を利用して、プロジェクト定義情報をWebサーバにアップロードします。 サーバにアップロードすることで、実行ユーザは最新のプロジェクトを利用できるようになります。

開発メイン操作画面から [アップロード(F1)] ボタンをクリックすると、「プロジェクト定義アップ ロード」画面が表示されます。



【アップロード】 プロジェクト定義情報のサーバ更新	終了
【ステップ1】プロジェクト定義ファイルの内容を確認したのち	、【定義情報の取り込み】ボタンをクリックしてください。
★アップロードするプロジェクト 定義ファイルの内容★ M 部D 135 プロラスクト名 83 サンプルWebアプリ フォルダ名 O YdbSheetOlentWDaveSpV4¥devWsAPPL ファイル名 dbS_sAPPL083 dbs 変新時刻 2010年4月5日 16.52.42 ※更新時刻が最新か、更新・削除しコードが正しいかを必	ケーション ケーション ケーション ケーション ケーション ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
11 ステップの 3000000000000000000000000000000000000	【2】 ステップの サーバ(第279寸ロード前) シンシン ターバに送信 リシステム仕様Ver. 300 19システム仕様Ver. 300 2)定義アップVer. 2 2)定義アップVer. 3

٦

d

77	゚ロジ	ェク	ト定義ア	'ップロー	ド画面の説明
----	-----	----	------	-------	--------

機能/項目名	説明
[終了]ボタン	アップロード処理を終了しメイン操作画面に戻る。
組織 ID	組織 ID を表示。
プロジェクト名	プロジェクト番号とプロジェクト名を表示。
フォルダ名	更新用定義ファイルが格納されているフォルダ(開発用)を表示。
ファイル名	定義ファイル名を表示。
更新日時	更新処理実施する年月日と時間を表示。
1)システム仕様 Ver.	dbSheetClient のバージョンを表示。
2)定義アップ Ver.	現在の定義ファイルバージョンを表示。
【保守】	
[定義取込許可]ボタン	定義アップ Ver の不一致を許可しアップロード可能にする。
[バージョン入力]ボタン	アップロード後のバージョンを手動で入力する。
[Ver 情報強制変更]ボタン	アップロード後のバージョンを手動で入力後強制変更する。
【1】ステップ①	
[変更レコードのみ]	再新対色のレコード友亦再レコードのユとする
ラジオボタン	更利対象のレコートを変更レコートのみとする。
[全レコード]ラジオボタン	更新対象のレコードを全レコードとする。
[定義情報の取り込み]ボタン	定義情報の取り込みを開始する。
取り込んだレコード数	更新のために取り込んだレコード数。
更新	更新のために取り込んだ更新レコード数を表示。
削除	更新のために取り込んだ削除レコード数を表示。
【2】 ステップ②	
[サーバに送信]ボタン	サーバへの送信を開始する。
サーバ側アップロード前	アップロード前のバージョン情報。
1)システム仕様 Ver.	アップロード前の dbSheetClient のバージョンを表示。
2)定義アップ Ver.	アップロード前の定義ファイルバージョンを表示。
アップロード後	アップロード後のバージョン情報。
1) システム仕様 Ver.	アップロード後の dbSheetClient のバージョンを表示。
2) 定義アップ Ver.	アップロード後の定義ファイルバージョンを表示。

7.2.2. プロジェクト定義情報のアップロード操作手順

dbS

プロジェクト定義情報のアップロードは、プロジェクト定義情報を確認したのちに、 以下の手順でおこないます。

【1】ステップ① :プロジェクト定義情報を取り込み、変更レコード件数を確認する
 【2】ステップ② :サーバにプロジェクト定義情報を送信する

■【1】ステップ①:プロジェクト定義情報を取り込み、変更レコード件数を確認する

@ dbS-プロジェクト定義アップロード			
【アップロード】 プロジェクト定義情報のサーバ更新		87	
【ステップ1】プロジェクト定義ファイルの内容を確認したの	5、【定義情報の取り込み】ボタンをクリックしてください	٨	
★アップロードするプロジェクト 定義ファイルの内容★ 編載D 1 プロラェクト名 179 DR 名劇管理 フォルタ名 C ¥doSheetClient¥Deve bp?dxv¥Marual フォイル名 dbS, Manual178.dbs 変新時刻 2003年6月13日 132022 ※更新時刻が最新か、更新・削除レコードが正しいから。	1)システム仕載Ver、3000 のア支引し目 2)定義アップVer、6 のア支引し「長い」 がす確認してくだとい。! !	20 込み 許 可 構造 注の eee ま 変更 - - - - - - - - - -	
【1】 ステップの 記込モードを選択してださい 記名 取込モードを選択してださい 第の込み ③ 変更レコードのみ 取り込んだしコード数 ③ 金レコード 更新	[2] ステップの サーバに送信 FSI >>>>> アラプロード投入パー 1)システム化量Var. >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	Jaン情報 300	
			🗖 dbSheetClient (確認) 🛛 📓
			変更された定義情報だけを取り込みます。
			実行してよろしいですか?
			(まい(Y) いいえ(N)

(1)取込モードを選択します。

通常は、「変更レコードのみ」を選択してください。「全レコード」は、サーバのプロジェクト 情報を全て置き換える時のみ選択してください。

(2) [定義情報の取り込み] ボタンをクリックします。

取込モードに従って、定義情報を取り込みます。

- (3) 取り込んだレコード件数が表示されます。
- (4) 定義シート毎の「更新」件数と「削除」件数が表示されます。

以下の画面では「メニュー定義」テーブルに、更新レコードが1件含まれていることがわかります。

込モードを選択して<; ⑦ 変更レコードのみ	ださい —]	定義情報の 取り込み	- ド表ty
○ 全レコード		更新 7	削除 0
テーブル名	▲ 更新対象合計	追加·更新	削除
00.プロジェクト管理情報	6	6	0
01.データベース定義	0	0	0
01.データベース定義 02.ブックファイル定義	0	0 0	0
01.データベース定義 02.ブックファイル定義 03.メニュー定義	0 0 1	0 0 1	0 0 0 0
01.データベース定義 02.ブックファイル定義 03.メニュー定義 04.ボタン定義	0 0 1 0	0 0 1 0	0 0 0 0
01.データベース定義 02.ブックファイル定義 03.メニュー定義 04.ボタン定義 05.タスク定義	0 0 1 0 0	0 0 1 0 0 0	0 0 0 0 0 0
01.データベース定義 02.ブックファイル定義 03.メニュー定義 04.ボタン定義 05.タスク定義 06.クエリー定義	0 0 1 0 0 0	0 0 1 0 0 0	0 0 0 0 0 0

■【2】ステップ②:サーバにプロジェクト定義情報を送信する

[サーバに送信] ボタンをクリックすると、ステップ①で取り込まれたプロジェクト定義情報をサーバ に送信します。正常完了すると、サーバのプロジェクト定義情報の「定義アップ Ver.」は送信前から、 ーつカウントアップされます。

アップロードが正常完了すると、サーバで管理されているプロジェクト定義情報が更新されます。そして、 最新のプロジェクト定義ファイルがサーバからダウンロードされ、開発用フォルダにコピーされます。

 ステップΦ 取込モードを選択してく ()まましコードのあ ()ましコード 	esu-	正統1880 取り込み 取り込みだいコー		【2】 ステップの サーバ部アップロード約 >>>>>	サー/に近信 アップロード体のバージョン 装板 100.755.055000	0	2行用フォルダク ※実行用フォ。 VdtSheetClient¥Develop¥run¥1	レダには、実行用の定義ファイルが係 AanualN	存されています。(起動時にサーバゆらダウンロ・	ドされた定義ファ	ተቆሮす)
		7	0	179 AT AT SWEET	NYATAR CON. DOO		実行用フォルダから	ファイルの更新日時	2008年6月13日 15:07:07	システム仕補	定義Py7 Ver
				272 87 97 Vor. 6	2)# 6797 Ver. 7		定義ファイルをコピーする	アップロード日時	2008-06-13 14:57:59.470	300	7
00700まけ留理体 01データペース定例	6	6 0	0				月発用フォルダ@			0781.04	WWD-1
02.フックファイル定義	0	0	0				WEIGHT AND	ファイルの更新日時	2008年6月13日 15:07:07	Ver	Ver.
03メニュー定義	1	1	0				MARCH/WOODLEVU	アップロード日時	2008-06-13 14:57 59.470	300	7
04.ポタン定務	0	0	0				VdlSheetClientXDevelopMdevXI	Assually			
05.5スク定義	0	0	0								
06.5エリー定義	0	0	0								
07850447458	0	0	0								

7.2.3. プロジェクトアップロード内の保守機能について

プロジェクトアップロード内の保守機能として、以下の2つの機能があります。

・定義情報取り込み許可

dbS

・アップロード後の定義アップ Ver.変更

■定義情報取り込み許可の機能

複数のメンバーによる同時開発中には、一人がプロジェクト定義をアップロードすると、サーバ側の定義 アップ Ver.がカウントアップされるため、他のメンバーがアップロードする際には、必ず定義アップ Ver. の不一致が発生します。

定義アップ Ver.の不一致が発生すると、下図のように、ステップ①の【定義情報の取り込み】ボタンが 無効になります。

#第10 1 7n9-75-5条 179 DR 名刺管理 (0	ALC: NO
	定義情報取り込み許可
7#ルダ名 C-¥doSheetClient¥Develop¥dev¥Manual	定義情報 取込許可
7ァイル名 dbS_Manual179.dbs 1)システム仕様Ver. 300 0	アップロード後の 定義アップVer.支更
更新時刻 2008年6月12日 18:00:56 2)定義アゥブVer. 5	バージョン 入力許可 強制実現
1) ステップの 定着性粉の 【2】ステップの サービー	送信

このとき、[定義情報取込許可] ボタンをクリックすると、[定義情報取り込み] ボタンが有効となり、

アップロードが可能になります。

11 ステラブの 取込モードを選びして(だい) の 定しコード の なしコード ないコード ないコード	[22] ステップの サーバ(送信) サーバ(第アゥワロード県)>>>>> アウロード目のパージョン価値 12)ステム仕電Ver. 500 12)ステム仕電Ver. 2)定面アゥブVer. 6 2)定面アゥブVer. 7

■アップロード後の定義アップ Ver.変更の機能

アップロードをおこなうと定義アップ Ver.がカウントアップされるため、プロジェクトの開発が完了してユーザに公開する時には、定義アップ Ver.の値が大きくなります。これを目的の定義アップ Ver.や初期値に強制変更する場合に利用します。

🔒 dbS-プロジェ	クト定義アップロード				
【アップロード	プロジェクト定義	情報のサ	ーパ更新		\$ ⁸ 7
[25	ップ1】プロジェクト定義	度ファイルのP	内容を確認したの	ち、【定義情報の取り込み】ボタンを	クリックしてください。
★アップロード	するプロジェクト定義ファ	イルの内容	r -		【保守】
組織ID	1 フロジェクト名	179	DR 名刺管理		の定義情報取り込み計可
フォルダ名	C:¥dbSheetClient¥Deve	lop¥dev¥Manu:	al	2 2	定磷領部
ファイル名	dbS_l	Manual179.	dbs	1)システム仕様Ver. 300	Ø アップロード後の 定義アップVor.麦更
更新時刻	2008年6	月13日 15	:07:07	2)定義アップVer. 7	N-9ay Verteral
【1】 ステップ 取込モードを通 ○ 変更レコ ○ 全レコー	 更新時刻が最新か、 ① 1択してください ードのみ ド 	更新・ 向除レ 定義情報の 取り込み 取り込んだレコー 更新	-コードが正しいかを - F数 - MB4	必ず確認してください。!! [2] ステップの サーバ値アップロード前 >>>>> : 1)システム仕様Ver. 300 2)定義チャTVer. 7	サー/(広送信 P9プロード猿のパージョン情報 1)システム仕様Ver. 300 2)定義P9プVer. 8

【1】 ステップ①		【2】 ステップの			
取込モードを選択してください	定義情報の 取り込み			サーバに送信	
⊙ 変更レコードのみ	取り込んだレコード数	サーバ側アップロード前	>>>>	アップロード後のパージョン報	A 112
○ 金レコード	更新 削除	1)システム仕様Ver.	300	1)システム仕様Ver. 3	100
		2)定義アップVer.	7	2)定義アップVer. 1	00

(1) [バージョン入力許可] ボタンをクリックします。

アップロード後のバージョン情報の定義アップ Ver.欄が入力できるようになります。

(2)「定義アップ Ver.」 に入力します。

この説明では、「100」を入力しました。

(3) [サーバに送信] ボタンをクリックします。

Ver 情報がサーバに送られ、変更されます。

(4)変更が正常終了すると、最新情報がダウンロードされ、開発用フォルダにコピーされます。

サーバのバージョン情報を提引的に実	と更しました。			
自動的に開発作業を終了してログ	ヴオフします。			
★再度ログインをし直して、サーバが	ら最新のプロジェクト定義	ミデータをダウンロードしてください。★		
	ОК			
W/S HP1_A & MAL	ファイルの更新日時	2008年6月25日 142453	システム仕様	定義
実行用フォルダから 定義ファイルをコヒーする	ファイルの更新日時 アップロード日時	2008年6月25日 14-24-53 2008-06-17 17:49:39:170	システム仕様 Ver. 300	定義) Ve
実行用フォルダから 定義ファイルをコピーする 米コピーする時にはまず上書き してもよいか確認してください。※実行5	ファイルの更新日時 アップロード日時 用の定義ファイルを、開発フ	2008年6月25日 14-24-53 2008-06-17 17:49:39:170 けルダにコピーすることができます。	システム仕様 Ver. 300	定義) Ve
東行用フォルガから 実売フィルルガン・33。 メポン・432ビー33。 メポン・433時間201ください。 米実行り	ファイルの更新日時 アップロード日時 用の定義ファイルを、開発フ	2008年6月25日 142453 2008-06-17 17:49:39.170 はルダにコピーすることができます。	システム仕様 Ver. 300	定義) Ve
第1月フォルダから 東京マルタムビーする。 東京マルタムビーする。 エビータムは日本のす上書き してられいか考慮してくたらい。 ※実行り >開発用フォルダ@	77イルの更新日時 アラフロード日時 用の定義ファイルを、開発フ	2008年6月25日 142453 2008-06-17 17:49:38:170 はルダにコピーすることができます。 2008年6月25日 142453	システム仕様 Ver. 300 システム仕様 Ver.	定義) Ve 10 定義/
	ファイルの更新日時 アッフロード日時 用の定義ファイルを、開発プライルを、開発プラッイルの更新日時 ファイルの更新日時 アッフロード日時	2008年6月25日 142453 2008-06-17 17.49.39.170 ゆんがにごとするこだができます。 2008年6月25日 142453 2008-06-17 17.49.39.170	システム仕様 Ver. 300 システム仕様 300	定義) Ve 10 定義) Ver 10

7.3. Excel ブックのアップロード

dby

7.3.1. Excel ブックのアップロード画面の起動

本機能を利用して、プロジェクトで利用する Excel ブックを Web サーバにアップロードします。 サーバにアップロードした Excel ブックはインターネット経由で利用することができるようになります。

開発版メイン操作画面から [Excel アップ(F2)] ボタンをクリックすると、「Excel ブックのアップロード」画面が表示されます。

© dbS-開発メイン操作商品 ユーザ:sample01 <107 【83:サンナルWebアナリケーション】 #3 アイルビ 編集 O Belahfts氏() デバッグ アックロード() メンテナン入() ヘルプ() (C)2007-10 Nemcom Co.Ltd S000)									
	b作成 4.デバッグ実行	<u>5</u> リファレンス <u>6</u> .S	QLテスト実行	2.データ保守定義					
環境設定 アップロード(F1) Excelアップ(F2) DBアップ	*(F3)	複製(F5) デ	モ取込(F6)						
プロジェクト 情報 2 3 サンプルWebアプリケーション 組織の 135 プロジェクト そ 83 サンプルWebアプリケーション プロジェクト定義ファイル名 IS_SAPPL083.dbs									
◆実行用フォルダ◇ ※実行用フォルダには、 テ用の定義ファイルが保存されています。(起動時にサーバからダウンロードされた定義ファイルです) CYdtSheetClient¥DevelopV4Yrun¥sAPPL3 ●									
実行用フォルダから 定義フィリルを2とーする メージる5時にはあず上書き してらよいか確認してください。※実行用の。 マフィルを、	 ま 2010年4月 ま 2010-04-0 開発フォルダにコピーすること 	月5日 16:52:42 05 16:15:48.880 ができます。	システムf Ver. 300	土様 定義アップ Ver. 2					
◎開発用フォルダ◎ 開発用フォルダ◎ 開発用フォルダを実更する アメロード日	等 2010年4J 等 2010-04-0	月5日 16:52:42 05 16:15:48.880	システムf Ver. 300	士祥 定義アップ Ver. 2					
D VdtSheetClientVDevelopV4VdevVsAPPLY									
\rightarrow									

🞯 dbS-Excel 7 🤊	ウのアップロード					
【アップロード】	Excelブックのアップロード					終了
【ステップ1】プロジェクト定義ファイルの内容を確認したのち、【Excelブックの選択】ボタンをクリックしてください。						
★Excelブック	を使用するプロジェクト定義の内容★					
組織ID	135 <mark>ブロジェクト名</mark> 83 サンプ	ルWebアプ	リケーション			
フォルダ名	C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPPL			< 12		
ファイル名	dbS_sAPPL083.dbs		1)システム仕様Ver.	300		
更新時刻	2010年4月5日 16:52:42		2)定義PップVer.	2		
【1】 ステップ(Excelブックの 遅択	D ※ダイアログから選択したExceiプラクを、 下の右側の表に表示します。 船が表示されます。	【2】入 ④ URL指 ※URL指 http://db ▼選択した	テップ② 新定く既定フォルダ) 〇 電のときには、外部に公開され s=dev.dyndhs.org/81/dbSC ミファイルを右クリックすると表が	DBSサーバ指定(た既定のURLが表: lient/Project/sAF ら削除できます。	、フォルダのバス指定 示されます。 ?PL/) サーバに送信
ファイル名 新規 Microsof 米	木入指置 リンク先 t Excetワーウリートス s C ¥金S4 C ¥金S4 C ¥金S4 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2					

7.3.2. Excel ブックのアップロード操作手順

db

Excel ブックのアップロードは、プロジェクト定義情報を確認したのちに、以下の手順でおこないます。 【1】ステップ① :Excel ブックを選択する 【2】ステップ② :サーバに Excel ブックを送信する

■【1】ステップ①: Excel ブックを選択する

Eveelブッカの						
222 Ho				[2 🔀	
湛扒	100	S 3 2 2				
	ea test.xls					
Bit/s. http://	testSUB.xls					70-14
#0/219:57/27/1V	e test参照1.xis					1プックのアップロード 終7
	etest参照3.xls					ジェクト定義ファイルの内容を確認したのち、【Excelブックの選択】ボタンをクリックしてください。
デスクトップ	🔤 test参照4.xls					るプロジェクト定義の内容★
	test参照5.xls					111 111 111 111 111 111
71 FFIX	Bitt.xis					7日919F-26 179 DR 石卵田理 at Client #Deve knWdav/Manual
7 (7) (1						dbS Manual179 dbs 1)2 77 / (##Ver 300
41 DCI-3						2008年6月13日 15:49:38 2)定義アップVer. 8
マイネットワーク	ファイル名(N):	"test参照5xls""testxls""testSUBxls""test参照1~		關(@)		
	ファイルの種類(工):	xls7pr(1/(*xls,*xlsx)		キャンセル		elプックを運搬すると、下の表にファイル名が スカます。
8					41	「ルを右クリックすると表から削除できます。
				7711名 :	オルダ名	· //名 夏新日時
			<u>۲</u>	test参照5.xis	¥aaa	aa 2008#5月28日 11:5648
				testxis C	¥.aaa	3a 2008#0.F99E 184058
				testaub.xis C	Yaaa	2009#5 [20] 115147
				tester 12 vis 0	Yaaa	aa 2008#5.8288 115557
				test###3xis 0	¥aaa	aa 2009年5月28日 11:56:22
				test参照4xis 0	¥aaa	aa 2008年5月28日 11:56:35
			*			

(1) [Excel ブックの選択] ボタンをクリックします。

ファイル選択画面が表示されます。ここで、サーバにアップロードしたい Excel ブックを 選択してください。Excel ブックは一度に複数選択してアップロードすることができます。

※選択したファイルを一覧から削除したい時

削除したいファイルを選んで右クリックすると、「削除」メニューが表示されます。 「削除」メニューをクリックすると、削除されます。

■【2】ステップ②:サーバに Excel ブックを送信する

【サーバに送信】ボタンをクリックすると、選択した Excel ブックがサーバに送信されます。 dbSheetClient では、Excel ブックファイルの送信先はあらかじめ以下のように固定になっています。 詳細は、『システム管理者用マニュアル「第1章 動作環境とサーバシステムの設定」』を参照してくだ さい。

サーバの送信先フォルダ名:{サーバのシステムフォルダ} ¥Project¥ {プロジェクト識別記号}

例)ドメイン名 : abcdefg.co.jp
 プロジェクト識別記号 : test
 Excel ブック名 : sample.xls
 の時に、Excel ブックを呼び出すためのアドレスは次のようになります。
 アドレス: http:// abcdefg.co.jp/dbSClient/Project/test/sample.xls

【アップロードが正常に実行された時のメッセージ画面】

dbSl	neetClient (確認)	×
	ファイルをアップデートし	しました。
	ОК	

【既にファイルがサーバにあった時の確認画面】

dbSi	neetClient (確認)	9
?	ファイルが既にあります。上書きしますか	2
	(まい(Y) いいえ(N)	

定義編集のブックファイル定義シートおよびメニュー定義シートの「リンク先」の設定項目に、プロジェクトで利用する Excel ブックファイルが保存されているアドレスを指定することによって、プロジェクトの実行時にサーバから Excel ブックがダウンロードされて開くようになります。 ブックファイル定義シートとメニュー定義シートの設定については、『第2部 4.7.3 ブックファイル定義』と『第2部 4.7.5 メニュー定義』を参照してください。

※注意 本機能を利用しないで、直接、サーバのフォルダに保存は可能ですが、本機能からそのファイル を上書きできなくなりますので、**直接サーバに保存しないようにしてください。**

第8章 データ保守定義

dby

本章では、サーバ側のデータベースに対し、データのメンテナンス(新規登録、修正、削除)作業が 可能になるデータ保守定義(プログラム)について説明します。

- 8.1 データ保守定義のための準備
- 8.2 データ保守定義の登録
- 8.3 データ保守定義を実行する手順

8.1. データ保守定義のための準備

■DB 定義への登録

dby

dbSheetClient サーバ版に登録された DB の中で、データのメンテナンス作業をしたい DB を、 DB 定義編集画面で定義します。



上の図では、DBNO 2番の定義が定義例です。

【 注意 】 ・DB 定義の「場所」が「Local」と定義されている DB は、対象外です。 ・データ保守のための DB は、DB 運用定義に定義する必要はありません。

8.2. データ保守定義の登録

dby

8.2.1. データ保守定義画面の起動

開発版メイン操作画面から**[7.データ保守定義]**ボタンをクリックすると、「データ保守定義」画面が 表示されます。

- 女保守定義 王イリアス(DB) - 報定 B 詳細設定	の選択 =>	× [2108A/L
		新規登錄	(アーブルー覧)	[22世テーブル]
表示順 管理No 管理名称	対象テーブル 価考	ž	新日	次へ⇒
NIL在K N-LP設定にならい	"由新车机上来,来た。自教车成为10	2001.001年新加定軍軍55/とも下きます。		

8.2.2. データ保守定義画面の説明



機能名/ボタン名	説明
エイリアス(DB)	データ保守する対象のエイリアス(DB)を選びます。
A編集設定	既に登録された定義情報が表示されます。 表示されている定義情報を選択すると、修正・削除することができます。
新規登録	新たに、定義情報を登録する時に、このボタンをクリックします。
表示順	定義情報の表示するキーを切り替えます。
指定表示順	「表示順」列をキーにします。「B詳細設定」で変更することができます。
管理 No	「管理 No」列をキーにします。登録した順番で番号が決まるため、 変更できません。
テーブル一覧	エイリアス(DB)に含まれるテーブルが表示されます。
選択テーブル	テーブル一覧から選ばれたテーブル名が表示されます。
<mark>次へ⇒</mark>	選ばれたテーブルについて、詳細に設定するため、「B詳細設定」に移ります。
神刀期化上	設定した内容を破棄します。
終了	データ保守定義を終了します。

了一夕保守定義	エイリアス(ロ	0B)の選択 =>1	SampleDB		dbadb			(初期化上
編集設定 B.詳細設定	ī								
全) 「商品マスタ」 「商品コード" 商品な、 単位、 「分類」 「分類」	- ※編集する項	目を選択してください。	(管理No) 1001	詳細設定 (管理名称) (管景色) (編集形式) (主キー1) (主キー2) (主キー3)	商品マスカメンテ 全体皆景 ▼ col カード型 ▼ 高品」-ド	(表示順) 1 (表示方向と折り返し 積方向 ▼ 2 (備考)] [政ページ行] 列 (テーフル権] ※ IMEの切替(20 行 【新規 1500 px 【計版》 ま[Ait]+[建宇]でf	登録] OFF 、 根能] OFF 、
商品マスゲ、商品コード 商品マスゲ、商品名 商品マスゲ、単単 開催 商品マスゲ、プ単 一 商品マスゲ、分類	Dイールド数] 5	[JME] OFF ・ 200 px ・ ジクタルモート] ジングル行 ・	確定 ↑ ↓ ^{除外}	[主キー4] [主キー5] [検索キー1] [検索キー2] [検索キー3]	۲ ۲ ۲ ۲	URL) http://dbs-demo.dy/ DME) OFF マ DME) マ DME) マ Excel出力:	ndns.org/dbsClient/ 文字幅 200 px 文字幅 px 文字幅 px 大字幅 px	<pre>/Project/sDemo. [検索モード] [[検索モード] [[検索モード] [[検索モード] []</pre>	/ASP/0227/00 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
SQL生成 ※上	記録定に応じたら	QLを自動生成します	, また、自動生成された	SQL文は手動	で変更することもできます。	La .			<i></i>
SQL生成 ※上 LECT "商品」-ド" "商品 SQL事行 ※上	記録定に応じたら 2名、「単位」、単化	GLを自動生成します (首)、"分類" FROM "?))行します。	。また、自動生成された 第品マスダ [*] 検索編集:	25 20L文は手動	で変更することもできます。 件 門 ビューAutoサイズ	\$			<u>_</u> 5UP
SQL生成 米上 LECT "商品コード" "商品 SQL実行 米上	記録定に応じたS B名"、"単位"、"単作 :記のSQL文を実	GLを自動生成します 価","分類" FROM "# 消行します。	 。 また、自動生成された 論品マスダ 検索結果: 	25	で変更することもできます。 件 回 ビューAutoサイズ	ß			לעל
土米 和主DOZ 読術、"オーに最新" TOB 上米 行家LOZ	記録室に応じた8 記名"、"単位"、"単付 :記のSQL文を実 記名 品名	GLを自動生成します 価"、"分類" FROM "; 行します。 単位 個	 また、自動生成された ・ ・ ・	25 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	で変更することもできます。 件 一 ビューAutoサイズ	L's			_ dyp

【B 詳細設定】

db 2

機能名/ボタン名	説明
B詳細設定	選ばれたテーブルについて、詳細に設定します。
全	フィールドー覧のすべてのフィールドを、選択フィールドー覧に追加します。
選択テーブル名	選ばれたテーブル名が、表示されます。 例) [商品マスタ]
フィールド一覧	選ばれたテーブルに含まれるフィールドが一覧表示されます。フィールド名 をクリックすると、選択フィールド一覧に追加します。 例) [商品コード]
選択フィールド一覧	選ばれたフィールド名が、表示されます。 選ばれたフィールドの数が、[フィールド数]欄に表示されます。 主キー(この場合は[得意先コード])は自動的に追加され、「除外」はできま せん。同じ項目を2回選択することはできません。 例)[商品マスタ] [商品コード]
「管理 No」	登録する順番で管理する番号です。変更することはできません。
Î ↓	選択フィールドー覧のフィールド名をクリックした後に、[↑][↓]ボタン をクリックすると、フィールド名の並び順が変更されます。
除外	選択フィールドー覧のフィールド名をクリックした後に、[除外] ボタンをク リックすると、フィールド名が削除されます。
カード型用フィールド 属性定義エリア	フィールドごとに、以下の3つの属性を定義することができます。 リスト型の時は、編集する必要がありません。
IME	日本語全角文字で入力する時は、ONにします。 半角文字で入力する時は、OFFにします。
文字幅	文字幅はピクセル値で数値を設定します。 デフォルトは 200pixel です。▲、▼設定します。
テキストモード	「シングル行」を選択すると、1行だけ入力できます。 「マルチ行」を選択すると、縦スクロールバーが付き、複数行入力できます。
SQL生成	「B.詳細設定」画面で編集対象となるフィールドを選択した後、[SQL 生成] ボタンをクリックすると、"SELECT"から始まる SQL 文を自動生成します。
SQL実行	SQL の実行結果が表示されます。同時に件数も表示されます。 この結果は、「カード型」 データ保守定義の各入力テキストボックスの文字列 幅や IME の ON/OFF を決める際に参考にすることができます。
[確定] ボタン	データ保守画面について、詳細に設定します。
管理名称	データ保守画面のタイトルです。 例)社員マスタメンテ
表示順	A編集設定の一覧リストに表示する順番を設定します。 デフォルトの表示順は、管理 No と同じ数値です。
背景色	データ保守画面にあるテキストボックス等の背景色を設定します。設定する 項目は次の通りです。 ・全体背景、・入力項目、・DB編集テーブル、・[検索]ボタン、 ・[更新]ボタン、・[削除]ボタン、・[新規]ボタン、・[クリア]ボタン

(次ページにつづく)

(前ページからつづき:B詳細設定)

db 2

機能名/ボタン名	説明					
編集形式						
カード型	画面上部に、修正のためのテキストボックスを配置します。画面下部に、D B編集テーブルを配置します。DB編集テーブルには、DBのテーブルの内 容が表示されます。この表から修正するレコードを選びます。 「新規登録」が可能です。					
リスト型	画面に、DB編集テーブルが配置されます。DB編集テーブルには、DBの テーブルの内容が表示されます。この表に対して、直接、修正できます。 「新規登録」はできません。					
主キー	対象のテーブルの主キーが自動的に表示されます。 変更はできません。主キーは、最大5つまで使用できます。					
表示方向と折り返し	「編集形式」を「カード型」にした場合の設定です。					
縱方向	修正のためのテキストボックスが縦一列に並びます。					
横方向	修正テキストボックスが横に並びます。一行に並べる列数を設定します。 設定した列数の次のテキストボックスは、折り返して、次の行に並びます。					
改ページ行	DB編集テーブルの1ページ分の行数を指定します。 表示データ数より少ない場合は、すべてのデータを表示するために必要なペ ージ番号が表示されます。ページ番号をクリックで、表示が切り替わります。					
テーブル幅	DB編集テーブルを表示する幅(Pixel)を指定します。					
新規登録	「編集形式」を「カード型」にした時の設定です。 [新規登録]ボタンを追加する場合、「ON」にします。					
削除機能	レコード [削除] ボタンを追加する場合は「ON」にします。					
備考	A編集設定の一覧にある備考欄に表示されます。					
URL	データ保守画面の URL が表示されます。 編集できません。					
検索条件エリア	DB編集テーブルのデータを絞り込むための検索条件を設定します。					
検索キー	DB編集テーブルのデータを絞り込むための検索キー項目を設定します。 設定したキー項目を解除する時は、「DEL」キーを押してください。 最大3つまで設定できます。2つ以上設定した時は、検索条件は AND 条件 で処理されます。[検索キー1]の設定は必須です。					
IME	日本語全角文字で入力する時は、ONにします。 半角文字で入力する時は、OFFにします。					
文字幅(Pixel)	文字幅はピクセル値で数値を設定します。デフォルトは 200pixel です。					
検索モード	次の5種類から設定できます。					
	完全一致 検索キーと(検索)対象データが完全に一致するデータが対象					
	前方一致 文字列の先頭部分が検索キーと一致するデータが対象					
	後方一致 文字列の末尾部分が検索キーと一致するデータが対象					
	中間一致 文字列のどこかに検索キーと一致する部分があれば対象					
	 第四番目前に 第四番目前に 第一方で 第四番目前に 第一方で 第四番目前に 第四番目前に					
Excel 出力ボタン	テータ保守実行画面から Excel ファイルを出力する際、チェックします。 ▼注意 Excel2000 以前のバージョンには未対応です。					
テスト実行	設定した属性値を使って、データ保守画面を表示します。 ▼注意 実際のデータベースのデータに反映します。[更新] ボタンや [削除] ボタンをクリックする時は、注意してください。					
更新	設定した属性値を保存します。					
削除	定義を削除します。					

8.2.3. データ保守画面サンプルの説明

db 2

|--|

			1			
		◆【間話マスダス				
【絞込み検索】(0)::	完全一致 (1):前方一致 (2):	後方一致 (3): 中間一致 (4): 範囲推	定			
商品コード(0):		検索				
商品コード:						
商品名:						
■単位:						
■単価:						
→新						
• 73 798.	,					
更新	初期化					
2 M	初期化 <u>商品コード</u>	<u>商品名(60)</u>	単位(20)	単価	分類	
更新 選択 1	初期化 商品コード	<u>商品名(60)</u> 商品1	<u>単位(20)</u> 個	<u>単価</u> 1350	<u>分類</u> 3	
夏 新 羅訳 1 羅訳 2	初期化 <u>商品コード</u>	<u>商品名(60)</u> 商品 1 商品2	<u>単位(20)</u> 個 箱	<u>単価</u> 1350 1500	<u>分類</u> 3 2	
夏斯 選択 1 選択 2 選択 3	商品コード	適品名(60) 商品 1 商品 2 商品 3	<u>単位(20)</u> 個 箱 箱	<u>単価</u> 1350 1500 1321	<u>分類</u> 3 2 2	
22 所 済沢 1 済沢 2 済沢 3 済沢 4	初期化 商品コード	<u>商品名(60)</u> 商品 1 商品 2 商品 3 商品 4	<u>単位(20)</u> 個 箱 箱 箱	単価 1350 1500 1321 1650	<u>分類</u> 3 2 2 2	
選訳 1 選訳 2 選訳 3 選訳 4 選訳 5	初期化	<u> 適品</u> 適品2 適品2 適品3 適品4 商品4 商品5	<u>単位(20)</u> 個 箱 箱 箱	単価 1350 1500 1321 1650 1751	<u>分類</u> 3 2 2 2 2 2	
選 初 選択 1 選択 2 選択 3 選択 4 選択 5 1 <u>2245</u>	商品ユード	<u>商品名(60)</u> 商品1 商品2 商品3 商品4 商品5	<u>単位(20)</u> 個 箱 箱 箱	単価 1350 1500 1321 1650 1751	<u>分類</u> 3 2 2 2 2 2	
選訳 1 選訳 2 選訳 3 選訳 4 選訳 5 12345 Excellet カ	商品ユード	商品名(60) 商品 1 商品 2 商品 4 商品 6	<u>単位(20)</u> 個 箱 箱 箱 箱	単価 1350 1500 1321 1650 1751	<u>分類</u> 3 2 2 2 2 2	
2 新 磁振 1 通振 2 通振 3 通振 4 速振 5 12345 Excel出力	初期化	商品名(60) 商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 6	<u>単位(20)</u> 個 箱 箱 箱	<u>単価</u> 1350 1500 1321 1650 1751	<u>分類</u> 3 2 2 2 2	
選択 1 選択 2 選択 3 選択 3 選択 5 12245 Excel出力	前品コード	商品名(60) 商品 1 商品 2 商品 4 商品 4 商品 5	<u>単位(20)</u> 個 箱 箱 箱 箱	<u>単価</u> 1350 1500 1321 1650 1751	<u>分類</u> 3 2 2 2 2	

機能名/ボタン名	説明
検索エリア	検索結果が、1件の場合は、自動でデータが選ばれます。 入力エリアにデータが表示されます。
新規作成ボタン	データを新規に作成します。
入力エリア	テキストボックスで、データを入力・修正します。
変更ボタン	レコードにデータが登録されます。
削除ボタン	レコードが削除されます。
DB編集テーブル	
選択ボタン	クリックすると、このレコードのデータが、入力エリアの テキストボックスに表示されます
フィールド名	クリックすると、このフィールド名をキーとしてソートします。
表示ページ	クリックすると、そのページのデータが表示されます。
Excel 出力ボタン	チェックを入れると、データ保守実行時に Excel ファイル保存するため の「Excel 出力」ボタンを表示します。 ▼注意 Excel2000 以前のバージョンには未対応です。

■リスト型

			•	••	【売上明細ン	メンテ】	٠	**		
【絞込み	検索】	(0): 完全	一致 (1): 前方一	致 (2): 後	方一致 (3): 中間一致 ((4): 範囲指定				
金額(4):					~		\$ \$	検索クリア		
* 他ユーザ	がこのう	テーブル	を編集中の場合	、[編集]	削除 はできません	•				
	売	上番号	伝票行No	商品	コード 商品名(3)	0) 単位(10)	数量	単価	金額	備考(20)
補集 削除	1		1	1	商品 1	個	120	200.0000	24000.0000	備考1
編集 削肉	1		2	2	商品 2	個	250	350.0000	87500.0000	
米里 利用	2		1	1	商品1	個	100	2000.0000	200000.0000	
	3		1	8	商品 8	箱	25	2000.0000	50000.0000	備考8
編集 削除	4		1	11	商品11	箱	45	2000.0000	90000.0000	
1234										
	四伝	商品つ								
	二番行 号No	<u>-</u> <u></u>	商品名(30)		<u>単位(10)</u> 数量	単価		金額	備考(20	2
キャンセル 削除	1 1	1 8	5611	-	120	200.0000	24	000.0000	(備考1	
Alla	1 2 3	2 首	商品 2	個	250	350.0000	87	500.0000		
C	2 1	L Ř	商品 1	個	100	2000.0000	20	0000.0000		
8118	3 1 1	5 Ā	商品 8	箱	25	2000.0000	50	000.000	備考8	
Hile Hile										

機能名/ボタン名	説明
検索クリアボタン	検索条件をクリアします。 DB編集テーブルには、全てのデータが表示されます。
DB編集テーブル	
編集	このレコードについて、データを編集します。 [更新] ボタンと [キャンセル] ボタンが表示されます。
更新	このレコードのデータが登録されます。
キャンセル	データを破棄します。
削除	レコードが削除されます。
フィールド名	クリックすると、このフィールド名をキーとしてソートします。
表示ページ	クリックすると、そのページのデータが表示されます。

■他のユーザが編集中の時の処理

[選択] ボタンや[編集] ボタンをクリックした時、既に他のユーザが同じレコードについて編集している場合は、「他のユーザが編集中です」というメッセージが表示されます。

他のユーザが編集中にトラブルが発生しても、編集時刻から3時間を過ぎると、レコードを編集できる ようになります。

8.2.4. データ保守定義の手順(新規登録)

db

下図のようなデータ保守画面を新規登録する手順を説明します。

絞込み検	索】 (0): 完全一致 (1): 育	前方一致 (2): 後方一致 (3): 中	間一致 (4): 範囲指定		
品コード	(0):				
品名(3):					
類(3):		検索	新規登録		
*	12 . T		日夕		
-Lane	F . 1	■ 間(10-f1 · 1		
単位:	[■ 単	西: 「		
(4)米百 •					
//大貝:					
题 册		選択クリア			
	商品コード	商品名(:	30) 単位(10)	単価	分類
₫R]	1	商品1	個	1250.0000	1
択	1 2	商品 1 商品 2	個箱	1250.0000 1350.0000	1 2
訳 訳 訳	1 2 3	商品 1 商品 2 商品 3	個 箱 箱	1250.0000 1350.0000 1450.0000	1 2 2
訳訳	1 2 3 4	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4	個 箱 箱 箱	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000	1 2 2 2
訳 訳 訳 訳	1 2 3 4 5	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 5	個 箱 箱 箱 箱	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000 1750.0000	1 2 2 2 2
駅 駅 駅 駅 駅 駅 駅	1 2 3 4 5	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 5	個 箱 箱 箱	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000 1750.0000	1 2 2 2 2
BR BR BR BR BR BR BR BR BR BR BR BR BR B	1 2 3 4 5	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 5	個 箱 箱 箱	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000 1750.0000	1 2 2 2 2
訳 訳 訳 訳 え <u>345</u>	1 2 3 4 5 5	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 5	個 箱 箱 箱	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000 1750.0000	1 2 2 2 2
探 探 訳 訳 <u>2345</u>	1 2 3 4 5	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 5	個 箱 箱 箱	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000 1750.0000	1 2 2 2 2
択 択 択 択 児 児 児 児 児 児 児 児 児 児 児 児 児 児 児 児	1 2 3 4 5	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 5	個 箱 箱 箱 ¹ 箱	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000 1750.0000	1 2 2 2 2
沢 沢 沢 2 <u>345</u> 夕保守定領 段保 宇 正 驟電 日 翻	1 2 3 4 5 2 3 4 5 2 4 5 2 4 5 2 4 5 2 4 5 2 4 5 2 4 5 2 4 5 2 4 5 2 4 5 2 4 5 5 2 4 5 5 5 2 4 5 5 5 5	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 5	個 箱 箱 箱 ¹ 箱 ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹ ¹	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000 1750.0000	1 2 2 2 2 3 700012
訳 訳 訳 2345 夕保守定領 夕保守定 録策 E 副	1 2 3 4 5 3 4 5 8 (王行97入(DB)の第1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	商品 1 商品 2 商品 3 商品 4 商品 5	個 箱 箱 箱 袋 Sample DB	1250.0000 1350.0000 1450.0000 1650.0000 1750.0000	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

■エイリアス(DB)を選びます。

この説明では、「SampleDB」を例として選びます。

既に定義が登録されていれば、一覧に表示されます。

■ [新規登録] ボタンをクリックします。

[新規登録] ボタンに背景色が付き、新規登録の状態であることがわかります。

[テーブルー覧]が、選ぶことができるようになります。

■テーブルを選びます。

この説明では、「商品マスタ」をクリックします。

[選択テーブル] エリアに「商品マスタ」と表示されます。

[次へ⇒] ボタンに背景色が付き、「B詳細設定」に移ることができるようになります。

■ [次へ⇒] ボタンをクリックします。

「B詳細設定」に移ります。

😅 データ保守定義			
データ保守定義	エイリアス(DB)の選択 =>1 Sample DB	dbsdb	初期附上 参考了
A. 編集設定 B. 詳細設定			
全"商品マスタ"	※編集は3.項目を提択してくだれい。 (特別から1 000	詳細設定	
商品コード		管理名称] 商品マスタメンテ	[表示]順] 1
"単位"		[智景色] 全体背景 💙 [col]	[表示方向と折り返し] [政ページ行] 5 行 [新規登録] OFF ∨
"分類"		[編集形式] カード型 🖌	縦方向 ▼ [テー7½欄] 800 px [排隊線翻線] OFF ▼
		[主井-1] 「商品コード"	[編 考] ※ IMEの切替は[AR]+D東平Iで行なってください。
		[主キー2]	
	[2/=4.888]	[主キー3]	
	6	[主キー4]	[URL]
「商品マスダ」「商品コード」	[ME] 確定	[主共-5]	http://dbs-demo.dyndns.org/dbsClient/Project/sDemo/ASP/0227/001
"商品マスタ"単位。 「商品マスタ"単価。	OFF ¥	[検索キー1] 『商品コード" 🔍 💙	[ME] OFF 🛩 [文字幅] 200 px [換索モード] 完全一致 💌
"MIGSRAS"、"分開"	(文字編) 1	[検索キー2]	[IME] V [文字幅] px [検索モード] V
	200 px 👻 👃	[検索キー3]	[IME] 💙 [文字幅] px [陳索モード] 💙
	[74,217-1-1] (>)27/10/17 ♥ [08/24]		■1538出力形223 →25実行 夏 新 利 除

■フィールドを選びます。

【全】ボタンをクリックし、全てのフィールドを選びます。

■ [確定] ボタンをクリックします。

詳細設定エリアが編集できるようになります。

dbSheetClient

■詳細設定を定義します。

db

次の項目を変更します。

管理名称
 商品マスタメンテ画面

5

・背景色
 【col】ボタンをクリックすると、
 ダイアログが表示されます。
 色を選び【OK】ボタンをクリック
 します。

色の設定	? 🛛
X+D:(0) Image: Constraint of the constr	ľ
作成した色(Q):	色合い(E): 160 赤(B): 205 鮮やかざら: 0 緑(G): 205
色の作成(D) >> OK キャンセル ヘルプ(H)	

- ・改ページ行
- 新規登録
 ON
- ・テーブル幅 1000
- ・検索キー2 商品名 [IME] ON [検索モード] 中間一致
- ・検索キー3 分類 [IME] ON [検索モード] 中間一致
- ・Excel 出力ボタン データ保守実行画面で Excel 出力する場合は、チェックします。
- [テスト実行] ボタンをクリックします。
- テスト実行画面が表示されます。定義した内容を確認します。
- [閉じる] ボタンをクリックします。
- テスト実行画面が閉じます。
- [登録] ボタンをクリックします。

登録の確認ダイアログで、【OK】ボタンをクリックします。

A編集設定に移ります。

一覧に、登録した定義が追加されています。

7	夕保守定義 夕保守定	Ξ義 I1	リアス(DB)の選択	=>2SampleDI	B v SampleDB			773RB(L 84 7
, H n ,#;	\$0.6 [B.3#	增設定			新規登錄	指定表示順 🖌	「テーブルー覧」 [[systiagrams]	[離択テーブル]
	表示順	管理No	管理名称	対象テーブル	備考	更新日	属晶纹质	
•	1	1	社員マスタメンテ画面	社員マスタ	■カード型 検	DT2008-06-12	時意先マスタ」 売上へッタ	VII A ->
	2	2	商品マスタメンテ画面	商品マスタ	■カード型 縦	DT2008-06-24	[先上明版]	次ペー
	3	3	得意先マスタメンテー	得意先マスタ	■ライン型	DT2008-06-12		
	4	4	売上へッダメンテ画面	売上へッダ	■ライン型	DT2008-06-12		
	5	5	売上明細メンテ画面	売上明期	■ライン型	DT2008-06-24		
	6	6	売上明細メンテ	売上明細	■ライン型 金額 範囲指定	DT2008-06-24		
	7	7	商品マスタメンテ画面	商品マスタ		DT2008-06-24		

8.2.5. データ保守定義の手順(編集)

dby

新規登録した定義に対して、カード型からリスト型に変更する手順を説明します。

品名(3): 類(3):								
				検索クリ	וד			
他ユーザカ	(このテーブ	ルを編集中の場	続合、[編集]・[削除]はできません	74	単位(10)	単価	分類
=			商品 1	101111-10(00)	400	<u>+m(10)</u>	1360.0000	
	1						1230.0000	1
#	2		間品 2		相		1350.0000	2
X	3		商品 3		箱		1450.0000	2
集	4		商品4		箱		1650.0000	2
38	5		商品 5		箱		1750.0000	2
2345								
夕保守定義 夕保守定	義 王(1)	7入(DB)の選択	=> <mark>2.SampleDB</mark>	× 8	ample DB			attante
0.990	DerC-E				所規查錄	指定表示順 🛩	(テーブル一覧) [[systemates]	5葉祝テーブル] [15]品マスカ]
表示順	管理No	管理名称	対象テーブル	備考		更新日	「社員マスタ」	
2.4	1	社員マスタメンテ画面	社員マスタ	■カード型 検		DT2008-06-12	売上への引	次へ=
1	2	商品マスタメンア国内	「読む話マスタ	カード学師		DT2000-06-14 P	Lat Set allow - 7 (1978).3	

■エイリアス(DB)を選びます。

この説明では、「SampleDB」を例として選びます。 既に定義が登録されていれば、一覧に表示されます。

■ [編集] ボタンをクリックします。

[編集] ボタンに背景色が付き、編集の状態であることがわかります。

保守一覧が、選ぶことができるようになります。

■定義を選びます。

この説明では、商品マスタメンテ画面をクリックします。

選択テーブルエリアに商品マスタと表示されます。

【次へ⇒】ボタンに背景色が付き、B詳細設定に移ることができるようになりました。

■ [次へ⇒] ボタンをクリックします。

B詳細設定に移ります。

■詳細設定を定義します。

(db)

次の項目を変更します。

編集形式
 リスト型

😂 データ保守定義			
テータ保守定義	エイリアス(DB)の選択 =>1 Sample DB	V dbedb	初期化終7
A.編集設定 B.詳細設定			
全 "商品マスタ"	WORK	11488定	
「商品コード」	XINK 9 CHARLES BUILDEN BUILDEN	[管理名称] 商品マスタメンテ [表示順] 1	
"单位" "单值"		【智景色】 全体智景 ▼ col [表示方向と折り返し] [改ページ行]	5 行 [編集機能] OFF 💌
"分類"		(編集形式) (7.1212) ▼ (2.734/福)	800 px []]]除機能] OFF 🛩
		(注キ~1) 「海島コード" (請考) ※ IMEの切替	は[Alt]+[美宇]で行なってください。
		[主年-2]	
		[主キー3]	
	6	[主年-4] [URL]	
"商品マスタ"。商品コード" "商品マスタ"、商品名	[ME] 確定	[主キー6] http://dbs-demo.dyndns.org/dbsClient	/Project/sDemo/ASP/0227/001
「商品マスタ」「単位」 「商品マスタ」「単価」	OFF 🖂	[検索キー1] "商品コード" V [JME] OFF V [文字幅] 200 px	【検索モード】完全一致 💙
「商品マスター」分類「	[文字幅] 1	[機索年-2] 🔽 [ME] 👻 [文字幅] px	[検索モード]
	200 px 🔻 🗍	[検索キー3] V DME] V [文字編] px	【検索モード】
	[54ストモート] [525717音] (原外)	Excel出力求死ン 字入演	夏新 副除

■ [テスト実行] ボタンをクリックします。

テスト実行画面が表示されます。定義した内容を確認します。

■ [閉じる] ボタンをクリックします。

テスト実行画面が閉じます。

■ [更新] ボタンをクリックします。

更新の確認ダイアログで、[OK] ボタンをクリックします。

A編集設定に移ります。

8.3. データ保守定義を実行する手順

8.3.1. タスク定義

dby

■データ保守定義を実行するには、タスク定義編集で以下のように設定します。

タスクNO	.200・・・・例(任意の NO)
タスクタイプNO	.601
タクスタイプ名	.データ保守実行
タスクタイプ属性	開始
管理NO(汎用パラメータ1)	.7
管理名称(汎用パラメータ2)	商品マスタメンテ画面
対象テーブル(汎用パラメータ3)	商品マスタ

管理NO(汎用パラメータ1)を指定する時は [データ保守選択] ボタンをクリックすると、 データ保守定義画面の、A編集設定画面にある保守一覧と同じ定義リストが表示されます。



■データ保守定義を終了するには、タスク定義編集で以下のように設定します。

タスクNO	.210・・・・例(任意の NO)
タスクタイプNO	.601
タクスタイプ名	.データ保守実行
タスクタイプ属性	.終了

■データ保守定義を実行中に、別のメニューを起動したり、ボタンをクリックして、Excel シートを表示 した場合は、データ保守定義を終了します。

■この説明では、保守メニューの [商品マスタ保守] ボタンにデータ保守定義の実行タスク(200)を定義し、 [戻る] ボタンに終了タスク(210)を定義しています。

	A	В	С	D	E	
1	BSNO	ボタンNO	ボタン名表示名	TASKNO	タスク名	権限
8	5	1	商品マスタ 保守	200	データ保守実行	
9	5	2	戻る(閉じる)	210	データ保守実行	
4.000						

8.3.2. タスクを実行

dby

タスクを実行してみましょう。



[商品マスタ 保守] ボタンをクリックすると、データ保守定義が実行されます。

(ルビ) デバッグ(2) ヘルプ(4) 7. 標準サイズ (画面)/フレッジ 一一両 ステップ(存止) タ(年 守	(10日 ブロジェクト: DR 名利管理 (開品マスタ (等中) (開る(開ける)	-	8	100 x ⊖ 50 ⊖ 7.	5 ○ 100 ○ 150 ○ MEEE X'~&
キア 標準サイズ 画面)フレッジ ユー 再 ステップ停止	1 (商品マスタ 保守) (夏る(間じる)				
ユー 再 ステップ停止 スタ保守					
スタ保守					
011	デー列来守メンテ				
- - 合計道録 - 合計道録 - 合計道録 - 合計管理 - 信守 - 信守	【殺込み検索】 (0) 完全一致(商品コード(0): 商品名(3): 分類(3): * 他ユーザがこのテーブルを編集	◆◆◆ 【 商品マ 1):前方−数 (2) 後方−数 (3):中間 度 素 1 (中の場合、[編集]・(刑時)はでき!	スタメンテ画面】 敢 (4) 範囲指定 懐クリア EttA.	•••	
	商品コー	-ド 商品名(30) 単位(10)	単価	分類
	×	商品1	個	1250.0000	1
	× 2	商品 2	箱	1350.0000	2
	編集 3	商品 3	箱	1450.0000	2
		商品 4	26	1650 0000	2
		하고 다 다	70	1050.0000	Ť.
	5	16月6日 5	相	1750.0000	2
	10010				



【戻る(閉じる)】ボタンを、クリックすると、データ保守定義を終了します。



dbSheetClient

第9章 メンテナンス機能

dbs

本章では、プロジェクトに関連する各種メンテナンス機能について説明します。

- 9.1 パスワードの設定
- 9.2 プロジェクトの初期化
- 9.3 プロジェクトの強制入替
- 9.4 プロジェクトの複製
- 9.5 デモプロジェクトの取込
- 9.6 外部プロジェクトの取込
- 9.7 プロジェクトの比較レポート作成
- 9.8 プロジェクトのマージ
- 9.9 定義情報のマイグレーション

※メンテナンス機能を利用するには、一定以上の開発権限レベルが必要になります。

開発権限レベルについては、『3.1 dbSheetClient メイン操作画面の説明』に記載していますので、 そちらを参照してください。

N X	ンテナンス(M) ヘルプ(H)		(C)2007-0
DE	パスワードの設定	ファレンス	6.SQLテスト実行
DB	プロジェクトの初期化 プロジェクトの強制入替	휧(F5)) デモ取込(F6)
3	プロジェクトの複製 デモプロジェクトの取込 外部プロジェクトの取込	, Ver4(更	「新あり)
	プロジェクトの比較レポート作成 プロジェクトのマージ	18. 18.40 2	Rate usat

【メンテナンスの機能と開発権限レベル】

No.	メニュー	コマンド	開発権限→ 機能	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 ALL
1		パスワードの設定	プロジェクト定義情報に「パス ワード」を設定します。	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0
2		プロジェクトの初期化	プロジェクト定義情報をサーバ上 から消去して「初期化」します。	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0
3		プロジェクトの強制入替	サーバ上のプロジェクト情報を一 旦消去して、選択したプロジェクト 情報に強制的に置き換えます。	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0
4		プロジェクトの複製	開発用フォルダで編集中のプロ ジェクトを別のプロジェクトに複製 します。	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0
5	メンテナンス(M)	デモプロジェクトの取込	㈱ニューコムが提供するデモプロ ジェクトを取り込みます。	×	×	×	×	×	×	0	0	0	0
6		外部プロジェクトの取込	サードパーティ(他社)が開発した プロジェクトを取り込みます。	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0
7		プロジェクトの 比較レポート作成	2つのプロジェクト定義情報を比 較したレポートを作成します。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8		プロジェクトのマージ	2つ以上の複数のプロジェクト定 義情報をマージして、1つの統合 したプロジェクトを作成します。	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0
9		定義情報の マイグレーション	システムがパージョンアップされ たときに、旧プロジェクト情報のマ イグレーション(データ移行)をお こないます。	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0

9.1. パスワードの設定

dby

9.1.1. パスワードの設定の概要

プロジェクト定義ファイルにパスワードを設定することができます。パスワードを設定すると、「定義編 集」を開始するときにパスワードの入力が要求されるようになります。また、dbSheetClient で開発し たアプリケーション(プロジェクト)は第三者に提供することができますが、このとき、第三者のサーバ にプロジェクトを取り込む際にはパスワードを設定しておく必要があります。

※ パスワード設定後にパスワードを忘れると定義編集ができなくなりますので注意してください。

9.1.2. パスワードの設定の操作手順

パスワードの設定は、以下の手順でおこないます。

- 操作手順① :パスワード設定画面を起動する
- 操作手順② :パスワードを入力して保存する

■操作手順① :パスワード設定画面を起動する

開発版メイン操作画面から「メンテナンス」--「パスワードの設定」メニューをクリックすると パスワード設定画面が表示されます。



🞯 dbS-定義パスワード設定	e 🔹 🗖 🛛
プロジェクト定義	ファイルへのパスワード設定
プロジェクト定義ファイル パスワードが設定されて パスワードが要求される	んこパスワードを設定することができます。 いると、定義編集を実行する前に ます。
※他社サーバへの移行#	紀は必ずパスワードを設定してください。
現在のパスワード	
新しいパスワード	
パスワードの確認	

■操作手順② :パスワードを入力して保存する

🮯 dbS-定義パスワード設定							
プロジェクト定義ファイルへのパスワード設定							
プロジェクト定義ファイル パスワードが設定されてい パスワードが要求されま	にパスワードを設定することができます。 いると、定義編集を実行する前に す。						
※他社サーバへの移行時	には必ずパスワードを設定してください。						
現在のパスワード	****						
新しいパスワード	жжжжжжж						
パスワードの確認	***						
	キャンセル 保存						

- (1)現在のパスワードを入力します。(パスワード未設定の場合は入力不要です。)
- (2) 新しいパスワードを入力します。
- (3)パスワードの確認で、新しいパスワードを再入力します。
- (4) [保存] ボタンをクリックすると、新しいパスワードが保存されます。 [キャンセル] ボタンをクリックした場合は、保存せずに元の画面へ戻ります。
- ※ パスワードが設定されると、「定義編集」を開始するときに、以下のようにパスワードの入力画面が 表示されるようになります。

🚱 dbS-パスワードの確認	X
プロジェクト定義ファイルがパスワードで保護されて	こいます。
パスワードを入力してください。	
ОК	

※ パスワード設定後は、『7.2 プロジェクト定義情報のアップロード』を必ず実施してください。 アップロードがおこなわれるまでは、サーバのプロジェクト定義情報には反映されません。

9.2. プロジェクトの初期化

db

9.2.1. プロジェクトの初期化の概要

サーバにアップロードしたサーバ側のプロジェクト定義情報を削除し、初期化することができます。 テスト用として作成したプロジェクト定義情報を初期化して、最初からプロジェクト定義編集をおこなう 時などに利用することができます。また、プロジェクトの複製、デモプロジェクトの取込、外部プロジェ クトの取込をおこなう時には、事前に取込先のプロジェクトを初期化しておく必要があります。

※ プロジェクト定義情報の初期化は、サーバ側のプロジェクト自体が削除されるのではなく、 プロジェクト定義情報だけが初期化されて、中身の無い初期状態になります。 プロジェクト自体を削除する場合は、サーバ版でおこなってください。

9.2.2. プロジェクトの初期化の操作手順

プロジェクトの初期化は、以下の手順でおこないます。 操作手順① :プロジェクトの初期化画面を起動する 操作手順②(ステップ①):プロジェクト定義情報を取り込んで定義情報を確認する 操作手順③(ステップ②):プロジェクトの初期化を実行する

■操作手順① :プロジェクトの初期化画面を起動する

ログイン画面で、初期化したいプロジェクトを選択して開発版を起動したのち、開発版メイン操作画面から「メンテナンス」-「プロジェクトの初期化」メニューをクリックすると「プロジェクトの初期化」画面が表示されます。

0.11d (5000
守定義
1
(63)
Ver.
2
義アップ Ver.
2
897 897
- □ × 終了 い。
87 No
#7 終7 入。
887 No
**7 **7
-
-
- 2 終7 八 _山
- × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×
897 No
× × 7 終了 × - × - × - × - × - × - × - × -
·····································
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
≥



dby

■操作手順②(ステップ①):プロジェクト定義情報を取り込んで定義情報を確認する

📽 dbS-プロジェクトの初期化								
レン	テナンス】	プロジェクトの	初期化			8 7		
★ 初	★初期化したいプロジェクト定義ファイルの内容★							
	組織ID	135 702	10ト名 83	サンプルWebアプリ	ケーション			
		C:¥dbSheetClien	t¥DevelopV4¥dev	¥sAPPL				
	7##\$\$							
				00.11	200			
	ファイル名		db5_sAPPLU	83.dbs	1)9ステム仕種Ver. 300			
	更新時刻	20	010年4月5日	16:52:42	2)定義アップVer. 2			
		*	更新時刻が最	新かを必ず確認してくだ	×0. 1 1			
			× 10 - 10 - 10					
[1]	ステップの			【2】 ステップ②				
		一部の込んだしつ	- ド耕	サーバ内のプロジェクト	・情報を 初期化後のバージョン特	**		
	定義情報の		1	初期化します!	1			
	AFEC			如期化中午	1)システム仕様Ver30	N		
				初期化美什	2)定義アップVer. ()		
	テーブル名	▲ Vコード数	^					
	30.プロジェクト管理	情報 6						
	リーナータベース定業	5 2 W 0	-					
	J2.ノッツノアイル/Em 13 メニュー定義	2						
	24.ボタン定義	2						
	15.タスク定義	10						
	D6.クエリー定義	4						
	07開始終了処理	0	~					

- (1)表示されているプロジェクトの定義ファイルを初期化しても問題ないか確認します。
- (2) [定義情報の確認] ボタンをクリックすると、定義情報が取り込まれ、各定義シートのレコード数 が表示されます。ここで、初期化して問題ないかを再度確認してください。

😂 dbSープロジェクトの初	INTE.						
【メンテナンス】 つ	プロジェクトの初期化		69.7				
【ステップ:	2】テーブル内容が正しく表示	されたのを確認し、【初』	明化実行】 をクリックしてください。				
★ 知道化したい プログェクト 空楽ファイルの内容★							
ALL METO	補着ID 135 フロジェクト-26 83 サンブルWebアプリケーション						
フォルダ名	74 Jug Sheet Olient ¥ Develop VI ¥ dev¥s APPL						
ファイル名	ファイル名 dbS_sAPPL083.dbs 1)システム仕様Ver, 300						
亚酚吗酮	2010年4月5日	16:52:42	2)定義アゥブVer. 2				
	※ 更新時刻が最	新かを必ず確認してくださ	56Ve 1 1				
【1】 ステップの		【2】 ステップの					
	- 町203込んだレコード数2	サーバ内のプロジェクト	情報を 初期化体のバージョン情報				
200 000 100 100 200 200	310	WINTEGR 5 1	1)システム仕様Ver. 300				
		初期化物学	2)定義アップVor. 0				
0-100	a de la compañía de la						
 00.プロジェクト報知理性 	A 96 6						
01.データペース定義	2						
02.79979-11/2EM	2						
04.米タン/加速	2						
06.タスク定義	10						
06.クエリー 定調 07.15546 27.00.45	4						
CALIFICATION OF A DECK	5 5						
🗖 dbSheetClient (曜辺)							
PID-92 #1.d	11.Web T TU / State						
1000 999	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
を初期化しま	す。初期化後は、プロジェクトの実行が	できなくなります。					
★初期化を3	実行してよろしいですか?★						
C	000 UUX0						

■操作手順③(ステップ②):プロジェクトの初期化を実行する
- (1) 【初期化実行】ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
 ここで、【はい】ボタンをクリックすると、サーバ内のプロジェクト情報が初期化されます。
 【いいえ】ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。
- ※プロジェクトの初期化を実行すると、開発用フォルダのプロジェクト定義ファイルは、()内に 「初期化前の定義アップ Ver.」番号が追加された名称で、バックアップファイルとして保存され ます。
- ※初期化が正常終了すると、サーバ側のプロジェクト情報の「定義アップ Ver.」はOに変更されます。 サーバから初期化されたプロジェクト定義ファイルがダウンロードされ、開発用フォルダに コピーされた後初期化状態から開発することができるようになります。

【参考】

db

初期化直前のプロジェクト定義ファイル名は、開発用フォルダにバックアップファイル用としてリ ネームされて保存されます。上記の例では、ファイル名が dbS_sAPPLO83.dbs で、直前の定義ア ップ Ver.が2 なので、バックアップファイル名は、dbS_ sAPPLO83 (2).dbs になります。 誤って初期化したときや同時開発中にデグレードしたときに、バックアップファイルを利用して、 プロジェクトをアップロードしたり、プロジェクトの強制入替をして、元に戻すことができます。 バックアップファイルは不要であれば削除してください。

9.3. プロジェクトの強制入替

dbs

9.3.1. プロジェクトの強制入替の概要

初期化処理で間違って別のプロジェクトを初期化または、同時開発中にデグレードした場合には、プロジェクトを元の状態に戻す必要があります。

本機能を利用すると、バックアップされているプロジェクト定義ファイルから元の状態に戻すことができます。

9.3.2. プロジェクトの強制入替の操作手順

プロジェクトの強制入替は、以下の手順でおこないます。

操作手順① :プロジェクトの強制入替画面を起動する

操作手順②(ステップ①):強制入替用定義ファイルから定義情報を取り込む

操作手順③(ステップ②): 定義アップ Ver.を入力してサーバにプロジェクト情報を送信する

※プロジェクトの強制入替を行う前に、サーバ側の定義アップ Ver のバージョンをメモしておいて ください。強制入替初期化後にサーバ側の定義アップ Ver の入力操作があります。

■操作手順① :プロジェクトの強制入替画面を起動する

abS-開発メイン抹作画面 ユーザ:sample01 <10> 【83:サンプルWe	bアプリケーション】 #3			
ファイル(三) 編集(二) DB自動行動(名) デバック(2) アップロード(2) メンプ	たいえの ヘルプロ ハルプロ ハルプロ ハルプロ ハルプロ ハルプロ ハルプロ ハルプロ ハ		4032007-10	Newcom Co.11d 660
0.147 1.2746% 3.0F	to:l-hLost#Nt	24652	6SOLF XF#FF	27-9保守定备
環境設定 アップロード(F1) Excelアップ(F2) DB	クロジェクトの強制入替	\$\$(F5)] デモ取込(F6)	
プロジェクト情報	70919HOREN			
組織の 135 ブロジェクト名 83	デモプロジェクトの取込	J.		
プロジェクト 定義ファイル名 dbS_sAPPL08	101-01-01-01-000			
	プロジェクトのマージ	H	Menunakan PS	20124873
C ¥dbSheetClient¥DevelopV4¥run¥sAPPL¥ 3	定義体験のマイグレーション	1000	S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	E4X771NC ST
-			2:75	1.4+38 W287-7
実行用フォルダから ファイルの更新日時 定義ファイルをコピーする アッイルの更新日時	2010年4月5	16.52.4	2	Ver. Ver.
37-4390084718 # #1980 # 370-F89	2010-04-05	10:13:48.8	3	
· OCOACOPEZOCIACES · ALTHOUGHD/102.	DEPONDENCE TO DECORE	C 0 7 +		
◎開発用フォルダ◎			1929	した ない ない ない しょう
開発用フォルダを変更する ファイルの更新日時	2010年4月5	8 16:52:4	12	Ver Ver
P+70-FBH	2010-04-05	16:15:48.8	180	00 1 2
PROVINCE AND ADDRESS				
1				
- dda - プロフェクトの条制人計 メンテナンス】プロジェクトの強制人替 ★★常制人替のためのプロジェク ★アップロードするプロジェクテ	ト定義ファイルを選択し	ってください	\₀ ★★	∎∎ ¥T
■05-21072/bの発明人参 (メンテナンス】 プロジェクトの強制人参 ★★活用人替のためのブロジェク ★アップロードするゴリジェクト定義ファイルの内容★ 4番目0 20924-6 2002400	ト定義ファイルを選択	ってくださし	\₀ ★★	е р
2 m8i-21191の40の説明人登 スンテナンス】 プロジェクトの強制人替 大会強制人替のためのプロジェン ★アップロードするプロジェント定義ファイルの内容★ 編集ID フロタェクト& フェルタ&	ー 定義ファイルを選択	ってくださし	\ 。★★	ере 48 т
- 005-7112101-03年初人社 メンテナンス】プロジェクトの強制人社 ★★清朝人村のためのプロジェク ★アップロードするプロブリント定義ファイルの内容★ 相関ロ719210トを 74A9&	中定戦ファイルを選択	ってくださし	∖. ★★	×T
- mill= 2012x01x00条制入材 メンテナンス】 プロジェクトの強制入替 ★★培制入替のためのプロジェク ★アップロードするさロジェクト定義ファイルの内容★ 編載D 70x2x14を 2x4を名 マイルを	ト 定義 ファイルを選択		∿a ☆☆	₩T
2.060-7107:070の第30人行 メンテナンス】 プロジェクトの強制人替 ★★☆第以人替のためのプロジェク ★アップロードするプロジェクト定義ファイルの内容★ 編書D フロジェクト& フィルタ フィルネ 変数時刻	▶ 定義ファイルを選択 	してくださし 1)システム 2)定義アッ	_ ★★ th:44Ver. ⊐Vor.	MT
adii-フロクトの発展人特 メンテナシス】 プロジェクトの強制人特 ★★強制人特のためのプロジェク ★アップロードするプロブノクト定発ファイルの内容★ 編纂ID フロクェクトを フォルダ名 ファイル名 正新時刻	+ <u>北条</u> ファイルを選び	ってくださし 1)システム 2)定義アッ	∖。★★ 仕様Ver. JVer.	
dial=2102x01+00年時人計 メンテナンス】プロジェクトの強制人替 ★★★端制人替のためのプロジェク ★アップロードするプログェクト学会ファイルの内容★ dialD 709x01+名 フォルタを フィルを アッパルを アッパルを アッパルを アップロードコンプの	ト定義フィールを選択し [2] ステップの	ってくださし 1)システム 2)定義アッ	S.★★ #täVer. JVer.	6 C
	1- 定義 ファイルを選択 【2】 ステップΦ サーバに送信	ってくださし 1)システム 2)定義アッ	\。 ★★ 仕様Ver. フVor. アップロード(初の) 192ステム化戦 2)定義アップVer	-7 => 16 H
2 00-2107-07-03940人が (メンテナンス) プロジェクトの強制人物 未会相利人物のためのプロジェク *アップロードするプロジェクト 空気ファイルの内容素 編集10 フロジェクト を フロジェクト を フロジェクト を フロジェクト を このからのプロジェクション (1) ステップロ (1) ステップロ (1) ステップロ (1) ステップロ (1) ステップロ (1) ステップロ (1) ステップロ (1) ステップロ	+ 定義 ファイルを選択 [2] ステップの サーバに 注信		\。 ★★ 仕様Ver. フVer. フVer. 1>>ステム仕様 2)定義アラブer -	S = 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10 ± 10
	 小 立 義 ファイルを 選択(【2】 ステップの サーバに 送信 	」でくださし 1)システム 2)定義アッ	トー 大大 (た戦Vor. □ フVor. □ アップロード後の// いシステム化戦/ 2)定義アップVor	40 T 40
2. 485-2102107-07-03年84人社 (メンテナンス) プロジェクトの効制人社 大大福利人村のためのプロジェク ★アップロードするプロジェクト定義ファイルの内容★ 41回1 フロタェクト名 フィルタ名 フィルタ名 フィルター 王柄も利 [1] ステップの 	1- 定義 ファイルを選択 【2】 ステップΦ サーバに送信	ってくださし 1)システム 2)定義アラ	1、 文文 (1.単Ver: フVer: フンステムに他のN 22次後アラブVer	- 7 2 > 16 H2 for.

■操作手順②(ステップ①):強制入替用定義ファイルから定義情報を取り込む

【1】 ステップ() 弾制入替 定義ファイルの) 用)選択	込んだレコード数	【2】 ステップ(サーバ	② 缸送信	
ファイルを開く					? 🛛
ファイルの場所の:	🚞 Manual		Y ()	1 🕫 🗔 🔹	
₩£@.5.771/W ₩£@.5.771/W ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	Optimize @ dbS_Manual1 @ dbS_Manual1 @ dbS_Manual1 @ dbS_Manual1	78(0).dbs 78(1).dbs 78(2).dbs 78(2).dbs 78.dbs			
マイ ネットワーク	ファイル名(<u>U</u>): ファイルの種類(<u>T</u>):	BS Manuall 78.0bs dbSプロジェクト定義ファイ	J↓(*.dbs)	×	厭(@) 年ャンセル

db

- (1) [強制入替用定義ファイルの選択] ボタンをクリックすると、ファイル選択の画面が表示されます。
- (2)初期化処理で作成されたバックアップファイルを選択して [**開く**] ボタンをクリックします。 定義情報が取り込まれます。
- (3) 定義情報が取り込まれると、プロジェクト情報と各定義シートのレコード件数が表示されます。



😂 dbS-ブロジェクトの強制	人登	
【メンテナンス】 プロ	コジェクトの強制入替	終7
【ステップ2】プロ	1ジェクト定義ファイルの内容を	確認したのち、【サーバに送信】ボタンをクリックしてください。
★アップロードするプロ	ジェクト定義ファイルの内容★	
新L4801D 1	135 フロジェクト名 83	サンプルWebアプリケーション
フォルダ名	C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥	sAPPL
ファイル名	dbS_sAPPL08	33.dbs 1)システム仕様Ver. 300
更新時刻	2010年4月5日:	16:52:42 2)定義アップVer. 2
	※更新時刻が最新	近かを必ず 確認してください。!!
【1】 ステップの 登却入替用 定義ファイルの遠択	取り込んだレコード数 50	
テーブル名 ム	レコード数	
00.プロジェクト管理情報	6	
01.データペー人定義	2	
03.メニュー定義	2	
04.末交)定義	2	
05.タスク定義	10	
06.クエリー定義	4	
07間始終了她理	0	



dby

■操作手順③(ステップ②):定義アップ Ver.を入力してサーバにプロジェクト情報を送信する

- (1)送信後の、定義アップ Ver.を入力します。(この説明では、2を入力しています。)
- (2) 【サーバに送信】ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
- (3) 【はい】ボタンをクリックすると、サーバにプロジェクト定義情報が送信されます。
 【いいえ】ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。
 ※プロジェクトの強制入替処理では、サーバ内のプロジェクト情報を一度初期化してから プロジェクトを全て送信します。
 この送信処理は時間を要します。送信処理中の画面操作は不可となりますので、送信処理が 終了するまでお待ちください。
- (4) 強制入替処理が正常に終了すると、復旧したプロジェクト定義ファイルがサーバからダウン ロードされます。

「定義アップ Ver.」が、入力したバージョンに変更され、そのまま開発用フォルダにコピー されます。



9.4. プロジェクトの複製

db

9.4.1. プロジェクトの複製の概要

本稼働中のプロジェクトを再利用して、次期改良版を別プロジェクトとして開発し、テストが完了した 段階でリリースしたい場合などがあります。

本機能を利用すると、選択したプロジェクトを別プロジェクトとして複製することができます。

※ 有効なプロジェクトを誤って上書きしてしまうといったトラブル防止のため、コピー先として選択 できるプロジェクトは、サーバ版で登録した直後の初期状態か、初期化したプロジェクトのみと なっています。

9.4.2. プロジェクトの複製の操作手順

プロジェクトの複製は、以下の手順でおこないます。

操作手順① :プロジェクトの複製画面を起動する

操作手順②(ステップ①):選択されているプロジェクト定義ファイルから定義情報を取り込む

操作手順③ (ステップ②): コピー先のプロジェクトを選択する

操作手順④ (ステップ③): プロジェクト ID を変更する

操作手順⑤(ステップ④):サーバにプロジェクト定義情報を送信する

■操作手順① :プロジェクトの複製画面を起動する

ログイン画面で、複製したいプロジェクトを選択して開発版を起動したのち、開発版メイン操作画面から 「メンテナンス」--「プロジェクトの複製」メニューをクリックすると「プロジェクトの複製」画面が表 示されます。



◎ dbS-ブロジェクトの推製			
【メンテナンス】 プロジェクト】	主義情報の複製		R5W 857
【ステップ1】プロジェ	クト定義ファイルの内容を	確認したのち、「記念情報の取り込み」ポタン	をクリックしてください。
【1】 ステップΦ 定著情報の 間的込み	★コピー元のプロジェクト 雑題ID 135 フォルダ名 ^{C×曲She}	定義ファイルの内容★ プロジェクト& 83 サンプルWobアプリ) etCient¥DevelopV4¥dev¥sAPPL	עבל-י
	77イル名	dbS_sAPPL083.dbs	1)システム仕欄Ver. 300
取り込まれた全レコード数	更新時刻	2010年4月5日 16:52:42	2)定義アップVer. 2
		※ブロジェクト定義情報が最新かを必ず確認し1	こください!
【2】 ステップの ★★コピー先力ロジェクト名の運営★ PID コピー先のプロジェクト名 1)システム仕種Ver. 22	★ 5 定義ア∋プVer.	【3】 ステップ◆ プロフェクトル のまま コピー 先正 高特称の 第22 ボターブルも 選択するとり指示 第12できます。 ×	【4】 ステップΦ サールに送信 アップロード後のパージョン 集新 1)システム仕様Ver. 2)定義アップVer.

🥵 dbSープロジェクトの複製				
【メンテナンス】 プロ	シェクト定義情報の後	[製		取消 終了
D	、テップ2】テーブル内容が1	しく表示されたのを確認	し、コピー先のプロジェクト	を選択してください。
【1】 ステップ① 定義情報の 取り込み	★コピー元のご 組織ID フォルダ名	<mark>ロジェクト 定義ファイルの内</mark> 135 プロジェクト名 ^{C:¥dbSheetClient¥Develop¹}	容★ 83 サンブルWebア ^{/4¥dev¥sAPPL}	ງ້າມ ີກ-ວັງລັງ
取り込まれた 全レコード <u>30</u>	ファイル名 数 更新時刻	dbS_sAF 2010年4月 ※プロジェクト定	PPL083.dbs 5日 16:52:42 :義情報が最新かを必ず確	1)システム仕様Ver. 300 2)定義アゥブVer. 2 認してください!
【2】 ステップ② ★★コピー先プロジェクト PID コピー先の 1)システム仕様Ver.	名の選訳★★ ブロジェクト名 2)定義アップVer.	【3】 ステッ ▼ コピー先定員 ※テーブルを	プロジェクトID の支更 気格器の確認 違訳すると内容が確認できます。	【4】 ステップ④ サーバに送信 アゥブロード後のパージョン情報 1)システム仕載Ver 2)定義アゥブVer
 テーブル名 ロフロンコント等現情報 ロテージベース定義 ロメテージス ロメウシファイル定義 ロメウシファイル定義 ロメウシア定義 ロメウシア定義 ロシスク定義 ロシスク定義 ロシスク定義 ロシスク定義 ロシスクに定義 ロシスク定義 ロシスク定義 ロシスクにより、 	レコード数 6 2 2 2 2 2 2 10 4 0 0			

■操作手順②(ステップ①):選択されているプロジェクト定義ファイルから定義情報を取り込む

(1) [定義情報の取り込み] ボタンをクリックすると、開発フォルダに表示されているプロジェクト 定義情報が取り込まれます。

■操作手順③(ステップ②):コピー先のプロジェクトを選択する

🥝 dbSーブロジェクトの複製			
【メンテナンス】 プロジェク	定義情報の複製		取消 終了
【ステップ2]テーブル内容が正しく表示さ	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	選択してください。
[1] ステップの 定業情報の 取り込み 取り込まれた全レコード数 50	★コピー元のプロジェクト 5 相應ID 135 フォルダ名 ○マ45Shee ファイル名 更新時刻	2表ファイルの内容★ カロジェクト名 83 サンプルWebアプ! HCIentVDewebpV4Vdew8APPL dbS_sAPPL083.dbs 2010年4月5日 18:52:42	 ガーション 1システム仕様Ver. 300 2定業アップVer. 2
【2】 ステップ② ★★コピー先プロジェクト名の選挙 10883 サンプ川We57/ワリカーション 109ステム仕様Ver.	** 2)定義アゥフVer.	 スプラブラーを支付用他が取得が使まり使品が コジェクトロ クジェクトロ クジェクトロ コピーを定着情報の確認 メテーブルを選択すると内容が確認できます。 	【4】 ステップの サールに送信 アップロード後のパージョン情報 1システム仕事Ver. 2)定義アップVer.
テーブル名 レコード ロフロションを建せば時 のパテーシベース定義 2 ロクリカンアル定義 2 ロメーンで差 ロスコーンで差 ロスコーンで ロスコーン ロスコーン ロスコーン ロスコーン ロスコーン ロスコーン ロスコーン ロスコーン ロン ロスコーン ロン ロ ロ ロ ロ			

(1) リストボックスをクリックして、リストボックスからコピー先プロジェクトを選択してください。
 初期化されたプロジェクトを選択すると、[プロジェクト ID の変更] ボタンが有効になります。
 (初期化されていないプロジェクトを選ぶと、右下のようなエラーメッセージが表示されます。)

dbSheetClient

🤹 dbSーブロジェクトの複製					
【メンテナンス】 プロジェクト	定義情報の複製			TR	消 終7
[7==do]	二十川内空城正1/土	テキカものを確認	n <u>-</u>	わした運転日 アノゼキン	
(1)))21		ALCANCO/CUER		COLUMN CARCON	
【1】 ステップ①	★コピー元のプロジェ	りト 定義ファイルのP	内容★		
	MISSID 135	プロジェクト名	83 サンプルW4	ebアプリケーション	
定義情報の	7#师学名 C:¥d	SheetClient¥Develop	pV4¥dev¥sAPPL		~
400 X C 10					2
	77188	dbS sA	PPI 083 dbs	1)システム仕様い	fer. 200
取り込まれた全レコード数	FEIS	2010年4月	35日 16-52-42	2)字英アップVer	000
50	201-147	2010-1-17	1010 10:02:42		. 2
		※ プロジェクト 5	2義情報が最新かを必	す確認してください!	
【2】 ステップの ★★コピー先ブロラェクトネの選択者 PID 84 サンプルWebアブリケーション PID コピー先のプロジェクト 1)システム仕種Ver. 3	*★ 名 2)定義アップVer.	【3】 ステゥ 	プロジェクトD の変更 素情報の確認 と違訳すると内容が確認でき	【4】 ステップの アップロード体の 1)システム仕 2)定義アップ	● サーバに送信 パージョン情報 程Ver Ver
サーブルる ムーマージョン (0) ワブンのも安装 4340 6 (0) ワデーがペーズ定義 2 (0) ジェーン定義 2 (0) ジェーン定義 2 (0) ジェーン定義 10 (0) ジェーン定義 4 (0) ジェーン定義 0 (0) ジェーン定義 2 (0) ジェーン定義 3					

dbSheetClient (確認)	X
★★選択されたプロジェクトには、既にプロジェクト定義情報が登録されています	· **
初期化済みのプロジェクトをコピー先として選択してください。	
[
ОК	

■操作手順④ (ステップ③): プロジェクト ID を変更する

🥝 dbSープロジェクトの複製						
【メンテナンス】 プロジェクト	定義情報の複	製			取消	終了
[]ว⊤⊮วีวไ⊐ห	ー先プロジェクトの	内容を確認した	」 -のち 【プロジェカ	トエロの変更】ポタンなり	リートレー し	
DOTAL	767471710			100221/0727	· ////////////////////////////////////	
【1】 ステップ①	★コピー元のプ	ロジェクト定義フ	アイルの内容★			
	組織ID	135 709	ɪクト名 83	サンプルWebアプリケ	ーション	
定義情報の 取り込み	フォルダ名	C:¥dbSheetClien	¥DevelopV4¥dev¥sAF	PPL		^
						\sim
	ファイル名		lbS_sAPPL083.d	lbs	1)システム仕様Ver. 3(00
取り込まれた全レコード数	更新時刻	20	10年4月5日 16:5	i2:42	2)定義アップVer.	2
50		v -to	生物的美雄和超	日本もたっず攻部して	2#201	
		*Ju	ソエクト定我情報が	取利がどぬり唯認して	N280 1	
【2】 ステップ②		[3	】 ステップ③		【4】 ステップ④	
★★コピー先ブロジェクト名の選択	r *		70	ジェクトID	サー	代に送信
PID:84> サンフルweb7フツクーションB PID コピー先のプロジェクト	名	~		の変更	マッナロード後のバージョンパ	4 4 5
200 PID:200> サンフ*ル	webアフ*リケーション	3]	ピー先定義情報の確	2	1)システム仕様Ver.	_
1)システム仕様Ver. 300 :	2)定義アップVer.	0	:エーノルを加めて9つてい	1谷が「確認してきます。	2)定義アップVer.	
テーブル名 🔺 レコード数	-	^				
 00.70ジェクト管理情報 01.デ、カウ、フ定差 						
01.) ータベー人定義 2		=				
18.メニュー定義 2						
04.末外/定義 2						
05.9入力定義 10						
06.りエリー定義 4	-					
0/開始終了処理 0 08歳か,一覧 2	-					
00.7895 g 2		×				

- (1) 【プロジェクト ID の変更】ボタンをクリックして、選択したプロジェクト ID の変更】ボタンをクリックして、選択したプロジェクト ID に変更します。
 変更後は、定義シートごとのプロジェクト定義情報が下部に表示されますので、正しくプロジェクト情報が取り込まれているかを確認してください。
- (2) コピー先の定義アップ Ver.は、デフォルトで1 に設定されますが、必要に応じて任意の値に 変更することができます。

※上記の例では、

コピー元のプロジェクト ID:178 DR 勤怠管理 コピー先のプロジェクト ID:177 DR 人事管理 に複製され、プロジェクト ID が177 に変換されています。



db

🥵 dbSープロジェクトの複製		_		
【メンテナンス】 プロジェクト)	定義情報の複製		取消 終了	
【ステップ4】	コピー先定義情報の内容を確認	_ 別したのち、【サーバ送信】ボタンをクリック	してください。	
 ステップの 東美信報の 取り込み 取り込まれた金レコード数 	★コピー元のプロジェクト 定義ファ 組織ID 135 フロジュ フォルダ名 0.¥dbSheetClient ファイル名 d 更新時刻 201	イルの内容★ 201-& 83 サンプルWebアプリケ VDevelopVVdev4aPPL Ib5_sAPPL083.dbs 10年4月5日 16.52:42	ーション 1)システム仕様Ver. 300 2)定義アップVer. 2	
30 【2】 ステップの 大夫コピー先ブリラムりト名の選択大 PID 34 ジンブはweb7 ソリーシックの PID 34 チルクブロジェクト = 200 PID 200 ジンブパル 1)システム仕載Ver. 300 2	* ⊅⊡3 * * * * * * * * * * * * *	ジェリト 定義 精報が最新から必ず確認して	ください! 【4】 ステップの サーバに送信 アップロード彼のバージョン情報 1192ステム仕載Ver. 300 2)定義アップVer. 1	■ dbSheetClient (確認) 『サーバへのアップロード』を開始します。 実行してよろしいですか?
		477 7月25 MNO 表示 55 200 0 0 0 36 200 1 1 1 36 200 1 1 1	メニュー名 BONO プラウス <シスラム予約> 0 社員マスクメンテナンス 1 新聞M	$(\sharp \cup (\underline{Y})$ $\cup \cup \cup \widehat{Z}(\underline{N})$

- (1) 【サーバに送信】ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
- (2) 【はい】ボタンをクリックすると、サーバにプロジェクト定義情報が送信されます。
 【いいえ】ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。
 ※プロジェクトの送信処理には、容量により時間を要しますので、処理中は画面操作を おこなわないようにしてください。
- (3)送信処理が正常に終了すると、複製されたプロジェクト定義ファイルがサーバからダウンロード され、開発用フォルダにコピーされます。

😂 dbS-開発メイン抹作画面 ユーザ:sample01 <10> 【83:サンナルW	⊧bアプリケーション】 #3			
ファイル(E) 編集(E) DB自動作成(<u>A</u>) デバッグ(D) アップロード(U) メンテ	ナンス(凹) ヘルプ(凹)		(C)2007-10	Newcom Co.Ltd. (5.0.0.0
1.定義編集 3.DB自動	年成 4.デバッグ実行	<u>5</u> .リファレンス	<u>6</u> .SQLテスト実行	<u>しデー</u> 対保守定義
環境設定 アップロード(F1) Excelアップ(F2) DBアップ(F3)	複製(F5)	デモ取込(F6)	
<mark>プロジェクト 情報</mark> 組織D 135 プロジェクト名 83 プロジェクト 定義ファイル名 dtS_sAPPL083.db	サンプルWebアプリケーシ s	עבע		
◆実行用フォルダ◇ ※実行用フォルダには、実行用の定義ファイル ○¥dtSheetClient¥DevelopV4¥run¥sAPPL¥	が保存されています。(起)	動時にサーバから	ダウンロードされた 定	2義ファイルです) へ 、
実行用フォレタカンら ファイルの更新日時	2010年4月	5 8 17:54:0	5 システ い	ム仕様 定義アップ fer. Ver.
2歳2/21/23/21/23 アップロード日時 ※コピーする時には必ず上書き	2010-04-0	5 16:15:48.8	30 3	00 2
● してもよいが確認してください。 ※実行用の定義ファイルを、制	引発フォルダにコピーすること;	ができます。		
◎開発用フォルダ◎ 開発用フォルダを変更する アマイルの更新日時 アラプロード日時 C.¥dtSheetClient¥DevelopV4¥dev¥sAPPL¥	<mark>2010年4</mark> 月 2010-04-0]5日 17:54:00 5 16:15:48.8	<mark>।</mark> 30 अर्र्	ム仕様 定義アップ er. Ver. 00 2

9.5. デモプロジェクトの取込

dby

9.5.1. デモプロジェクトの取込の概要

本機能は、弊社で作成したデモプロジェクトをユーザ様のサーバにプロジェクトとして取り込む機能です。

9.5.2. デモプロジェクトの取込の操作手順

デモプロジェクトの取込は、以下の手順でおこないます。

- 操作手順① :デモプロジェクトの取込画面を起動する
- 操作手順②(ステップ①):デモプロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する
- 操作手順③ (ステップ②): 選択したデモプロジェクト定義ファイルから定義情報を取り込む
- 操作手順④ (ステップ③): 取込先のプロジェクトを選択する
- 操作手順⑤(ステップ④): プロジェクト ID を変更する
- 操作手順⑥(ステップ⑤):サーバにプロジェクト定義情報を送信する

■操作手順① :デモプロジェクトの取込画面を起動する

ログイン画面で、デモプロジェクトとして取込先のプロジェクトを選択し開発版を起動したのち、開発版 メイン操作画面から「メンテナンス」-「デモプロジェクトの取込」メニューをクリックすると「デモプ ロジェクトの取込」画面が表示されます。



[※] プロジェクトの複製と同様に、取込側のプロジェクトはサーバ版で登録した直後の初期状態か、 事前に初期化しておく必要があります。

■操作手順②(ステップ①):デモプロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する



- (1) [デモプロジェクトの選択] ボタンをクリックすると、ファイル選択の画面が表示されます。
- (2) デモプロジェクト定義ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。

デモプロジェクト定義ファイルの内容が表示されます。

(1) 37930 ¹ 200701 0807 (0) 37930 240-198 240-198	★アモブロジェが 射量ID 1 7#89名	ト記表ファイルの内容★ プロラェラトを 142 (4)文具発注意 StableetClent/ExcelogVilder/Dees	途 (web08) V3
(2) 37930 213-FB			
Thus .	7716名 王氏時刻	db8,Demo142.dbs 2008年6月2日 1620.45 年更発祥5854般教会会ず確認してく3	199.375.ft #Wer. 200 29228797Ver. 1
【0】 ステックΦ 本市設立プロクェクト むの菜杯本本 ・ 取込支プロクェクト むの菜杯本本 ・ 取込支売のプロフェクト む ・ 取込支売のプロフェクト む 13システム仕様 Wee 23定義	1797 Var	【4】 ステップ争 つかくかり の天王 ブロウェかり 安吉 秋島の 単記 ボデーブスを音楽をおいて日子 単語できます。	[5] 37930 サールに出し アッカルードロのパーラット日本 100374仕様Ver、300 20世界97Ver、1

dby

■操作手順③(ステップ②):選択したデモプロジェクト定義ファイルから定義情報を取り込む

【ステップ2】プロジェ	りト定義ファイルの内	店を確認したのち、「定義情報の取り込み」ポ	あっをクリックしてください。			
(1) 27970 (1) 27970 (2) 279700 (2) 2797000 (2) 2	*74709204 HBID 1 74898 0 77488 2 27488 2	(第27-64の代表 1707-97-8 122 (4) 文具発注地会 (NuADB) V2 #255erd (Author Explained Action 465 (Densel 42-88e 195,77.6.18 戦Vir. 200 2000年4月2日 16:20-05 172 数7-7 Vir. 1				
 (3) ステラスの 本収点な707-09-80度秋本 780 取込気を7075-09-6 192 取込気を7075-09-6 192 次次人気使暖Wee. 		【4】 2555年 2007/2010 6天 707/2015天第1日の6月 93-734年第17月20日前中国にそれり、	(5) 27970			

(1) [定義情報の取り込み] ボタンをクリックすると、選択したデモプロジェクト定義ファイルから 定義情報が取り込まれます。

ジョルSーディナロウェクトロ 【メンテナンス】 テ	マント モプロジェク	トの取込		TEIA 85.7
Ľ	ミテップ4】デモ	プロジェクトの内容を	確認したのち、【プロジェクト10の変更】ボタンをク	リックしてください。
[1] ステップの		★デモプロジェクト	定義ファイルの内容★	
Satol Ak		HISTID 1	70510ト名 142 (4)文具発注照:	≙ (WebDB) V3
の選択			Kdb/SheatClient#Dave bri/AKdav&Dave	
		7#169名 ~	editine i Calente Deve Di Verde re Devino	
(2) 17970				
(management)	全レコード数	771月名	dbS_Demo142.dbs	1)システム仕様Ver. 300
定義債和60 期的込み	207	更新時刻	2008年6月2日 16:20:45	2)定義アップVer. 1
	207		※更新時刻が最新かを必ず確認してくださ	50.11
 【3】 ステップの ★取込先プロラェクト4 PID 201> サンプはweb73 PID 取込先が 201 PID 20 1)システム仕様Ver. 	640 選択★★ サケーションC Dプロジェクト名 1>サンプルww 300 20	₀Ьアブリケ〜ションC 定義アッラノVer. 0	【4】 ステップ④ 70ジェクトロ プロジェクト定面も毎回の ステーブルを後期すると内容が毎辺できます。	 【5】 ステップの サーバに送信 アゥブロード後のパージョン 協報 10システム仕様Ver. 300 20定義アゥブVer. 1
テーブル名	▲ レコード数		~	
00709151管理信	6			
01.テータペース定義	2			
(13 5-1-宣務	6			
04.求欠/定要	24			
05.タスク定義	49			
05.0エリー定義	11			
07開始終了処理	1			
		-		
08.市东)一覧	1			
08.ポタン一覧 09.タスク一覧	26			



dby

😸 dbSーデモプロジェクトの	戰込					
【メンテナンス】 デ	モプロジェクト	の取込				RE前 887
[7	(テップ4]デモブ	ロジェクトの内	容を確認	思したのち、【プロジェクト	IDの変更】ボタンをクリ	ゆりしてください。
【1】 ステップの デモプロジェクト の選択		★デモプロジ: 雑 業 ID	[小定義 1	\$77イルの内容★ <mark> プロジェクト名</mark> 142	(4)文具発注照会	t (WebDB) V3
1		フォルダ名	Ci¥dbS	heetClient¥DevelopV4¥dev¥	Demo	
【2】 ステップの	テレコード 敬	ファイル名		dbS_Demo14	2.dbs	1)システム仕様Ver. 300
定義情報の 取り込み	207	更新時刻		2008年6月2日	16.20:45	2)定義PップVer. 1
	201			※更新時刻が最新	かを必ず確認してくださ	U. I I
PID:2013 サンパweb7 PID:57) SMOF セミナー PID:2000 サンプルアジリク PID:57) サンプルアジリク PID:57) チンプルアジリク PID:57) データベース(第 PID:102) セミナー開発(0) PID:102) セミナー開発(0) PID:102) セミナー開発(0)	サージスス 開発(完成)Ver3 サーン/8 サーン3 サー		> <	プロジェクト定差情報の確 ※テーブルを灌択すると内	70ジェクトID の変更 認 容が確認できます。	アップロード徐のバージョン情報 1)システム仕様Ver. 300 2)定義アップVer. 1
00プロジェクト管理情報	8 6					
01.データペース定義	2					
02.ブックファイル定義	3					
03メニュー定義	6					
04.术尔/定義	24					
08.92.7定義	49					
00.717-定義	11					
CONTRACTOR INCOME	-					
00/h3/2→覧	25					
ALCONT THE R	0					

(1) リストボックスをクリックして、リストボックスから取込先プロジェクトを選択してください。 初期化されたプロジェクトを選択すると、【プロジェクト ID の変更】 ボタンが有効になります。 (初期化されていないプロジェクトを選ぶと、右下のようなエラーメッセージが表示されます。)

メンテナンス】デ	モプロジェクトの取込		取消 林子
גז	テップ4】デモプロジェクトの内	言を確認したのち、【プロジェクトIDの変更】ボタンを	クリックしてください。
【1】 ステップ① デモブロジェクト の選択	★デモプロジェ 紙数ID フォルダ名	りト定義ファイルの内容★ 1 フロジェクト名 142 (4)文具発注用 C ¥d/SheetClient¥DevelopV4¥dev¥Demo	음会 (WebDB) V3
【2】 ステップ② 定義情報の 取り込み	レコード数 207 ファイル名 更新時刻	dbS_Demo142.dbs 2008年6月2日 16:20:45 ※更新時刻が最新かを必ず確認してくな	1)システム仕様Ver. 300 2)定義アゥナVer. 1 さたい。!!
【3】 ステップ◎ ★ 取込先プロラェクト名 PID:79) サンプルアプリケ・ PID 取込先の 79 PID:79> 1シシステム仕様Ver.	の達訳★★ ⁺ ション プロジェクト名 サンプルアプリケーション 300 2)定義アゥプVer.	【4】 ステップ④ プロジェクトロ の次更 メリーフルト生活情報の確認 メリーフルト生活情報の確認	【5】 ステップの サールに送信 アップロード後のパージョン 集編 13システム仕 種Ver. 300 2)定義アップVer. 1
デーブル名 の ジョングトをおける ジョンクトをおける ジョンクトをおける ジョンクトン定義 ジュンロンディン定義 ジュンロンデ ジュンロンデ ジェンロンデ ジェンロン ジェン ジェン ジェンロン ジェン ジェン ジェン ジェンロン ジェン ジェ	レンード数 0 2 3 6 24 49 11 1		

■ dbSheetClient (確認) 🛛 🛛 🕅
★★選択されたプロジェクトには、既にプロジェクト定義情報が登録されています。★★
初期化済みのプロジェクトを取込先として選択してください。
UK



😴 🖦 🖙 デモプロジェクトの											
【メンテナンス】 デ	モプロジェク	トの取込							NC:M		終了
ג ז	テップ5】デモ	ロジェクト定義	情報のP	り容を確認	思したのち、	[サーパネ	送信]ポタ	ンをクリ	ックしてください。		
【1】 ステップの デモブロジェクト の環状		★デモプロジ: #1∰ID	レクト 定着 1 0.¥dbS	Cアイルの プロジェ! heetClient	内容★ 14 fDevelopV4¥d	2 (4)文具発	注照会	(WebDB) V3		
[2] ステップの 定義情報の 1	ミレコード政	77/1/2名 77/1/2名			dbS_Demo	o142.dbs	46		1)システム仕者	EVer.	300
109) 达达	207	2 Merrie	-	ž0 ※更	新時刻が最	16.20	4J す産認し	てください	N. ! !	ur. [-
★市込先プロジェクト名 ★市込先プロジェクト名 PD2013 7271web77 PID 取込先の 201 PID-201 13システム仕種Ver.	5の変沢★★ ソナール 50 フロジェクト名 I>サンプルwe 300 205	bアフ*リケーションC E載アゥブVer.	•	7091 *7-	リト定義情報の リルを選択する ユー定義	プロジェ の実 の電記 と内容が確認	<mark>クトID</mark> 更 空できます。	×	107 ステラン アップロード後の 1)システム仕 2)定義アップ	サー リパージョン 種Ver. Ver.	/加速信 300 1
テーブル名	▲ レコード数		^	Mar	3RD =	MNO	表示 NO	層	XII-8	BKNO	ブック名
01 7-bs-277	0			135	201	0	0	0	<システム予約>	- 0	
02ブックファイル定義	3			135	201	1	1	1	■トップ	1	発注問合せ
03.火二1一定義	6			135	201	2	2	2	発送間い合わせ	1	発注問合せ
04.米欠/定義	24			135	201	3	3	2	売上集計	1	発注問合せ
05.タスク定義	49			135	201	4	4	2	1540400	0	
06-5エリー定義	11			135	201	5	5	2	oped	1	発注問合せ:
07開始終了処理	1			*							
08.米タン一覧	7										
09.92.5一覧	25										
10DB運用定義	2			40.5				_		_	

- (1) 【プロジェクトIDの変更】ボタンをクリックして、選択したプロジェクトのプロジェクトIDを、 取込先のプロジェクトIDに変更します。 変更後は、定義シートごとのプロジェクト定義情報が下部に表示されますので、正しくプロジェ クト情報が取り込まれているかを確認してください。
- (2) 取込先の定義アップ Ver.は、デフォルトでは、デモプロジェクトと同じ番号に設定されますが、 必要に応じて任意の値に変更することができます。

※上記の例では、

db

デモプロジェクトID :142 文具発注照会 取込先プロジェクトID :201 サンプル web アプリケーション C に取り込まれて、プロジェクトID が、201 に変換されています。



dbs



- (1) [サーバに送信] ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
- (2) [はい] ボタンをクリックすると、サーバにプロジェクト定義情報が送信されます。
 [いいえ] ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。
 ※プロジェクトの送信処理には、容量により時間を要しますので、処理中は画面操作を おこなわないようにしてください。
- (3)送信処理が正常に終了すると、取り込まれたデモプロジェクト定義ファイルがサーバから ダウンロードされ、開発用フォルダにコピーされます。



- ※取り込まれたデモプロジェクトが正しく実行するかを、デバッグ実行や定義編集などを実行して確認 してください。
- ※デモプロジェクトを実行するには、事前にデータベースの設定や Excel ブックファイルの設定も 必要になります。デモプロジェクトに関しての説明にしたがって設定をしてください。

9.6. 外部プロジェクトの取込

9.6.1. 他社製品プロジェクトの取込の概要

本機能は、サードパーティ(他社)が作成したプロジェクトをユーザ様のサーバにプロジェクトとして 取り込む機能です。

- ※ プロジェクトの複製、デモプロジェクトの取込と同様に、取込先のプロジェクトはサーバ版で登録 した直後の初期状態か、事前に初期化しておく必要があります。
- ※ DB 定義のパスワードを設定している場合、再設定する必要があります。

9.6.2. 他社製品プロジェクトの取込の操作手順

他社製品プロジェクトの取込は、以下の手順でおこないます。

- 操作手順① :他社製品プロジェクトの取込画面を起動する
 操作手順② (ステップ①):他社製品プロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する
 操作手順③ (ステップ②):選択した他社製品プロジェクト定義ファイルから定義情報を取り込む
 操作手順④ (ステップ③):取込先のプロジェクトを選択する
 操作手順⑤ (ステップ④):プロジェクト ID を変更する
 操作手順⑥ (ステップ⑤):サーバにプロジェクト定義情報を送信する
- 操作手順⑦(ステップ⑥): DB定義のパスワードを再設定する

■操作手順① :他社製品プロジェクトの取込画面を起動する

ログイン画面で、他社製品を取込む側のプロジェクトを選択して開発版を起動したのち、開発版メイン操 作画面から「メンテナンス」-「外部プロジェクトの取込」-「他社製品の取込」メニューをクリックす ると「他社製品の取込」画面が表示されます。

© d65-開発メイン排作画面 ユーザ:manuall (9) 【201:サンプ&web7フリクーションC】 #2	
ファイル(D) 編集(E) DB自動作成(A) デパッグ(D) アップロードU) 20.テナンス(M) ヘルプ(M) (C/2007-10 Newcon Co., Ind 5880)	
<u> 0 終7 1 定義編集 30 6 7 1 2 7 </u>	
【環境設定】 (アップロード(F1) Exce(アップ(F2)) (DB プロジェウトの強制入替 数(F5) デモ数込(F6) (
プロジェクト情報 フロジェクトの第回	
組織D 135 ブロジェクト名 201 アモルシュアトの取込 他社製品の取込 オロジュトト 完美ラー(1.4 世紀)	■ dbSheetClient (確認)
フロジェクト 定義 パクイル PG dbS_demoa2U フロジェクトの比較レポート作成	
◆実行用フォルダ◆ ※実行用フォルダには、実行用の定義ご プロジェクトロマージ サーバからダウンロードされた定義ファイルです)	▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
2	定義ファイルをコピーした後に実行してください。
第行用フォルタから 定義ファイルタンピーオス アマイルタンピーオス アマイルタンピーオス アマイルタンピーオス	
	UK
◎開発用フォルダ◎ ファイオの事業日時 2010年4日6日 9-27-41 ジスラム仕様 定義29-7	
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 こ の 二 一 一 こ の 二 一 二 一 一 一 の 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
C With Sheet Ollen W Develop W4 Yde v Yde moa Y	
<u> </u>	
C db5-他社製品プロジェクトの取込	
【メンテナンス】他社製品プロジェクトの取込 取済 料7	
サーバにアップロードするプロジェクト定義ファイルを選択してください。	【 注意 】
【1】 ステップΦ ★他社製品プロジェクト定義ファイルの内容★	「守美ファノルが目つかりません」という
* NB/127-F* 70919+8	「足我ノアイルが兄ノがりません」という
8H707101 7##9%	面面が表示されたときは、処理することが
<u>O'AR</u>	
[2] ステップ② 771A名 11システム仕様Ver.	(ごさません。)実行用ノオルタから定義ノア
定義信約) (2)定義アラブVer. (2)定義アラブVer.	イルをつピーする」をクリックします 開
[3] ステップの [4] ステップの [5] ステップの	発用ノオルタに初期化された定義ファイル
** 県込先7091915名の厳密ま★ 705101日 05万	をつピーレてください
PID 取込先のプロジェクト名 フロジェクト定義価格の確認 アップロード律のパージョン価格	
エテーブルを提供すると内容が確認できます。 175 大力 公正 Wer. 179 ステム仕様Ver. 27定義アラブVer. 27定義アラブVer.	

■操作手順②(ステップ①):他社製品プロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する

dbS-借社製品プロジェクトの取込		
【メンテナンス】 他社製品プロ	1ジェクトの取込 総治 料7	
	サーバにアップロードするプロジェクト定義ファイルを選択してください。	
【1】 ステップ① ★製品パスワード★	★他社製品力以21小定義77イルの内容★ 70920F名	■ dbSheetClient (確認)
他社プロジェクト の違訳 (2) ステップの	27.895.	★★製品パスワードが空白です。製品パスワードを入力してください。 ★★
定義信報の 取り込み	王斯科列 2)定義アップVer.	ок

(1) 製品パスワードを入力します。

dbS

(2) [他社プロジェクトの選択] ボタンをクリックします。ファイルを選ぶ画面が表示されます。

ファイルの場所の	🗀 Demo		~	00	P	
最近使ったファイル デスクトップ マイドキュメント マイニンピュータ	Optimize dbs_Demo01 dbs_Demo03 dbs_Demo03 dbs_Demo03 dbs_Demo05 dbs_Demo16 dbs_Demo16	5.dbs 5.dbs 6.dbs 6.dbs 2.dbs				
פ-פופג וד	77-1小名(10):	dbS_Demo142.dbs			~	開 (@)

(3)他社提供のプロジェクト定義ファイルを選び、[開く]ボタンをクリックすると、

プロジェクト情報が表示されます。

メンテナンス】 他社製品ブ	ロジェクトの取込	変を確認したのち、「空薬情報の取り込み」。	取得 終了 載ねいあり1990日、アください
しいりりにりはり 【1】 ステップの ★製品パスワード★	★他社製品プロジ	105 定義ファイルの内容★ プロジェクト名 142 (4)文具発	注照会(WebDB)V3
他社プロジェクト の増択	7#ルダ名 ^{CA}	dbSheetClent#Develop#dev#Demo	1)システム仕程Ver. 300
[2] ステッブの 定義価額の 取込み 全レコード数	更新時刻	2008年6月17日 10:50:04 ※更新時刻が最新かを必ず確認してく	2)定義アップVor. 1 ださい。!!
 【3】 ステップの ★★取込先20ジェクト名の選択★1 PID 取込先のプロジェクト名 	*	【4】 入テップ④ プロジェクトの の支更 プロジェクト定義情報の確認	【5】 ステップの サーバに送け アップロード体のパージョン 情報 リンステム仕様Ver 300





dby

(1) [定義情報の取り込み] ボタンをクリックすると、選択した他社製品プロジェクト

定義ファイルから定義情報が取り込まれます。

、1055-1622第二ノロシェクトの最近 メンテナンス】他社製品プロ	ロジェクトの取込	2		REA MT
【ステップ3】5 【1】 ステップの *製品パスワード★ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	フル内容が正し ★他社製品ブロ フォルダ名	く表示さ Iジェクト 5 C ¥dbShee	れたのを確認し、取込先のフロシェクトを立 記載ファイルの内容★ フロラェクト名 142 (4)文具発注照 tClient¥Develop¥dev¥Demo	選択してください。 斎会 (WebDB) V3
[2] ステップ② 定義情報の 取り込み 202	7%1%名 更新時刻		dbS_Demo142.dbs 2008年6月17日 10:50:04 ※更新時刻が最新かを必ず確認してくださ	1)システム仕様Ver. 300 2)定義アップVer. 1 5(ん。!!
 ステップ◎ ★★取込先フロジェクト名の選択★★ PID 取込先のプロジェクト名 1)システム仕様Ver. 2) 	定義アゥブVor.	•	【4】 ステップ④ 7 <u>0⁵2010 20320日 ボラーブルを選択すると内容が確認できます。</u>	 【5】ステップのサーバに逆信 アラブロード後のパージョン抜種 1)システム仕様Ver. 300 2)定義アップVer. 1
テーブル名 レコード数 007ロジェント総計信号 6 00プロジェント総計信号 2 20プロジェント総計信号 2 20プロジェント電子 2 20プロジェン電子 3 03メニュー定者 5 04ポタン定義 23 05クジェン電子 48 06クジェン学業者 11				



dby

dbS-億社製品プロジ	エクトの取込					80
【メンテナンス】 作	も社製品プロ	ジェクトの取す	λ			取消 終7
	【ステップ3】テ	ーブル内容が正し	バ表示されたの	のを確認し、取込	先のプロジェクトを選	尿してください。
【1】 ステップΦ ★製品パスワード★ 他社プロジェクト の選択		★他社製品ブ フォルタ名	ロジェクト 定義フ プロジ C ¥dbSheetClier	<mark>アイルの内容★</mark> コクト名 142 t¥Develop¥dev¥Dem	(4)文具発注照: 。	会 (WebDB) V3
【2】 ステップ② 定責信報の 取り込み	全レコード数 202	77イル名 更新時刻	2	dbS_Demo142 008年6月17日 1 E新時刻が最新か	!.dbs 10:50:04 を必ず確認してください	1)システム仕種Ver. 300 2)定義アップVer. 1
【3】 ステップΦ ★★取込先プロジェク DR 動意管理 DR 急制管理 1)ウステム仕種Ver.	- 名の変状★★ 2));	「義アゥナVer.」	× • • •	】 ステップ④ ジェクト定義情報の テーブルを選択するとP	70ジェクトD の支更 物容が確認できます。	【5】ステップの サールに送信 アップロード後のパージョン 装備 139ステム仕様Ver. 300 2)定義アップVer. 1
テーブル名 のフロジェクトを見 の、データベース定義 ロンデータベース定義 ロンデータベース定義 ロンズニー定義 04.ポタン定義 05.タスク定義	 レコード数 6 2 3 5 23 48 					

(1) リストボックスをクリックして、リストボックスから取込先プロジェクトを選択してください。
 初期化されたプロジェクトを選択すると、[プロジェクト ID の変更] ボタンが有効になります。
 (初期化されていないプロジェクトを選ぶと、右下のようなエラーメッセージが表示されます。)

レンテナンス】 他社	製品プロジェクトの取込			取演	M7
【ステ	ップ4】プロジェクト定義情報	を確認したのち、【プロジ	エクトIDの変更】ボタンを	クリックしてください。	
【1】 ステップの ★製品パスワード★	★他社製品クロ	ジェクト 定義ファイルの内 フロジェクト名	8★ 142 (4)文具発注	照会(WebDB)V3	
他社プロジェクト の選択	フォルダ名	∺¥dbSheetClient¥Develop¥o	lev¥Demo		
【2】 ステップの 定義値編の 取り込み 2	ファイル名 コード数 更新時刻 202	dbS_De 2008年6月 ※更新時刻が	mo142.dbs 17日 10:50:04 最新かを必ず確認してくだ	1)システム仕様Ver. 2)定義アップVer. さい。!!	300 1
3】 ステップ争 大・取込先プロラェクト名 (1) 取込先のプロ PID 取込先のプロ 177 DR 人事管 1)システム仕様Ver. 3	の変訳★★ 1ウェクト名 5理 100 2)定義アゥブVer. 0	【4】 ステップ 、 プロジェクト定義 ※テーブルを選		【5】 ステップの サ アップロード線のバージョ 1)システム仕様Ver. 2)定義アップVer.	-バに送信 ン15 昭 300 1
テーブル名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					

dbSheetClient (確認)	6
★★選択されたプロジェクトには、既にプロジェクト定義情報が登録されています	. *
初期化済みのプロジェクトを取込先として選択してください。	
ОК	



😨 dbS-他社製品プロ	ジェクトの取込											
【メンテナンス】	他社製品プロ	コジェクトの取	込							REA	۰ (終7
	【ステップ5】プ	ロジェクト定義情	青報の内容	を	確認した	のち、【サ	一八送信	コポタンを	シリックト	してください。		
【1】 ステップの ★製品パスワード★		★他社製品:	プロジェクト	LDト記表ファイルの内容★ プロダスタト名 142 (4)文具発注照会(WebDB)V3								
他社プロジェクト の選択		77111名			db	S_Demo1	42.dbs			1)システム仕様い	or. 3	00
定義績報の 取り込み	全レコード数 202	更新时刻		×	2008年 王 王 王 新 明	F6月17日 刻が最新	10:50:0 ゆを必ずi	04 産認してく	たさい。	2)定義アップVer. !!		1
【3】 ステップ◎ ★★取込先プロジェ DR人事管理 PID 取込身 177 DR A	りト名の選択★★ 1のフロジェクト名 1車祭理		×		(4) X	テップ(の) - 定義情報(プロジ: の3 の 単型	ijind Se		【5】 ステップの アップロード後の/ 1)システム仕者	サー/ ページョン EVer,	<mark>に送信</mark> 結報 300
1)システム仕穫Ver.	300 2)	定義アップVer.	0		03.¥I1	-定義	010071	GC689+	~	2)定義アゥ ブ V	er.	0
テーブル名	☆ レコード数		^		組織	プロジェ クトロ	MNO	表示 NO	12	X.1-8	BKNO	ブック名
 00プロジェクト管理 01 ダーカバース定常 	AVE 6		-		1	177	0	0	0	<システム予約>	0	
(2 プックファイル定義)	1 3	-			1	177	1	1	1	■トップ	1	彩油開合1
(0.3-1-定義	5				1	177	2	2	2	発油酸い合わせ	1	彩 細合
04ボタン定義	23				1	177	3	3	2	売上集計	1	発注問合1
06.タスク定義	48				1	177	4	4	2	1545406	0	-
06.クエリー定義	11			*								

- (1) 【プロジェクトIDの変更】ボタンをクリックして、選択したプロジェクトのプロジェクトIDを、 取込先のプロジェクトIDに変更します。 変更後は、定義シートごとのプロジェクト定義情報が下部に表示されますので、正しくプロジェ クト情報が取り込まれているかを確認してください。
- (2) 取込先の定義アップ Ver.は、デフォルトでは、他社製品プロジェクトと同じ番号に設定されま すが、必要に応じて任意の値に変更することができます。

※上記の例では、

ib🏏

他社製品プロジェクトID:142 文具発生照会

取込先のプロジェクト ID:177 DR 人事管理

に取り込まれて。プロジェクトIDが 177 に変更されます。



dby

🚭 dbS-他社製品プロジェクトの取込												
【メンテナンス】 他社製品プ	コジェクトの取並	<u>k</u>						. ACF		終了		
【ステップ5】プ	ロジェクト定義情	服の内容	を確認した	のち、【サ	ーバ送信	1792	シクリック	っしてください。				
[1] ステップの ★製品パスワード★ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	★他社製品力 フォルタ名	ር ¥dbShee	主義ファイル <mark>プロジェクト:</mark> :tClient¥Dew	の内容★ 8 142 skop¥dev¥De	2 (4) emo	文具発	注照会	(WebDB) V3		K. N.		
[2] ステップの	771月名		db	Demo1	42.dbs			1)システム仕様Ve	r. 30	00		
宗奈は明白 全レコード数	更新時刻		2008年	6月17日	10:50:0	14		2)定義アップVer.		1		
1001达洲 202			※更新時	刻が最新	かを必ずる	確認してく	ださい。	11				
(3) ステッゴの まま 取込先力ロジェクト名の選択まま PR 人事管理 PD 取込先のプロジェクト名 177 DR 人事管理 1)システム仕量Ver.300 20	定義アップVer.	0	[4] 25 707191 ***********************************	アプ(①) 定義情報()を選択する 一定義	プロジェ の支 の確認 と内容が確認	<u>クトロ</u> 定 20できます。		【5】 ステップの アップロード後の/ 1)システム仕様 2)定義アップV	サーバ (ージョン) (Vor. er.	に送信 新報 300 日		■ dbSheetClient (所認) 😿
テーブル名 エーレコード数		^	相继	7121	MNO	表示NO	昭居	火1-名	BKNO	ブック名		『サーバへのアッフロート』を開始します。
 B0709170F留建価額6 01ボールボースが第二2 			• 1	177	0	0	0	<システム予約>	0		1	宇仁 テトスレンデオショ
01.7 - 5ペー人と数 2 12 ブックファイル宣義 3			1	177	1	1	1	■トップ	1	発注問合も		夫行してよろしいですか?
03.×=1-27.5 5			1	177	2	2	2	発注間い合わせ	1	発注問合t		
04.米久/定義 23			1	177	3	3	2	売上集計	1	発注問合t		
05.92.5定義 48			1	177	4	4	2	1545400	0			(はい(Y) いいえ(N)
06-ウエリー定義 11			*									
07月時計約7月1月 1		~	< 11				_			5		

- (1) 【サーバに送信】ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
- (2) [はい] ボタンをクリックすると、サーバにプロジェクト定義情報が送信されます。
 [いいえ] ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。
 ※プロジェクトの送信処理には、容量により時間を要しますので、処理中は画面操作を おこなわないようにしてください。
- (3)送信処理が正常に終了すると、取り込まれた他社製品プロジェクト定義ファイルがサーバから ダウンロードされ、開発用フォルダにコピーされます。



※取り込まれた他社製品プロジェクトが正しく実行するかを、デバッグ実行や定義編集などを実行して 確認してください。

※他社製品プロジェクトを実行するには、事前にデータベースの設定や Excel ブックファイルの設定も 必要になります。他社製品プロジェクトに関しての説明にしたがって設定をしてください。

■操作手順⑦(ステップ⑥):DB定義のパスワードを再設定する

DB定義にパスワードを定義されている場合は、dbSheetClient側のパスワード保護のため、 DBのパスワードを再度設定する必要があります。本書第2部の「第4章 定義編集画面の操作方法の 4.7. 各定義の編集方法の 4.7.1. データベース定義」も参照して下さい。

9.7. プロジェクトの比較レポート作成

9.7.1. プロジェクト定義情報の比較レポート作成の概要

本機能は、2 つのプロジェクト定義情報を比較したレポートを作成するための機能です。 比較レポートを、Excel ファイルとして保存することができます。 サーバのプロジェクト定義情報と、開発版で更新したプロジェクト定義情報を比較できます。 複数回にわたり、開発版で更新したプロジェクト定義情報をサーバにアップロードした時なども、 2 つのプロジェクト定義情報を比較できます。

※ 比較する2つのプロジェクト定義情報(ファイル)は、両方とも同じ組織 ID になっている必要が あります。組織 ID の異なるプロジェクト定義情報の比較はできませんので、注意してください。

9.7.2. プロジェクト定義情報の比較レポート作成の操作手順

プロジェクト定義情報の比較レポート作成は、以下の手順でおこないます。 操作手順① : プロジェクト定義情報の比較レポート作成画面を起動する 操作手順② (ステップ①):新旧、2つのプロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する 操作手順③ (ステップ②):比較処理を実行する 操作手順④ (ステップ③):比較レポート作成を実行する

ここでは、異なるバージョンを比較する手順を説明します。

- Ver 1 dbS_sSeminar057(1).dbs
- Ver 2 dbS_sSeminar057(2).dbs
- ◆ 補足

サーバのプロジェクト定義情報と、開発版で更新したプロジェクト定義情報を比較には、
 次のファイルを比較します。
 実行用フォルダ C:¥dbSheetClient¥DevelopV5¥run¥sseminar¥dbS_sSeminar057.dbs
 開発用フォルダ C:¥dbSheetClient¥DevelopV5¥dev¥sseminar¥dbS_sSeminar057.dbs

■操作手順① :プロジェクト定義情報の比較レポート作成画面を起動する

開発版メイン操作画面 から「メンテナンス」-「プロジェクトの比較レポート作成」メニューをクリックすると「プロジェクト定義情報の比較レポート作成」画面が表示されます。

0.終7 1.定義編集 3.0E 厚焼設定 アップロードGF1) ExcelPップGF2) DB	パスワードの設定 プロジェクトの行時化: プロジェクトの指制人替	ファレンス 設(F5)	<u>6</u> .SQLテスト デモ取込(·実行 [2疗*- (F6)	外保守定義
ロジェクト 情報 組織D 135 ブロジェクト名 200 ブロジェクト 定義ファイル名 dbS demoa20	プロジェクトの検製 デモプロジェクトの取込 外部プロジェクトの取込		<u>.</u>		
	プロジェクトの比較レポート作成				
	プロジェクトのマージ	H-ISTORY	ダウンロードさ	れた定義ファ	イルです)

C.¥dbSheetClient¥DevelopV4¥run¥demoa¥	定義情報のマイグレーション				
★111H1/4 ルマン ※ 夫(1用)オルタレは、夫(1用の定義) C.YdtSheetOlient¥DevelopV4 ¥run¥demoa¥	定義情報のマイグレーション			システム仕様	定義P97
★11H1/24/25 × 未17H/24/24には、美17Hの定義 C3/dtS/beetCilentYDevelopV4VrunYdemoa¥ ま行用5+//250 支表77/05212-35	定義債務のマイグレーション 2010年4月6日	10:09:1	4	システム仕様 Ver.	定義P97 Ver
エリアイタクシン ボネリアルクガルとは、美江ア用の支索 CNdESheetClent/Develop/4 YuuYdemoaY 東汀(用の支索) 東汀(市の支索) アイルの支索 アナフロード日 東ゴビーマのおいにより上参 アナフロード日	定義債務のマイグレーション 定義債務のマイグレーション 14) 2010年4月6日 15) 2010-04-051	10:09:1 7:53:55.7	4 87	システム仕様 Ver. 300	定義P97 Ver. 1
	電波価格のマイグレーション 2010年4月6日 15 2010-04-051 、開発フォルダにコピーすることができ] 10:09:1- 7:53:55.7-	4 87	システム仕様 Ver 300	定義P97 Ver. 1
(1) パイルタン エネロアガイがした。東口市の支払 (2) くれば FaretOlevelopU4 Yuuridemood (2) 〈れば	 電鉄情報のマイグレーション ロション ロシン ロシン<td>] 10:09:1- 7:53:55.7: 8#\$.</td><td>4 87</td><td>システム仕様 Ver. 300</td><td>定義P97 Ver. 1</td>] 10:09:1- 7:53:55.7: 8#\$.	4 87	システム仕様 Ver. 300	定義P97 Ver. 1
(1) パイオタン (* ネカナガイオタン(名、東ナガの支索) (2) vddEheat(Diert/Dievelop/4 Yrun/demoal (2) vddEheat(Dievelop/4 Yrun/demoal	 定義情報のマイグレーション 2010年4月6日 2010-04-051 MRフォルダにコピーすることができ 2010年4月6日 	10:09:1- 7:53:55:7: 93:5:	4 87 4	システム仕様 Ver 300 システム仕様 Ver	定義P97 Ver. 1 定義P97

dby

dbShe	etClient (確認)	
『SMOF 処理を開	セミナー開発(演習)V3』 貼台してもよろしいですか?	のプロジェクトの比較レポートを作成します。
	(#UV)	

<pre></pre>	プロジェクト定義情報	服の比較レポート作成]		統了
【ステップ	1】 (旧、新)プロジェク	トの比較レポートを作成し	,ます。「(旧、新)ブ	ロジェクトの選	択」をクリックしてくださ	s.
k編集中のプロジ 組織ID 135	15ト定義ファイルの内容 i 70ジェクト名 2	★ 00 サンブルwebアブリケ	−ўаУВ		1)システム仕様Ver. 2)定義アゥブVer.	300 1
に日プロジェクト Si 細葉ID	≧義ファイルの内容★ フロジェクト名				1)システム仕様Ver.	
7814926 781426			更新時刻	×	27£ 87 7 7 Ver.	
k新プロジェクト5 組織ID フォルダ名 ファイル名	≧養ファイルの内容★ フロヺュウト名		更新時刻	0 2	1)システム仕様Ver。 2)定義アゥナVer.	
1】 ステップの 旧プロジェク の選択 新プロジェク の選択	4	 【2】 入テップの 比較処理 一戻る 		[3] ス 比較ル7	〒 7プ③ ₹−ト作成	

■操作手順②(ステップ①):新旧、2つのプロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する

 編集中のプロジェクト定 編集ID 135 プ トロプロジェクト定義ファイ 	(後77イルの内容★ 18919ト名 200 (ルの内容★	サン7*ルwob77*リケーション8	13ジステム仕様Ve 23定義アップVer.	r. 300					
a載tD 7 フォルデ名	105191-8		1)システム仕載Ve 2)定義アゥプVar.						
₩1#名 新プロジェクト定義ファ+	(1.0内容★	更新時刻			ファイルを間く				ľ
4日ID フ マルダ名	10919F&		1)システム仕載Vo 2)定義アゥフVer.	•	ファイルの場所の 27	demos a doS_demos197(0) dos a) doS_demos197(0) dos	~	000	
+14名 1 ステップの 回プロジェット の意訳 第70ジェット の意訳	I	王 561591 21 ステップの 上記込用 一冊50	[3] ステップΦ 此税レポート作成		Recent	do5_demos201.dbs db5_demos201.dbs			
		1			3				
					ر -516% ک	ファイル名型 dbS_demos200.db	8	~	(Q)

- (1) [旧プロジェクトの選択] ボタンをクリックします。ファイルの選択画面が表示されます。
- (2) 旧プロジェクト定義ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックすると、

				┥	Ļ						
あ8-7091/ メンテナンス	ット出版レス ス】 プロ	FF成 ジェクト定義情	報の比較レポート作成	`		47					
に 編集中の 編集ID 本目プロジェ 編集ID フォルダ名 ファイル名	ステップ2] プロジェクト 135 クト定義フ 135 C.¥ds5h	プロジェクト定義 定義ファイルの内容 フロジェクト名 2 アイルの内容★ フロジェクト名 2 extClient¥DevelopWe dbS_dem	 スアイルの内容を確認した 5★ (00) サンプルweb77*リケー 単文前前が必要 (00) リンプルweb77*リケー パカッグのから、 パカッグのから、 (1) シンプルweb77*リケー 	のち、「新プロジ - ジョンB か、更新・副称 - ジョンB - 更新時刻	ジェクトの選択1ボタンを レコードが正しいかを会 2010年4	シリックしてください。 シンステム仕様Ver. 300 の定義アゥブVer. 1 宇宙記してください。11 シンステム仕様Ver. 300 の定義アゥブVer. 1 月6日 10:09:14					
★新プロジェ	小定義7	ァイルの内容★					ファイルを間く				
組織ID フォルダ名 ファイル名	_	709191-8	1	更新時刻	2)システム仕様Ver.)定義アップVer.	ファイルの場所の Pecent	demos a) dbS_demos197 a) dbS_demos197 a) dbS_demos200	0) dos dos dos	S 🕈 🖻 🖬	
[1] ステップ 日プロ の 第22 の	700 2017) 2017) 2017) 2017)		 【2】 ステップの 比較処理 一 菜店 		[3] 379 280-8-	D NR	71 F#150+	⊴ <mark>655,demos201</mark>	£8≊		
		_					11 401-00	ファイル名(型) ファイルの種類(型)	dbS_demoa201.dbs dbSプロジェクト定義ファイル(*dbs)	×	

プロジェクト情報が表示されます。

db

(3) 【新プロジェクトの選択】ボタンをクリックします。ファイルの選択画面が表示されます。

(4) 新プロジェクト定義ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックすると、

はあらうロシェクト比較レポート作成 【メンテナンス】プロジェクト定義情報の比較レポート作成 の込み」ボタンをクリックしてください 1)システム仕欄Ver. 3(K 2)定義アップVer. 1 柳線レコードが正しいか 1)システム仕様Ver. 2)定義アップVer. 77-1月老 dbS_demoa200.dbs 更新時刻 2010年4月6日 10:09:14 xxx200.dbs 素更影响 部が影響か、更新・時間レコード が正しいゆき 会ず 単語してくだれい 125 ストル 電影・ 23定義 アップ Vor. 77188 dbS_demoa201.dbs 王斯特别 2010年4月6日 10:13:18 [2] 37970 【1】 ステップの [3] 37970 比較処理 旧ブロジェクト の選択 比較レポート作成 新プロジェクト **⊢**≣3

プロジェクト情報が表示され、【比較処理】ボタンが有効になります。



dby



- (1) [比較処理] ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
- (2) **[はい]** ボタンをクリックすると、選んだ2つのプロジェクト定義ファイルから定義情報を 取り込みます。取込後、**[比較レポート作成]** ボタンが有効になります。

[いいえ] ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。

ンテナンフ	1 プロジェク	ト定義情報	の比較レポート作用	ġ.		87
C	ステップ2】 プロ	ジェクト定義フ	マイルの内容を確認し	とのち、「定義情報の	取り込み」ボタンをクリックしてくださ	<i>u</i> .
は編集中の: 細胞ID	カロジェクト 定義ご 135 フロジ	17イルの内容★ 1クト名 200	927"/web77"9	7->1>B	1)システム仕欄Ver. 2)定義アップVer.	300
1日プロジェー 細酸1D フォルダ名	クト定義ファイが 135 プロジ Ci¥dbSheetCla	の内容★ 19ト名 200 nl¥DevelopVR¥de	# 更新時刻が最早 サンプ*ルwebアプ*リ v¥dence	新か、更新・耐除レコー ケーションB	ドが正しいかを必ず確認してください 1)システム仕載Ver. 2)定義アゥブVer.	300 1
ファイル名		dbS_demoa	200.dbs	更新時刻	2010年4月6日 10:09:14	
を新プロジェー 細胞ID フォルダ名 ファイル名	01 E ROY1M 789 C V&SheetCler	D内容★ エクト名 INFDevelopV4¥de dbS_demoa	重更新結熟所能 Wernos 201.dbs	新か、更新・創始レコー 更新時刻	ドが正しいかを必ず確認してくどさい 1)システム仕様Ver. 2)定義アラブVer. 2010年4月6日 10:13:18	
1] 2797 1870 01	● ジェウト 営択 気ェクト 営材		 【2】 ステップ② 比較強現 一页5 		【3】 ステップ@ 記録レポート作成	

■操作手順④ (ステップ③):比較レポート作成を実行する



(1) [比較レポート作成] ボタンをクリックすると、比較レポート作成が実行され、作成された レポート情報が表示されます。

9.7.3. プロジェクト定義情報の比較レポートの読み方

db

プロジェクト定義情報の比較レポートには、新旧の定義情報が、上下に配置されています。 新旧の異なる部分が、オレンジの背景色になります。

③ SMOF セミナー開発(演習)V3【デ)	የቃቻ]lus	er : dei	me01	クロジェク	トの比較レポー	作成:	п		
ファイル(E) デバッグ(D) ヘルプ(H)	復旧	プロジ	יאלדי 🛛	MOF 번호	十一開発(演習)∨3		×	K 100	<mark>- % () 50 () 78</mark>
 終了 標準サイス[*] 画面リフレッシ 	-1		印刷	1	プレビュー 1	[Exc	el保存】) 〔 更新日作		
メニュー 再 ステップ停止									
>06. ボタン定義	M db	S #1 -	dhS 00	i300 -71	コジェクト比較しる	k−h xls	[読み取り専用]		
Menu		D	G	н	I	J	К	L	M
: ▼メニューを選択してください。▼	2		【ボタ	/定義】			511.0		
- 【トップ】 - 1 完善休内容	3	新旧	BSN	ボタンNO	ボタン名表示名	TASK	タスク名	権限レベル	ボタン表示 非表示
	4	18	1	1	読込	1	TG_T1_Read		
02. DB運用定義	5	新	1	1	読込	1	TG_T1_Read		
03. ブック定義	6	18	1	2	更新	2	TG_T2_Write		
-04. ブック運用定義	7	新	1	2	更新	2	TG_T2_Write		
<u>05.メニュー定義</u>	8	旧	1	3	追加				
- 06.ボタン定義	9	新	1	3	クリア	3	TG_BS1_クリア		
	10	18	1	4	追加				
	11	新	1	4	印刷	4	TG_BS1_印刷		
	12								
10. 開始終了処理定義	13								
11. ボタン一覧	14								
-12. タスク一覧	15	ļ							
13. 展開一覧	16								

この例では、ボタン定義を表示しています。

旧プロジェクト定義情報では、ボタンは2つ定義されています。 新プロジェクト定義情報では、ボタンは4つ定義されています。

まず、旧プロジェクト定義情報が表示され、次の行に新プロジェクト定義情報が表示されます。

旧プロジェクト定義情報のボタンNOが3と4には、定義されていませんのでボタン名表示名には 「追加」と表示されています。

新プロジェクト定義情報のボタンNOが3と4には、ボタン名表示名、TASKNO、タスク名が 異なりますので、セルの背景色がオレンジになっています。 db

9.7.4. プロジェクト定義情報の比較レポートを Excel ファイルとして保存する操作手順



[保存] ボタンをクリックすると、Excel ファイルが作成されます。



9.7.5. プロジェクト定義情報の比較レポートに「更新日付」を表示させる操作手順

db

プロジェクト定義情報の比較レポートには、「更新日付」が非表示の状態になっています。 【【更新日付】] ボタンをクリックすると、「更新日付」を表示させます。



再び、〔【更新日付】〕 ボタンをクリックすると、「更新日付」を非表示にします。

9.8. プロジェクトのマージ

db

9.8.1. プロジェクト定義情報のマージの概要

本機能は、2つ以上の複数のプロジェクト定義情報をマージして、1つの統合したプロジェクトを作成す るための機能です。複数のプロジェクトを1つにまとめて、新たなプロジェクトを作成したり、複数の人 数で分散して開発したプロジェクトを、最終的に1つのプロジェクトにまとめたい場合などに利用するこ とができます。

※プロジェクトをマージする方法としては、以下のようなマージができるようになっています。
 1)既存のあるプロジェクトをベースにして、他の既存プロジェクトをマージする。

例) 既存プロジェクト A をベースにして既存プロジェクト B、C をマージする場合



- 2)新規の初期化プロジェクトをベースにして、他の既存プロジェクトをマージする。
 (既存のベースとなるプロジェクトをそのまま残しておきたい場合などに有効です。)
 - 例)新規プロジェクトDに既存プロジェクトA、B,Cをマージする場合



【 注意 】

 ※マージするプロジェクトのデータベース(DB定義、運用DB定義)と、Excel ブック (ブック定義、運用ブック定義)の環境は合わせるようにしてください。
 ※開発途中のプロジェクトはマージしないようにしてください。(マージ後プロジェクトの定義 No.等が採番し直されて、元の定義 No.が変更となり混乱する可能性があるため。)
 ※各プロジェクトの定義名(タスク名、クエリー名、展開名、ボタンセット名等)の重複が発生 した場合、後から重複した定義名の最後に括弧付番号'(1),(2)…'を付加するようになってい ます。
 ※マージ後の統合されたプロジェクトの調整(タスク処理の共通化や各定義名の変更等)は、 必要に応じておこなってください。

9.8.2. プロジェクト定義情報のマージの操作手順

db

プロジェクト定義情報のマージは、以下の手順でおこないます。

- 操作手順① :「マージするプロジェクトの選択」画面を起動する
- 操作手順② :マージするプロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する (マージするプロジェクトの数分選択を繰り返します)
- 操作手順③ :データベースのマージの設定をおこなう
- 操作手順④ :ブックのマージの設定をおこなう
- 操作手順⑤ :プロジェクトの定義 No.の設定をおこなう
- 操作手順⑥ :プロジェクトのマージを実行する

■操作手順① :「マージするプロジェクトの選択」画面を起動する

ログイン画面で、マージのベースとなるプロジェクトを選択して開発版メイン操作画面を起動し、「メン テナンス」--「プロジェクトのマージ」 メニューをクリックすると「マージするプロジェクトの選択」 画面が表示されます。

例)マージのベースとなるプロジェクトが「テスト マージProj」の場合

🥵 dbS-開発メイン操作画面 ユーザ:manual1 <9> 【200:サンフ*ル+	ebアフツケーションB】 #2	
ファイル(E) 編集(E) DB自動作成(A) デバッグ(D) アップロード(U) 💈	いテナンス(M) ヘルプ(H)	(C)2007-10 Newcom Co.,Ltd. (5.0.0.0)
□終了 1定義編集 3.DE	パスワードの設定	ファレンス 6.SQLテスト実行 2.データ保守定義
	プロジェクトの初期化	
環境設定 アップロード(F1) Excelアップ(F2) DB	ブロジェクトの強制入替	製(F5) 〒モ取达(F6)
プロジェクト情報	プロジェクトの複製	
組織ID 135 プロジェクト名 200	デモプロジェクトの取込	
プロジェクト定義ファイル名 dbS demoa20	外部プロジェクトの取込 ・	
	プロジェクトの比較レポート作成	
◇実行用フォルダ◇ ※実行用フォルダには、実行用の定義」	プロジェクトのマージ	サーバからダウンロードされた定義ファイルです)
C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥run¥demoa¥	定義情報のマイグレーション	
		-
実行用フォルダから ファイルの更新日	時 2010年4月6日	10:13:29 システム仕様 定義アップ Ver. Ver.
定義ファイルをコピーする アップロード日	時 2010-04-05 17	7:53:55.787 300 1
● ◆ ※コピーする時には必ず上書き してもよいか確認してください。 ※実行用の定義ファイルを	、開発フォルダにコピーすることができ	ます。
◎開発用フォルダ◎		シュート 休祥 一定美国の学
問※田 _{フ+ルグを変更する} ファイルの更新日	時 2010年4月6日	10:09:14 Ver. Ver.
P970-F8	時 2010-04-05 17	.53:55.787 300 1
C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥demoa¥		

7	ージするブ	商業のマージ ロジェクトの	の選択		
現石	生編集中のプロ:	プェクト にマージす プロジェクト 名	るプロジェクトを選択し、マーシ	する順番を設定し	,ます。 最終更新日時
•	89	テスト マージPr	oj	0	2009/07/17 18:27
		\mathbb{N}			プロジェクトファイル選択
Z		0			

dby





- (1) [プロジェクトファイル選択] ボタンをクリックします。ファイルを選ぶ画面が表示されます。
- (2) マージするプロジェクト定義ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックすると、マージ するプロジェクトの一覧(グリッドビュー)にプロジェクト情報が表示されます。



(3) マージするプロジェクトが複数ある場合は、同様にして再度 [プロジェクトファイル選択] ボタン をクリックしてファイルを選択します。(マージするプロジェクトの数分選択を繰り返します。) 例) ベースとなるプロジェクト「テスト マージProj」に、マージするプロジェクトとして 「テスト マージProj-A」と「テスト マージProj-B」を選択した場合の画面

 dbS	-プロジェクト定義	情報のマージ					X
7	ージオスフ	゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙ゔ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヮヽ゚ヵトゟ	の運炉				
1	// 0/						_
現在	车編集中のプロ	ジェクトにマージす	るプロジェクトを通	建択し、マージ	する順番を設定し	ます。	
	プロジェクトID	プロジェクト 名			アップロード回数	最終更新日時	
Þ	89	テスト マージP	roj		0	2009/07/17 18:27	
	90	テスト マージP	roj-A		1	2009/07/17 18:17	
	91	テスト マージP	roj-B		3	2009/07/23 9:13	
						1	
L	$\Delta \vee $	X				プロジェクトファイル選択	7
_						¢	
_							_
*	ヤンセル		《前八	次へ ≫		完了	

- (4)次操作手順③の「データベースのマージ設定」画面を表示するには、[次へ >>] ボタンを クリックします。
- マージする順番は、マージするプロジェクトー覧の表示順(上から下へ)になります。
 (一番上のプロジェクトはベースとなるプロジェクトのため、順番は変更できません。)
- マージする順番を変更するには、プロジェクトー覧で目的のプロジェクトを選択(行の背景色が黄)
 して、【△】ボタン(順番を上位変更)または【▽】ボタン(順番を下位変更)をクリックします。
- ◎ マージするプロジェクトー覧から除外するには、目的のプロジェクトを選択(行の背景色が黄) して、【×】ボタンをクリックします。
- 処理を中止するには、[キャンセル] ボタンをクリックします。



🔡 dbS	-プロジェクト演	義情報のマージ			×	
Ŧ	-91-	スのマージ	設定			プロジェクトごとに
デ・	-タベースの紡	合を設定します。	初期設定では、同じエイリアス名	のデータベースは同一と判断されます。		定義されているデータ
	マージ後の DBNO	エイリアス名	データベース名	90.テスト マージProj-A L1:SampleDB(SampleDB) 91.テスト、ステジロcoi+B	\checkmark	~ _ ベースが列挙されます。
Þ	1	SampleDB	SampleDB	L1:SampleDB(SAMPLEDB)		
4		X				
*	ゃンセル		《前へ》 次へ 》	完了		

(1)次操作手順④の「ブックのマージ設定」画面を表示するには、[次へ >>] ボタンをクリックします。

- ◎ デフォルトでは、同じエイリアス名のデータベースは同一と判断され、マージ後のDB定義の DBNOも同じ番号として設定されます。
- エイリアス名が同じでも別のDB定義に変更したい場合など、左側に表示されているデータベース一覧の統合内容を変更するには、右側に表示されているプロジェクトごとのデータベースで、目的のデータベースを選択して、左側のデータベース一覧へドラッグアンドドロップします。
 別のDB定義として設定する場合は、左側のデータベース一覧の空欄(灰色)部分へドラッグアンドドロップします。
 同じDB定義として設定する場合は、左側のデータベース一覧の統合するデータベースの行へドラッグアンドドロップします。
- ◎ マージ後の DBNO を変更するには、データベース一覧で目的のデータベースを選択(行の背景色 が黄)して、【△】ボタン(DBNO を上位変更)または【▽】ボタン(DBNO を下位変更)を クリックします。
- ◎ マージするデータベース一覧から除外するには、目的のデータベースを選択(行の背景色が黄) して、【×】ボタンをクリックします。 なお、除外して、右側のプロジェクトごとのデータベースで、どこにも割り付けられていない データベース(赤字)が残っている場合は、エラーとなり次のステップへは進めません。
- 処理を中止するには、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- ◎ 前ステップ①へ戻るには、[《 前へ] ボタンをクリックします。



プックのマージ設定	プロジェクトごとに
ブックの統合を設定します。初期設定では、同じブック名は同一と判断されます。	定義されているブック
マージ後の BookNo. ブック名 -1.5ample xb -5条昭田ブックスis	が列挙されます。
▶ 1 Sample.xls 2 参照用ブックxls - 0.comt.br.2 bb.t/c→ (4.xls)	
キャンセル 《前へ】次へ》 完了	

(1)次操作手順⑤の「定義 No.の設定」画面を表示するには、[次へ >>] ボタンをクリックします。

- ◎ デフォルトでは、同じブック名は同一と判断され、マージ後のブック定義の BKNO も同じ番号 として設定されます。
- ブック名が同じでも別のブック定義に変更したい場合など、左側に表示されているブック一覧の 統合内容を変更するには、右側に表示されているプロジェクトごとのブックで、目的のブック を選択して、左側のブック一覧へドラッグアンドドロップします。
 別のブック定義として設定する場合は、左側のブック一覧の空欄(灰色)部分へドラッグアンド ドロップします。
 同じブック定義として設定する場合は、左側のブック一覧の統合するブックの行へドラッグアンド
 ドロップします。
- マージ後の BKNO を変更するには、ブック一覧で目的のブック名を選択(行の背景色が黄)して、
 [△] ボタン(BKNO を上位変更)または[▽] ボタン(BKNO を下位変更)をクリックします。
- マージするブック一覧から除外するには、目的のブック名を選択(行の背景色が黄)して、
 【×】ボタンをクリックします。
 なお、除外して、右側のプロジェクトごとのブックで、どこにも割り付けられていないブック (赤字)が残っている場合は、エラーとなり次のステップへは進めません。
- 処理を中止するには、[キャンセル]ボタンをクリックします。
- ◎ 前ステップ②へ戻るには、[《 前へ] ボタンをクリックします。



db

🔜 dbSープロジェクト定義情報のマージ						
定義No.の設定						
マージするプロジェカト 毎に 冬完美	内安の関が	会委号を設定します パーフとな	るプロジェカトの目	調給悉是什変更		現在、選択されている定
できません。						義名の定義 No.が、プロ
プロジェクト間の 間隔基準数	XI	L—				ジェクトごとにプロジ
◎ メニュー 100 🗘 採番	IC) プロジェクト名	マージ後の 開始番号	マージ後の 最終番号	Г	
	► <mark>90</mark>) <mark>テスト マージProj-A</mark>	100	130		エクト間の間隔基準数
○ ボタン 100 💲 採番	91	テスト マージProj-B	201	221		を元に採番されて表示
○ タスク 100 € 採番						されます。
○ クエリー 100 🔹 採番						
○展開 100 詳番						
全て自動採番		元の最小・最大番号	100	130		
キャンセル	《前	▲ 次へ ≫		完了		

(1)次操作手順⑥の「プロジェクトのマージを実行する」には、[完了]ボタンをクリックします。

- ◎ マージする各プロジェクトの定義 No.は重複しないように、自動で採番をおこないますが、以下に示す定義 No.は、各プロジェクト間の間隔基準数(加算数)を任意に変更できるようになっています。(デフォルトのプロジェクト間の間隔基準数は 100 になっています。)
 - ●メニュー定義 No. (MNO)
 - ●ボタンセット定義 No. (BSNO)
 - ●タスクー覧定義 No. (TASKNO)
 - ●クエリー定義 No. (QNO)
 - ●展開定義 No. (DNO)
 - ◇各定義名(メニュー/ボタン/タスク/クエリー/展開)のコンボボックスに表示されている プロジェクト間の間隔基準数で、全ての定義 No.を一括して採番するには、【全て自動採番】 ボタンをクリックします。
 - ◇各定義 No.を個別に採番するには、目的の定義名のラジオボタンをクリックし、コンボボックスで間隔基準数を変更した後、右側にある【採番】ボタンをクリックします。
 - ◇また、右側に表示されているプロジェクト毎の「マージ後の開始番号」は、直接入力が可能に なっており、1つ前(上の行)のプロジェクトの「マージ後の最終番号」より大きい値であれば、 ここで任意の値に変更することもできるようになっています。
- ◎ 処理を中止するには、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- ◎ 前ステップ③へ戻るには、[《 前へ] ボタンをクリックします。

■操作手順⑥ :プロジェクトのマージを実行する

db

🔜 dbSーブロジェクト定義情報のマージ						
定義No.の設定						
マージするプロジェクト 毎に、各定義 できません。	内容の開始番号	号を設定します。ペースとな	るプロジェクトの	開始番号は変更		
プロジェクト間の 間隔基準教	<u> </u>					
● メニュー 100 🗘 採番	ID	プロジェクト 名	マージ後の 開始番号	マージ後の 最終番号		
	▶ 90	テスト マージProj-A	100	130		
0 赤シ 100 1 接番	91	テスト マージProj-B	201	221		
○ 477 100 ▲ 接番						
○ // 100 ▲ 授悉						
○展開 100▲ 採番						
全て自動採番		元の最小・最大番号	100	130	dbSheetClient	
					プロジェクトをマージし、サー/	「ーにアップ」
キャンセル	《 前A	20 ×		皇7		キャットフリ
	× 119. ×					-112 CA

(1)[完了]ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
 ここで、[OK]ボタンをクリックすると、プロジェクトのマージを実行します。

[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。

	」確認メッセ メニュー;	2ージで [選択後	[OK] をク	^ッ リック
🚱 dbS-開発メイン抹作画面 ユーザ: manual1 <9> 【202:テスト マージҎR	J] #2			
ファイル(E) 編集(E) DB自動作成(A) デバッグ(D) アップロード(U) メンテナ:	ノス(11) ヘルプ(11)		(C)2007-10	Newcom Co.,Ltd. (5.0.0.0)
[<u>0</u> 終了] <u>1</u> 定義編集] <u>3</u> DB自動作日	え 4.テバッグ実行	<u>5</u> リファレンス	6.SQLテスト実行	2.データ保守定義
環境設定 アップロード(F1) Excelアップ(F2) DBアップ(F3		複製(F5)	デモ取込(F6)	
プロジェクト 情報 組織□ 135 プロジェクト 名 202 万 プロジェクト 定義ファイル名 dbS_demoa202.dbs ◆実行用フォルダ◇ ※実行用フォルダには、実行用の定義ファイルが C:VdtSheetClient¥DevelopV4¥run¥demoa¥	えト マージ・PRJ	動時にサーバからど	ダウンロードされた気	ご 義ファイルです)
実行用フォルダから ファイルの更新日時	2010年4月	6 8 10:34:5	4 システ	ム仕様 定義アップ fer. Ver.
定義ファイルをコピーする アップロード日時	2010-04-0	6 10:34:45.0	73 3	00 1
★ してつりつりにはなり工者でしてもよいか確認してください。※実行用の定義ファイルを、開発	モンオルダにコピーすることが	ができます。		
 ・ ・ ・	<mark>2010年4</mark> 月 2010-04-04	6	4 73 3	ム仕様 定義アップ ^{(er. Ver.} 00 1
C:¥dbSheetClient¥DevelopV4¥dev¥demoa¥				*

(2) プロジェクトのマージが実行されると、マージ処理終了後(マージする容量により処理時間がかか ります)、マージ後のプロジェクトを自動的にサーバにアップロードし、開発版メイン操作画面へ 戻ります。

9.9. 定義情報のマイグレーション

db

9.9.1. プロジェクト定義情報のマイグレーションの概要

本機能は、dbSheetClientのメジャーバージョンアップ(V2→(V3~V5)など)がおこなわれた時に、 プロジェクト定義情報の管理テーブルに新たなフィールドが追加となったり、定義シートが追加された場 合など、旧仕様から新仕様にプロジェクト定義情報をマイグレーション(移行)するための機能です。

9.9.2. プロジェクト定義情報のマイグレーションの操作手順

プロジェクト定義情報のマイグレーションは、以下の手順でおこないます。

操作手順① :プロジェクト定義情報のマイグレーション画面を起動する
 操作手順② (ステップ①):旧プロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する
 操作手順③ (ステップ②):選択した旧プロジェクト定義ファイルから定義情報を取り込む
 操作手順④ (ステップ③):マイグレーションを実行する
 操作手順⑤ (ステップ④):サーバにプロジェクト定義情報を送信する

■操作手順① :プロジェクト定義情報のマイグレーション画面を起動する

ログイン画面で、マイグレーション先の初期化されているプロジェクトを選択して開発版を起動したのち、 開発版メイン操作画面 から「メンテナンス」-「定義情報のマイグレーション」 メニューをクリック すると「定義情報のマイグレーション」画面が表示されます。

アパーク2 第276 / 428 (2000 000 000 105/00 75/70-100 2000 / 100 0000 000000000000000000000000	
空電波定 アクフローPG11) Excel/P>プO22 (DB) アウジンや6番組/Al 取り3) デモ取込住の プロジンや1情報 プロジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al プロジンや7 プロジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al プロジンや7 プロジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al プロジンや7 プロジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al クスドデ用フォルグン 出来行用ウンホルグAl アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al 〇ンペログロトをはひにすいどの・web gu/HafrunkGemoxit アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al 〇ンペログロトの アン アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al アウジンや6番組/Al 〇ンペログロトの アン アウジンや6番組/Al アウジン・1/Al アウジン Image: Particitation	
プロジェクト 情報 プロジェクト 情報 利益地口 135 プロジェクト 情報 オロジェクト 名 プロジェクト 信報 オロジェクト 名 プロジェクト 定義 オロジェクト 名 プロジェクト 定義 オロジェクト 名 プロジェクト 定義 オロジェクト 合 プロジェクト 定義 オロジェクト 合 クスピア 月知 クルバビ は、実行用の定式 アン・クトレビ 日本 マン・クトレービ 日本 アン・クトレビ 日本 マン・クトレービ 日本 アン・クトレービ 日本 マン・クトレー 日本 アン・クトレー 日本	
フレコンホま長パイルら dtds_ammaat フロシンかは使用の定義 フロシンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロシンかなどの定義 フロンかなどの定義 フロンかなどの定義	
○実行用フォルダ○ ※実行用フォルダには、実行用の定転 ○xddSheetOlerxVDevelop/4YrunKdemoa¥ 変数時間の(パルーション 変数時間の(パルーション 変数時間の(パルーション 2010年4月6日 10.36.37 9/24Lt# 文集アップ WW WY	
C.3ddS/heetOlerxVDevelop/4/runVderza¥ 正常時間7±62955 7±140至新日時 2010年4月6日 10:36:37 925山仕田 文庫アッフ WW	
◎MR用フォルダ● 定義ファイルをコピーした後に実行してください。	
開発用2+6月5天美大学5 ファイルの更新日時 2010年4月6日 10:13:18 2226世 東第25 22	
7970-FBB OK	
◆ #65-710510ト定業貨幣607(グレーション) 【メンテナンス】プロジェクト定業貨幣60マイグレーション(仕様変換)	
【ステップ1】 旧プロジェクトを、編集中のプロジェクトをマイグレーションします。「旧プロジェクトの選択」をクリックしてください。	
★編集中(マイガレーション説)の力ロジェが 定義ファイルの内容★ 1)シスタム仕 Wvr. 2000 編集ID 135 プロジェジト名 201 リンプ #weeb77 "サージョンC 2)定数7ップ Ver. 0 「 注音	
★旧力52小F星前2F4/40内容★	
##10 ファシュント& 19254は#Wer 「定義ファイルが見つかりません」	といし
	# Z
う画面が表示されたときは、処理	10
	レダー
(1) ステックゆ (2) ステックゆ (3) ステックゆ (4) ステックゆ (4) ステックゆ (1) ステックゆ (3) ステックゆ (4) ステックゆ (4) ステックゆ (5) などの (5) などの <t< td=""><td>レク シク 別 リ て</td></t<>	レク シク 別 リ て

db

■操作手順②(ステップ①):旧プロジェクト定義ファイルをファイル選択画面から選択する

G dbS-プロジェクト定義情報のマイクレーション		
【メンテナンス】 プロジェクト定義情報のマイグレーション(仕様変換)	8F.7	
【ステップ1】 旧ブロジェクトを、編集中のブロジェクトにマイグレーションします。「IE	プロジェクトの選択」をクリックしてください。	
★編集中(マイグレーション後)のプロジェクト定義ファイルの内容★	1)システム仕様Ver. 300	
#2010 1 70919F名 177 DR 人事管理	2)定義アップVer. 0	7x1#EMK 22
◆月づけうけた完善つえていの内容◆		ファイルの場所 (2) demoa 🚽 😡 🗗 😳 🖽・
編目0 709201名 7e月98 7r(A名 更新時刻	1)9254仕電Ver. 2)定意797Ver.	Image: Section 2010 S
【1】入テップの 【2】入テップの パープの (日ブロウシウトの) ※回、単向 ジスクム化電Ver, 第2012からの ※回、単向 ジスクム化電Ver, 第2012からの ※回、単向 ジスクム化電Ver, 第2012からの ※回、単向 ジスクレ 第2012からの ※回、単向 ジスクレ 第2012からの ※回、単向 ジスクレ 第2012からの ※回、単向 ジスクレ 第2012からの 第2012からの 第2012からの 第2012からの 第2012からの 第2012からの 第2012からの 第2012からの 第2012からの		q fasuch q function

- (1) [旧プロジェクトの選択] ボタンをクリックします。ファイルの選択画面が表示されます。
- (2) 旧プロジェクト定義ファイルを選択して [**開**<] ボタンをクリックすると、プロジェクト情報が 表示され、[**定義情報の取り込み**] ボタンが有効になります。

as- フロジェクト定義1 (ンテナンス】 プ 【ステップ2	^{は握のマイグレーション} ロジェクト定義情報のマ・ 2】 プロジェクト定義ファイル(イグレーション(仕様変換) の内容を確認したのち、「定義情報の用	ぼう こ ほう こ こ こ こ 、 の に つ に の に つ に の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し の に つ し つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ
k編集中(マイグレ-	-ション後)のプロジェクト定義。	マイルの内容★	1)システム仕様Ver. 300
細鶴ID 135	プロジェクト名 201	リンフ*ルweb77*リケーションC	2)定義アゥブVer. 0
に旧プロジェクト 定着	まファイルの内容★	※更新時刻が最新か、更新・削除レコー	ドが正しいかを必ず確認してください。!!
紙 数ID 135	フロジェクト名 204	DMOF ランチ予約	10システム仕様Ver. 3
フォルダ名 ^{C:¥dd}	SheetClient¥DevelopV4¥dev¥der	108	20定義アラブVer. 1
1】 ステップの 旧フロジェクトの 選択		105 105 10	2010年4月1日 10年3月 14】 ステップの サージに送信 アップロード後のバーラコン修繕 119ステム仕様Ver, 300 21定賞アップVer, 1
dby



🚱 dbS-フロジェクト定義	情報のマイグレーション			
【メンテナンス】 ブ	ロジェクト定義情報のマー	ゲレーション(仕様変換)	終了	
【ステップ2	2】 プロジェクト定義ファイルの	内容を確認したのち、「定義情報の町	」 又り込み」ボタンをクリックしてください。	
★編集中(マイグレ・ 組織ID 135	ーション後)のプロジェクト 定義フ フロジェクト名 201 り	ァイルの内容★ シフ*ルwebアプリケーションC	1)システム仕様Ver. 300 2)定義アップVer. 0	
★旧プロジェクト定義 組織ID 135	養ファイルの内容★ ¥	◎更新時刻が最新か、更新・削除レコー MAGE ランチ予約	ドが正しいかを必ず確認してください。!! 1システム仕様Ver. 3	
フォルダ名 C:¥dt	bSheetClient¥DevelopV4¥dev¥dem	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	2)定義アップVer. 1	🗖 dbSheetClient (確認) 🛛 🔣
771ル名	dbS_demoa204.c	2010年4月6日 10:49:54	全定義情報を取り込みます。	
【1】 ステップ① 旧プロジェクトの	【2】 ステップ② 定義情報の	【3】 ステップ③ システム仕様Ver.	【4】 ステップ④ サーバに送信	実行してよろしいですか?
X& IR	100込み 全レコード数 ←戻る	マイグレーション後の定義情報の確認 ※テーブルを選択すると内容が確認できます	アラブロート後のハージョン日 1)システム仕様Ver. 300 2)定義アラブVer. 1	$(\sharp \iota \iota (\underline{Y})$ $\iota \iota \iota \iota \overline{\chi}(\underline{N})$

- (1) [定義情報の取り込み] ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
- (2) [はい] ボタンをクリックすると、旧プロジェクトの定義情報が読み込まれ表示されます。
 取込後、[マイグレーションの開始] ボタンが有効になります。
 [いいき] をクリック」を提合は、二の両面の互換ます。

[いいえ]をクリックした場合は、元の画面へ戻ります。





dby

abS プロジェクト定	義情報のマイグレーション		
【メンテナンス】	プロジェクト定義情報の	187	
【ステップ3】	日プロジェクトのテーブル内容	が正しく表示されたのを確認し、「マイグし	ノーションの開始」ボタンをクリックしてください。
▲短葉曲/つ/問	La casta) a dracts bl 💬	\$35/100%A	
*****	0-94780070919F#		1)システム仕様Ver. 300
M MEID 135	プロジェクト名 201	927 //web77 99-232C	2)定義Py才Ver. 0
★旧プロジェクト気	≧義ファイルの内容★	※更新時刻が最新か、更新・削除レコー	ドが正しいかを必ず確認してください。!!
編集ID 135	ブロジェクト名 204	DMOF ランチ予約	1)システム件様Ver. 3
100	10110 201	100001 3337 143	OF AT ALL CONTRACTOR
フォルダ名 0:	¥dbSheetClient#DevelopV4¥dev#	demoa	2)定義アゥブVer. 1
ファイル名	dbS_demoa20	04.dbs 更新時刻	2010年4月6日 10:49:54
道识 違识	上 (1993) 第17) 込み 全レコード数 (一戻る)	3 → 300 マイグレーション後の定義情報の確認 ※サーブルを選択すると内容が確認できまい	
テーブル名	→ レコード数	~	
00プロジェクト管理	(論語 6		
001SelectionList	0		
002SelectionValu	ю 0		
01.データベース定義	H 2		
02.ブックファイル定日	76 2		
03火ニュー定義	5		
04.米タン定義	23		
05.タスク定義	43		
06.ウエリー定義	11		
07開始終了処理	1		
	141		

- (1) [マイグレーションの開始] ボタンをクリックすると、マイグレーションが実行され、
 - マイグレーション後の定義情報が確認できるようになります。

dbSープロジェクト定義	清稲のマイグレーション) 🗆 🔼
シテナンス】 プ	ロジェクト定義情報のマ	イグレーシ	ョン(仕	様変換)	8				終了	
【ステップ	4】マイグレーション後の定	e義情報の内	容を確認	思したのち、	【サーバ	送信]术	タンをク	リックしてください		
編集中(マイグレ・	-ション後)のプロジェクト定義	ファイルの内宅	ř *)さえテル 件 縦Ver	30	
組織ID 135 プロジェクト名 201 サンプ・ルwebアプリケーションC					2)定義アップVer.	0			
雑華ID 135 フォルダ名 ^{C.Vd} ファイル名 1] ステップの	フロラエシト名 204 SheetClient*DevelopV4¥dev¥de dbS_demoa204 [2] ステップの	DMOF 52 noa Ldbs	♪チ予幹) 〒ップ◎	更新時刻	I [20	1 2 110年4)	システム仕様Ver.)定義アップVer. 月6日 10:49:54	3	
旧プロジェクトの 選択 取り込み			システム仕様Ver. 3 → 300 マイグレーション の間法 マイグレーション					サーバに送信 アップロード体のバージョン情報		
	全レコード数 一度5 130	87-7 03.XII-	ルを選択す 定義	ると内容が確	1208#3	•		リシステム亡催ver. 別定義アップVer.	1	
		All statements and statem	10.00	della.	MND	表示	NO.	パニュー名	BKNO	ブックモ
テーブル名	- レコード数	^	ID ID	5510	totter.	WO.				
テーブル名 00フロジェクト管理话 001Salective int	- レコード数 11 6	Â,	135	201	0	0	0	<システム子約>	0	
テーブル名 00プロジェクト管理信 007SelectionList 007SelectionList	 レコード数 10 0 0 		105 135	201 201	0	0	0	<システム予約> ■トップ	0	901E
テーブル名 00プロジェクト管理名 001SelectionList 002SelectionVake 01 データムーフ留美	▲ レコード数 18 6 0 0 2		Aller ID 135 135 135	201 201 201	0 1 2	0 1 2	0 1 2	<システム予約> ■トップ 発注間い合わせ	0 1 1	彩注版 彩注版
 テーブル名 00プロジェクト管理は 001SelectionList 002SelectionVake 01.データペース定義 02.プログェク4 10定差 	▲ レコード数 税 6 0 2 2		135 135 135 135 135	201 201 201 201 201	0 1 2 3	0 1 2 3	0 1 2 2	< システム予約> ■トゥブ 発注間い合わせ 売上集計	0 1 1 1	彩注版 発注版 発注版
テーブル名 00万日ビニクトを設け、 00万日ビニクトを設け、 00万日についるよき 01データベース定義 02プックファイル定義 03メニューで美	・レコード数 6 0 0 2 2 5		135 135 135 135 135 135 135	201 201 201 201 201 201 201	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 2 2	 <システム予約> ■トップ 第注前、か合わせ 売上集計 クロネコヤマト 	0 1 1 1 0	90110 90110 90110
テーブル名 00 フロジェクト 管理法 00 5 election List 002 Selection Value 01 データペース定義 02 プックファイル定義 03 火ニー定義 04 ポタン定義	► U⊐-H\$X R 6 0 0 2 2 5 22 3		135 135 135 135 135 135 135 135	201 201 201 201 201 201	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 2 2	<システム予約> ■トップ 発注間い合わせ 売上来計 クロネコヤマト	0 1 1 1 0 0	発注版 発注版 発注版
テーブル名 00 プロジェクト 管理法 001 Selection List 02 Selection Value 01 データペース道義 02 プックファイル 定義 03 人工 = 定義 04 米クン定義	 ▶2⊐+18t № 0 0 2 2 2 3 48 		135 135 135 135 135 135 135	201 201 201 201 201 201 201	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 2 2	<システム予約> ■トップ 発注間い合わせ 売上集計 クロネコヤマト	0 1 1 1 0 0	9016 9016 9016
テーブル名 のフロジェクトを設た 001SelectionList 002SelectionVake 01.データベーン変素 02.プックアイル変素 04.ポタン変素 04.ポタン変素 06.クェンー定義	 ↓2→F\$t 0 0 2 2 5 23 48 48 		135 135 135 135 135 135 135	201 201 201 201 201 201	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 2 2 2	<システム子約> ■トゥグ 発注間い合わせ 売上集計 クロネコヤマト	0 1 1 1 0 0	発注局 発注局 発注局



dby

🚭 dbS・プロジェクト定義	情報のマイグレーション					
【メンテナンス】 ブ	ロジェクト定義情報のマー	イグレーション(仕様変換)		(847	
【ステッ】	94】マイグレーション後の定	義情報の内容を確認したのち、【り	ナーパ送信】ボタン	をクリックしてください		
★編集中(マイグレ 網幕ID 135	ーション後)のプロジェクト 定義フ フロジェクト名 201 [ファイルの内容★ サンブルwebアブリケーションC		1)システム仕様Ver. 2)定義アップVer.	<mark>300</mark> 0	
★旧プロジェクト定義	後ファイルの内容★	※更新時刻が最新か、更新· 削除し	コードが正しいか	を必ず確認してください	. 1.1	
組織ID 135	プロジェクト名 204 1	DMOF ランチ予約		1)システム仕様Ver.	3	
7#AF43 C #dbSheetClient#DevelopV4#dev#demoa			2)定義アゥブVer.	1		
77111名	dbS_demoa204.	dbs 更新時刻	2010	年4月6日 10:49:54		
【1】 ステップΦ 旧フロジェクトの 選択	 【2】 ステップの 定義情報の 取り込み 全レコード数 一葉る 130 	【3】ステップ● システム仕様Ver. 3 → 300 マイクレーシッシスを協定高格種の確認 メラーブットを提示なと内容が確認で 03 メニュー定義	マイグレーション の間は5 2 きます。	【4】 ステップ④ アッフロード後のバージ 1)システム仕様Ver. 2)定義アップVer.	- パに送信 ョン情報 <mark>300</mark> 1	
テーブル名	▲ レコード数		(NO 表示	■ 火1-名	BKNO ブック名	🔲 dbSheetClient (確認) 🛛 🛛 🕅
 00.ブロジェクト管理情 	1 1 6	► 135 201 0	0	0 <システム予約>	0	
001SelectionList	0	136 201 1	1	1 ■トップ	1 宛注問:	『サーバへのアップロード』を開始します。
01データベース定義	2	135 201 2	2	2 発油酸い合わせ	1 郑注同:	
02.ブックファイル定義	2	135 201 3	3	2 売上集計	1 別注間:	実行してよろしいですか?
03.火ニュー定義	5	130 201 4	4	4545800	U	
04.术处/定義	23				No. of Concession, Name	
05.タスク定義	48					(はい(Y) いいえ(N)
05.01リー定義	11					
UTINS 64? I XERE	-	× <			>	

- (1) 【サーバに送信】ボタンをクリックすると、確認メッセージのダイアログが表示されます。
- (2) [はい] ボタンをクリックすると、サーバにプロジェクト定義情報が送信されます。
 [いいえ] ボタンをクリックした場合は、元の画面へ戻ります。
 ※プロジェクトの送信処理には、容量により時間を要しますので、処理中は画面操作を おこなわないようにしてください。
- (3)送信処理が正常に終了すると、マイグレーションされたプロジェクト定義ファイルがサーバから ダウンロードされ、開発用フォルダにコピーされます。





§ 付 録



A. 改版履歴

バージョン	改版年月日	項番	変更内容
5.0.0.0	2010年5月20日		Ver.5 対応マニュアル公開
5.0.3.2	2010年7月20日		環境設定へ外部 URL 起動の Excel ブックへの対応方法を追加





株式会社ニューコム (c) Copyright 2010 NEWCOM CORPORATION.

本 社 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 7-3-16 ジブラルタ生命浦和ビル TEL:048-815-8460 FAX:048-825-5518

